

青少年の意識と行動調査

【中学生・高校生等・青年】

平成 25 年度

福岡市

目 次

第Ⅰ部 調査の概要と調査結果のまとめ

第1章 調査の概要

1. 調査の目的 1
2. 調査の設計 1
3. 調査票の回収結果 1
4. 調査の主体と実施機関、調査結果の分析者 1
5. 調査結果利用上の注意 2

第2章 調査結果のまとめ

1. 中学生・高校生等 3
2. 青年（18～30歳） 11

第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

第1章 基礎資料

1. 対象者とその性別 17
2. 兄弟・姉妹の有無 17
3. 同居家族 17
4. 通学している学校・学年 18
5. 居住地区 18
6. 所属団体 19

第2章 現在の生活状況

1. 就寝時刻と起床時刻 20
2. 最近の体調 22
3. 自分でしていること 24
4. 生活時間 26
5. 休日の過ごし方 30
6. 放課後や休日にいっしょに過ごす相手 32
7. 居心地のいい場所 34
8. 公共施設の利用状況 37

第3章 生活意識と環境

1. 友だちづきあいについて 42
2. 無気力感や気分の減退 44
3. 悩みや心配ごとと相談相手 46
4. 規範意識（悪いとは思わないこと） 49

5. 地域での活動やボランティア活動	51
6. 近所の大人との関係	57

第 4 章 家族や家庭

1. 家庭生活の満足度	59
2. 父親との会話	60
3. 母親との会話	63
4. 食事の状況	65
5. 家庭に対する意識	69
6. 両親のしつけの態度	71

第 5 章 携帯電話やインターネットの使用状況

1. 携帯電話やスマートフォンなどの有無	74
2. 携帯電話やスマートフォンなどの使用目的	75
3. インターネットの使用目的	77

第 6 章 将来について

1. 希望する暮らし方	79
2. 将来の目標	81
3. 将来したい仕事	82
4. 将来の結婚の希望	84
5. 将来の子どもの希望	85

◎自由意見

1. 将来どのようにになりたい、どんなことをしたいか	87
2. 福岡市の将来	88

第 III 部 青年（18～30 歳）調査結果

第 1 章 基礎資料

1. 性別	89
2. 年齢	89
3. 同居家族	89
4. 居住地区	89
5. 居住年数	90

第 2 章 日ごろの生活状況

1. 朝食の摂取状況	91
2. 生活時間	92
3. 休日の過ごし方	94

4. 休日をいっしょに過ごす相手	96
5. 居心地のいい場所	97

第3章 就業・就学状況

1. 仕事や就学等の状況	99
2. 今後希望する働き方	103
3. 将来希望する仕事	105
4. 仕事に関する情報の入手方法	107
5. 行政に希望する就業支援	109

第4章 生活意識と環境

1. 希望する暮らし方	111
2. 無気力感や気分の減退	113
3. 悩みや心配ごとと相談相手	115

第5章 結婚と子育て

1. 結婚	119
2. 子ども	124
3. 結婚や出産についての考え	126
4. 家庭に対する意識	128
5. 男性の子育てに必要なこと	129
6. 子育てと仕事の両立に必要なこと	131

第6章 地域とのかかわり

1. 加入している団体、サークル	133
2. 近所づきあいの程度	134
3. 地域活動	135

第7章 公共施設の利用状況

1. 過去1年間に利用した公共施設	138
2. 最も利用している公共施設とその利用頻度	140

◎自由意見	142
-------	-----

第IV部 参考資料

◎使用した調査票

福岡市青少年の意識と行動調査（中学生・高校生等）	143
福岡市青少年の意識と行動調査（18～30歳の方）	150

第 I 部

調査の概要と調査結果のまとめ

第I部 調査の概要と調査結果のまとめ

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

子育てについての意識や教育・保育事業の利用状況と利用希望、また青少年の意識や生活実態などについて把握し、「第4次福岡市子ども総合計画」（平成27～31年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査の設計

(1) 調査対象者及び標本数

- ① 中学生・高校生等：(中学生1,000人、高校生世代1,000人)
- ② 青年(18～30歳)：2,000人

(2) 標本の抽出方法

住民基本台帳より抽出

(3) 調査の方法と時期

調査票を郵送で送付し、郵送で回収する郵送法により実施。
平成25年10月～11月

3. 調査票の回収結果

	配布	回収	回収率
中学生・高校生等	2,000	800	40.0%
(中学生)	(1,000)	(431)	(43.1%)
(高校生等)	(1,000)	(369)	(36.9%)
青年(18～30歳)	2,000	586	29.3%
計	4,000	1,386	34.7%

4. 調査の主体と実施機関、調査結果の分析者

調査主体：福岡市子ども未来局総務企画課

実施機関：西日本新聞社お客さまセンター調査・マーケティンググループ

調査結果の分析：阪井俊文（九州女子大非常勤講師）

調査結果の監修とまとめ：佐々木美智子（中村学園大学 教授）

5. 調査結果利用上の注意

- (1) 回答比率の合計は百分比のポイント以下 2 位を四捨五入しているため、必ずしも 100% ちょうどになるとは限らない。
- (2) 2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は、原則として 100% を超える。
- (3) 数表、図表、文中に示す N は、比率算出上の基数（標本数）である。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- (4) 「問〇－〇」では前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち 2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。
- (6) 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。
「次世代育成支援に関するアンケート調査」平成 21 年 5 月～6 月実施
※本報告書においては、「前回調査」と記載している。

第2章 調査結果のまとめ

1. 中学生・高校生等

1-1 現在の生活状況

(1) 就寝時刻と起床時刻

- ・平均就寝時刻は、中学生午後10時52分、高校生世代は午後11時38分。
- ・平均起床時刻は中学生6時35分、高校生世代6時12分。
- ・平均睡眠時間は中学生7時間43分、高校生世代6時間34分となっており、平成21年度調査と比べると、中高生世代とも約10分長くなっている。

(2) 最近の体調

- ・体調面での問題は、中学生では「アレルギー症状がある」「体がだるい」「肩や腰がこる、痛む」の順、高校生世代では「体がだるい」「肩や腰がこる、痛む」「アレルギー症状がある」の順で多くなっている。
- ・健康上の問題が「とくに何ともない」とする割合は、中高生世代ともに約4割である。
- ・健康上の問題は、全般的に女性の方が割合は高い。

(3) 生活自立

- ・中学生は「親に頼らず、朝一人で起きる」を「いつもしている」のは32.0%で、その他の項目は2割程度。高校生世代は「親に頼らず、朝一人で起きる」が37.9%、「自分のベッドを整える、または布団の上げ下げをする」は29.2%で、あとの2つは2割程度である。
- ・平成21年度調査に比べると、全体的に「いつもしている」程度は減少しており、自立の程度は低下している。
- ・女性の方が自立の程度が高い項目が多いが、特に高校生世代の「親に頼らず、朝一人で起きる」は12.3ポイントも女性の方が高い。

(4) 生活時間

- ・「学校での部活動の時間」は、中高生世代ともに「2時間ぐらい」が最も高くなっており、平成21年度調査よりも短くなっている。
- ・「家庭での勉強時間」は中高生世代ともに「1時間ぐらい」が多く、平成21年度調査よりも若干長くなっている。
- ・「学習塾の時間」は、「なし」の割合が中学生は51.0%、高校生世代は79.6%となっており、中学生の方が塾に通っている割合は高い。平成21年度調査と比較すると、塾に通う割合は高校生世代で増加している。
- ・男女差が顕著なのは「ゲームをする時間」と「携帯電話・スマートフォンやパソコンを使う時間」で、前者は男性の方がその時間は長く、後者は女性の方が長い。

(5) 休日の過ごし方

- ・休日の過ごし方としては、中学生では「部活動やけいこごとをする」「テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」「友だちと会う」が高い。
- ・高校生世代では、「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」が5割近くに達しており中学生との差が大きい。その他では「テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」や「友だちと会う」が高い。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、中高生世代ともに「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」が大幅に増加し、「友だちと会う」が減少している。
- ・いっしょに過ごす相手は、中高生世代ともに、放課後は「学校の友だち」「家族」の順、休日は「家族」「学校の友だち」の順となっている。
- ・休日に「家族」と過ごす人の割合が、平成 21 年度調査に比べて大幅に増加している。
- ・居心地のいい場所としては、中高生世代ともに、「自分の家」が9割近くに達している。

(6) 公共施設の利用状況

- ・過去 1 年間に利用した公共施設は、中学生では「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」と「総合図書館、各区の市民図書館」、「小中学校の校庭、体育館」が4割以上と多く、平成 21 年度調査と比べて若干増加している。
- ・高校生世代では「総合図書館、各区の市民図書館」と「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が約4割で比較的高くなっており、平成 21 年度調査とほぼ同じ結果である。
- ・男性はスポーツ施設、女性は図書館や美術館、市民センターの利用が高い。
- ・中高生世代ともに、最も利用している施設として「市民センター」をあげる割合が大幅に増加している。

1-2 生活意識と環境

(1) 友だちとの関わり

- ・中高生世代ともに「友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う」が約6割で最も高く、「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」も4割を超えている。
- ・平成 21 年度調査と比べて、高校生世代では「友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う」が大幅に増加している。
- ・多くの項目で女性の方が高い割合を示しており、男性よりも女性の方が友だちと深くかかわる傾向があることが伺える結果となっている。

(2) 悩みや心配ごと

- ・中学生の5割強と高校生世代の7割弱が「何もやる気がしない」と感じることもある。
- ・中学生の約4割と高校生世代の5割強が「何となく不安である」とも感じることもある。
- ・気分の減退や無気力感を感じる人の割合は、中高生世代ともに平成 21 年度調査よりも減少している。
- ・中高生世代ともに、男性よりも女性で無気力感や気分の減退を感じる割合が高い。

- ・現在かかえている悩みや心配ごとは、中高生世代ともに「受験や成績のこと」が約6割で最も高い。
- ・女性は「友人や仲間のこと」や「好きな人や恋愛のこと」、「性格のこと」、「外見やスタイルのこと」についての悩みが男性よりも大幅に高い。
- ・悩みや心配ごとの相談相手は、中学生では「母親」が最も高く、次いで「学校や近所の友だち」となっているが、高校生世代になると「学校や近所の友だち」の方が高くなる。
- ・平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともに「母親」が増加し、「学校や近所の友だち」が減少している。

(3) 規範意識

- ・友達がした場合にそんなに悪いことだと思わないものとしては、「つかみ合いのケンカをする」「1,000円札を拾った時、警察に届けない」などが高い。
- ・「どれも悪いことだ」は中学生が56.4%で高校生世代よりも21.5ポイント高い。
- ・平成21年度調査に比べて、中高生世代ともほとんどの項目で悪いことだと思わない割合が著しく低下している。
- ・ほとんどの項目で、男性の方が悪いことだと思わない割合が高い。

(4) 地域活動への参加

- ・参加経験は、中高生世代ともに「体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」が約8割、「子ども会や公民館などでの活動」が約7割と高くなっている。
- ・福祉活動や国際交流への参加は女性の方が高い。
- ・今後の参加意向は、ほとんどの項目が平成21年度調査に比べて増加している。

(5) 近所の大人との関係

- ・会えばあいさつをする大人が『いる』のは中高生世代で約9割、悪いことをしたとき注意してくれる大人が『いる』のは中学生で約7割、高校生世代では6割弱である。
- ・平成21年度調査と比べると、多くの項目で『いる』が増加しており、近所の大人との付き合いは親密になっている。

1-3 家族や家庭

(1) 家庭生活への満足度と両親との会話

- ・家庭での生活に満足しているのは中高生世代ともに8~9割で平成21年度調査よりも増加している。
- ・父親と『話をする』のは中学生で約8割、高校生世代で7割強である。母親と『話をする』のは中高生世代ともに約9割である。
- ・家庭での生活に満足しているほど、父親や母親とよく話をしている。

(2) 食事の状況

- ・朝食を一緒に食べるのは、平日は中学生では「お母さん」、高校生世代では「ひとりで」が高い。
- ・休日の朝食を一緒に食べるのは、中高生世代ともに「お母さん」が多い。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、中学生では「ひとりで」の割合が減少し、高校生世代では「お母さん」の割合が増加している。
- ・家庭生活に不満な人ほど平日・休日ともに「ひとりで」食べる人が多い。
- ・朝食を食べない理由は、平日は「時間がない」、休日は「食べるより寝ていたい」が高い。

(3) 家庭観と両親のしつけの態度

- ・中学生の約 5 割と高校生世代の約 6 割が家庭を「心身の休養や安らぎの場」と捉えている。「基本的な生活や生き方を学ぶ場」や「家族がお互いに助け合い協力しあう場」と捉える人は 4 割前後となっている。
- ・家庭生活に不満を感じている人は、「ただ、食事をし、寝るための場」や「自分の好きなことをして楽しむ場」と捉える割合が相対的に高い。
- ・父親と母親ともに、「あなたのことをわかってくれている」と感じている割合が 9 割前後と高くなっている。父親に関しては、その割合が平成 21 年度調査よりも大幅に増加している。
- ・父親に比べて母親は「あなたが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ」や「あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」の割合が高い。

1-4 携帯電話やインターネットの使用状況

(1) 携帯電話やインターネットの使用状況

- ・携帯電話やスマートフォンの所有は、中学生が 7 割弱、高校生世代は 9 割を超える。
- ・携帯電話やスマートフォンの使用目的は「友だちとメールや SNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」が高い。
- ・インターネットの使用目的は、中高生世代ともに「趣味・遊びに関することを調べる」と「勉強・授業・進路（就職情報、進学情報）のことを調べる」が高くなっており、高校生世代では「SNS（フェイスブック、ツイッターなど）やブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする」も高い。

1-5 将来について

(1) 暮らし方や将来について

- ・希望する暮らし方については、中高生世代ともに「家族と仲よくする」が最も高く、次いで「自分の趣味にあった暮らし方をする」となっている。平成 21 年度調査と比べて、「家族と仲よくする」が増加している。
- ・将来の目標は、中高生世代ともに「だいたいある」が 4～5 割を占めている。
- ・つきたい職業については、「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が活かせる仕事」「仲間と楽しく働ける仕事」「収入や雇用が安定している仕事」といった仕事を志向する割合が高い。平成

21年度調査と比較して、「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が活かせる仕事」が中高生世代ともに増加している。

- ・将来の結婚の希望は、「結婚したい」が中学生で約5割、高校生世代で約7割となっている。中学生では、平成21年度調査と比べて「結婚したい」が7.3ポイント減少しており、「結婚したい」の割合が女性は男性より16.1ポイント高くなっている。
- ・将来の子どもの希望については、中高生世代ともに「子どもを持ちたい」が約6割となっている。女性の方がその割合は高い。希望する子どもの人数は「2人」が多い。

1-6 まとめ

(1) まとめ

はじめに生活状況からみると、「親に頼らず、朝一人で起きる」や「自分の机の上や部屋の掃除をする」など、生活の自立の程度は平成21年度調査よりも若干低下している。身の回りのことを保護者に頼る中高生が増加していることが伺える。

平日の生活時間の内訳をみると、中高生とも平成21年度調査に比べて自宅や学習塾での「勉強」と「携帯電話・スマートフォンやパソコンを使う」時間が長くなり、その一方で「趣味や遊びの時間」と「部活」は「なし」とする割合が増加している。

休日は「友だちと会う」（中高生共3割強）と「部活」（中学生5割弱、高校生3割弱）が多いが、平成21年度調査に比べて減少している。休日によい過ごし相手は「家族」が最も多いが、休日の過ごし方は「家族で団らんする」ものは1割強に過ぎず、「テレビやCDの視聴」や「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNSをする」ものが多い。中高生は、居心地がいい「自分の家」でインターネットを享受したりメールやSNSでコミュニケーションを楽しんでいるようである。

友人関係は、「友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う」とする割合が高く、高校生では平成21年度調査よりも増加している。しかし「気の合わない人との付き合いをできるだけ避ける」は減少傾向にある。また、平成21年度調査と比べると、友だちに「家か親に対する不満を話す」と「将来について真剣に話し合う」が5～10ポイント減少しており、友だちと思春期固有の話をしなくなっていることが特徴的である。つまり、けんかはせず、思春期の自立問題などは話さないで、誰とでも付き合うという友人関係は、葛藤などを乗り越えながら思春期の対人関係スキルを獲得する旧来型の友人関係というより、今ここにいる仲間といること（地元族でつるむ、メールなどでつながっていること）そのものを重要視する、友人関係の自己目的化のプロセスが進んでいると思われる。

思春期の特徴である抑うつ感の中では、「何もやる気がしない」が『ある』の割合は中高生とも5割を越えており、次いで「一人きりが一番楽だ」、「何となく不安だ」の順で、両者ともに中学生は4割前後、高校生は6割弱の割合である。しかし、これらの抑うつ感は、平成21年度調査に比べてほぼ全ての項目で『ある』の割合は減少し、これも平成18年調査とほぼ同じ水準まで回復している。

悩みは、中高生の「将来のこと」、中学生の「受験や就職のこと」、高校生の「就職のこと」が5ポイント以上減少し、多くの項目で軽減している。悩みの相談相手は中高生とも「友だち」は多いが、平成21年度調査に比べて中学生は約15ポイント、高校生は約4ポイント減少し、仲間

同士での問題解決が少なくなっている。それに対して、中高生とも「母親」への相談が 10 ポイント前後増加し、「父親」も増加傾向がみられる。

中高生の規範意識も、平成 21 年度調査と比べてほとんどの項目で「悪いことと思わない」の割合が大幅に減少し、規範意識の厳格化、同調性の高まりが進んでいる。まず、犯罪行為である薬物乱用や援助交際、出会い系サイト利用などの性的逸脱行動に対する規範意識は、元来中学生から高校生への発達の弛緩と時代的变化ともに少ない規範であるが、今回も「悪いことと思わない」は約 3% 以下で、厳格である。それに対して、思春期には飲酒や夜遊び等大人に許容されている項目や、攻撃性の高まりによるつかみ合いのけんか、アダルトビデオなどの性的関心を中心にした規範意識は、平成 21 年度調査より大幅に厳格化した。ところが、これらの規範意識の中高生間の割合差が縮小し、中学生から高校生にかけての規範意識の弛緩化という発達の变化が少なくなったことが注目される。これまで規範意識は 20 歳をピークに一旦弛緩するが、年齢が上がるにつれて再厳格化する加齢曲線を描いている。中学生から高校生にかけての発達の弛緩の消失傾向は、今回のみの変化なのか、今後も進むのか注目される。

地域・ボランティア活動の参加経験は平成 21 年度調査とおおむね同じ結果で、身近な地域での体育・スポーツ大会・盆踊り大会や子供会・公民館活動経験は 7 割以上と高く、福祉・外国人/国際交流・募金/チャリティーバザー・災害支援活動などは 2 割前後である。参加意欲は、『参加したい』は増加しているが、「積極的に参加したい」はほぼ総ての項目で減少している。近所の大人との関係は、会えばあいさつする大人が『いる』は 9 割と多く、総ての項目で「たくさんいる」割合が増加している。

家庭生活の満足度は、中高生とも『満足』派が増加しているが、特に「満足している」は 10 ポイント以上増加している。会話は父母とも「よく話をする」は増加し、食事も朝食・夕食とも「ひとりで」が減少し、朝食は家族で食べる割合が増加している。夕食は母親との割合は増加しているが、中学生の父親ときょうだいはやや減少傾向がみられる。家庭に対する意識は、中高生とも「心身のやすらぎの場」が最も多く半数以上の割合である。中高生から見た親の日頃のしつけの認知は、父母とも理解があり、過保護はやや増加し、体罰は減少している。

希望する暮らし方は、中高生とも「家族仲良く」と「勉強や仕事に打ち込む」が増えており、家族志向と勉強や仕事やなど将来に向けた業績主義的志向が窺える。将来の目標が『ある』割合も 10 ポイント以上増えている。将来したい仕事も、中高生とも「自分の趣味や能力が活かせる仕事」が約 6 割で最も多く、平成 21 年度調査に比べて 10 ポイント前後増加している。将来の結婚の希望は、中学生は 5 割強、前回より 7 ポイント減少している。高校生は 7 割弱である。将来の子どもの希望は、中高生とも持ちたいは 6 割であるが、平成 21 年度調査と比べるとやや減少傾向が見られる。

(2) おわりに

平成 21 年度調査に比べて今回の中高生の生活時間は、「勉強」と、「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS をする」ものが共に増加して、家庭の満足度や居心地も非常に高く、体調、抑うつ感、悩みなどのメンタルヘルスと、規範意識が回復傾向にある。希望する暮らし方も「家族仲良く」と「仕事や勉強に打ち込む」という家族志向と業績志向が増えている。この変化を肯定的にみると、平成 21 年度調査に比べて中高生は、勉強などの「ま

じめ」行動の増加によるパーソナリティーの緊張処理を、満足度が高く居心地のいい家庭という親密圏の中で「個人化」しながら、インターネットの享受やメール、SNSなどメディアを介するコミュニケーションで息抜きやリラックスをすることで、「表出的欲求充足(コンサマトリー)」を促進し、心身面では体調、抑うつ感、悩みが軽減し、社会性では規範意識が回復し、将来目標は家族志向と業績主義志向が増えていると考えられる。

厳しいリスク社会を生き抜かなければならない現代、自己コントロールのできている子どもの「まじめ」と「息抜き」のスイッチをオン/オフするという生活態度の増加により、これまでの中高生の心身や規範意識の問題は徐々に回復しつつあるようにみえるが、他方で社会の変化による影響も考慮する必要があると思われる。すなわち中高生は、現代のリスク社会における「個人化」の進行(W.ベック)、その帰結として青年期の移行期の長期化や労働市場の非正規雇用化や不安定化等を現に見聞きしており、再帰的に(自分は現代の30~40代のようにならないように省察して)学歴の取得や仕事の確保に励んでいるとも読める。つまり、厳しい社会状況の中で、中高生は勉強に励みながら友だちや家族など身近な親密圏で息抜きする切り替え補完の生活態度は、家庭生活の満足の高いある意味で恵まれた中高生の適応的変容といえるのではないか。

しかし今回の高校生の変化で気になる点はまず、高校生の大人への背伸び的な飲酒や第2次性徴を起点とする性への関心などに対する規範意識が非常に厳格化し、発達の弛緩の消失傾向がみられることである。一旦20歳前後で弛緩したこれらの規範は大人になるとともに再度厳格化するが、弛緩と厳格化のプロセスで自己統制力や自己裁量力が体得される。高校生の発達の弛緩の消失は、リスク社会の要請や役割期待に過剰適応しているとはいえないか。また、悩み多い思春期を疾風怒濤といい、それを乗り越えてアイデンティティーを確立することが思春期の発達課題であったが、現代の思春期は悩みが軽減し、悩みを抱えず、悩みを友だちとも話合わないで、親に相談するという傾向が見られた。最近の中高生は、悩みに直面し乗り越えるという自我を鍛える体験が乏しくなっているのではなかろうか。

次に気がかりな点は、勉強などの「まじめ」化と情報通信機器の利用による「自己充足」の相互補完ができていない中高生がみられることである。携帯電話等を一日3時間以上使用する中高生をヘビーユーザーとすると、ヘビーユーザーは全体の約16%を占めており、ヘビーユーザーの平日の就寝時間は24時以降が約5割を占め、テレビ・ビデオの視聴とゲームをする時間が長く、部活や学習塾の時間は短く、さらに休日は、読書、自宅勉強、部活をする割合が低い傾向が覗えた。体調面では不調傾向がみられ、不安感や無気力感などの抑うつ傾向が強い。携帯電話等の利用と「勉強」や「部活」のスイッチの切り替えができていないヘビーユーザーは、メンタル・ヘルス問題だけではなく、ネットトラブル問題などが今後の課題となるだろう。

さらに今回の調査結果では、福岡市の多くの中高生は家族など親密圏の満足度が高まっている中で、家族の満足度の低い中高生が一割強存在していることに注意しなければならない。家庭生活の『不満』派は、就寝時間は24時以降が多く、体調面も悪く、不安感や無気力感が強い傾向がみられる。さらに平日、休日とも一人だけで過ごすことが多く、一人を好み、友だちと一緒に居ても別々のことをしている傾向が強い。家庭生活面でも、両親とは会話が少なく、自分のことをわかってきているという親への信頼感が乏しく、悩みは誰にも相談せず、食事も一人で食べるが多く、家庭観もやすらぎや協力の場とうより一人で過ごす場と捉え、自分の家を居心地のいい場所とは感じてない。希望する暮らし方ものんびり・趣味にあった暮らしなど自己満足的暮らし方に偏っている。また今回中高生で大きく厳格化した規範意識も、希薄である。

彼らは、周囲の中高生が家庭の満足度や信頼感、情緒の安定度を回復しているなかで、相対的剥奪感（相手との比較で感ずるマイナス感）を強め、生活時間や情緒面の問題、規範意識の希薄化など意識や行動面で様々な問題を抱えていることが窺える。家族や友人関係から孤立化し、親密圏でパーソナリティーの適応的緊張処理ができず、抑うつ感が高いまま放置されているとすると、このような中高生は回避的行動から逸脱行動に転化する恐れは強い。このような問題や困難を抱えた中高生に対して、これまで以上に学校や地域、行政が個別ニーズに応じた個別支援や家族支援の充実が望まれる。

彼らへの対策の一つとして、例えば福岡市の「中高生 夢チャレンジ大学」や居場所づくりの「若者プラットフォーム」事業などは、学校や近隣以外で仲間集団による問題解決の機会や体験を提供する場として重要な事業といえる。また福岡市の中高生は、公共施設の利用ではスポーツ施設の利用が増加しているので、青少年の健全育成事業として多様なスポーツによる集団参加の機会提供を推進することが望まれる。

さらに、今回のアンケート調査では顕在化しにくい、障がいなど特別な教育的ニーズを持った子ども、社会的養護の必要な子ども、高校を中途退学した子ども達への支援も充実させることが必要と思われる。

2. 青年（18～30歳）

2-1 日ごろの生活状況

（1）朝食の状況と生活構造

- ・朝食を「ほぼ毎日食べている」のは63.8%で、その割合は女性の方が高い。
- ・平日に行うこととしては、「テレビ・ビデオ・DVDを見る」や「パソコン、テレビゲーム、携帯電話をする時間」などが多く、「読書」や「趣味」に時間を費やす人は相対的に少ない。
- ・平成21年度調査に比べて、パソコンや携帯電話に費やす時間が長くなっている。特に、青年前期（18～24歳）の一日3時間以上の利用割合は4割を越えている。
- ・休日の過ごし方は男女で異なっており、男性は「テレビ、ビデオやDVDを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」や「パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」の割合が高く、女性は「買い物やレジャーを楽しむ」や「テレビ、ビデオやDVDを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」、「友だちと会う」が高くなっている。
- ・休日を過ごす相手は「家族」が約5割、「ひとりで過ごす」が約3割、「学校の友人」と「恋人」が約2割となっている。
- ・「家族」と過ごす人の割合は女性の方が高く、男性は「ひとりで過ごす」割合が女性よりも高い。
- ・居心地のいい場所としては、「自分の家」が約9割で圧倒的に高い。

2-2 就業・就学状況

（1）現在の就業状況

- ・「正社員」が35.5%で最も高く、次いで「学生・勉強中」が25.6%、「パート・アルバイト（フリーター）」が11.4%となっている。
- ・女性は男性に比べて「契約社員・嘱託」の割合が高い。
- ・仕事に関する悩みでは「収入が少ない」が最も多く、約5割に達している。
- ・現在働いていない場合の理由は男女で大きく異なり、女性は「家事・出産・育児のため」が圧倒的に高く、男性は「将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため」「自分が希望するような仕事がないため」などが高い。

（2）今後希望する働き方

- ・今後希望する働き方は、「正社員」が約7割を占めている。
- ・「正社員」「自営業・自由業」は男性が高く、「パート・アルバイト（フリーター）」は女性が高い傾向がみられる。
- ・今後希望する仕事は「収入や雇用が安定している仕事」が約5割で最も高い。
- ・平成21年度調査と比べると、「自分の趣味や能力を生かせる仕事」を志向する割合が減少し、「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」や「休みがきちんと取れる仕事」、「仲間と楽しく働ける仕事」を希望する割合が増加している。

(3) 就業支援

- ・ 仕事に関する情報の入手方法は「インターネット」が最も高く、次いで「求人情報誌」「ハローワーク」となっている。
- ・ 行政に求められている就業支援は、「仕事の紹介」や「企業誘致など、働く場を増やす」「仕事と家庭の両立支援」が高い。
- ・ 女性は「仕事と家庭の両立支援」を望む割合が高く、およそ4分の1に達している。

2-3 生活意識と環境

(1) 希望する暮らし方

- ・ どういう暮らし方を望むかは、「家族と仲よくする」が最も高く、次いで「経済的に豊かな生活をおくる」「くよくよしないでのんびり暮らす」となっている。
- ・ 平成21年度調査と比べると、若干ではあるが「経済的に豊かな生活をおくる」が増加し、「自分の趣味にあった暮らし方をする」「自分の可能性をためす」が減少している。

(2) 悩みや心配ごと

- ・ 日ごろ感じることもある無気力感や気分の減退は、「何となく不安である」「何もやる気がしない」「一人きりが一番楽だ」が約6割、「とりのこされたような気になる」「学校や職場での競争に疲れを感じる」が約4割となっている。
- ・ 男性よりも女性の方が、25～30歳よりも18～24歳の方が、無気力感や気分の減退を感じている割合が高い。
- ・ 平成21年度調査と比べると、「不安」感は減少しているが、「無気力」感は増加している。
- ・ 悩みや心配ごととしては「自分の将来のこと」が約6割で最も高く、次いで「家計、金銭のこと」が約5割、「仕事のこと」が5割弱となっている。
- ・ 平成21年度調査と比べると、「自分の将来のこと」や「家庭・家族のこと」「家計、金銭のこと」「恋愛のこと、結婚のこと」が増加し、「仕事のこと」が減少している。将来や恋愛や家庭、家計など青年期の家族形成に関する悩みが増えている。
- ・ 全体的に男性よりも女性の方が悩みを感じており、特に「恋愛のこと、結婚のこと」「家庭・家族のこと」「外見やスタイルのこと」ではその差が顕著である。
- ・ 悩みの相談相手は、「母親」が最も高く、次いで「学校や近所の友だち」「配偶者、恋人」となっている。
- ・ 平成21年度調査に比べて、「学校や近所の友だち」「職場の同僚」に悩みを相談する人が大幅に減少している。

2-4 結婚と子育て

(1) 結婚・子ども・家庭観

- ・ 結婚している人は回答者の約2割。
- ・ 「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」は約5割、「結婚も同棲もしていないが、交際している相手はいる」は2割強となっている。

- ・仕事や就学の状況別では、契約社員・嘱託、派遣社員、パート・アルバイト（フリーター）などでは正社員に比べ婚姻率が低い。
- ・配偶者・パートナーと出会ったきっかけは「職場・アルバイト先・仕事」「友人・兄弟姉妹などに紹介された」「学校で知り合った」が高い。
- ・平成21年度調査と比べて、職場やアルバイト先での出会いが減少し、学校での出会いや友人・兄弟姉妹などからの紹介が増加している。
- ・結婚していない理由は、「適当な相手に巡り会わない」が最も高いが、結婚していない人の4分の1は「必要性を感じない」としている。
- ・平成21年度調査と比べて「適当な人と巡り会わない」が7ポイント増加しており、特に20歳代後半は半数を占めている。結婚していない理由には、結婚できない理由と結婚しない理由があるが、「収入」や「住宅」など経済的要因で結婚できない理由は減少し、「必要性を感じない」や「自由や気楽さを失いたくない」など結婚しない理由は増加傾向がみられる。
- ・子どもがいない人は約8割。子どもの数は「1人」が約7割、「2人」が3割弱となっている。
- ・理想の子どもの数は「2人」が約5割、「3人」が約3割となっている。
- ・「結婚をし、子どもを持つべきだ」と考える人が48.5%で最も高く、「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」が40.8%となっている。
- ・平成21年度調査と比べて、「結婚をし、子どもを持つべきだ」が減少し「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」が増加している。
- ・家庭についてのイメージは、「心身の休養や安らぎの場」と「家族がお互いに助け合い協力しあう場」が高い。

（2）子育て支援

- ・男性の育児参加に必要なこととしては、「職場の理解」と「休暇制度の充実」が5割前後となっている。
- ・育児と仕事の両立に必要なこととしては、「有給休暇をとりやすい雰囲気をつくる」と「配偶者の理解や育児、家事の分担」がともに約4割で高くなっている。
- ・平成21年度調査と比べると、「保育所の定員の増加」や「保育時間の延長など保育サービスの充実」を望む人が増えている。

2-5 地域とのかかわり

（1）地域とのかかわり

- ・加入している団体やサークルは、「スポーツ・レクリエーションのサークル」「趣味・文化のサークル」「自治協議会・町内会」が上位となっているが、いずれもそれほど高い割合ではなく、「加入しているものはない」が8割弱を占めている。
- ・近所づきあいは「会えばあいさつ程度をする」が6割強、「つきあいはない」が3割弱で、「ときどき家を訪問する」や「会えば世間話をする」といった親密なつき合いは極めて少ない。
- ・年齢別にみると、「つきあいはない」の割合が25～30歳では18～24歳より大幅に高くなっている。
- ・地域活動への参加経験については、「体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」と「子

ども会や公民館などでの活動」が4割を超えており高い。

- ・今後の参加意向については、いずれの地域活動も「きっかけがあれば参加したい」という人が多い。

2-6 公共施設の利用状況

- ・過去1年間に利用した施設は、図書館、体育館やプールなどのスポーツ施設、動植物園などの野外施設が高い。
- ・平成21年度調査に比べると、図書館など多くの施設で利用している人が増加している。
- ・最も利用している公共施設は「総合図書館、各区の市民図書館」「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」「動植物園等の外施設」の順となっている。

2-7 まとめ

(1) まとめ

生活状況からみてみると、朝食の摂取状況や生活時間の使い方など、平成21年度調査と殆ど変化はないという結果であった。唯一、パソコンや携帯電話に費やす時間が長くなるという変化が見られるが、これらのメディアの普及や機能の高度化によるものであり当然の結果と言えるだろう。休日の過ごし方は、ビデオや音楽、買い物、レジャーなど様々であり、多くの人が「自分の家」に居心地のよさを感じているなど、生活状況に関する設問では、特に問題視すべきような結果は見られない。

現在の就労状況をみると、学生や資格取得のために勉強中とする割合が男女ともに平成21年度調査よりも増加しており、就職のため学歴・資格志向が高まっていることを窺わせる結果となっている。仕事をする上での悩みでは、収入の少なさが特に目立っているが、その他に仕事がきつい・おもしろくない、人間関係の問題など多岐にわたっており、「悩みはない」とする人は2割に過ぎない。給与や休日の日数など、若い世代の労働環境について改善する取り組みが求められる。仕事についての将来の希望をみると「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」や「休みがきちんと取れる仕事」を望む人が増えており、この結果も現状では十分な休みやプライベートの時間が取れていない人が多いことの裏返しと見ることができる。女性は行政に「仕事と家庭の両立支援」を望む人が多くなっており、これもまた両立が難しい現状に対する要望でもあり、対策が急がれる。ただし、「自分の趣味や能力を生かせる仕事」の減少と「世の中のためになるような仕事」に増加傾向がみられ、若者の仕事に対する社会的構えが変化してきているのではなかろうか。

生活意識に関する設問をみてみると、「経済的に豊かな生活をおくる」を望む人の割合が平成21年度調査よりも増加している。経済的な豊かさに対する市民の向上心が高まっているとも解釈できるが、悩みや心配ごととして「自分の将来のこと」や「家計、金銭のこと」をあげている人が多いことを鑑みれば、現在の状況が経済的に安定しているとは言えない人が多いことを反映した結果とみるのが妥当であろう。雇用環境の改善を促し、就業と収入を安定させることが青年のメンタル・ヘルス向上のためにも重要である。

結婚や子育てに関しては、「結婚をし、子どもを持つべきだ」と考える人が減少し「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」とする人が増加している。結婚や家族のあり方について

柔軟な考え方を持つ人が増加しており、行政の支援策等もそれに対応できるものとしていくことが求められる。婚姻状況については、非正規雇用よりも正社員の方が婚姻率は高くなっている。また、配偶者と出会ったきっかけは「職場」が減少傾向にある。こうした結果から、いわゆる非正規雇用の増加が、男女の出会いの場の減少につながっている可能性が示唆され、非婚化や少子化の対策という観点からは対策が必要である。

地域とのつながりについては、近所づきあいが活発とは到底言えない結果になっている。若い世代に限定した調査であることや、福岡市が大都市圏でありマンションなど流動性の高い形態で居住している人が多いと推測されることなど、その理由はいくつか考えられるが、防犯といった観点からは、地縁関係をより強固にすることが望まれる。種々の地域活動に対しては、「きっかけがあれば参加したい」という人が多いという結果になっており、「きっかけ」を作る工夫次第で地域活動の参加者を増やし地域のつながりを強化できる可能性が示唆される。

(2) おわりに

バブル崩壊以降、厳しい経済雇用情勢が続いており、我が国の若年層における非正規労働者の増加（比率：33.9%、人数：533万人、対前年18万人増(2013 労働力調査速報値)）は、雇用の不安定化や所得の減少をもたらしている。福岡市の青年の仕事や就学状況も、平成21年度調査に比べて「正社員」は約4ポイント減少し、「契約社員・嘱託」が3ポイント増加している。このような厳しい社会に対して「学生・資格取得のために勉強中」は約7ポイント増加し、特に青年前期（18～24歳）の若者は半数以上を占めており、キャリア形成を強く志向していることが窺える。

このように就職や収入面で厳しい時代を生きている現代の若者の悩みや心配ごとをみると、将来のことや家計、金銭のことなどは増加している一方、今の仕事のことや健康に関しては軽減している。現代の若者は将来や金銭面では悩んでいるが、今の仕事や健康などに関しては大半が現状を悲観しているというわけではないようである。生活状況をみてみると、朝食摂取や生活時間は平成21年度調査と比べて大きな変化はなく、休日の過ごし方はビデオや音楽、買い物、レジャーなど様々であり、多くの人が「自分の家」の居心地の良さを感じているなど、特に問題視すべきような結果は見られない。

唯一変化したのは、平日も休日もパソコンや携帯電話に費やす時間が長くなったことである。インターネットとモバイル端末の普及により情報収集やコミュニケーションの仕方が変化し、居心地の良い「自分の家」（約9割）で、自分自身が欲しい情報を収集し、友だちなど身近な人とコミュニケーションをしながらつながることができるようになった。現代は大半の若者が現在の生活に満足しているといわれているが、満足感の理由としては、自分の好みやニーズに合わせて情報などを収集できることや、身近な人とつながっているという親密圏における安心感によるものが大きいのではなかろうか。

他方、悩みや不安の中で、自分の将来のことや家計、金銭の割合は増えている。将来のことや経済問題に関しては、長引く厳しい経済雇用情勢では自分の行動・努力によって状況を変化させられないという感覚が強まることは避けられない。今回の抑うつ感では、「不安感」は減り、「無気力感」の増加傾向がみられるが、将来や経済問題を自分ではコントロールができないという自己効力感の低下により「無気力感」が強まっているのではなかろうか。今回の調査では若者の無気力や引きこもりの問題など特に困難を有する若者の問題は明確にはならなかったが、今後、行

政や企業の連携により、一人一人の置かれた状況に応じて職業的自立に向けた支援として、①非正規雇用の若者に対する正規雇用化や、②学歴・資格志向の強い現代の若者に対する能力開発機会の確保など、若者が働くことに希望を持てる雇用環境を整備することが重要である。

若者の比率が最も高いと言われている福岡市であるが、結婚している人は約 2 割で、結婚や出産のあり方については、結婚も出産も必要視する人は半数を割り、どちらも必要視しない人は約 4 割で、平成 21 年調査より結婚・出産観の自由度が増加している。ただし、結婚・出産観の自由度の高まりは、結婚の社会的圧力が弱まったこともあるが、結婚のハードルが高くなったことに対する防衛かもしれない。婚姻状況については、非正規雇用よりも正社員の方が婚姻率は高く、配偶者と出会ったきっかけは「職場」が減少傾向にあり、こうした結果から、いわゆる非正規雇用の増加が、男女の出会いの場の減少につながっている可能性が示唆されている。

結婚していない理由としては「適当な相手に巡り会わない」が約 4 割で平成 21 年度調査より 7 ポイントも増加し、特に 25～30 歳代では 5 割を占めている。ここでいう適当とは、自分に適した、自分の理想とする相手に巡り会うという意味でもあるので、転入者が多い福岡市で、見合いや職場結婚が減り、多様な選択肢の中から、自力で「理想の相手」を見つけることの困難さが窺える。

子どもが居ない人は 8 割、子どもの平均人数は 1.4 人、理想子ども数は 2.4 人で、平均と理想の数には 1 人差がある。未婚化・晩婚化の影響により第一子出生時の母の平均年齢は 30.3 歳と上昇傾向にあり、出産の問題は、社会全体で考え、その担い手となる世代を支えていかななくてはならない。まずは家族形成期の 20 歳代の若者の雇用状況、配偶者の選択機会の減少など結婚へのハードルとなっている社会・経済的要因の改善に対する政策が求められる。

第Ⅱ部

中学生・高校生等調査結果

第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

第1章 基礎資料

1. 対象者とその性別

今回の調査対象は中学生と18歳までの高校生世代である。中学生431人、高校生354人、仕事をしているなどその他13人から回答があった。

性別では、中学生は男性44.5%、女性55.2%、高校生とその他を合わせた高校生世代は男性41.7%、女性58.3%となっている。

2. 兄弟・姉妹の有無

兄弟・姉妹がいる割合は、中学生83.5%、高校生世代87.4%で、「いない（自分1人）」は中学生15.3%、高校生世代12.3%である。

表Ⅱ-1-1 基礎属性（性別、兄弟・姉妹の有無）（平成21年度調査比較）

(%)

	標本数	性別			兄弟姉妹					
		男性	女性	無回答	兄	姉	弟	妹	(いない 自分1人)	無回答
全体	800	346	452	2	228	195	232	227	111	7
	100.0	43.3	56.5	0.3	28.5	24.4	29.0	28.4	13.9	0.9
中学生	431	44.5	55.2	0.2	28.1	23.0	29.7	29.0	15.3	1.2
高校生世代	367	41.7	58.3	-	28.9	26.2	28.1	27.8	12.3	0.3
無回答	2	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0
平成21年度調査	1,566	48.8	51.2	-	29.8	27.4	29.6	28.0	11.0	-

3. 同居家族

中学生、高校生世代とも「母親」の同居率は96.5%と高い値になっているが、「父親」は約8割となっている。また「祖父・祖母」との同居率は約1割で3世代の家庭は多くない。

平成21年度調査と比較すると、「祖父・祖母」との同居率は約4ポイント減少している。

表Ⅱ-1-2 基礎属性（同居家族）（平成21年度調査比較）

(%)

	標本数	同居家族						
		父親	母親	兄弟・姉妹	祖父・祖母	おじ・おば	その他	無回答
全体	800	648	771	583	79	5	13	3
	100.0	81.0	96.4	72.9	9.9	0.6	1.6	0.4
中学生	431	80.3	96.5	74.2	8.8	0.7	2.3	0.2
高校生世代	367	82.0	96.5	71.4	11.2	0.5	0.8	0.3
無回答	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0
平成21年度調査	1,566	80.7	97.6	81.1	14.2	1.7	0.6	0.1

4. 通学している学校・学年

学年は、中学生は1年生49.9%、2年生49.2%、3年生0.9%、高校生世代は高校1年生50.4%、2年生45.8%、3年生0.3%、仕事をしているが1.4%、無職とその他がそれぞれ1.1%、専修学校、各種学校などは該当者がいない。本調査では中学生・高校生ともにほぼ1・2年生で構成されているが、平成21年度調査では2・3年生が中心であることから、比較する際にはその点に留意する必要がある。

表Ⅱ－1－3 基礎属性（学年）（平成21年度調査比較）

	標本数	中学生			標本数	高校生世代						
		中学1年生	中学2年生	中学3年生		高校1年生	高校2年生	高校3年生	専修学校、各種学校など	仕事をしている	無職	その他
		(%)	(%)	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	431	215	212	4	367	185	168	1	-	5	4	4
	100.0	49.9	49.2	0.9	100.0	50.4	45.8	0.3	-	1.4	1.1	1.1
平成21年度調査	797	1.2	50.1	48.7	769	1.8	49.3	44.4	1.2	2.2	1.0	0.1

5. 居住地区

「東区」が20.8%で最も高く、次いで「南区」が17.5%、「早良区」が17.3%、「西区」が11.9%、「博多区」が11.6%、「城南区」が10.8%、「中央区」が10.1%となっている。

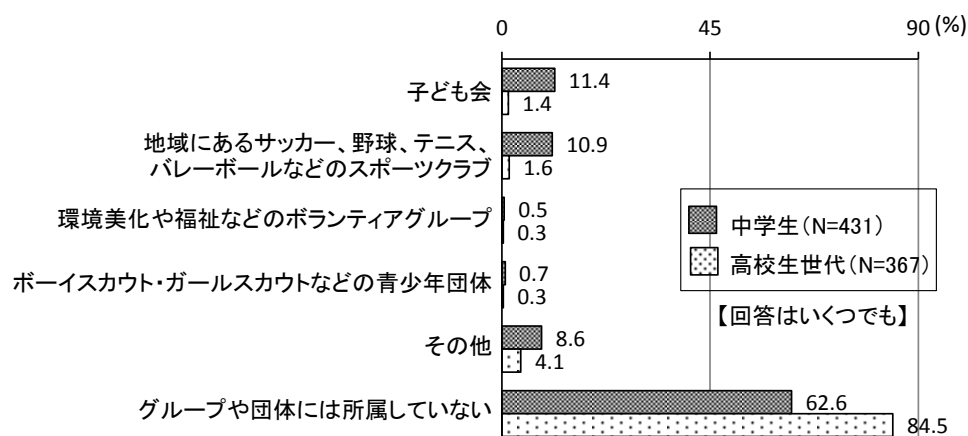
表Ⅱ－1－4 基礎属性（居住区）

	標本数	居住区							
		東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
全体	800	166	93	81	140	86	138	95	1
	100.0	20.8	11.6	10.1	17.5	10.8	17.3	11.9	0.1

6. 所属団体

地域の中で所属している団体やグループについて、中学生では「子ども会」(11.4%)と「地域にあるサッカー、野球、テニス、バレーボールなどのスポーツクラブ」(10.9%)が一定の割合を示しているが、「グループや団体には所属していない」が62.6%と最も高い。高校生世代では「グループや団体には所属していない」が84.5%でほとんどを占めており、高校生世代になると地域の団体に所属する人は極めて少なくなることが示されている。

図Ⅱ-1-1 基礎属性(所属団体)



表Ⅱ-1-5 基礎属性(所属団体)[全体、性別](平成21年度調査比較)

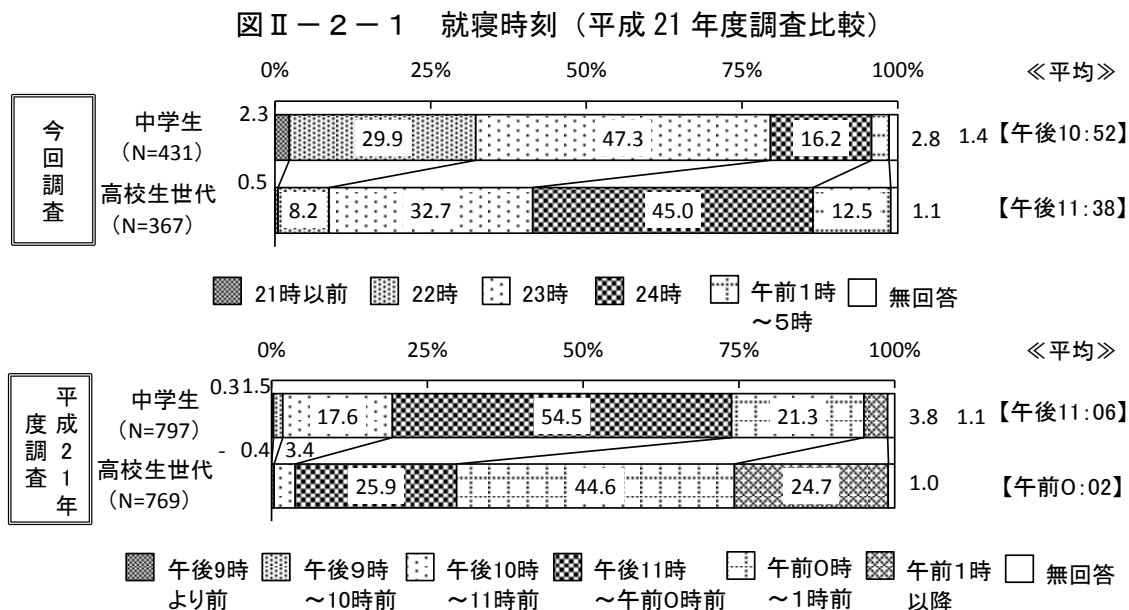
		標本数	所属団体等					グループや団体には所属していない
			子ども会	地域にあるサッカー、野球、テニス、バレーボールなどのスポーツクラブ	環境美化や福祉などのボランティアグループ	ボーイスカウトなどの青少年団体	その他	
全体		800	54	53	3	4	52	581
		100.0	6.8	6.6	0.4	0.5	6.5	72.6
中学生		431	11.4	10.9	0.5	0.7	8.6	62.6
高校生世代		367	1.4	1.6	0.3	0.3	4.1	84.5
性別	中学生:男性	192	8.9	15.1	0.5	1.6	8.3	58.3
	中学生:女性	238	13.4	7.6	0.4	-	8.8	66.0
	高校生世代:男性	153	0.7	3.3	-	0.7	8.5	79.1
	高校生世代:女性	214	1.9	0.5	0.5	-	0.9	88.3
	無回答	3	-	-	-	-	-	66.7
平成21年度調査	中学生	797	7.5	13.4	0.3	1.3	0.4	62.5
	高校生世代	769	0.4	4.6	0.7	0.7	0.9	77.9

第2章 現在の生活状況

1. 就寝時刻と起床時刻

(1) 就寝時刻

問7 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。枠内に数字を記入してください。(時間は24時間制で記入してください。)



就寝時刻は、中学生では「23時」(47.3%)が最も高く、次いで「22時」(29.9%)、「24時」(16.2%)で、平均の就寝時刻は午後10時52分である。

高校生世代では「24時」(45.0%)が最も高く、次いで「23時」(32.7%)、「午前1時~5時」(12.5%)で、高校生世代の平均の就寝時刻は午後11時38分となっている。

性別にみると、中学生は男女とも「23時」が最も高いが、その割合は女性の方が7.2ポイント高く、2番目に高い「22時」は男性の方が10.7ポイント高くなっている。高校生世代では男女の差は小さいが、「24時」は女性の方が6.5ポイント高く、「23時」や「午前1時~5時」は男性の方が若干高くなっている。

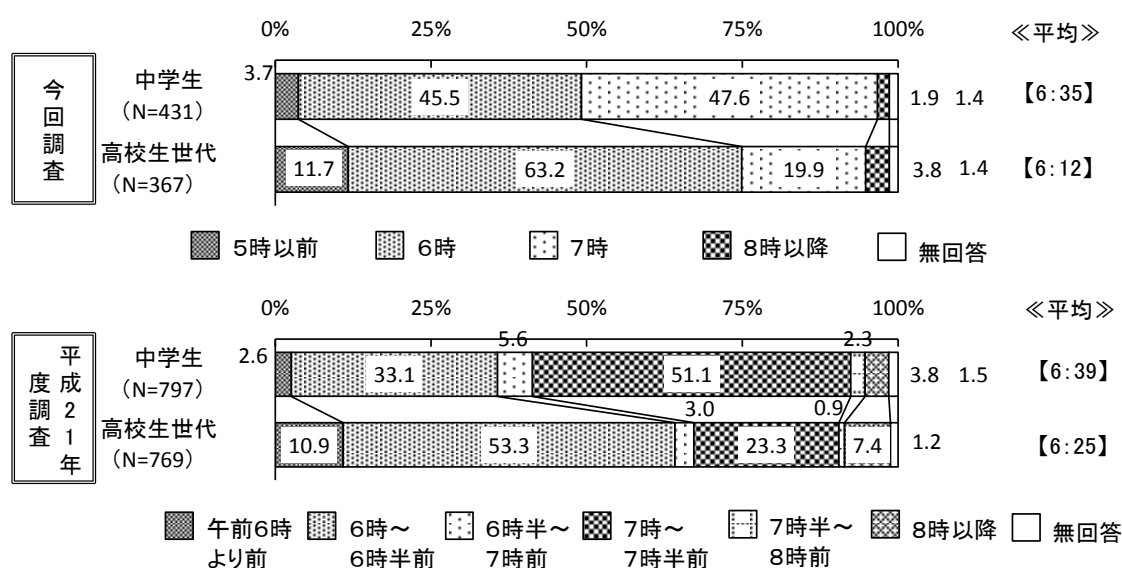
平均の就寝時刻は、男性が午後11時08分、女性が午後11時17分となっている。

表Ⅱ-2-1 就寝時刻 [全体、性別]

		標本数	21時以前	22時	23時	24時	5午前1時~5時	無回答	平均
全体		800	12	160	324	236	58	10	23:13
		100.0	1.5	20.0	40.5	29.5	7.3	1.3	
性別	中学生:男性	192	2.1	35.9	43.2	14.6	2.1	2.1	22:47
	中学生:女性	238	2.5	25.2	50.4	17.6	3.4	0.8	22:56
	高校生世代:男性	153	0.7	8.5	34.6	41.2	13.7	1.3	23:35
	高校生世代:女性	214	0.5	7.9	31.3	47.7	11.7	0.9	23:40
	無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	23:00

(2) 起床時刻

図Ⅱ-2-2 起床時刻（平成21年度調査比較）



起床時刻は、中学生では「7時」(47.6%)と「6時」(45.5%)の2つでほとんどを占めており、平均の起床時刻は6時35分である。中学生の平均の就寝時刻は午後10時52分であることから睡眠時間は7時間43分である。

高校生世代では「6時」(63.2%)が6割を占めており、次いで「7時」(19.9%)、「5時以前」(11.7%)となっており、平均の起床時刻は6時12分である。高校生世代の平均就寝時刻が午後11時38分であるので、睡眠時間は6時間34分であり、中学生より1時間程度短い。

性別にみると、中学生では「6時」が男性は約5割、女性は約4割となっており、「7時」はその逆になっていることから、女性の方が起床時間は遅い傾向にある。高校生世代では、男女ともほぼ同じ結果となっている。

平均の起床時刻は、男性が6時25分、女性が6時24分となっている。

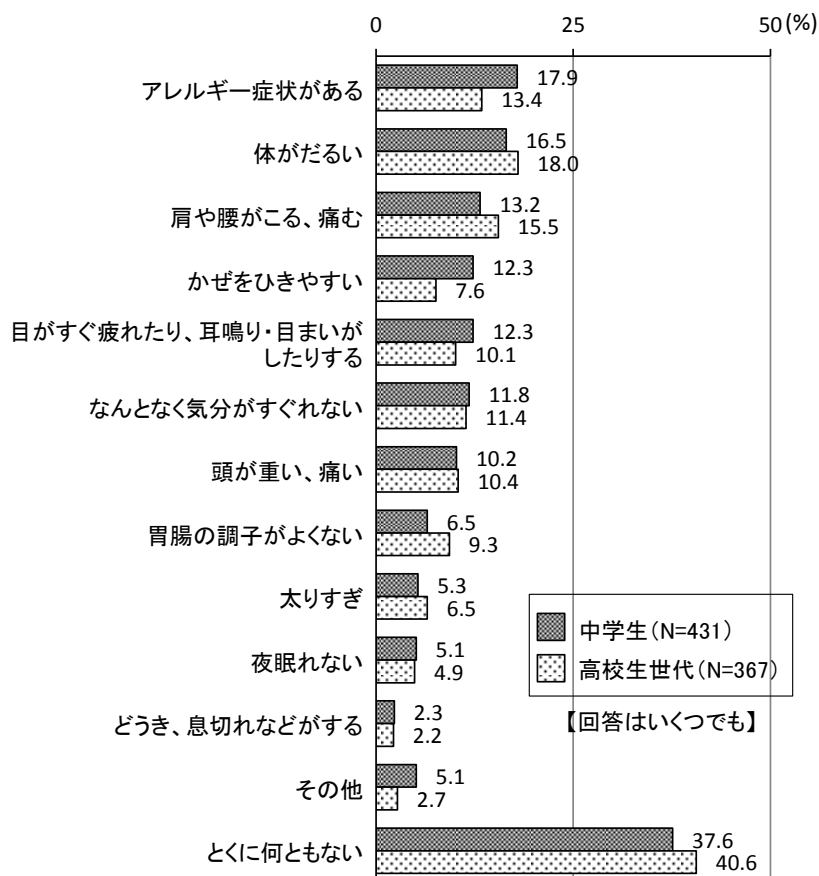
表Ⅱ-2-2 起床時刻 [全体、性別]

		標本数	5時以前	6時	7時	8時以降	無回答	平均
全体		800	60	429	278	22	11	6:25
性別	中学生:男性	192	1.6	50.5	43.8	2.1	2.1	6:37
	中学生:女性	238	5.5	41.6	50.4	1.7	0.8	6:34
	高校生世代:男性	153	11.1	64.1	20.3	3.3	1.3	6:11
	高校生世代:女性	214	12.1	62.6	19.6	4.2	1.4	6:13
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	6:10

2. 最近の体調

問8 あなたの最近の体の調子で、あてはまるものがあれば、いくつでも選んでください。

図Ⅱ－２－３ 最近の体調



最近の体の調子としてあてはまるものをたずねたところ、中学生では「アレルギー症状がある」(17.9%)が最も高く、次いで「体がだるい」(16.5%)、「肩や腰がこる、痛む」(13.2%)となっている。高校生世代では、「体がだるい」(18.0%)が最も高く、次いで「肩や腰がこる、痛む」(15.5%)、「アレルギー症状がある」(13.4%)となっている。「とくに何ともない」は中学生・高校生世代ともに約4割となっている。

性別にみると、中学生・高校生世代ともに、「アレルギー症状がある」は男性の方が若干高いが、その他は全般に女性の方が高くなっており、特に「目がすぐ疲れたり、耳鳴り・目まいがしたりする」や「頭が重い、痛い」、「肩や腰がこる、痛む」でその差が大きくなっている。

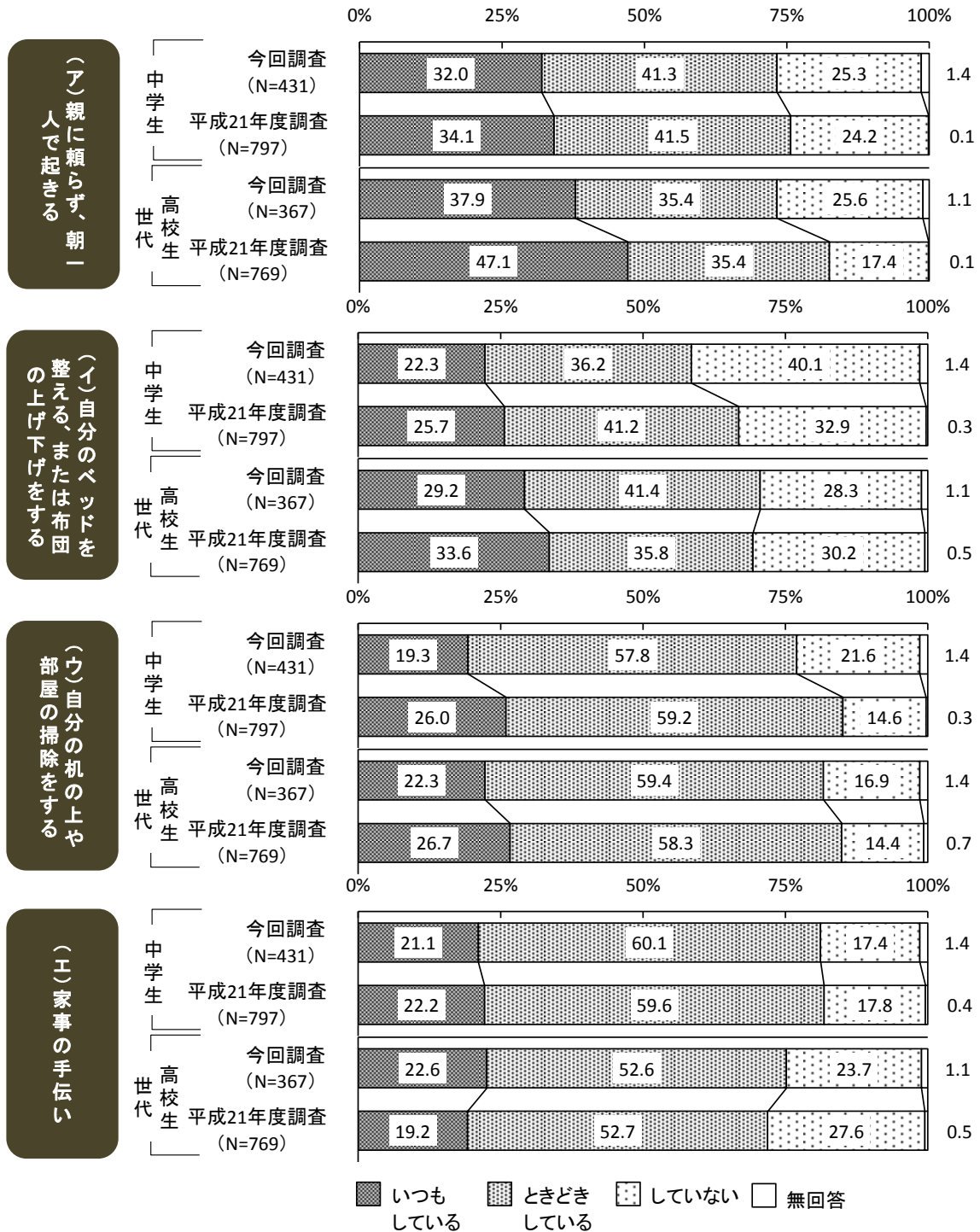
表Ⅱ-2-3 最近の体調 [全体、性別]

		(%)													
		標本数	かぜをひきやすい	胃腸の調子がよくない	ら ど う き 、 息 切 れ な ど が す る	目 が す ぐ ら 疲 れ た り 、 耳 鳴 り ・ 目 ま い が し た り す る	頭 が 重 い 、 痛 い	肩 や 腰 が こ る 、 痛 む	太 り す ぎ	夜 眠 れ な い	体 が だ る い	ア レ ル ギ ー 症 状 が あ る	な ん と な く 気 分 が す ぐ れ な い	そ の 他	と く に 何 と も な い
全 体		800	81	63	19	90	82	114	47	40	137	128	93	32	311
		100.0	10.1	7.9	2.4	11.3	10.3	14.3	5.9	5.0	17.1	16.0	11.6	4.0	38.9
	中学生	431	12.3	6.5	2.3	12.3	10.2	13.2	5.3	5.1	16.5	17.9	11.8	5.1	37.6
	高校生世代	367	7.6	9.3	2.2	10.1	10.4	15.5	6.5	4.9	18.0	13.4	11.4	2.7	40.6
性別	中学生:男性	192	11.5	6.8	0.5	6.3	6.8	8.9	3.6	4.2	15.6	19.8	7.8	3.1	41.7
	中学生:女性	238	13.0	6.3	3.8	17.2	13.0	16.8	6.7	5.9	17.2	16.4	15.1	6.7	34.0
	高校生世代:男性	153	5.9	6.5	2.0	6.5	7.8	9.2	3.9	7.2	13.7	14.4	10.5	3.9	45.1
	高校生世代:女性	214	8.9	11.2	2.3	12.6	12.1	20.1	8.4	3.3	21.0	12.6	12.1	1.9	37.4
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3

3. 自分でしていること

問9 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。(ア)から(エ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

図Ⅱ-2-4 自分でしていること（平成21年度調査比較）



日常生活で自分がしていることについて、「いつもしている」をみると、中学生は「(ア) 親に頼らず、朝一人で起きる」が32.0%で、その他の項目については2割前後となっている。高校生世代は「(ア) 親に頼らず、朝一人で起きる」が37.9%、「(イ) 自分のベッドを整える、または布団の上げ下げをする」が29.2%で中学生よりも高く、その他の項目は中学生と大差ない。

平成21年度調査と比較すると、中学生・高校生世代ともに、ほぼ全ての項目で割合が減少している。特に、高校生世代の「(ア) 親に頼らず、朝一人で起きる」は9.2ポイントも減少している。

性別にみると、中学生では「(イ) 自分のベッドを整える、または布団の上げ下げをする」は男女ほぼ同じ割合になっているが、その他の項目では3～4ポイント程度、女性の方が高くなっている。高校生世代では「(エ) 家事の手伝い」のみ男性の方が若干高く、その他の項目では女性の方が高くなっている。特に、「(ア) 親に頼らず、朝一人で起きる」は12.3ポイントの開きがある。

表Ⅱ-2-4 自分でしていること〔全体、性別〕

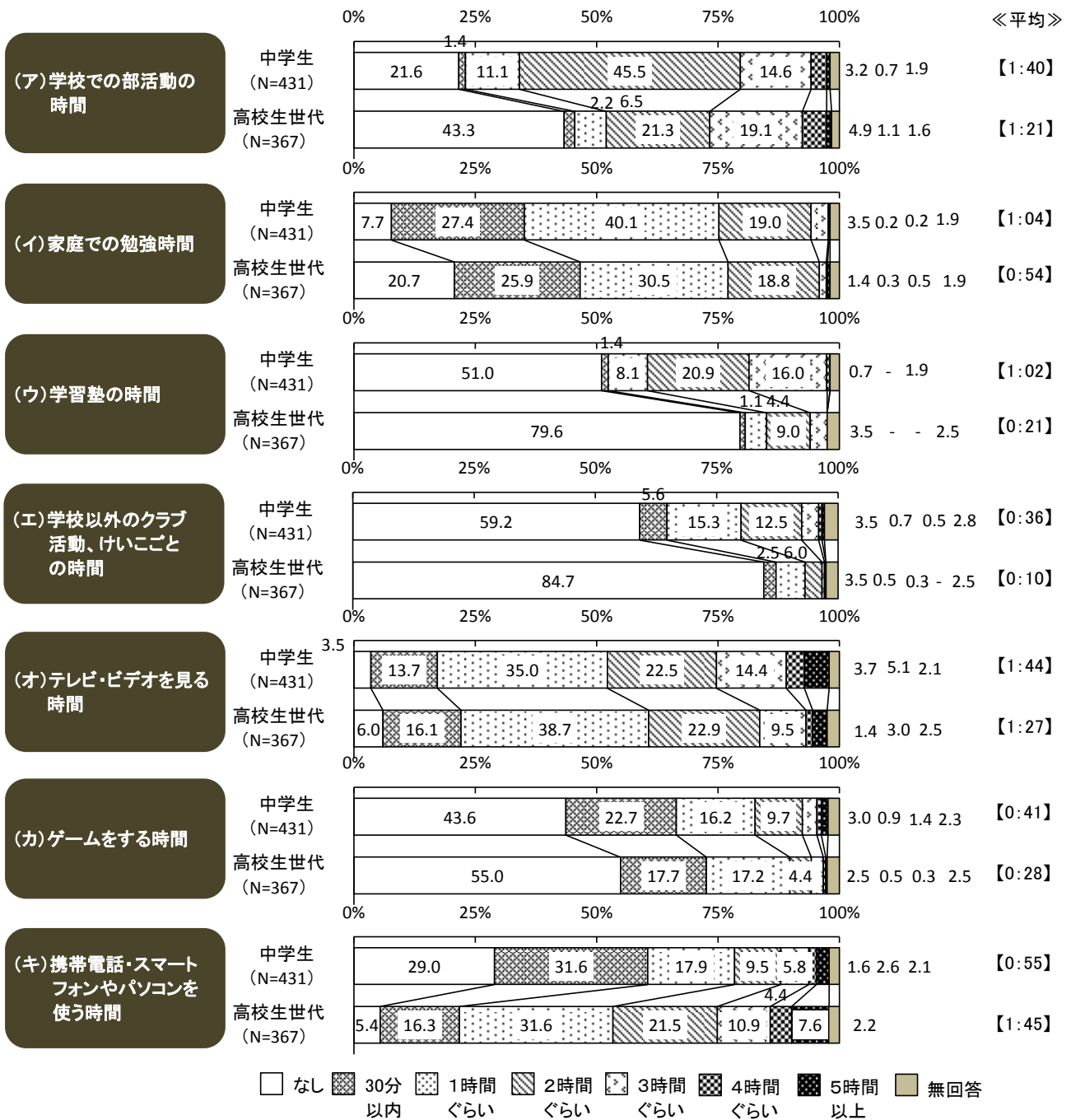
(%)

	標本数	(ア)親に頼らず、朝一人で起きる				(イ)自分のベッドを整える、または布団の上げ下げをする				(ウ)自分の机の上や部屋の掃除をする				(エ)家事の手伝い				
		いつもしている	ときどきしている	していない	無回答	いつもしている	ときどきしている	していない	無回答	いつもしている	ときどきしている	していない	無回答	いつもしている	ときどきしている	していない	無回答	
全体	800 100.0	278 34.8	308 38.5	204 25.5	10 1.3	203 25.4	309 38.6	278 34.8	10 1.3	166 20.8	467 58.4	156 19.5	11 1.4	175 21.9	452 56.5	163 20.4	10 1.3	
性別	中学生:男性	192	29.7	44.3	24.0	2.1	22.4	35.4	40.1	2.1	17.2	56.3	24.5	2.1	19.3	60.4	18.2	2.1
	中学生:女性	238	34.0	38.7	26.5	0.8	22.3	37.0	39.9	0.8	21.0	58.8	19.3	0.8	22.7	59.7	16.8	0.8
	高校生世代:男性	153	30.7	40.5	27.5	1.3	24.2	45.1	29.4	1.3	19.0	59.5	20.3	1.3	24.2	47.1	27.5	1.3
	高校生世代:女性	214	43.0	31.8	24.3	0.9	32.7	38.8	27.6	0.9	24.8	59.3	14.5	1.4	21.5	56.5	21.0	0.9
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-

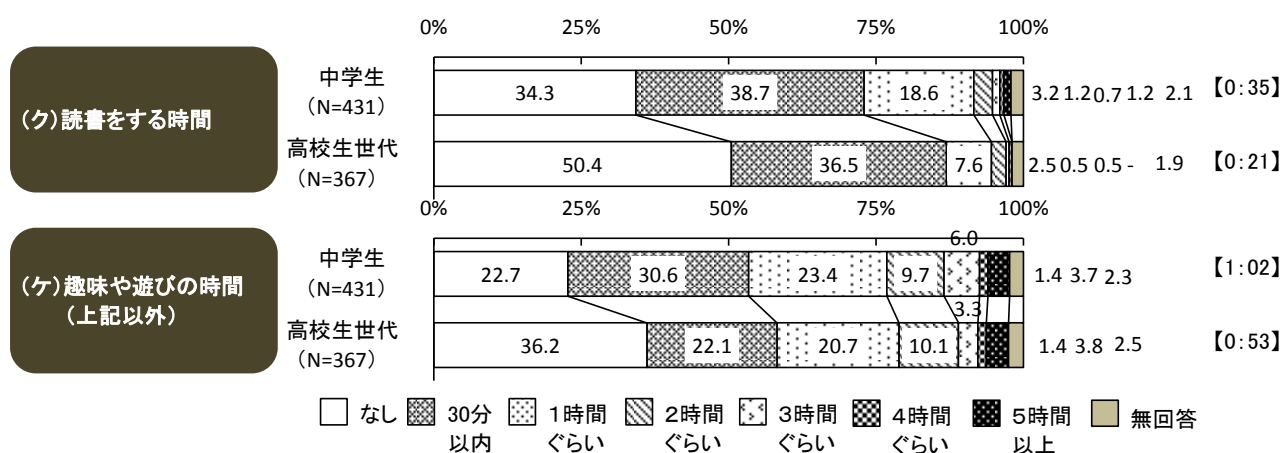
4. 生活時間

問10 あなたの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。(ア)から(ケ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

図Ⅱ-2-5(1) 生活時間



図Ⅱ-2-5 (2) 生活時間



「(ア) 学校での部活動の時間」は、中高生世代ともに「2時間ぐらい」が最も高くなっている。「なし」は中学生が21.6%、高校生が43.3%となっている。平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともに「3時間ぐらい」が減少し「2時間ぐらい」が増加しており、部活動の時間は短くなっている。中高生世代ともに「なし」の割合は女性の方が高く、高校生世代では7.1ポイントの差がある。

「(イ) 家庭での勉強時間」は、中高生世代ともに「1時間ぐらい」が最も高くなっている。平成21年度調査では、高校生世代で最も高いのは「なし」が30.0%であったことから、勉強時間は増加している。

「(ウ) 学習塾の時間」は、「なし」の割合が中学生は51.0%、高校生世代は79.6%となっており、中学生の方が塾に通っている割合は高い。時間は「2時間ぐらい」が最も高い。平成21年度調査では、高校生世代の「なし」は84.9%となっており、塾に通う高校生の割合は増加しているとみられる。

「(エ) 学校以外のクラブ活動、けいごとの時間」は、「なし」の割合が中学生59.2%、高校生世代84.7%となっており、中学生では約4割が学校以外の活動に参加している。平成21年度調査と比べると、中学生では「なし」の割合が減少している。性別にみると、中高生世代ともに女性の方が学校以外の活動に参加している割合は高く、特に中学生ではその傾向が顕著である。

「(オ) テレビ・ビデオを見る時間」は中高生世代ともに「1時間ぐらい」が最も高く、次いで「2時間ぐらい」となっている。

「(カ) ゲームをする時間」は、「なし」が中学生で43.6%、高校生世代で55.0%となっている。ゲームをする人の中では「30分以内」の割合が最も高い。性別にみると、ゲームをする人の割合は中高生世代ともに男性の方が顕著に高い。

「(キ) 携帯電話・スマートフォンやパソコンを使う時間」は、「なし」の割合が中学生では29.0%であるのに対して高校生世代では5.4%となっており、その差が大きい。携帯電話等を使っている人の利用時間も、中学生では「30分以内」(31.6%)の割合が高いのに対して、高校生世代では「1時間ぐらい」(31.6%)や「2時間ぐらい」(21.5%)という長めの時間の割合が高くなっている。性別にみると、ゲームとは対照的に、女性の方がこれらを使用している割合は高くなっている。

第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

「(ク) 読書をする時間」は、「なし」が中学生で 34.3%、高校生世代で 50.4%であり、平成 21 年度調査と大きくは変わっていない。性別にみると、「なし」の割合は、中高生世代ともに男性の方が高く、特に中学生でその差が大きい。

「(ケ) 趣味や遊びの時間（上記以外）」は、「なし」の割合が中高生世代ともに平成 21 年度調査よりも増加しており、特に高校生世代では、その差は約 10 ポイントと大きい。

表Ⅱ－２－５（１） 生活時間〔全体、性別〕（平成 21 年度調査比較）

		標本数	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	(%)	
(ア) 学校での部活動の時間	全体	800 100.0	252 31.5	14 1.8	72 9.0	275 34.4	134 16.8	32 4.0	7 0.9	14 1.8		
	中学生	431	21.6	1.4	11.1	45.5	14.6	3.2	0.7	1.9		
	高校生世代	367	43.3	2.2	6.5	21.3	19.1	4.9	1.1	1.6		
	性別	中学生:男性	192	19.8	1.0	9.9	47.4	14.6	4.2	1.0	2.1	
		中学生:女性	238	23.1	1.7	12.2	43.7	14.7	2.5	0.4	1.7	
		高校生世代:男性	153	39.2	1.3	3.9	24.2	23.5	5.2	0.7	2.0	
		高校生世代:女性	214	46.3	2.8	8.4	19.2	15.9	4.7	1.4	1.4	
		無回答	3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	23.8	1.5	5.6	27.7	31.4	7.0	1.4	1.5	
		高校生世代	769	50.5	0.9	4.7	14.0	20.7	4.7	2.3	2.2	
(イ) 家庭での勉強時間	全体	800 100.0	109 13.6	214 26.8	285 35.6	152 19.0	20 2.5	2 0.3	3 0.4	15 1.9		
	中学生	431	7.7	27.4	40.1	19.0	3.5	0.2	0.2	1.9		
	高校生世代	367	20.7	25.9	30.5	18.8	1.4	0.3	0.5	1.9		
	性別	中学生:男性	192	9.9	28.1	40.6	15.1	2.6	-	0.5	3.1	
		中学生:女性	238	5.9	26.9	39.5	22.3	4.2	0.4	-	0.8	
		高校生世代:男性	153	20.9	27.5	34.0	13.1	1.3	-	0.7	2.6	
		高校生世代:女性	214	20.6	24.8	28.0	22.9	1.4	0.5	0.5	1.4	
		無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	12.9	32.2	35.1	15.2	3.0	0.8	-	0.8	
		高校生世代	769	30.0	20.3	23.3	15.5	6.2	2.3	1.0	1.3	
(ウ) 学習塾の時間	全体	800 100.0	512 64.0	10 1.3	51 6.4	125 15.6	82 10.3	3 0.4	-	17 2.1		
	中学生	431	51.0	1.4	8.1	20.9	16.0	0.7	-	1.9		
	高校生世代	367	79.6	1.1	4.4	9.0	3.5	-	-	2.5		
	性別	中学生:男性	192	52.1	1.6	7.3	20.8	15.6	0.5	-	2.1	
		中学生:女性	238	50.4	1.3	8.8	21.0	16.0	0.8	-	1.7	
		高校生世代:男性	153	81.0	0.7	4.6	6.5	3.9	-	-	3.3	
		高校生世代:女性	214	78.5	1.4	4.2	10.7	3.3	-	-	1.9	
		無回答	3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	46.9	2.0	6.8	24.7	15.9	2.6	0.4	0.6	
		高校生世代	769	84.9	1.0	3.1	6.9	1.8	0.3	0.1	1.8	
(エ) 学校以外のクラブ活動、けいごの時間	全体	800 100.0	568 71.0	33 4.1	88 11.0	67 8.4	17 2.1	4 0.5	2 0.3	21 2.6		
	中学生	431	59.2	5.6	15.3	12.5	3.5	0.7	0.5	2.8		
	高校生世代	367	84.7	2.5	6.0	3.5	0.5	0.3	-	2.5		
	性別	中学生:男性	192	70.8	2.1	10.4	9.9	2.6	0.5	-	3.6	
		中学生:女性	238	49.6	8.4	19.3	14.7	4.2	0.8	0.8	2.1	
		高校生世代:男性	153	90.2	0.7	2.0	3.3	0.7	-	-	3.3	
		高校生世代:女性	214	80.8	3.7	8.9	3.7	0.5	0.5	-	1.9	
		無回答	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	63.9	3.5	11.9	11.0	5.4	1.5	0.9	1.9	
		高校生世代	769	84.3	1.8	5.7	3.6	1.6	0.4	0.5	2.1	

表Ⅱ-2-5 (2) 生活時間〔全体、性別〕(平成21年度調査比較)

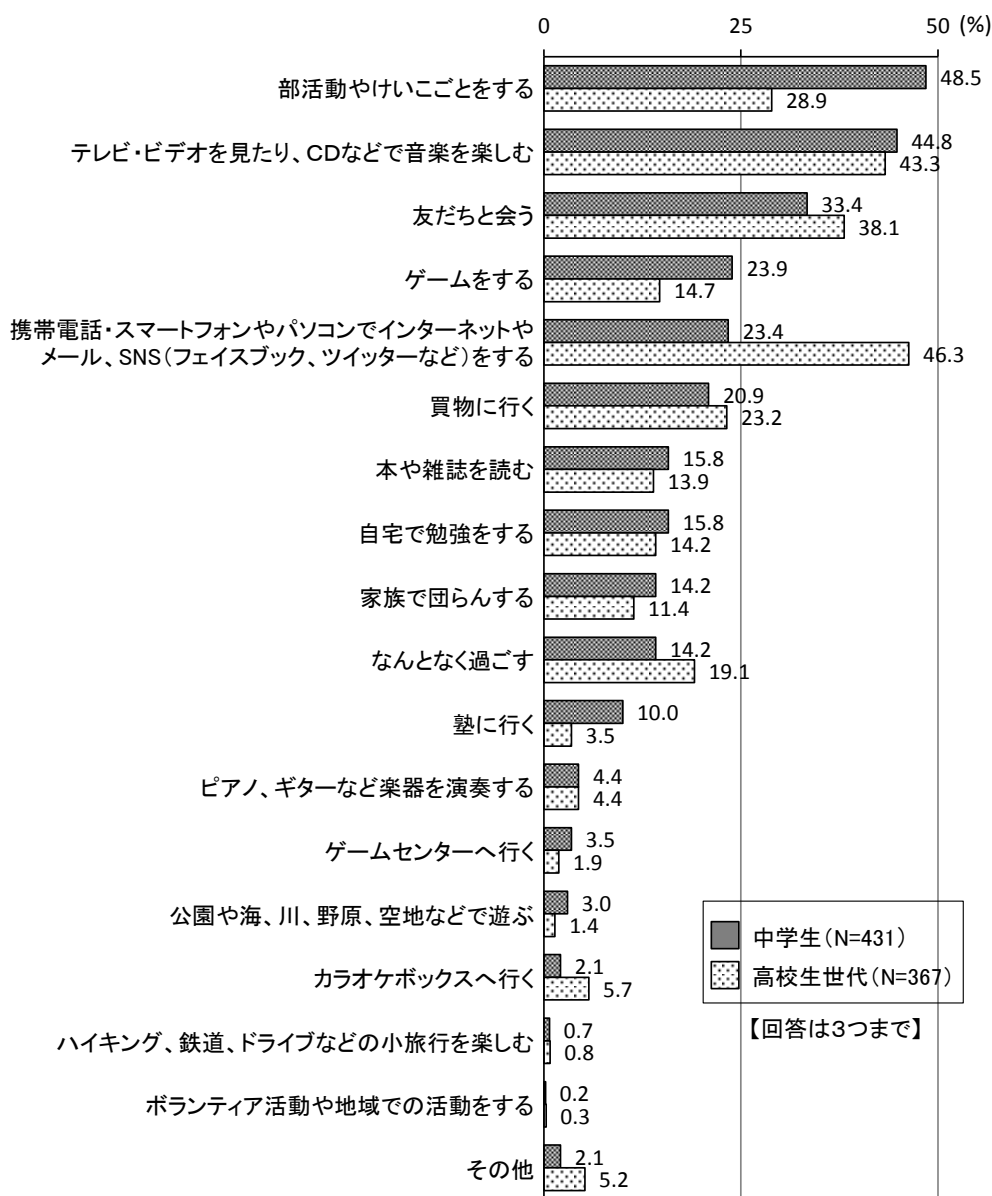
		標本数	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	(%)	
D(オ)テレビ・ビデオ・DVDを見る時間	全体	800 100.0	37 4.6	118 14.8	293 36.6	183 22.9	97 12.1	21 2.6	33 4.1	18 2.3		
	中学生	431	3.5	13.7	35.0	22.5	14.4	3.7	5.1	2.1		
	高校生世代	367	6.0	16.1	38.7	22.9	9.5	1.4	3.0	2.5		
	中学生:男性	192	2.6	10.9	41.7	24.5	11.5	3.6	3.1	2.1		
	中学生:女性	238	4.2	15.5	29.8	21.0	16.8	3.8	6.7	2.1		
	高校生世代:男性	153	6.5	18.3	38.6	22.2	8.5	0.7	2.0	3.3		
	高校生世代:女性	214	5.6	14.5	38.8	23.4	10.3	1.9	3.7	1.9		
	無回答	3	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	2.5	9.0	29.5	31.1	13.9	8.0	5.1	0.8	
		高校生世代	769	6.1	13.0	32.0	24.8	13.5	4.8	3.9	1.8	
ン(カ)ゲーム・パソコンをする時間	全体	800 100.0	390 48.8	163 20.4	134 16.8	59 7.4	22 2.8	6 0.8	7 0.9	19 2.4		
	中学生	431	43.6	22.7	16.2	9.7	3.0	0.9	1.4	2.3		
	高校生世代	367	55.0	17.7	17.2	4.4	2.5	0.5	0.3	2.5		
	中学生:男性	192	24.0	26.0	24.5	13.5	5.7	1.0	2.1	3.1		
	中学生:女性	238	59.7	19.7	9.7	6.7	0.8	0.8	0.8	1.7		
	高校生世代:男性	153	32.7	22.9	28.1	7.2	4.6	0.7	-	3.9		
	高校生世代:女性	214	71.0	14.0	9.3	2.3	0.9	0.5	0.5	1.4		
	無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	28.7	28.5	24.8	10.4	3.8	1.6	1.3	0.9	
		高校生世代	769	39.1	23.4	17.6	9.4	4.7	1.6	2.9	1.4	
ト(キ)携帯電話やパソコンを使う時間	全体	800 100.0	145 18.1	197 24.6	194 24.3	120 15.0	65 8.1	23 2.9	39 4.9	17 2.1		
	中学生	431	29.0	31.6	17.9	9.5	5.8	1.6	2.6	2.1		
	高校生世代	367	5.4	16.3	31.6	21.5	10.9	4.4	7.6	2.2		
	中学生:男性	192	33.3	30.7	15.6	7.8	6.3	0.5	2.6	3.1		
	中学生:女性	238	25.6	32.4	19.3	10.9	5.5	2.5	2.5	1.3		
	高校生世代:男性	153	7.2	19.0	37.9	18.3	7.2	1.3	5.9	3.3		
	高校生世代:女性	214	4.2	14.5	27.1	23.8	13.6	6.5	8.9	1.4		
	無回答	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	48.6	26.2	12.9	5.6	2.4	1.4	2.0	0.9	
		高校生世代	769	12.1	28.7	23.3	15.1	8.1	3.3	7.9	1.6	
(ク)読書をする時間	全体	800 100.0	334 41.8	302 37.8	108 13.5	23 2.9	7 0.9	5 0.6	5 0.6	16 2.0		
	中学生	431	34.3	38.7	18.6	3.2	1.2	0.7	1.2	2.1		
	高校生世代	367	50.4	36.5	7.6	2.5	0.5	0.5	-	1.9		
	中学生:男性	192	40.6	37.5	15.6	1.6	0.5	-	1.6	2.6		
	中学生:女性	238	29.4	39.9	21.0	4.2	1.7	1.3	0.8	1.7		
	高校生世代:男性	153	51.6	35.3	7.2	2.0	-	0.7	-	3.3		
	高校生世代:女性	214	49.5	37.4	7.9	2.8	0.9	0.5	-	0.9		
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	37.4	38.8	16.2	3.5	2.1	0.5	0.6	0.9	
		高校生世代	769	50.8	30.9	11.8	3.1	0.9	0.8	0.4	1.2	
(ケ)趣味や遊びの時間(上記以外)	全体	800 100.0	231 28.9	214 26.8	177 22.1	80 10.0	38 4.8	11 1.4	30 3.8	19 2.4		
	中学生	431	22.7	30.6	23.4	9.7	6.0	1.4	3.7	2.3		
	高校生世代	367	36.2	22.1	20.7	10.1	3.3	1.4	3.8	2.5		
	中学生:男性	192	25.5	29.2	22.9	9.4	5.7	0.5	3.6	3.1		
	中学生:女性	238	20.6	31.9	23.9	10.1	5.9	2.1	3.8	1.7		
	高校生世代:男性	153	39.9	17.6	22.2	9.8	2.6	1.3	3.3	3.3		
	高校生世代:女性	214	33.6	25.2	19.6	10.3	3.7	1.4	4.2	1.9		
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	
	平成21年度調査	中学生	797	18.6	28.2	23.6	13.6	6.0	2.3	6.8	1.0	
		高校生世代	769	25.6	21.8	23.1	11.1	6.8	3.1	6.5	2.0	

()内は平成21年度調査項目

5. 休日の過ごし方

問 11 あなたは、学校が休みの日は主にどのように過ごすことが多いですか。(〇は3つまで)

図Ⅱ－２－６ 休日の過ごし方



休日の過ごし方としては、中学生では「部活動やけいごごとをする」が48.5%で最も高く、次いで「テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」が44.8%、「友だちと会う」が33.4%となっている。高校生世代では、「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS(フェイスブック、ツイッターなど)をする」が46.3%で最も高く、次いで「テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」が43.3%、「友だちと会う」が38.1%となっている。

平成 21 年度調査と比較すると、中高生世代ともに「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」が、スマートフォンもこの項目に含まれるようになったこともあり大幅に増加している。逆に減少しているのは「友だちと会う」である。

性別にみると、男女で差のある項目が多く、男性の方が高いのは「ゲームをする」や「部活動やけいこごとをする」、女性の方が高いのは「テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」や「買い物に行く」、「携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」などとなっている。

表Ⅱ-2-6 休日の過ごし方〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

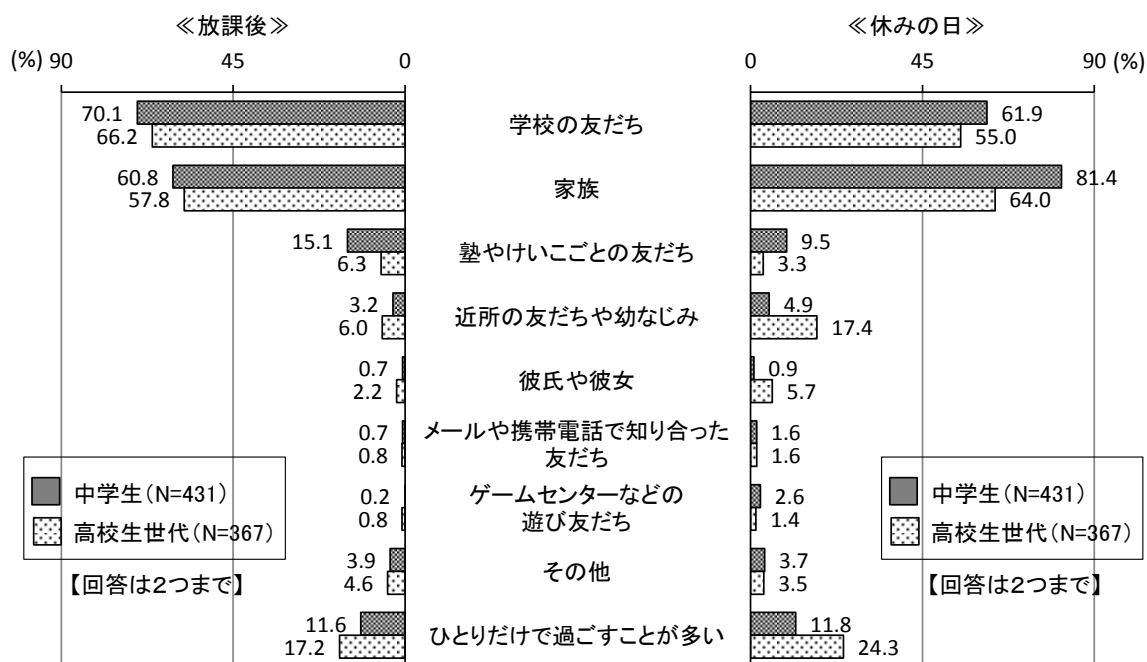
		標本数	テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ	ゲームをする	本や雑誌を読む	買い物に行く	ピアノ、ギターなど楽器を演奏する	インターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする	携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする	家族で団らんする	自宅で勉強をする	塾に行く	カラオケボックスへ行く	ゲームセンターへ行く	ボランティア活動や地域での活動をする	友だちと会う	部活動やけいこごとをする	公園や海、川、野原、空地などで遊ぶ	ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ	なんとなく過ごす	その他
全体		800 100.0	353 44.1	157 19.6	119 14.9	175 21.9	35 4.4	271 33.9	103 12.9	120 15.0	57 7.1	30 3.8	22 2.8	2 0.3	284 35.5	316 39.5	18 2.3	6 0.8	131 16.4	29 3.6	
中学生		431	44.8	23.9	15.8	20.9	4.4	23.4	14.2	15.8	10.0	2.1	3.5	0.2	33.4	48.5	3.0	0.7	14.2	2.1	
高校生世代		367	43.3	14.7	13.9	23.2	4.4	46.3	11.4	14.2	3.5	5.7	1.9	0.3	38.1	28.9	1.4	0.8	19.1	5.2	
性別	中学生:男性	192	35.9	38.0	12.5	9.4	0.5	19.8	13.0	13.5	10.9	2.1	3.6	-	38.0	55.2	5.2	1.6	14.1	2.1	
	中学生:女性	238	51.7	12.6	18.5	30.3	7.6	26.1	15.1	17.6	9.2	2.1	3.4	0.4	29.4	43.3	1.3	-	14.3	2.1	
	高校生世代:男性	153	40.5	28.8	15.7	12.4	2.6	37.9	9.8	15.7	3.9	3.9	2.6	-	32.0	37.9	3.3	1.3	19.0	5.2	
	高校生世代:女性	214	45.3	4.7	12.6	30.8	5.6	52.3	12.6	13.1	3.3	7.0	1.4	0.5	42.5	22.4	-	0.5	19.2	5.1	
無回答		3	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	
平成21年度調査	中学生	797	37.0	23.3	15.7	23.8	4.5	17.2	10.2	11.7	10.3	3.1	3.6	0.3	48.1	54.3	2.6	1.0	15.7	1.6	
	高校生世代	769	41.5	17.4	15.0	25.4	6.0	30.9	7.0	13.5	2.9	9.9	2.2	0.7	41.4	27.0	2.1	0.9	22.0	5.6	

()内は平成21年度調査項目

6. 放課後や休日にいっしょに過ごす相手

問12 あなたは日ごろ、放課後や学校が休みの日には、誰といっしょに過ごすことが一番多いですか。それぞれ主なものを2つまで選んで、下の欄の□の中に番号を記入してください。

図Ⅱ-2-7 放課後や休日にいっしょに過ごす相手



放課後いっしょに過ごす相手としては、中高生世代ともに同じような結果となっており、「学校の友だち」が約7割で最も高く、次いで「家族」が約6割となっている。「ひとりだけで過ごすことが多い」は、中学生が11.6%、高校生世代が17.2%となっている。

休みの日いっしょに過ごす相手としては、中高生世代ともに「家族」が最も高く、次いで「学校の友だち」となっているが、いずれも中学生の方が割合は高い。高校生世代では、「近所の友だちや幼なじみ」と「ひとりだけで過ごすことが多い」も比較的高くなっている。

平成21年度調査と比較すると、放課後では、高校生世代で「学校の友だち」が10ポイント減少している。休みの日では、中高生世代ともに「家族」が大幅に増加している。

性別にみると、中高生世代ともに、放課後と休みの日、いずれも「家族」は女性の方が高い。高校生世代では、放課後と休みの日、いずれも男性の方が「ひとりだけで過ごすことが多い」が高くなっている。

表Ⅱ-2-7 放課後や休日にいっしょに過ごす相手〔全体、性別〕
(平成21年度調査比較)

			家族	学校の友だち	塾やけいこごとの友だち	近所の友だちや幼なじみ	ゲームセンターなどの遊び友だち	～異性の友だち～	彼女や彼女 メールや携帯電話で知り合った友だち	その他	ひとりだけで過ごすことが多い	
		標本数									(%)	
放課後	全体	800 100.0	476 59.5	547 68.4	88 11.0	36 4.5	4 0.5	11 1.4	6 0.8	34 4.3	113 14.1	
	中学生	431	60.8	70.1	15.1	3.2	0.2	0.7	0.7	3.9	11.6	
	高校生世代	367	57.8	66.2	6.3	6.0	0.8	2.2	0.8	4.6	17.2	
	性別	中学生:男性	192	58.3	71.9	15.1	4.7	-	1.0	0.5	5.2	10.4
		中学生:女性	238	63.0	68.5	14.7	2.1	0.4	0.4	0.8	2.9	12.6
		高校生世代:男性	153	51.0	64.1	5.9	7.2	1.3	2.6	0.7	5.2	22.2
		高校生世代:女性	214	62.6	67.8	6.5	5.1	0.5	1.9	0.9	4.2	13.6
	平成21年度調査	無回答	3	66.7	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-
		中学生	797	55.8	71.0	20.2	5.1	0.6	3.8	1.0	0.9	12.5
		高校生世代	769	45.4	76.2	4.6	10.4	1.0	5.2	0.5	0.7	18.5
休日	全体	800 100.0	587 73.4	471 58.9	53 6.6	85 10.6	16 2.0	25 3.1	13 1.6	30 3.8	140 17.5	
	中学生	431	81.4	61.9	9.5	4.9	2.6	0.9	1.6	3.7	11.8	
	高校生世代	367	64.0	55.0	3.3	17.4	1.4	5.7	1.6	3.5	24.3	
	性別	中学生:男性	192	77.6	62.0	8.9	6.8	2.6	1.6	1.6	4.7	11.5
		中学生:女性	238	84.5	61.8	10.1	3.4	2.5	0.4	1.7	2.9	12.2
		高校生世代:男性	153	55.6	51.0	3.9	20.3	3.3	4.6	1.3	3.9	26.1
		高校生世代:女性	214	70.1	57.9	2.8	15.4	-	6.5	1.9	3.3	22.9
	平成21年度調査	無回答	3	66.7	100.0	-	-	-	-	-	33.3	-
		中学生	797	73.0	69.4	10.4	8.4	1.4	2.4	1.0	1.0	14.2
		高校生世代	769	53.6	54.7	3.1	22.4	1.4	10.8	1.8	1.6	25.7

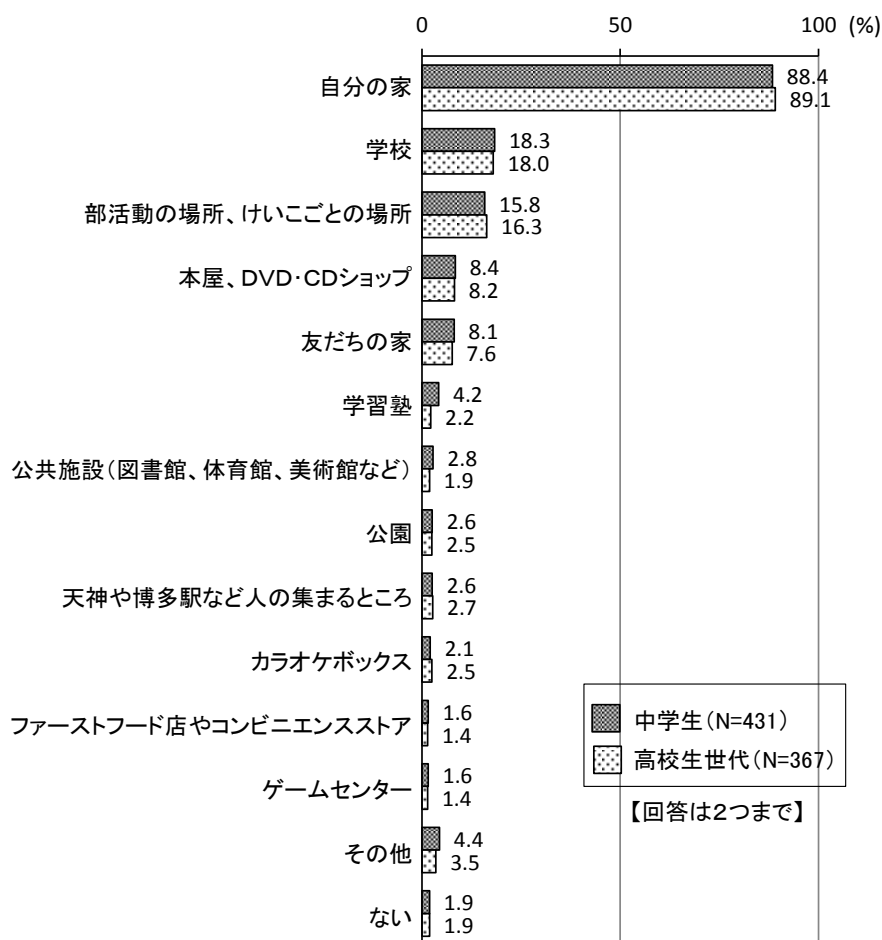
()内は平成21年度調査項目

7. 居心地のいい場所

(1) 居心地のいい場所

問13 あなたが居心地のいい場所はどこですか。(〇は2つまで)

図Ⅱ-2-8 居心地のいい場所



居心地のいい場所としては、中高生世代ともに、「自分の家」が9割近くに達しており最も高くなっている。その他では、「学校」と「部活動の場所、けいこごとの場所」が1割を超えている。

平成21年度調査からの変化は中高生世代ともにそれほどみられないが、前回調査では1割を超えていた「友だちの家」が本調査では減少し、1割を下回っている。

性別にみると、中高生世代ともに「部活動の場所、けいこごとの場所」は男性の方が、「学校」は女性の方が高い。

表Ⅱ-2-8 居心地のいい場所〔全体、性別〕(平成21年度調査比較)

		(%)														
		標本数	自分の家	友だちの家	学校	学習塾	部活動の場所、けいこごとの場所	公園	ファーストフード店やコンビニエンスストア	ゲームセンター	カラオケボックス	本屋、DVD・CD・シヨップ	天神や博多駅など人の集まるところ	公共施設(図書館、美術館、体育館、)	その他	ない
全体		800	710	63	145	26	128	20	12	12	18	66	21	19	33	15
		100.0	88.8	7.9	18.1	3.3	16.0	2.5	1.5	1.5	2.3	8.3	2.6	2.4	4.1	1.9
中学生	中学生	431	88.4	8.1	18.3	4.2	15.8	2.6	1.6	1.6	2.1	8.4	2.6	2.8	4.4	1.9
	高校生世代	367	89.1	7.6	18.0	2.2	16.3	2.5	1.4	1.4	2.5	8.2	2.7	1.9	3.5	1.9
性別	中学生:男性	192	87.0	8.9	15.6	3.6	18.2	4.2	1.6	1.6	1.0	5.2	2.6	3.1	5.7	1.0
	中学生:女性	238	89.5	7.6	20.2	4.6	13.9	1.3	1.7	1.7	2.9	10.9	2.5	2.5	3.4	2.5
	高校生世代:男性	153	88.9	9.8	14.4	0.7	19.6	2.6	1.3	2.6	0.7	9.8	2.0	1.3	2.6	1.3
	高校生世代:女性	214	89.3	6.1	20.6	3.3	14.0	2.3	1.4	0.5	3.7	7.0	3.3	2.3	4.2	2.3
	無回答	3	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
平成21年度調査	中学生	797	89.8	11.5	22.3	2.8	16.3	4.0	2.0	1.1	2.4	8.5	1.9	2.0	2.1	1.9
	高校生世代	769	85.7	13.5	17.9	1.2	15.0	2.9	2.5	1.2	5.5	8.3	3.4	1.2	2.3	1.4

〈 〉内は平成21年度調査項目

(2) あれば良いと思う場所

問 13-1 問 13 の選択肢以外で、あれば良いなと思う場所はどんな場所ですか。自由に記入してください。

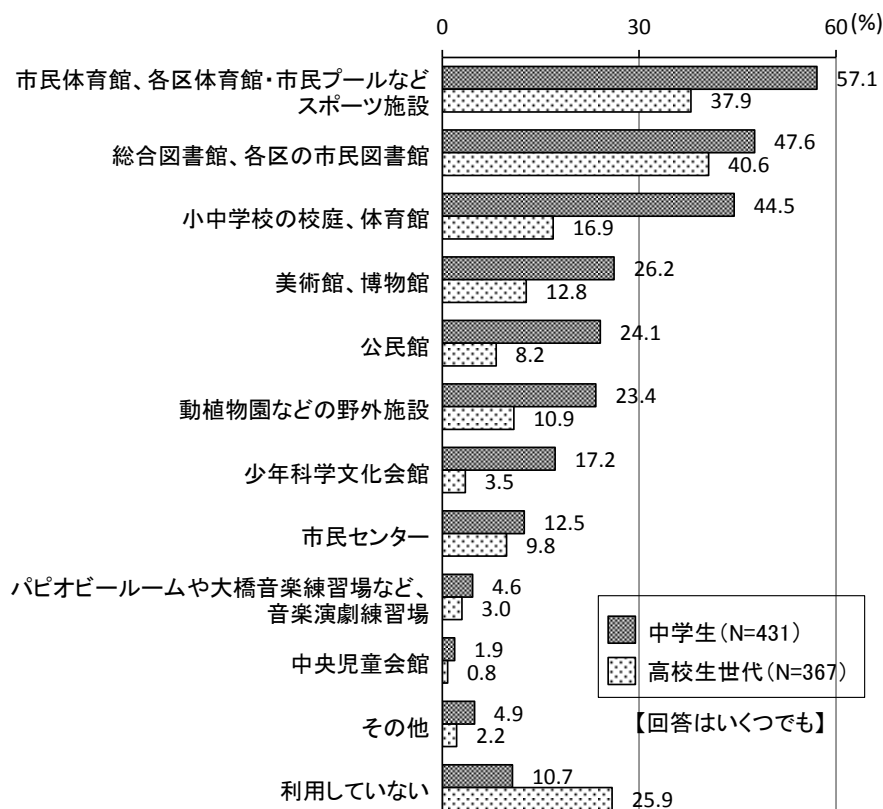
- ◎スポーツができるところ 22 件
「野球ができる場所」(中学生)
「テニスコート」(高校生世代)
- ◎自然が多いところ 21 件
「きれいな海がある所」(中学生)
「自然がたくさんあり、静かな場所」(高校生世代)
- ◎勉強・自習ができるところ 15 件
「自由に勉強ができる場所」(中学生)
「22 時くらいまで開館している学習スペース」(高校生世代)
- ◎広場・公園 13 件
- ◎自由に遊べる場所 11 件
- ◎のんびりできる場所 7 件
「心をいやしてくれる場所」(中学生)
「静かで何も考えなくていい場所」(高校生世代)
- ◎図書館 6 件
- ◎自分の部屋 6 件
- ◎祖父母の家 5 件
- ◎ネットカフェ・カフェ 4 件
- ◎家にいたくないときにいられる場所 3 件
「家に帰りたくない時に、面倒を見てくれる所」(中学生)
- ◎その他 35 件
「親友の家」(中学生)
「2 つ目の自分の家」(高校生世代)
「楽器が弾ける場所 (音などで迷惑にならない所)」(高校生世代)

8. 公共施設の利用状況

(1) 過去1年間に利用した公共施設

問14 あなたが過去1年間に、学校の授業や部活動以外で利用したことがある公共施設はどこですか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-2-9 過去1年間に利用した公共施設



過去1年間に利用した公共施設は、中学生では「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」(57.1%)、「総合図書館、各区の市民図書館」(47.6%)「小中学校の校庭、体育館」(44.5%)が4割以上で高い。高校生世代では「総合図書館、各区の市民図書館」が40.6%で最も高く、次いで「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が37.9%であるが、「利用していない」も25.9%と約4分の1を占めている。

平成21年度調査と比較すると、中学生では「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が8.3ポイント、「総合図書館、各区の市民図書館」が4.9ポイント増加している。高校生世代では大きな変化はみられない。

性別にみると、中高生世代ともに男性は「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」「小中学校の校庭、体育館」が高く、女性は「総合図書館、各区の市民図書館」「美術館、博物館」「市民センター」などの利用が高い。

表Ⅱ－２－９ 過去１年間に利用した公共施設〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)												
		標本数	総合図書館、各区の市民図書館	市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設	小中学校の校庭、体育館	美術館、博物館	市民センター	少年科学文化会館	中央児童会館	公民館	パピオピールームや大橋音楽練習場など、音楽演劇練習場	動植物園などの野外施設	その他	利用していない
全体		800	356	386	255	160	91	88	11	135	31	142	30	141
		100.0	44.5	48.3	31.9	20.0	11.4	11.0	1.4	16.9	3.9	17.8	3.8	17.6
	中学生	431	47.6	57.1	44.5	26.2	12.5	17.2	1.9	24.1	4.6	23.4	4.9	10.7
	高校生世代	367	40.6	37.9	16.9	12.8	9.8	3.5	0.8	8.2	3.0	10.9	2.2	25.9
性別	中学生:男性	192	43.2	67.2	46.4	21.9	8.9	11.5	0.5	19.8	1.6	20.8	5.7	7.3
	中学生:女性	238	50.8	48.7	42.9	29.4	15.1	21.8	2.9	27.3	7.1	25.2	4.2	13.4
	高校生世代:男性	153	35.3	48.4	20.3	11.1	7.8	2.6	0.7	6.5	1.3	6.5	1.3	24.2
	高校生世代:女性	214	44.4	30.4	14.5	14.0	11.2	4.2	0.9	9.3	4.2	14.0	2.8	27.1
	無回答	3	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	-	66.7	-	66.7	33.3	-
平成21年度調査	中学生	797	42.7	48.8	46.7	23.5	11.7	16.1	2.1	20.5	3.5	19.8	1.3	16.1
	高校生世代	769	40.4	36.0	20.9	12.7	8.2	7.8	0.7	8.3	3.4	13.0	0.5	30.6

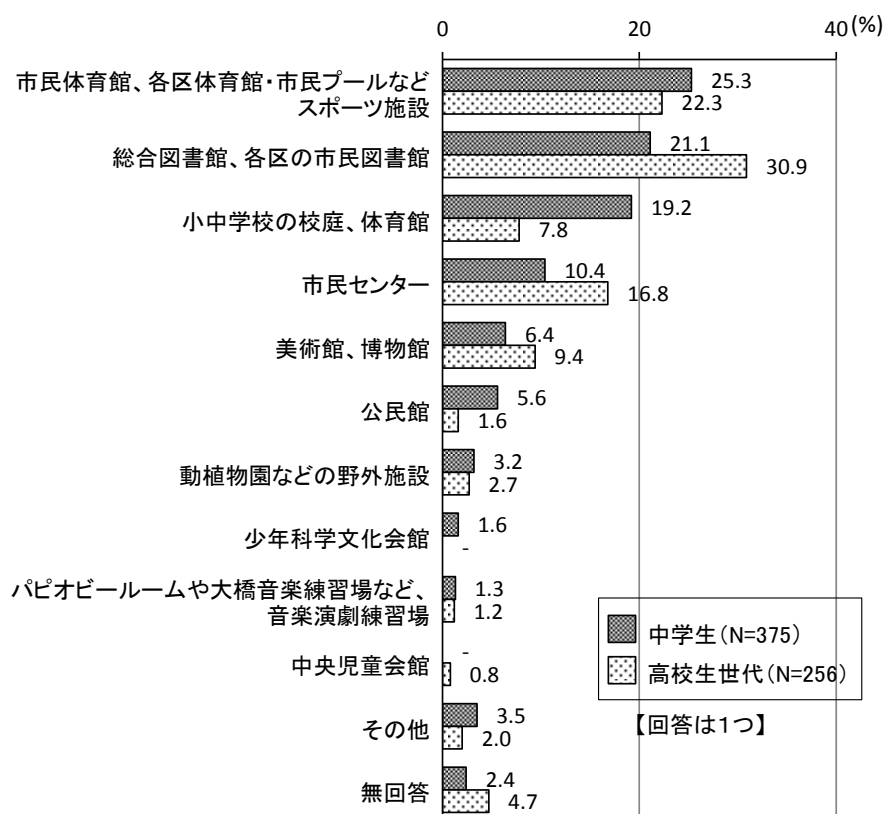
(2) 最も利用している公共施設とその利用頻度

①最も利用している公共施設

問14で「1～11」のいずれかを選んだ人にうかがいます。

問14-1 そのうち最も利用している施設について番号を記入し、その利用頻度について1～5に○を付けてください。

図Ⅱ-2-10 最も利用している公共施設



最も利用している公共施設は、中学生では「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が25.3%で最も高く、次いで「総合図書館、各区の市民図書館」(21.1%)、「小中学校の校庭、体育館」(19.2%)となっている。高校生世代では「総合図書館、各区の市民図書館」が30.9%で最も高く、次いで「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が22.3%となっている。

平成21年度調査と比較すると、中学生では「小中学校の校庭、体育館」が12.1ポイント減少している。高校生世代では「総合図書館、各区の市民図書館」「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」がともに8.2ポイント減少している。反対に中高生世代とも「市民センター」が大幅に増加している。

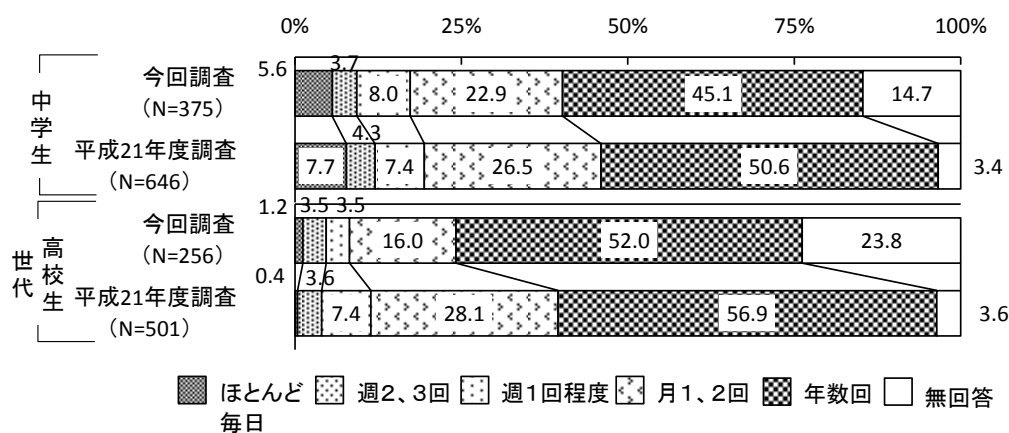
性別にみると、中高生世代ともに、男性は「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」、「小中学校の校庭、体育館」が高く、女性は「総合図書館、各区の市民図書館」が高い。

表Ⅱ-2-10 最も利用している公共施設〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)												
		標本数	総合図書館、各区の市民図書館	市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設	小中学校の校庭、体育館	美術館、博物館	市民センター	少年科学文化会館	中央児童会館	公民館	パピオピールームや大橋音楽練習場など、音楽演劇練習場	動植物園などの野外施設	その他	無回答
全体	全体	633 100.0	159 25.1	152 24.0	92 14.5	48 7.6	82 13.0	6 0.9	2 0.3	25 3.9	8 1.3	19 3.0	19 3.0	21 3.3
	中学生	375	21.1	25.3	19.2	6.4	10.4	1.6	-	5.6	1.3	3.2	3.5	2.4
	高校生世代	256	30.9	22.3	7.8	9.4	16.8	-	0.8	1.6	1.2	2.7	2.0	4.7
性別	中学生:男性	174	17.8	31.6	20.1	5.2	12.1	0.6	-	2.9	-	3.4	4.0	2.3
	中学生:女性	200	24.0	20.0	18.0	7.5	9.0	2.5	-	8.0	2.5	3.0	3.0	2.5
	高校生世代:男性	110	20.0	31.8	10.0	10.9	18.2	-	0.9	1.8	-	1.8	0.9	3.6
	高校生世代:女性	146	39.0	15.1	6.2	8.2	15.8	-	0.7	1.4	2.1	3.4	2.7	5.5
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
平成21年度調査	中学生	646	20.1	28.5	31.3	3.6	2.3	1.1	0.3	4.5	1.1	4.6	0.8	1.9
	高校生世代	501	39.1	30.5	11.4	4.4	2.4	0.4	0.2	2.4	1.6	4.4	0.4	2.8

②利用頻度

図Ⅱ－２－１１ 最も利用している公共施設の利用頻度（平成21年度調査比較）



利用頻度については、中高生世代ともに「年数回」が約5割となっている。

平成21年度調査と比較すると、高校生世代で「月1、2回」が28.1%から12.1ポイント減少している。

性別でみると、中高生世代とも女性の方が「年数回」の割合が高く、特に高校生世代の女性は56.2%と利用頻度は最も低くなっている。

表Ⅱ－２－１１ 最も利用している公共施設の利用頻度 [全体、性別]

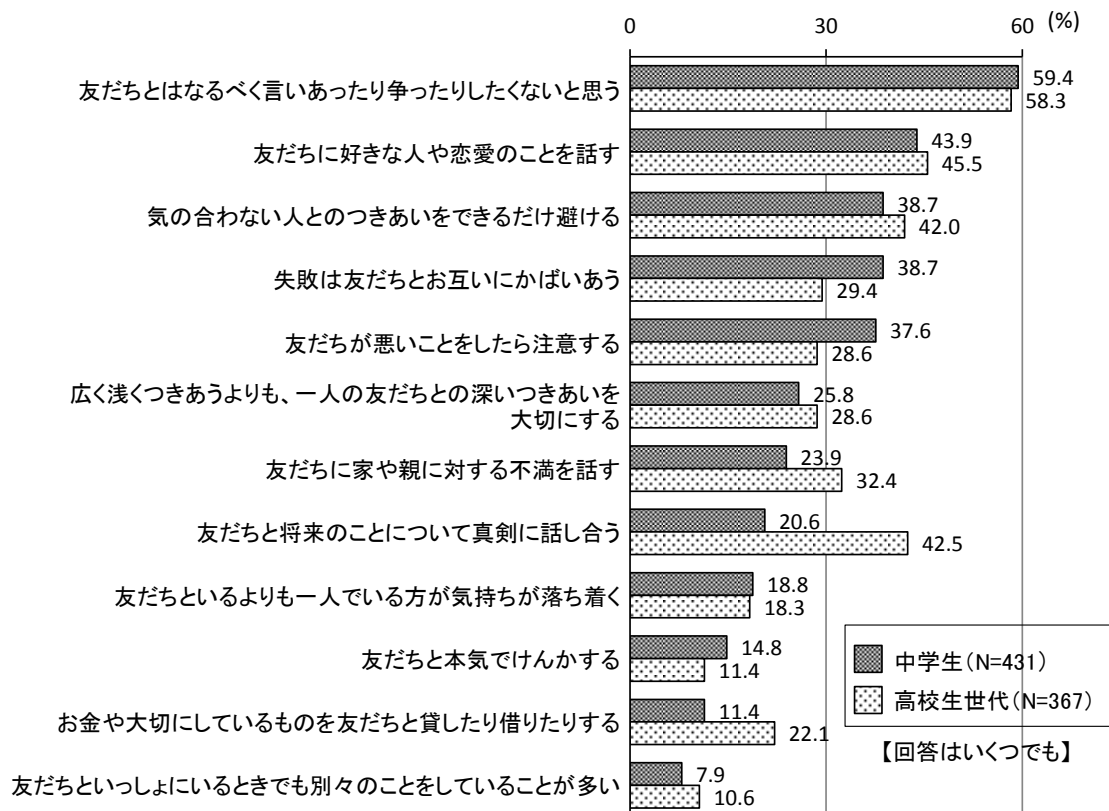
		標本数	ほとんど毎日	週2、3回	週1回程度	月1、2回	年数回	無回答
全体		633	25	23	39	128	302	116
		100.0	3.9	3.6	6.2	20.2	47.7	18.3
性別	中学生:男性	174	5.7	4.6	7.5	27.6	39.7	14.9
	中学生:女性	200	5.5	3.0	8.0	19.0	50.0	14.5
	高校生世代:男性	110	-	5.5	3.6	17.3	46.4	27.3
	高校生世代:女性	146	2.1	2.1	3.4	15.1	56.2	21.2
	無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-

第3章 生活意識と環境

1. 友だちづきあいについて

問15 あなたと友だちとのつきあいの中で、次のようなことがありますか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-3-1 友だちづきあいについて



友だちづきあいについて当てはまるものとしては、中高生世代ともに「友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う」が約6割で最も高い。次いで高いのは、中高生世代ともに「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」で4割を超えている。高校生世代では「友だちと将来のことについて真剣に話し合う」(42.5%)や「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」(42.0%)も4割を超えて高い割合となっている。

平成21年度調査と比較すると、中学生では「気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける」が5.2ポイント減少し、高校生世代では、「友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う」が10.7ポイント増加している。「友だちに家や親に対する不満を話す」は中高生世代ともに減少している。

性別にみると、中高生世代ともにほとんどの項目で女性の方が高くなっており、特に「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」や「友だちに家や親に対する不満を話す」、「友だちと本気でけんかする」、「広く浅くつきあうよりも、一人の友だちとの深いつきあいを大切にする」などでその差は顕著である。

表Ⅱ-3-1 友だちづきあいについて [全体、性別] (平成21年度調査比較)

(%)

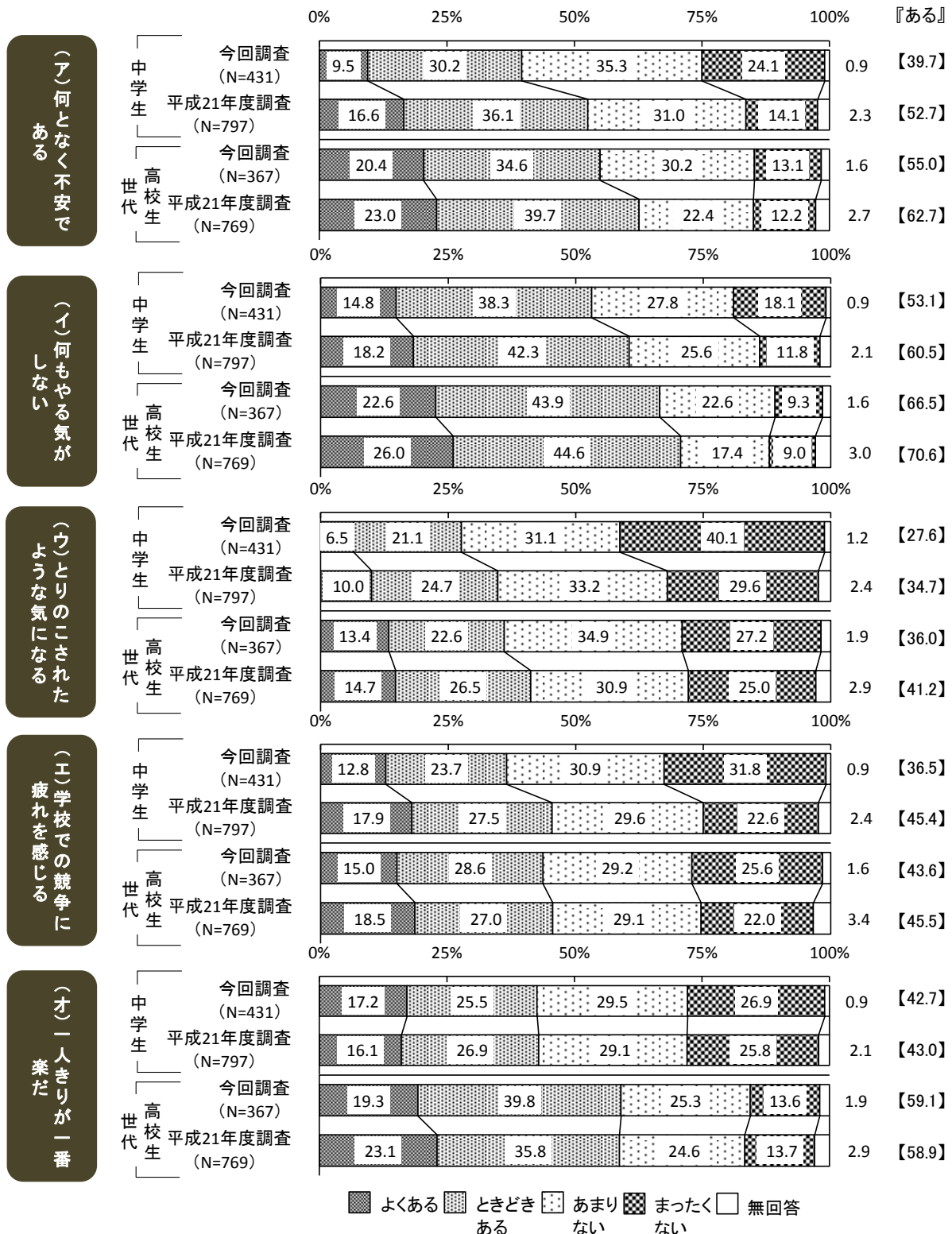
	標本数	友だちに好きな人や恋愛のことを話す ～友だちに好きな人や恋愛のことを話す～	友だちに家や親に対する不満を話す	友だちと将来のことについて真剣に話し合う	お金や大切にしているものを友だちと貸したり借りたりする	友だちと本気でけんかする	気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける	友だちが悪いことをしたら注意する	友だちが落ち着く	友だちといるよりも一人でいる方が気持ち悪くない	広く浅くつきあうよりも、一人の友だちとの深いつきあいを大切にする	友だちといつしよにしているときでも別々のことをしていることが多い	友だちとはなるべく言いあったり争ったりしたくないと思う	失敗は友だちとお互いにかばいあう
全体	800 100.0	358 44.8	222 27.8	246 30.8	130 16.3	106 13.3	323 40.4	267 33.4	149 18.6	217 27.1	73 9.1	472 59.0	276 34.5	
中学生	431	43.9	23.9	20.6	11.4	14.8	38.7	37.6	18.8	25.8	7.9	59.4	38.7	
高校生世代	367	45.5	32.4	42.5	22.1	11.4	42.0	28.6	18.3	28.6	10.6	58.3	29.4	
性別	中学生:男性	192	25.5	17.7	16.7	8.9	10.9	31.8	35.4	14.1	17.7	5.2	57.3	32.8
	中学生:女性	238	58.4	28.6	23.9	13.4	18.1	44.5	39.5	22.7	32.4	10.1	61.3	43.7
	高校生世代:男性	153	34.6	21.6	32.0	20.9	4.6	37.9	26.8	18.3	20.9	9.2	54.2	26.8
	高校生世代:女性	214	53.3	40.2	50.0	22.9	16.4	44.9	29.9	18.2	34.1	11.7	61.2	31.3
	無回答	3	100.0	33.3	33.3	-	-	66.7	-	33.3	33.3	-	66.7	33.3
平成21年度調査	中学生	797	41.0	35.3	23.1	13.8	16.8	43.9	32.5	17.1	33.6	10.4	58.2	40.9
	高校生世代	769	49.8	40.3	47.9	29.6	12.5	44.7	32.1	20.2	32.0	11.4	47.6	28.5

()内は平成21年度調査項目

2. 無気力感や気分の減退

問21 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

図Ⅱ-3-2 無気力感や気分の減退(平成21年度調査比較)



無気力感や気分の減退について「よくある」と「ときどきある」を合計した『ある』をみると、「(イ) 何もやる気がしない」は中高生世代ともに5割を超えており最も高い。特に高校生世代では66.5%と7割近くに達している。次いで高いのが、中高生世代ともに「(オ) 一人きりが一番楽だ」で中学生が42.7%、高校生世代が59.1%となっている。高校生世代では「(ア) 何となく不安である」も55.0%と5割を超えている。

平成21年度調査と比較すると、中学生では「(ア) 何となく不安である」の『ある』の割合が13ポイント、高校生世代で7.7ポイント減少しているのをはじめ、「(オ) 一人きりが一番楽だ」を除くその他の項目でも中高生世代とも『ある』の割合が減少している。

性別にみると、全ての項目で『ある』が中高生世代ともに男性よりも女性の割合が高く、特に「(イ) 何もやる気がしない」や「(ウ) とりのこされたような気になる」でその差が大きい。

表Ⅱ-3-2 無気力感や気分の減退 [全体、性別]

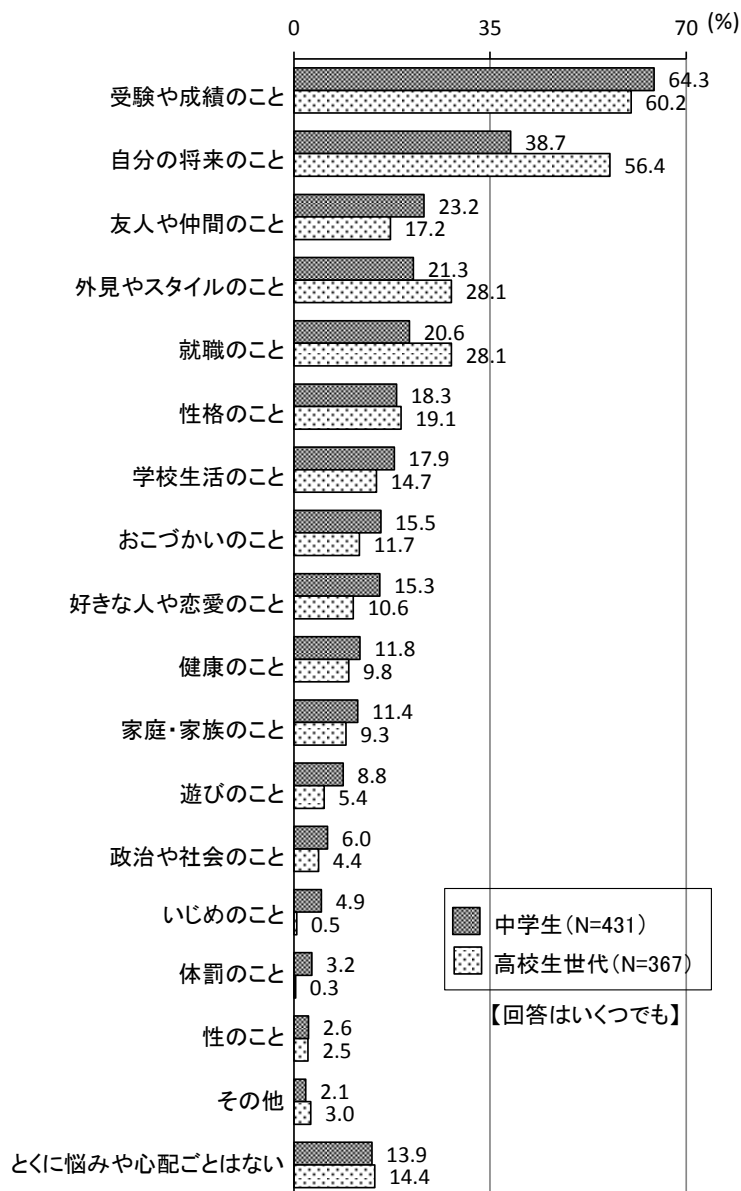
			よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』	
(ア) 何となく不安である	全体	800 100.0	116 14.5	257 32.1	265 33.1	152 19.0	10 1.3	373 46.6	
	性別	中学生:男性	192	8.3	27.1	30.7	33.3	0.5	35.4
		中学生:女性	238	10.5	32.8	39.1	16.4	1.3	43.3
		高校生世代:男性	153	13.1	36.6	32.7	16.3	1.3	49.7
		高校生世代:女性	214	25.7	33.2	28.5	10.7	1.9	58.9
		無回答	3	-	-	66.7	33.3	-	-
(イ) 何もやる気がしない	全体	800 100.0	147 18.4	326 40.8	204 25.5	113 14.1	10 1.3	473 59.2	
	性別	中学生:男性	192	13.0	34.4	30.7	21.4	0.5	47.4
		中学生:女性	238	16.4	41.6	25.6	15.1	1.3	58.0
		高校生世代:男性	153	14.4	40.5	30.1	13.7	1.3	54.9
		高校生世代:女性	214	28.5	46.3	17.3	6.1	1.9	74.8
		無回答	3	-	-	33.3	66.7	-	-
(ウ) とりのこされたような気になる	全体	800 100.0	77 9.6	174 21.8	263 32.9	274 34.3	12 1.5	251 31.4	
	性別	中学生:男性	192	5.2	13.5	30.7	50.0	0.5	18.7
		中学生:女性	238	7.6	27.3	31.5	31.9	1.7	34.9
		高校生世代:男性	153	11.1	18.3	39.2	30.1	1.3	29.4
		高校生世代:女性	214	15.0	25.7	31.8	25.2	2.3	40.7
		無回答	3	-	-	33.3	66.7	-	-
(エ) 学校での競争に疲れる	全体	800 100.0	111 13.9	208 26.0	240 30.0	231 28.9	10 1.3	319 39.9	
	性別	中学生:男性	192	9.4	18.2	33.3	38.5	0.5	27.6
		中学生:女性	238	15.5	27.7	29.0	26.5	1.3	43.2
		高校生世代:男性	153	11.1	25.5	34.6	27.5	1.3	36.6
		高校生世代:女性	214	17.8	30.8	25.2	24.3	1.9	48.6
		無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0
(オ) 一人きりが一番楽だ	全体	800 100.0	146 18.3	256 32.0	221 27.6	166 20.8	11 1.4	402 50.3	
	性別	中学生:男性	192	18.2	18.8	29.2	33.3	0.5	37.0
		中学生:女性	238	16.4	30.7	29.8	21.8	1.3	47.1
		高校生世代:男性	153	20.3	37.3	26.1	15.0	1.3	57.6
		高校生世代:女性	214	18.7	41.6	24.8	12.6	2.3	60.3
		無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6

3. 悩みや心配ごとと相談相手

(1) 悩みや心配ごと

問 22 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-3-3 悩みや心配ごと



現在かかえている悩みや心配ごとは、中高生世代ともに「受験や成績のこと」が約6割で最も高く、次いで「自分の将来のこと」が中学生 38.7%、高校生世代 56.4%となっている。高校生世代では、「就職のこと」や「外見やスタイルのこと」(同率 28.1%) も約3割と高くなっている。

平成 21 年度調査と比較すると、中学生では「受験や成績のこと」や「自分の将来のこと」が減少し、高校生世代では「自分の将来のこと」や「就職のこと」が減少しているが、これは回答者の学年の違いによるところが大きいとみられる。

性別にみると、中高生世代ともに「友人や仲間のこと」や「好きな人や恋愛のこと」「性格のこと」「外見やスタイルのこと」などは女性の方が大幅に高くなっている。男性の方が高い項目は、中学生では「おこづかいのこと」や「遊びのこと」、「健康のこと」、高校生世代では「就職のこと」となっている。

表Ⅱ-3-3 悩みや心配ごと [全体、性別] (平成21年度調査比較)

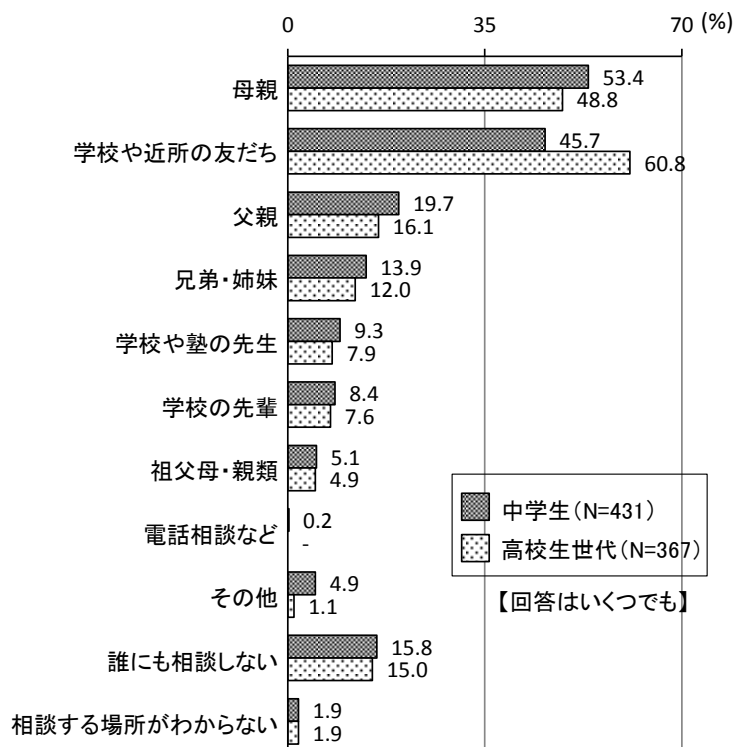
	標本数	受験や成績のこと	就職のこと	自分の将来のこと	家庭・家族のこと	友人や仲間のこと	好きな人や恋愛のこと (異性のこと)	おこづかいのこと	遊びのこと	性格のこと	健康のこと	性的なこと	外見やスタイルのこと	政治や社会のこと	学校生活のこと	体罰のこと	いじめのこと	その他	はとくに悩みや心配ごと はない	
全体	800	498	192	375	83	164	106	111	58	149	87	21	195	42	131	15	23	21	113	
	100.0	62.3	24.0	46.9	10.4	20.5	13.3	13.9	7.3	18.6	10.9	2.6	24.4	5.3	16.4	1.9	2.9	2.6	14.1	
中学生	431	64.3	20.6	38.7	11.4	23.2	15.3	15.5	8.8	18.3	11.8	2.6	21.3	6.0	17.9	3.2	4.9	2.1	13.9	
高校生世代	367	60.2	28.1	56.4	9.3	17.2	10.6	11.7	5.4	19.1	9.8	2.5	28.1	4.4	14.7	0.3	0.5	3.0	14.4	
性別	中学生:男性	192	60.9	22.9	39.1	8.3	14.6	11.5	21.9	13.5	11.5	15.6	2.6	10.9	6.3	14.6	3.1	3.6	1.6	15.6
	中学生:女性	238	66.8	18.5	38.2	13.9	30.3	18.5	10.5	5.0	23.5	8.8	2.5	29.8	5.9	20.6	3.4	5.9	2.5	12.6
	高校生世代:男性	153	59.5	32.7	52.9	11.1	11.1	6.5	9.8	2.6	11.8	9.2	1.3	11.8	4.6	12.4	-	0.7	2.6	18.3
	高校生世代:女性	214	60.7	24.8	58.9	7.9	21.5	13.6	13.1	7.5	24.3	10.3	3.3	39.7	4.2	16.4	0.5	0.5	3.3	11.7
	無回答	3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
平成21年度調査	中学生	797	71.9	19.6	43.0	12.7	25.5	14.7	15.8	9.4	20.3	16.1	2.4	28.1	6.5	20.2	1.6	6.8	0.4	11.8
	高校生世代	769	56.2	34.5	61.6	14.8	19.0	14.7	12.1	6.2	17.2	11.8	2.9	30.0	7.9	16.6	0.5	1.4	0.9	11.1

()内は平成21年度調査項目

(2) 悩みや心配ごとの相談相手

問23 あなたは悩みや心配ごとを誰(何)に相談しますか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-3-4 悩みや心配ごとの相談相手



第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

悩みや心配ごとの相談相手は、中学生では「母親」が53.4%で最も高く、次いで「学校や近所の友だち」が45.7%となっている。高校生世代では、「学校や近所の友だち」が60.8%で最も高く、次いで「母親」が48.8%となっている。「誰にも相談しない」は中高生世代ともに約15%となっている。

平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともに「母親」が増加し、「学校や近所の友だち」が減少している。特に中学生では「学校や近所の友だち」が13.8ポイントも減少している。「父親」は中高生世代ともに若干増加している。

性別にみると、中高生世代ともに女性は「学校や近所の友だち」が高く、男性は「父親」が高い。

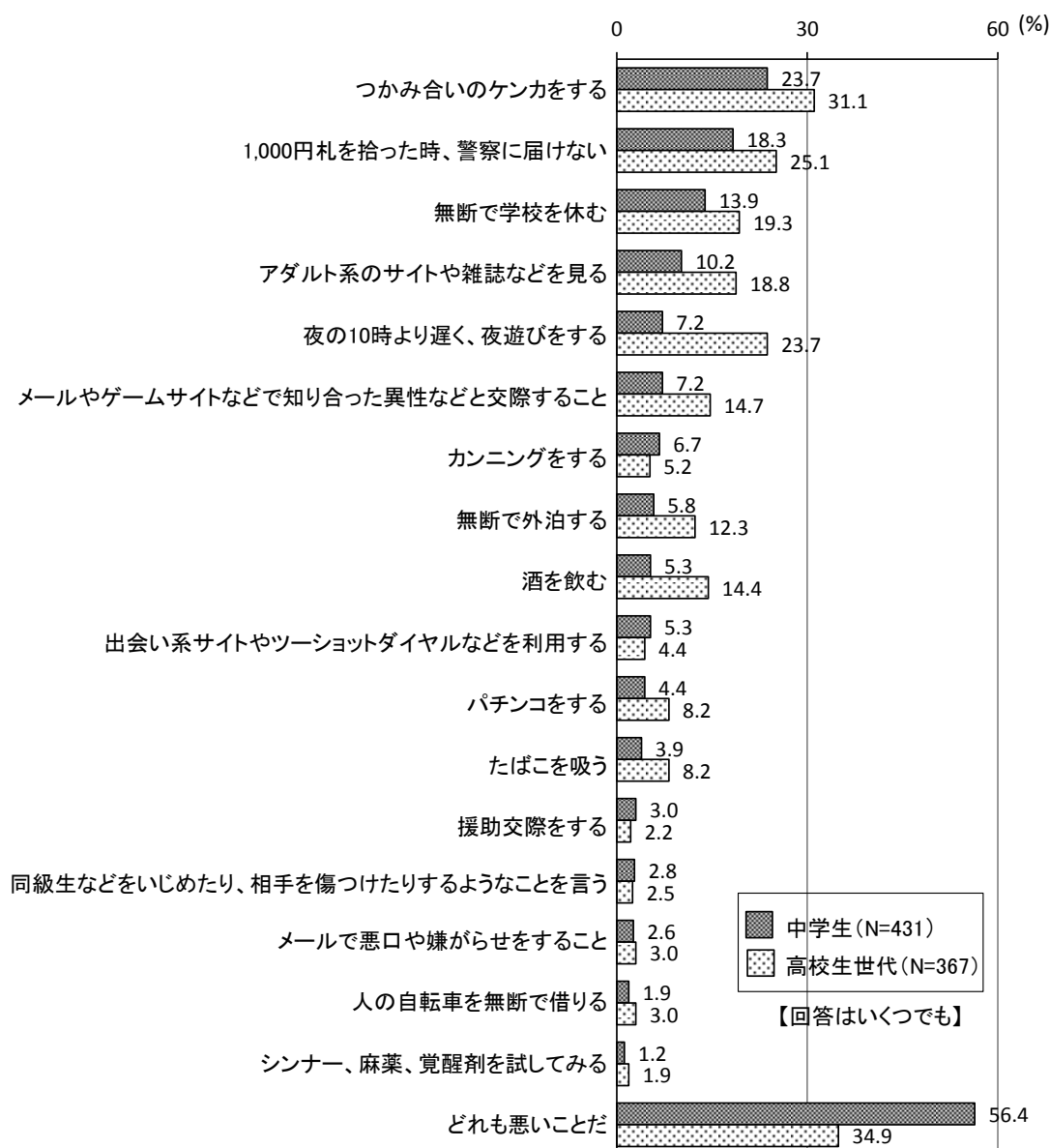
表Ⅱ-3-4 悩みや心配ごとの相談相手〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)											
	標本数	父親	母親	兄弟・姉妹	祖父母・親類	学校の先輩	学校や近所の友だち	学校や塾の先生	電話相談など	その他	誰にも相談しない	相談する場所がわからない	
全体	800 100.0	144 18.0	410 51.3	104 13.0	40 5.0	65 8.1	421 52.6	70 8.8	1 0.1	25 3.1	123 15.4	15 1.9	
中学生	431	19.7	53.4	13.9	5.1	8.4	45.7	9.3	0.2	4.9	15.8	1.9	
高校生世代	367	16.1	48.8	12.0	4.9	7.6	60.8	7.9	-	1.1	15.0	1.9	
性別	中学生:男性	192	26.6	52.6	12.0	4.2	6.8	40.1	8.9	-	4.2	15.6	1.0
	中学生:女性	238	14.3	53.8	15.5	5.9	9.7	50.0	9.7	0.4	5.5	16.0	2.5
	高校生世代:男性	153	23.5	43.1	11.1	5.2	7.2	52.3	7.8	-	2.0	17.6	2.6
	高校生世代:女性	214	10.7	52.8	12.6	4.7	7.9	66.8	7.9	-	0.5	13.1	1.4
	無回答	3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-
平成21年度調査	中学生	797	16.7	45.4	11.4	3.0	7.9	59.5	8.0	-	1.3	15.4	3.3
	高校生世代	769	11.6	38.5	11.3	2.0	7.8	64.9	8.7	-	1.3	17.8	1.2

4. 規範意識（悪いとは思わないこと）

問 24 次にあげる行動のうち、あなたの友だち（同じ学年）がした場合、そんなに悪いことだとは思わないものがありますか。（〇はいくつでも）

図Ⅱ－3－5 規範意識（悪いとは思わないこと）



そんなに悪いことだと思わないことは、中高生世代ともに「つかみ合いのケンカをする」が最も高く、中学生 23.7%、高校生世代 31.1%となっている。その他、中学生では「1,000円札を拾った時、警察に届けない」と「無断で学校を休む」と「アダルト系のサイトや雑誌などを見る」が1割を超えており、高校生世代では「1,000円札を拾った時、警察に届けない」や「夜の10時より遅く、夜遊びをする」が2割を超えている。「どれも悪いことだ」は中学生が56.4%、高校生世代が34.9%で中学生の方が21.5ポイント以上高い。

第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともほとんどの項目で著しく割合が低下している。中高生の規範意識が向上しているのか、あるいは回答者の学年の違いによるものなのか慎重に考察する必要がある。

性別にみると、ほとんどの項目で男性の方が割合は高くなっているが、「メールやゲームサイトなどで知り合った異性などと交際すること」は高校生では女性の方が若干高くなっている。

表Ⅱ-3-5 規範意識（悪いとは思わないこと）〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		標本数	たばこを吸う	酒を飲む	シンナー、麻薬、覚醒剤を試してみる	パチンコをする	つかみ合いのケンカをする	無断で学校を休む	同級生などをいじめたり、相手を傷つけたりすることを言う	カンニングをする	人の自転車を無断で借りる	無断で外泊する	夜の10時より遅く、夜遊びをする	アダルト系のサイトや雑誌などを見る（ポルノ雑誌、アダルトビデオなどを見る）	出会い系サイトやツートショットダイアルなどを利用する	援助交際をする	1,000円札を拾った時、警察に届けない	メールで悪口や嫌がらせをすること	メールやゲームサイトなどで知り合った異性などと交際すること	どれも悪いことだ
全体		800	47	76	12	49	217	131	21	49	19	70	118	114	40	22	172	22	85	372
		100.0	5.9	9.5	1.5	6.1	27.1	16.4	2.6	6.1	2.4	8.8	14.8	14.3	5.0	2.8	21.5	2.6	10.6	46.5
中学生		431	3.9	5.3	1.2	4.4	23.7	13.9	2.8	6.7	1.9	5.8	7.2	10.2	5.3	3.0	18.3	2.6	7.2	56.4
	高校生世代	367	8.2	14.4	1.9	8.2	31.1	19.3	2.5	5.2	3.0	12.3	23.7	18.8	4.4	2.2	25.1	3.0	14.7	34.9
性別	中学生:男性	192	5.2	6.3	2.1	6.3	24.5	12.5	3.6	6.8	2.6	6.3	8.9	10.4	5.2	4.2	24.5	2.6	7.3	51.6
	中学生:女性	238	2.9	4.6	0.4	2.9	22.7	15.1	2.1	6.3	1.3	5.5	5.9	9.7	5.5	2.1	13.4	2.5	7.1	60.5
	高校生世代:男性	153	11.1	15.7	2.0	13.1	37.3	19.6	3.3	7.8	3.9	15.0	24.8	23.5	5.2	2.0	30.7	3.3	13.1	30.1
	高校生世代:女性	214	6.1	13.6	1.9	4.7	26.6	19.2	1.9	3.3	2.3	10.3	22.9	15.4	3.7	2.3	21.0	2.8	15.9	38.3
	無回答	3	-	-	-	-	66.7	-	-	66.7	-	-	-	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3
平成21年度調査	中学生	797	14.3	14.1	2.0	10.0	57.2	53.8	3.5	11.2	4.0	12.9	12.2	11.8	3.3	2.4	31.9	*	*	32.6
	高校生世代	769	37.8	44.9	3.0	26.8	65.9	53.6	3.9	16.1	6.4	33.6	41.7	32.8	6.1	5.2	43.8	*	*	16.0

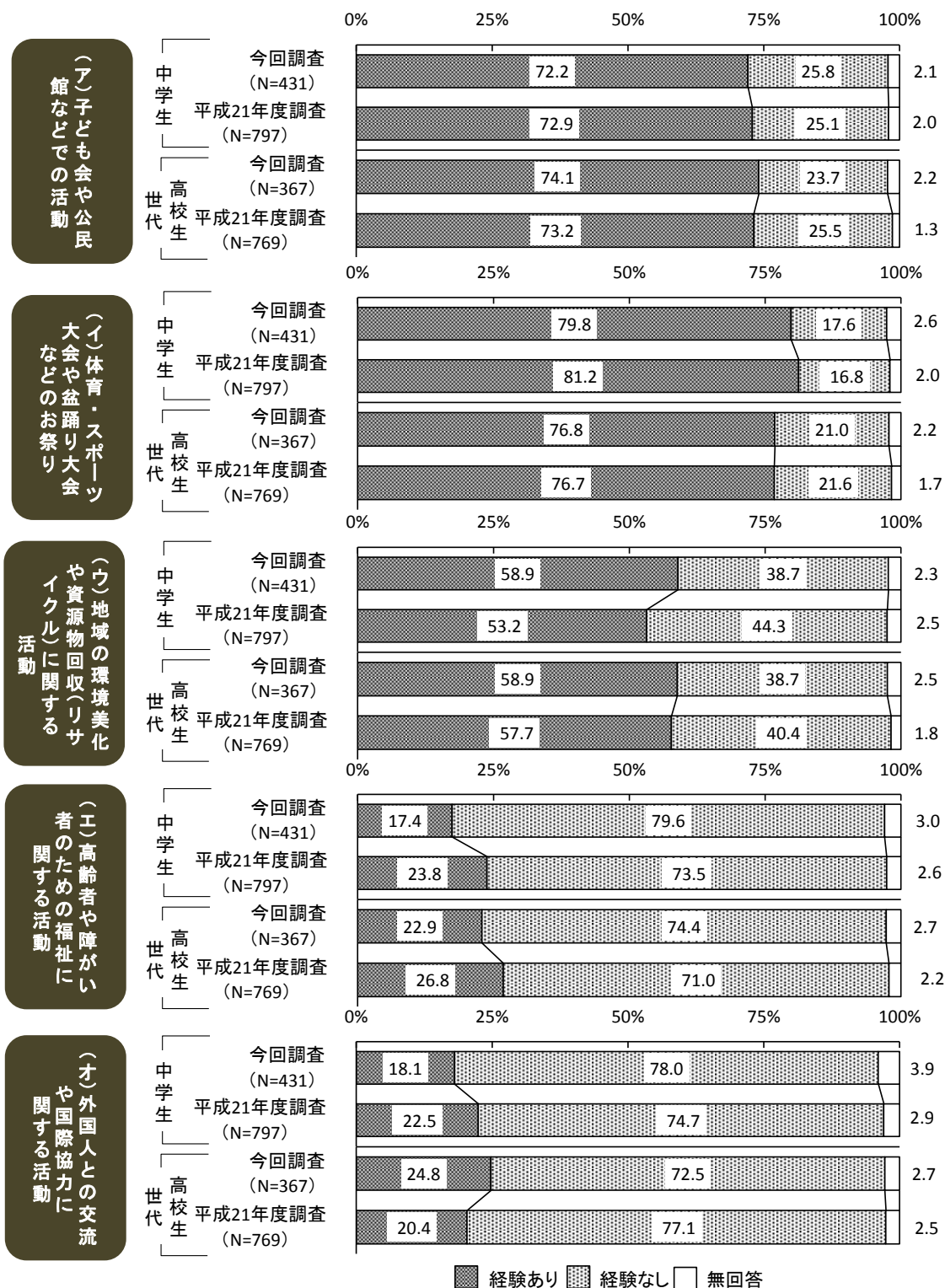
*平成21年度調査項目なし
〈 〉内は平成21年度調査項目

5. 地域での活動やボランティア活動

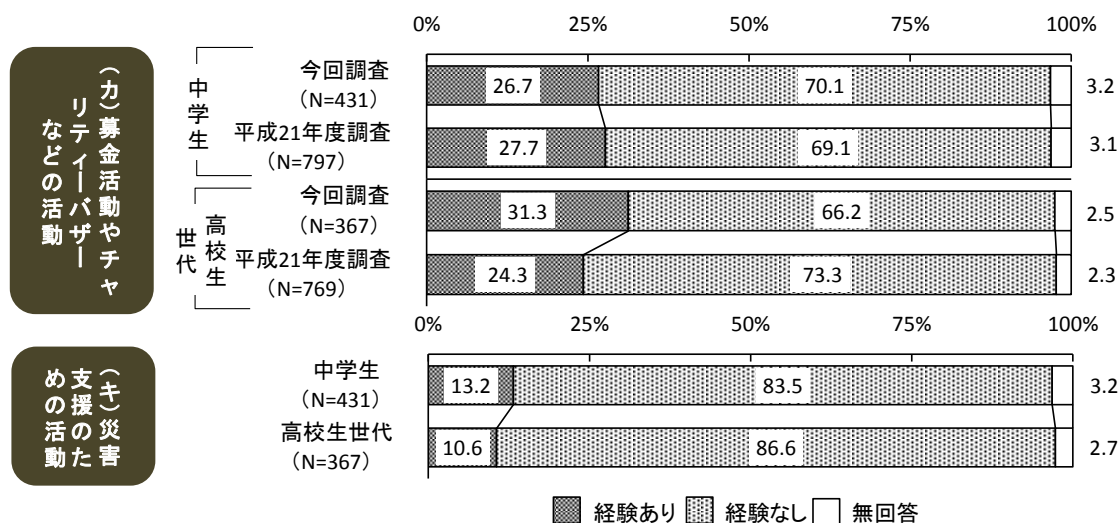
(1) 地域での活動やボランティア活動への参加経験

問31 あなたの地域での行動についておたずねします。次の(ア)から(キ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向をそれぞれ1つずつ選んでください。

図Ⅱ-3-6 (1) 地域での活動やボランティア活動の参加経験 (平成21年度調査比較)



図Ⅱ-3-6 (2) 地域での活動やボランティア活動の参加経験 (平成21年度調査比較)



地域活動への参加経験は、中高生世代どちらも同じような結果となっており、最も多いのは「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」で中学生 79.8%、高校生世代 76.8%となっている。次いで「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」が約7割、「(ウ) 地域の環境美化や資源物回収(リサイクル)に関する活動」が約6割となっている。「(カ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」は約3割、「(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」と「(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」は約2割、「(キ) 災害支援のための活動」は約1割となっている。

平成21年度調査と比較すると、「(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」が中高生世代ともに若干減少しているが、他は概ね同じような結果である。

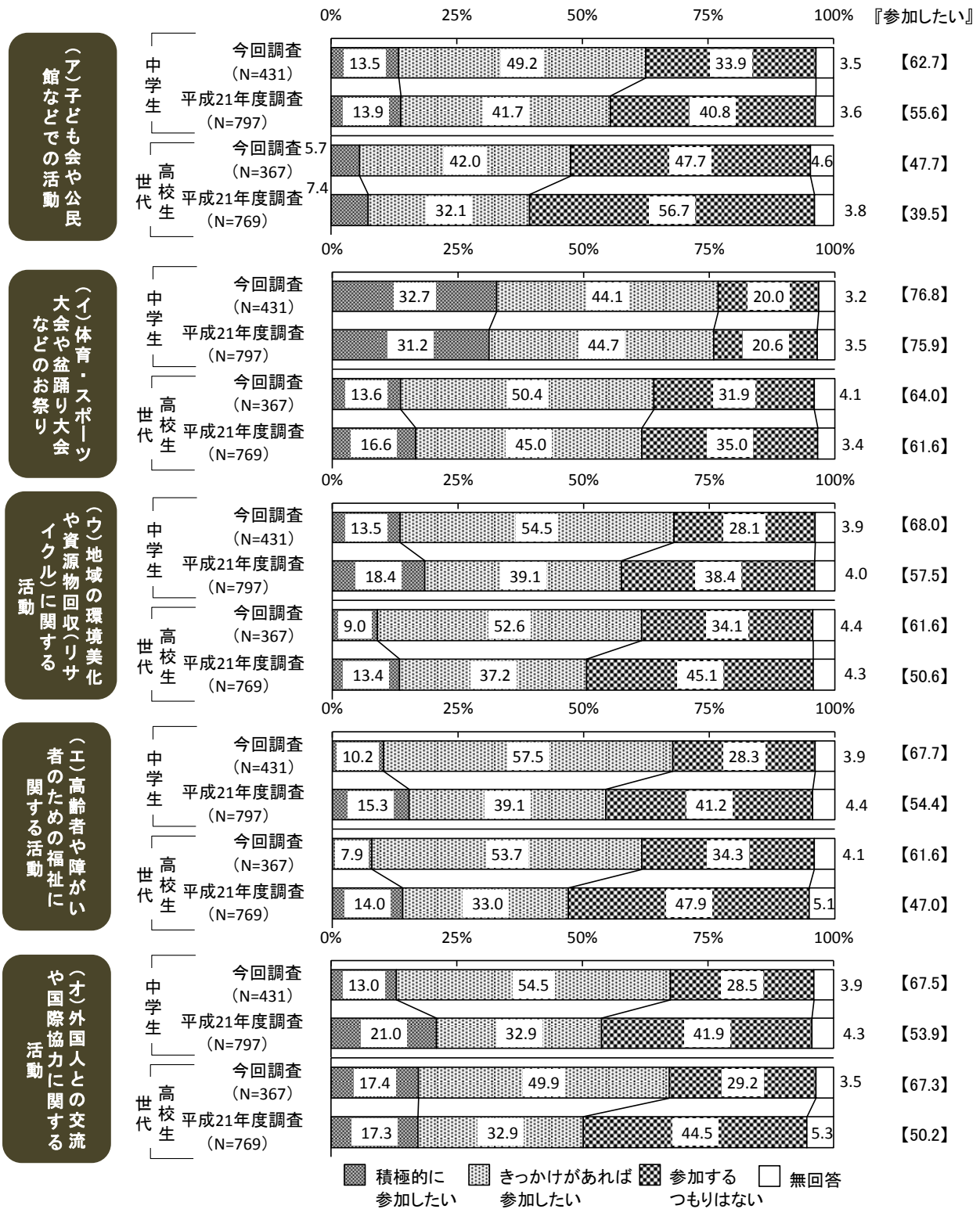
性別にみると、「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」や「(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」、「(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」、「(カ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」は中高生世代ともに女性の方が高くなっている。

表Ⅱ-3-6 地域での活動やボランティア活動の参加経験 [全体、性別]

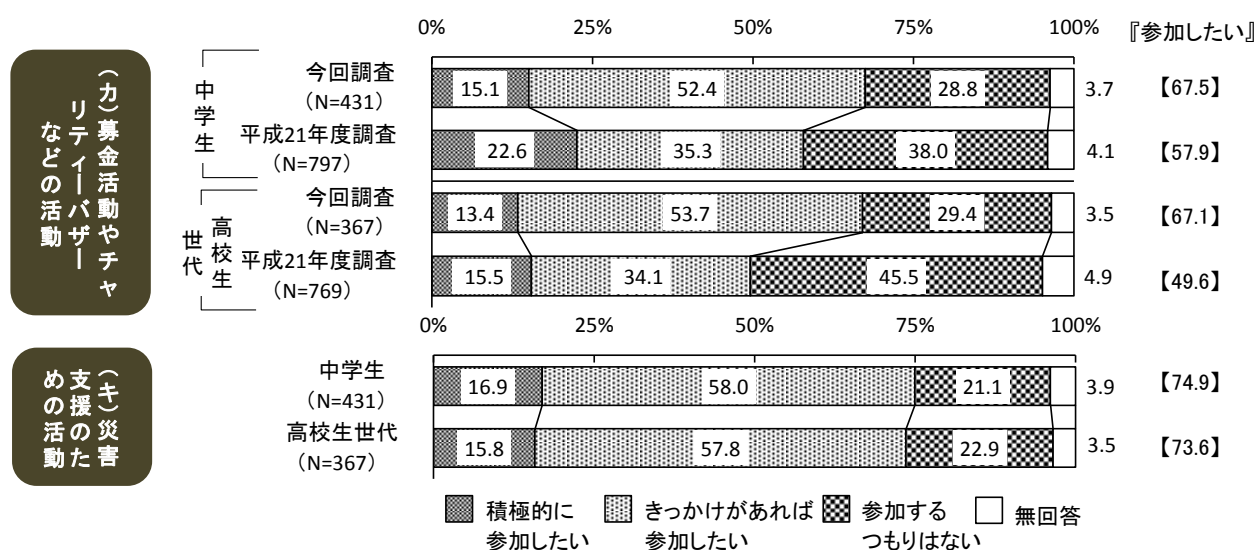
		標本数	経験あり	経験なし	無回答	
や(ア)公民館などの活動などでも	全体	800 100.0	584 73.0	199 24.9	17 2.1	
	性別	中学生:男性	192	70.8	27.1	2.1
		中学生:女性	238	73.1	24.8	2.1
		高校生世代:男性	153	69.9	28.1	2.0
		高校生世代:女性	214	77.1	20.6	2.3
		無回答	3	66.7	33.3	-
踊(イ)りお祭りなどの盆	全体	800 100.0	627 78.4	154 19.3	19 2.4	
	性別	中学生:男性	192	81.3	16.1	2.6
		中学生:女性	238	78.6	18.9	2.5
		高校生世代:男性	153	72.5	25.5	2.0
		高校生世代:女性	214	79.9	17.8	2.3
		無回答	3	66.7	33.3	-
回(ウ)境美化や地域の環境に関する活動	全体	800 100.0	470 58.8	311 38.9	19 2.4	
	性別	中学生:男性	192	60.4	37.0	2.6
		中学生:女性	238	57.6	40.3	2.1
		高校生世代:男性	153	56.9	40.5	2.6
		高校生世代:女性	214	60.3	37.4	2.3
		無回答	3	33.3	66.7	-
の障(エ)がいの高齢者のための活動	全体	800 100.0	159 19.9	618 77.3	23 2.9	
	性別	中学生:男性	192	12.5	83.9	3.6
		中学生:女性	238	21.0	76.5	2.5
		高校生世代:男性	153	18.3	78.4	3.3
		高校生世代:女性	214	26.2	71.5	2.3
		無回答	3	33.3	66.7	-
力(オ)の交流や外国人との活動	全体	800 100.0	169 21.1	604 75.5	27 3.4	
	性別	中学生:男性	192	15.6	79.2	5.2
		中学生:女性	238	19.7	77.3	2.9
		高校生世代:男性	153	20.3	77.8	2.0
		高校生世代:女性	214	28.0	68.7	3.3
		無回答	3	33.3	66.7	-
や(カ)チャリティー活動などの	全体	800 100.0	230 28.8	547 68.4	23 2.9	
	性別	中学生:男性	192	25.0	70.8	4.2
		中学生:女性	238	27.7	69.7	2.5
		高校生世代:男性	153	26.1	70.6	3.3
		高校生世代:女性	214	35.0	63.1	1.9
		無回答	3	33.3	66.7	-
の(キ)ための活動	全体	800 100.0	96 12.0	680 85.0	24 3.0	
	性別	中学生:男性	192	15.1	80.7	4.2
		中学生:女性	238	11.3	86.1	2.5
		高校生世代:男性	153	9.2	86.9	3.9
		高校生世代:女性	214	11.7	86.4	1.9
		無回答	3	33.3	66.7	-

(2) 地域での活動やボランティア活動への参加意向

図Ⅱ-3-7 (1) 地域での活動やボランティア活動の参加意向 (平成21年度調査比較)



図Ⅱ-3-7 (2) 地域での活動やボランティア活動の参加意向 (平成21年度調査比較)



今後の参加意向については、「積極的に参加したい」と「きっかけがあれば参加したい」を合計した『参加したい』をみると、中学生で「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」が76.8%と高く、高校生世代では「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」が47.7%と比較的低いが、その他はすべて6～7割となっている。

平成21年度調査と比較すると、たずね方が若干変更されている点に留意する必要があるが、元々参加経験率の高い「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」以外の全ての項目で、10ポイント程度、あるいはそれ以上の増加がみられる。

性別にみると、全体に男女の差はあまりないが、「(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」と「(カ) 募金活動やチャリティーバザーなどの活動」「(キ) 災害支援のための活動」は女性の方が参加意向は高くなっている。

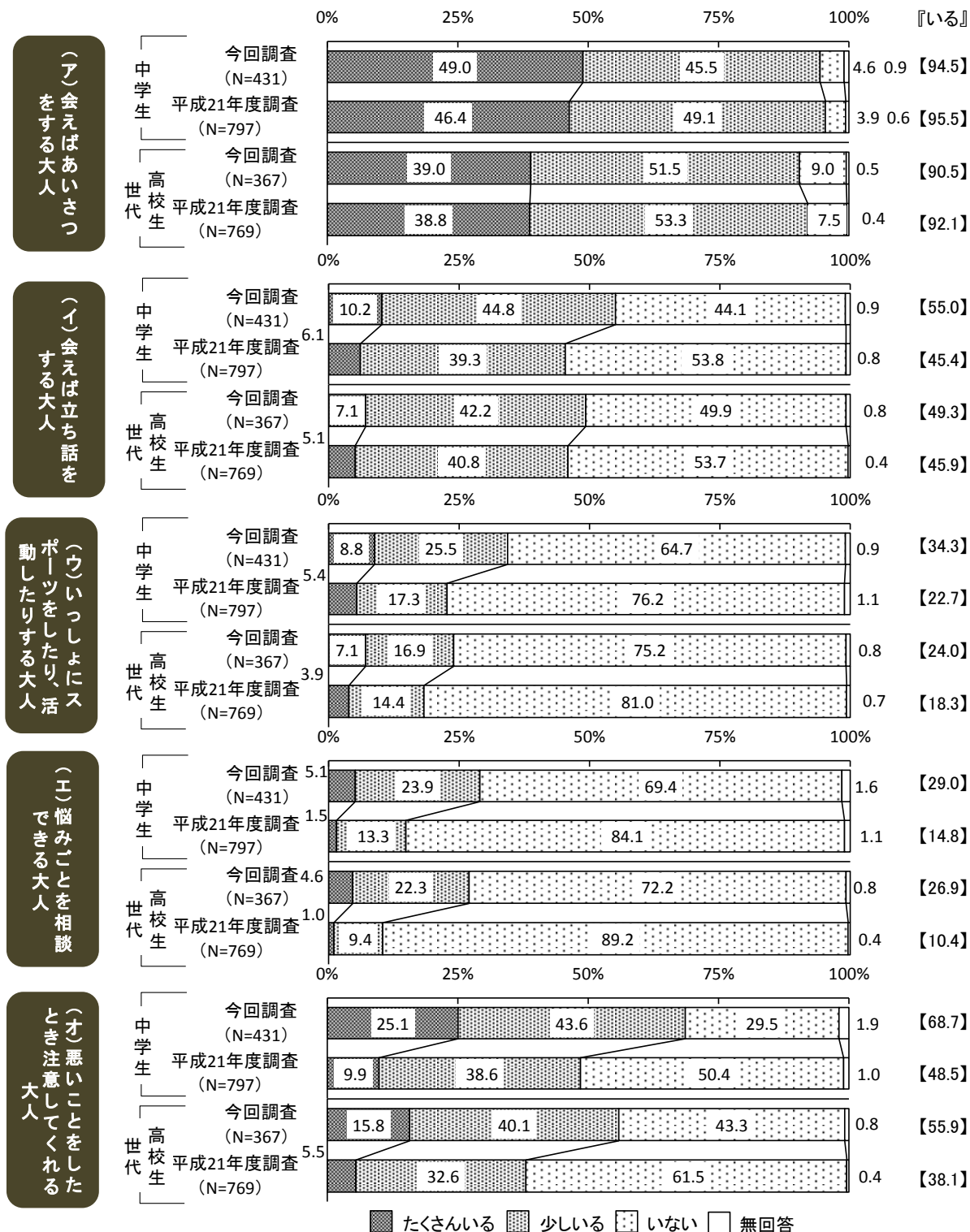
表Ⅱ-3-7 地域での活動やボランティア活動の参加意向 [全体、性別]

		標本数	い参加積 加的に	い参加あ つしけれ ただけ	なつ参加 いも加 りする	無回答	(%) 『参加 したい』	
や(ア) の公(イ) 館(ウ) など(エ) も(オ) で(カ)	全体	800 100.0	79 9.9	366 45.8	322 40.3	33 4.1	445 55.7	
	性別	中学生:男性	192	13.5	49.5	34.4	2.6	63.0
		中学生:女性	238	13.0	49.2	33.6	4.2	62.2
		高校生世代:男性	153	6.5	46.4	41.2	5.9	52.9
		高校生世代:女性	214	5.1	38.8	52.3	3.7	43.9
		無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
踊(イ) り(ウ) 大(エ) 会(オ) 祭(カ) り(キ) の(ク)	全体	800 100.0	192 24.0	375 46.9	204 25.5	29 3.6	567 70.9	
	性別	中学生:男性	192	33.9	46.4	17.7	2.1	80.3
		中学生:女性	238	31.5	42.4	21.8	4.2	73.9
		高校生世代:男性	153	15.0	50.3	30.1	4.6	65.3
		高校生世代:女性	214	12.6	50.5	33.2	3.7	63.1
		無回答	3	66.7	-	33.3	-	66.7
回(ウ) 境(エ) 美(オ) 化(カ) リ(キ) サ(ク) イ(ケ) ク(ケ)	全体	800 100.0	91 11.4	428 53.5	247 30.9	34 4.3	519 64.9	
	性別	中学生:男性	192	13.5	55.7	27.6	3.1	69.2
		中学生:女性	238	13.4	53.4	28.6	4.6	66.8
		高校生世代:男性	153	6.5	56.9	32.0	4.6	63.4
		高校生世代:女性	214	10.7	49.5	35.5	4.2	60.2
		無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3
の(エ) 障(オ) が(カ) い(キ) 者(ク) の(ケ) た(ケ) め(コ)	全体	800 100.0	73 9.1	445 55.6	249 31.1	33 4.1	518 64.7	
	性別	中学生:男性	192	9.4	58.9	28.1	3.6	68.3
		中学生:女性	238	10.9	56.3	28.6	4.2	67.2
		高校生世代:男性	153	7.2	52.9	34.6	5.2	60.1
		高校生世代:女性	214	8.4	54.2	34.1	3.3	62.6
		無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3
の(オ) 交(カ) 流(キ) す(ク) る(ケ) 活(コ) 動(カ)	全体	800 100.0	120 15.0	418 52.3	231 28.9	31 3.9	538 67.3	
	性別	中学生:男性	192	8.3	54.7	32.3	4.7	63.0
		中学生:女性	238	16.4	54.6	25.6	3.4	71.0
		高校生世代:男性	153	13.1	51.6	30.7	4.6	64.7
		高校生世代:女性	214	20.6	48.6	28.0	2.8	69.2
		無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
や(カ) チ(キ) ヤ(ク) リ(ケ) テ(コ) イ(カ)	全体	800 100.0	114 14.3	423 52.9	233 29.1	30 3.8	537 67.2	
	性別	中学生:男性	192	12.0	52.6	31.8	3.6	64.6
		中学生:女性	238	17.6	52.1	26.5	3.8	69.7
		高校生世代:男性	153	12.4	52.9	30.1	4.6	65.3
		高校生世代:女性	214	14.0	54.2	29.0	2.8	68.2
		無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3
の(キ) た(ケ) め(コ) の(ク) 活(ケ) 動(カ)	全体	800 100.0	131 16.4	462 57.8	176 22.0	31 3.9	593 74.2	
	性別	中学生:男性	192	16.7	56.8	22.9	3.6	73.5
		中学生:女性	238	16.8	59.2	19.7	4.2	76.0
		高校生世代:男性	153	13.1	58.8	23.5	4.6	71.9
		高校生世代:女性	214	17.8	57.0	22.4	2.8	74.8
		無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3

6. 近所の大人との関係

問 32 あなたには、次のような関係の「近所の大人」はいますか。(ア) から (オ) のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

図 II - 3 - 8 近所の大人との関係 (平成 21 年度調査比較)



近所の大人との関係について、「たくさんいる」と「少しいる」を合計した『いる』をみると、中高生世代ともに「(ア) 会えばあいさつをする大人」が中学生 94.5、高校生世代 90.5%で最も高い。次いで「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」が中学生 68.7%、高校生世代 55.9%、「(イ) 会えば立ち話をする大人」が中学生 55.0%、高校生世代 49.3%となっている。

平成 21 年度調査と『いる』の割合を比較すると、「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」が中学生で 20.2 ポイント、高校生世代で 17.8 ポイント、「(エ) 悩みごとを相談できる大人」が高校生世代で 16.5 ポイント増加するなど、多くの項目で大幅な増加がみられる。

性別にみると、中高生世代ともに「(ウ) いっしょにスポーツをしたり、活動したりする大人」と「(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人」は男性の方が高い。

表Ⅱ-3-8 近所の大人との関係 [全体、性別]

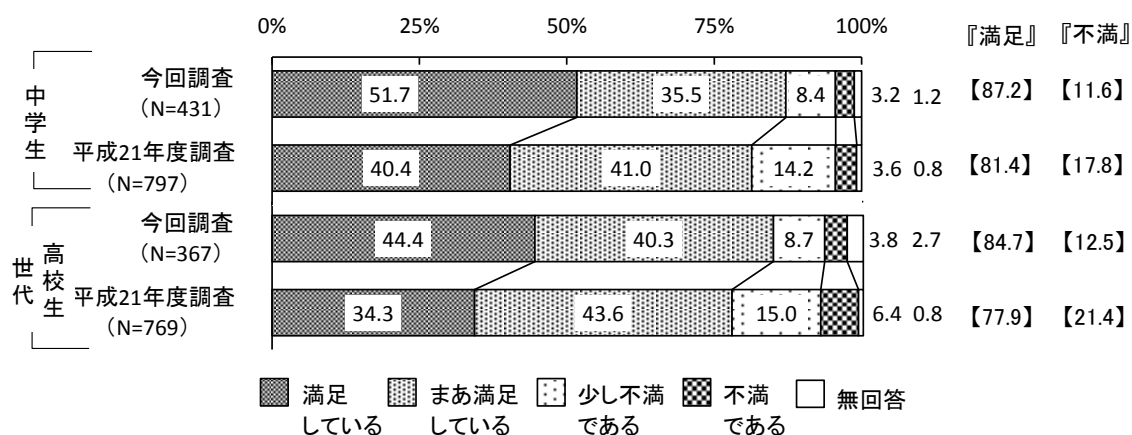
		標本数	たくさんいる	少しいる	いない	無回答	『いる』 (%)	
(ア) 会えばあいさつをする大人	全体	800 100.0	354 44.3	386 48.3	54 6.8	6 0.8	740 92.6	
	性別	中学生:男性	192	44.8	48.4	5.7	1.0	93.2
		中学生:女性	238	52.1	43.3	3.8	0.8	95.4
		高校生世代:男性	153	40.5	50.3	8.5	0.7	90.8
		高校生世代:女性	214	37.9	52.3	9.3	0.5	90.2
		無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	66.6
(イ) 会えば立ち話をする大人	全体	800 100.0	70 8.8	348 43.5	375 46.9	7 0.9	418 52.3	
	性別	中学生:男性	192	10.4	35.9	52.6	1.0	46.3
		中学生:女性	238	10.1	51.7	37.4	0.8	61.8
		高校生世代:男性	153	8.5	47.1	43.1	1.3	55.6
		高校生世代:女性	214	6.1	38.8	54.7	0.5	44.9
		無回答	3	-	33.3	66.7	-	33.3
(ウ) いっしょにスポーツをしたり、活動したりする大人	全体	800 100.0	64 8.0	172 21.5	557 69.6	7 0.9	236 29.5	
	性別	中学生:男性	192	12.0	26.0	60.9	1.0	38.0
		中学生:女性	238	6.3	24.8	68.1	0.8	31.1
		高校生世代:男性	153	9.8	21.6	67.3	1.3	31.4
		高校生世代:女性	214	5.1	13.6	80.8	0.5	18.7
		無回答	3	-	33.3	66.7	-	33.3
(エ) 悩みごとを相談できる大人	全体	800 100.0	39 4.9	185 23.1	566 70.8	10 1.3	224 28.0	
	性別	中学生:男性	192	6.3	24.5	67.7	1.6	30.8
		中学生:女性	238	3.8	23.5	71.0	1.7	27.3
		高校生世代:男性	153	5.2	23.5	69.9	1.3	28.7
		高校生世代:女性	214	4.2	21.5	73.8	0.5	25.7
		無回答	3	33.3	-	66.7	-	33.3
(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人	全体	800 100.0	166 20.8	336 42.0	287 35.9	11 1.4	502 62.8	
	性別	中学生:男性	192	25.0	46.4	26.6	2.1	71.4
		中学生:女性	238	24.8	41.6	31.9	1.7	66.4
		高校生世代:男性	153	16.3	43.8	38.6	1.3	60.1
		高校生世代:女性	214	15.4	37.4	46.7	0.5	52.8
		無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	66.6

第4章 家族や家庭

1. 家庭生活の満足度

問 25 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

図Ⅱ－４－１ 家庭生活の満足度（平成21年度調査比較）



家庭生活に「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足』は、中学生では87.2%、高校生世代では84.7%と8割を超えている。

平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともに『満足』が約6～7ポイント増加している。性別にみると、『満足』は高校生世代では男女でほぼ同じであるが、中学生では男性の方が約6ポイント高い。

表Ⅱ－４－１ 家庭生活の満足度 [全体、性別]

		標本数	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	無回答	『満足』	『不満』
全体		800	387	302	68	28	15	86.2	12.0
性別	中学生:男性	192	49.0	41.7	5.7	2.1	1.6	90.7	7.8
	中学生:女性	238	53.8	30.7	10.5	4.2	0.8	84.5	14.7
	高校生世代:男性	153	44.4	40.5	7.2	5.2	2.6	84.9	12.4
	高校生世代:女性	214	44.4	40.2	9.8	2.8	2.8	84.6	12.6
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-

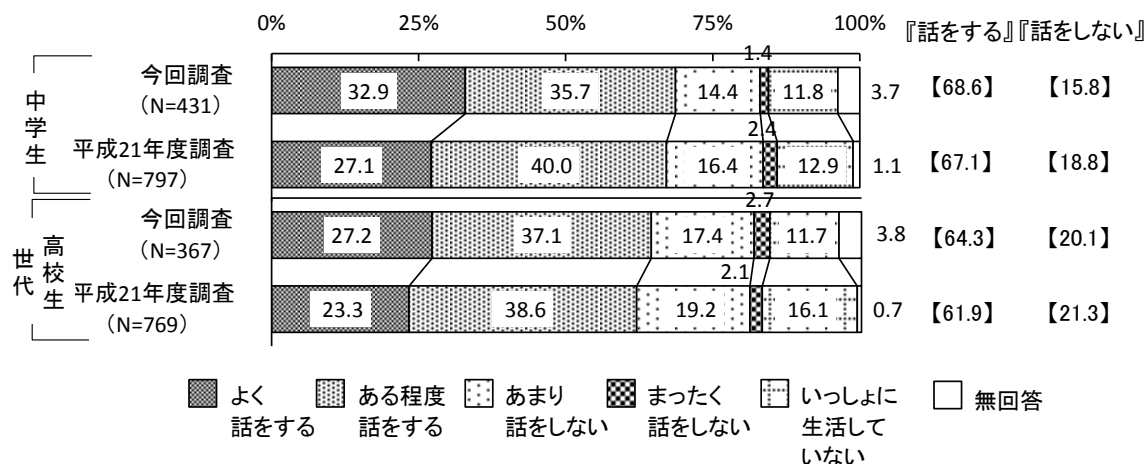
2. 父親との会話

(1) 父親との会話の程度

問 26 あなたはお父さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(○は1つ)

【該当しない場合は回答不要です。】

図Ⅱ-4-2 父親との会話の程度（平成21年度調査比較）



父親との会話の状況について「よく話をする」と「ある程度話をする」を合わせた『話をする』は、中学生で68.6%、高校生世代で64.3%となっている。

平成21年度調査と比較すると、『話をする』は中高生世代ともあまり大きな変化はみられないが、若干増加している。

性別にみると、『話をする』は中学生では女性の方が5.5ポイント高く、高校生世代では男性の方が若干高い。

家庭生活の満足度別にみると、家庭生活に満足している人ほど父親とよく話をしており、不満な人ほど話をしないという傾向が顕著にみられる。

表Ⅱ-4-2 父親との会話の程度 [全体、性別、家庭生活の満足度別]

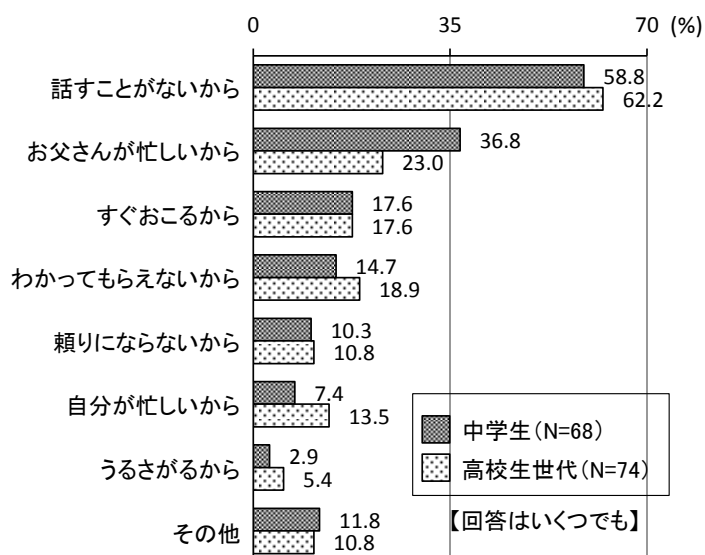
		標本数	よく話をする	ある程度話をする	あまり話さない	まったく話さない	いっしょに生活していない	無回答	『話をする』	『話をしない』
全体		800	243	290	127	16	94	30	533	143
		100.0	30.4	36.3	15.9	2.0	11.8	3.8	66.7	17.9
性別	中学生:男性	192	28.6	37.0	15.1	2.1	12.5	4.7	65.6	17.2
	中学生:女性	238	36.6	34.5	13.9	0.8	11.3	2.9	71.1	14.7
	高校生世代:男性	153	25.5	39.9	17.0	1.3	12.4	3.9	65.4	18.3
	高校生世代:女性	214	28.5	35.0	17.8	3.7	11.2	3.7	63.5	21.5
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	66.6	33.3
家庭生活の満足度別	満足している	387	42.6	35.7	7.5	0.8	11.6	1.8	78.3	8.3
	まあ満足している	302	18.2	40.7	23.8	2.3	12.3	2.6	58.9	26.1
	少し不満である	68	22.1	33.8	27.9	5.9	8.8	1.5	55.9	33.8
	不満である	28	25.0	17.9	25.0	7.1	21.4	3.6	42.9	32.1
	無回答	15	6.7	6.7	-	-	-	86.7	13.4	-

(2) 父親と話をしない理由

問26で「3」または「4」を選んだ人にうかがいます。

問26-1 お父さんと話をしないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-4-3 父親と話をしない理由



父親と話をしない理由は、中高生世代ともに「話すことがないから」が約6割で圧倒的に高く、次いで「お父さんが忙しいから」となっている。

平成21年度調査と比較すると、「話すことがないから」が中学生で4.8ポイント高くなっている。「お父さんが忙しいから」は中高生世代ともに増加している。

性別にみると、「お父さんが忙しいから」は中高生世代ともに男性の方が高い。

家庭生活の満足度別にみると、家庭生活に不満な場合に「わかってもらえないから」や「すぐおこるから」「頼りにならないから」の割合が高くなっている。

表Ⅱ－４－３ 父親と話をしない理由〔全体、性別、家庭生活の満足度〕（平成21年度調査比較）

			(%)								
		標本数	えわ なかつ かから もら	い頼 かり になら な	らす ぐお こる か	らう るさ がる か	い話 から こと がな	しお い父 さん が忙	か自 ら分 が忙 しい	そ の 他	
全 体		143	24	15	25	6	86	42	15	17	
		100.0	16.8	10.5	17.5	4.2	60.1	29.4	10.5	11.9	
		中学生	68	14.7	10.3	17.6	2.9	58.8	36.8	7.4	11.8
		高校生世代	74	18.9	10.8	17.6	5.4	62.2	23.0	13.5	10.8
性別	中学生:男性	33	-	9.1	12.1	3.0	60.6	45.5	3.0	9.1	
	中学生:女性	35	28.6	11.4	22.9	2.9	57.1	28.6	11.4	14.3	
	高校生世代:男性	28	21.4	10.7	17.9	3.6	60.7	32.1	14.3	10.7	
	高校生世代:女性	46	17.4	10.9	17.4	6.5	63.0	17.4	13.0	10.9	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
家庭生活の 満足度別	満足している	32	9.4	6.3	12.5	-	62.5	31.3	6.3	15.6	
	まあ満足している	79	16.5	8.9	15.2	3.8	57.0	38.0	15.2	10.1	
	少し不満である	23	26.1	21.7	30.4	13.0	56.5	8.7	4.3	13.0	
	不満である	9	22.2	11.1	22.2	-	88.9	-	-	11.1	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平成21年度 調査	中学生	150	20.7	11.3	20.7	14.0	54.0	30.7	16.0	12.7	
	高校生世代	164	17.1	9.8	15.2	7.9	62.2	18.3	15.2	15.9	

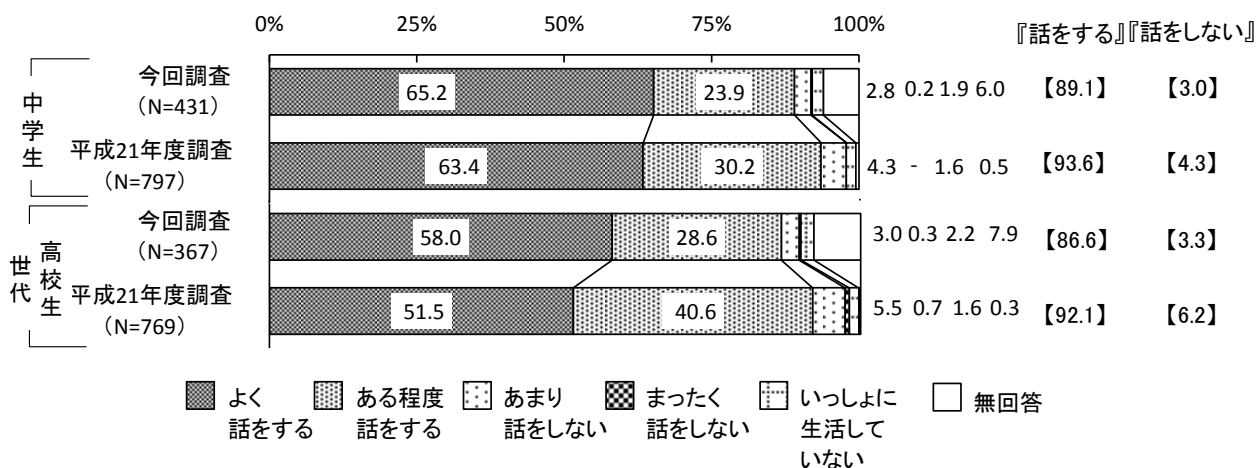
3. 母親との会話

(1) 母親との会話の程度

問 27 あなたはお母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(〇は1つ)

【該当しない場合は回答不要です。】

図Ⅱ-4-4 母親との会話（平成21年度調査比較）



母親との会話の状況は『話をする』が中学生で89.1%、高校生世代で86.6%となっている。平成21年度調査と比較すると、中高生世代とも『話をする』は9割を下回り、中学生が4.5ポイント、高校生世代が5.5ポイント減少している。

性別にみると、中高生世代ともに女性の方が「よく話をする」が男性よりも12ポイント以上高い。

家庭生活の満足度別にみると、父親との会話ほど顕著ではないものの、家庭生活に満足している人は母親ともよく話をしてしていることがわかる。

表Ⅱ-4-4 母親との会話の程度 [全体、性別、家庭生活の満足度別]

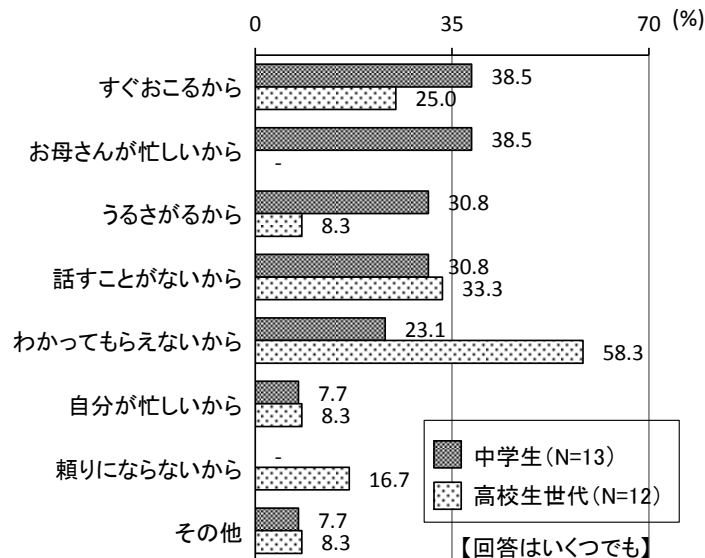
		標本数	よく話をする	ある程度話をする	あまり話さない	まったく話さない	いっしょに生活していない	無回答	『話をする』	『話さない』
全体		800	495	208	24	2	16	55	703	26
		100.0	61.9	26.0	3.0	0.3	2.0	6.9	87.9	3.3
性別	中学生:男性	192	58.3	30.7	3.1	0.5	1.6	5.7	89.0	3.6
	中学生:女性	238	70.6	18.5	2.5	-	2.1	6.3	89.1	2.5
	高校生世代:男性	153	49.0	33.3	5.9	-	3.3	8.5	82.3	5.9
	高校生世代:女性	214	64.5	25.2	0.9	0.5	1.4	7.5	89.7	1.4
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3
家庭生活の満足度別	満足している	387	76.5	14.2	1.0	-	2.1	6.2	90.7	1.0
	まあ満足している	302	51.7	38.1	3.3	-	2.3	4.6	89.8	3.3
	少し不満である	68	45.6	41.2	7.4	-	1.5	4.4	86.8	7.4
	不満である	28	35.7	35.7	17.9	7.1	-	3.6	71.4	25.0
	無回答	15	13.3	-	-	-	-	86.7	13.3	-

(2) 母親と話をしない理由

問 27 で「3」または「4」を選んだ人にうかがいます。

問 27-1 お母さんと話をしないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

図Ⅱ-4-5 母親と話をしない理由



母親と話をしない理由は、中学生では「すぐおこるから」「お母さんが忙しいから」(同率 38.5%)、高校生世代では「わかってもらえないから」(58.3%)が高い。

表Ⅱ-4-5 母親と話をしない理由 [全体、性別、家庭生活の満足度] (平成 21 年度調査比較)

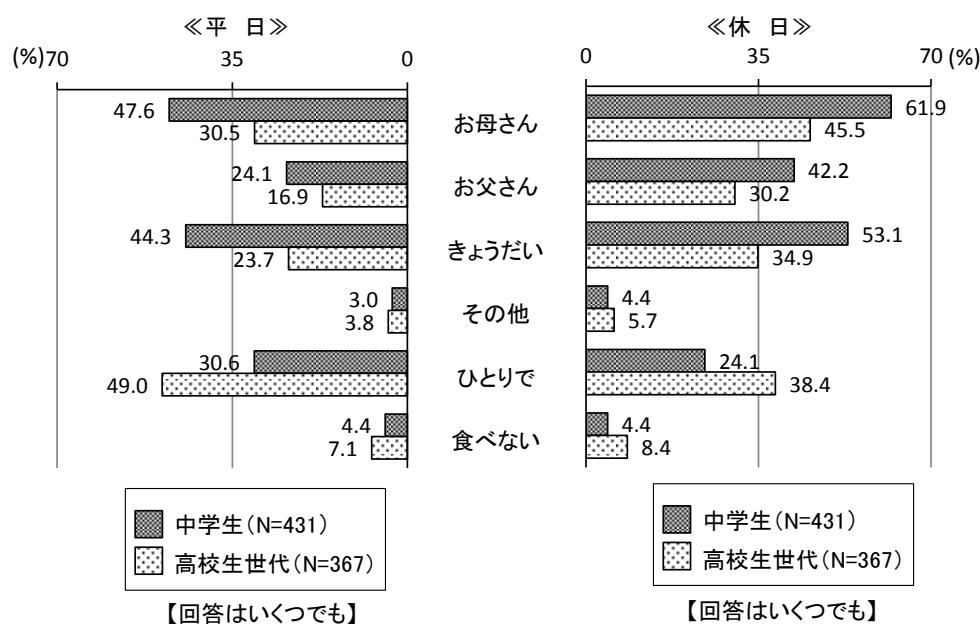
		標本数	えわな なかつ てから ら	い頼 かり らにな らな	らす ぐお こる か	らう るさ がる か	い話 から こと がな	しお い母 さん が忙	か自 ら分 が忙 しい	そ の 他
	全体	26 100.0	10 38.5	2 7.7	8 30.8	5 19.2	8 30.8	6 23.1	3 11.5	2 7.7
	中学生	13	23.1	-	38.5	30.8	30.8	38.5	7.7	7.7
	高校生世代	12	58.3	16.7	25.0	8.3	33.3	-	8.3	8.3
性別	中学生:男性	7	-	-	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	-
	中学生:女性	6	50.0	-	50.0	33.3	16.7	50.0	-	16.7
	高校生世代:男性	9	44.4	22.2	11.1	11.1	22.2	-	11.1	-
	高校生世代:女性	3	100.0	-	66.7	-	66.7	-	-	33.3
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-
家庭生活の 満足度別	満足している	4	25.0	-	-	25.0	50.0	25.0	25.0	-
	まあ満足している	10	30.0	-	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-
	少し不満である	5	40.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0
	不満である	7	57.1	28.6	28.6	14.3	42.9	14.3	-	14.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成21年度 調査	中学生	34	35.3	11.8	38.2	11.8	44.1	23.5	32.4	2.9
	高校生世代	47	27.7	8.5	14.9	21.3	57.4	4.3	12.8	12.8

4. 食事の状況

(1) 朝食

問 28 あなたは、ふだん誰といっしょに食事をしていますか。平日、休日の(ア)朝食、(イ)夕食のそれぞれについて、あてはまるものをいくつでも選んでください。

図Ⅱ-4-6 食事の状況：朝食



朝食をいっしょに食べるのは、平日の場合、中学生では「お母さん」が47.6%で最も高く、次いで「きょうだい」が44.3%となっている。高校生世代では「ひとりで」が49.0%と最も高く、次いで「お母さん」が30.5%となっている。

休日は、中学生では「お母さん」が61.9%で最も高く、次いで「きょうだい」が53.1%となっている。高校生世代では「お母さん」が45.5%と最も高く、次いで「ひとりで」が38.4%となっている。「食べない」は平日・休日とも高校生世代の方が多い。

平成21年度調査と比較すると、中学生では平日・休日ともに「ひとりで」の割合が減少している。また中高生世代ともに平日・休日いずれも「お母さん」の割合が増加している。

性別にみると、男女の差はあまりないが、中学生では休日の「きょうだい」の割合が女性の方が男性よりも6.4ポイント高くなっている。

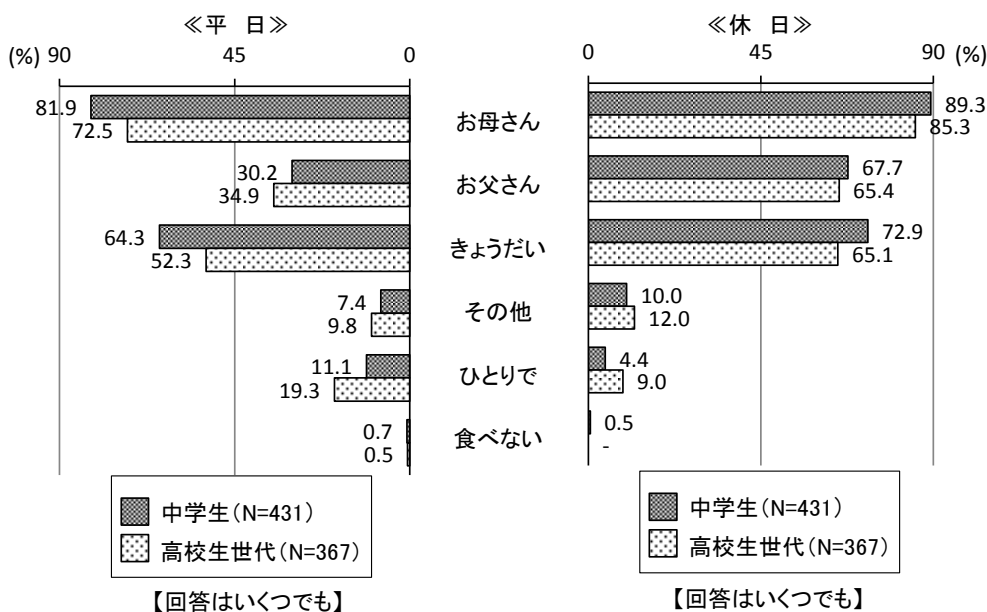
家庭生活の満足度別にみると、不満な人ほど平日・休日ともに「ひとりで」食べる人が多い。

表Ⅱ－４－６ 食事の状況：朝食〔全体、性別、家庭生活の満足度別〕（平成21年度調査比較）

		標本数	平日					休日						
			お母さん	お父さん	いきょうだ	その他	ひとりで	食べない	お母さん	お父さん	いきょうだ	その他	ひとりで	食べない
全体	全体	800	317	166	278	27	314	45	435	294	358	40	246	50
	中学生	431	47.6	24.1	44.3	3.0	30.6	4.4	61.9	42.2	53.1	4.4	24.1	4.4
	高校生世代	367	30.5	16.9	23.7	3.8	49.0	7.1	45.5	30.2	34.9	5.7	38.4	8.4
性別	中学生:男性	192	45.3	20.3	44.3	2.1	32.3	3.1	60.4	40.6	49.5	4.7	24.5	3.6
	中学生:女性	238	49.6	27.3	44.1	3.8	29.4	5.5	63.4	43.7	55.9	4.2	23.9	5.0
	高校生世代:男性	153	32.0	18.3	24.8	3.9	48.4	7.8	42.5	32.7	34.0	5.9	38.6	7.2
	高校生世代:女性	214	29.4	15.9	22.9	3.7	49.5	6.5	47.7	28.5	35.5	5.6	38.3	9.3
	無回答	3	-	-	33.3	-	66.7	-	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-
家庭生活の満足度別	満足している	387	45.0	24.3	37.5	3.1	36.7	3.9	61.2	41.9	48.1	4.4	24.5	5.4
	まあ満足している	302	35.1	17.9	32.5	3.0	41.1	6.3	52.3	33.4	42.7	5.6	34.8	6.3
	少し不満である	68	26.5	17.6	30.9	5.9	47.1	8.8	42.6	33.8	38.2	5.9	36.8	8.8
	不満である	28	39.3	17.9	32.1	7.1	46.4	10.7	21.4	14.3	32.1	7.1	60.7	10.7
	無回答	15	53.3	6.7	33.3	-	20.0	13.3	33.3	26.7	53.3	-	26.7	6.7
平成21年度調査	中学生	797	36.9	18.3	41.3	4.4	39.4	5.4	52.7	35.4	48.1	6.4	29.4	7.7
	高校生世代	769	26.9	13.7	22.5	5.2	50.6	9.9	37.2	23.5	26.3	5.2	41.9	13.1

(2) 夕食

図Ⅱ－４－７ 食事の状況：夕食



夕食をいっしょに食べるのは、平日の場合は、「お母さん」が中学生は 81.9%、高校生世代は 72.5%で最も高くなっている。次いで高いのは「きょうだい」で、中学生が 64.3%、高校生が 52.3%となっている。休日の場合も「お母さん」と「きょうだい」が高いのは同様であるが、「お父さん」の割合が中高生世代ともに平日は3割程度であるのに対して、休日では7割弱になっている。

平成 21 年度調査と比較すると、中高生世代ともに、平日と休日いずれも「お母さん」の割合が増加している。高校生世代では、休日の「お父さん」の割合も7ポイント増加している。

性別にみると、中高生世代ともに、平日と休日いずれも「お母さん」の割合は女性の方が高い。

家庭生活の満足度別にみると、朝食と同じく不満な人ほど平日・休日ともに「ひとりで」食べる人が多い。

表Ⅱ－４－７ 食事の状況：夕食〔全体、性別、家庭生活の満足度別〕（平成 21 年度調査比較）

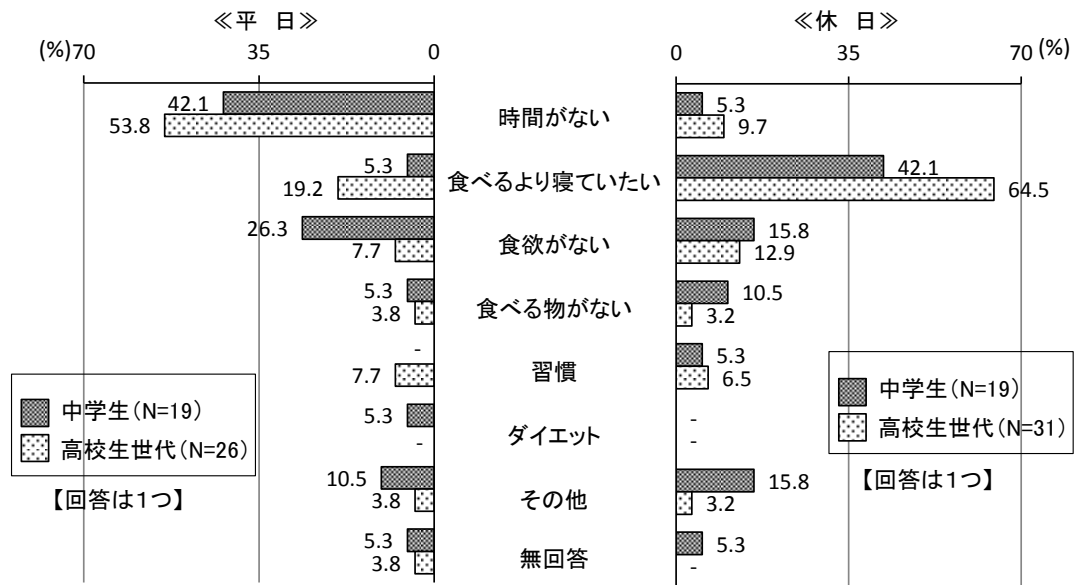
		標 本 数	平日						休日					
			お 母 さん	お 父 さん	い き よ う だ	そ の 他	ひ と り で	食 べ な い	お 母 さん	お 父 さん	い き よ う だ	そ の 他	ひ と り で	食 べ な い
全 体		800 100.0	621 77.6	259 32.4	471 58.9	69 8.6	119 14.9	5 0.6	700 87.5	533 66.6	555 69.4	87 10.9	52 6.5	2 0.3
中学生		431	81.9	30.2	64.3	7.4	11.1	0.7	89.3	67.7	72.9	10.0	4.4	0.5
高校生世代		367	72.5	34.9	52.3	9.8	19.3	0.5	85.3	65.4	65.1	12.0	9.0	-
性 別	中学生:男性	192	79.7	30.2	66.7	9.4	10.4	0.5	86.5	69.3	72.9	9.9	6.3	0.5
	中学生:女性	238	83.6	29.8	62.2	5.9	11.8	0.8	91.6	66.4	72.7	10.1	2.9	0.4
	高校生世代:男性	153	68.0	39.9	51.0	7.2	22.9	0.7	82.4	65.4	62.7	11.1	9.8	-
	高校生世代:女性	214	75.7	31.3	53.3	11.7	16.8	0.5	87.4	65.4	66.8	12.6	8.4	-
	無回答	3	100.0	66.7	100.0	33.3	-	-	100.0	66.7	100.0	-	-	-
家 庭 生 活 の 満 足 度 別	満足している	387	82.4	37.0	61.0	7.2	11.6	0.8	92.0	72.6	72.4	9.3	3.4	0.3
	まあ満足している	302	74.2	29.1	58.6	9.9	16.9	0.3	84.8	62.9	69.2	12.3	8.3	-
	少し不満である	68	72.1	29.4	50.0	8.8	19.1	-	83.8	61.8	61.8	11.8	10.3	-
	不満である	28	78.6	17.9	57.1	17.9	21.4	3.6	82.1	46.4	57.1	21.4	17.9	3.6
	無回答	15	46.7	20.0	53.3	-	26.7	-	53.3	46.7	53.3	-	13.3	-
平成21年度 調査	中学生	797	77.2	34.5	69.4	9.7	13.0	0.9	86.2	67.8	76.3	10.5	5.8	0.5
	高校生世代	769	69.3	34.5	49.3	9.8	19.9	0.5	80.2	58.4	59.7	11.6	11.2	1.0

(3) 朝食をとらない理由

問 28 (ア) 朝食で6.を選んだ人にうかがいます。

問 28-1 朝食を食べない理由は何ですか。(平日、休日それぞれ1つだけ選び、に番号を記入)

図Ⅱ-4-8 朝食をとらない理由



朝食を食べない人に理由をたずねたところ、中高生世代ともに平日は「時間がない」が高く、休日は「食べるより寝ていたい」が高い。

平成 21 年度調査と比較すると、平日では中高生世代ともに「食べるより寝ていたい」と「食欲がない」が減少し、「時間がない」が増加している。

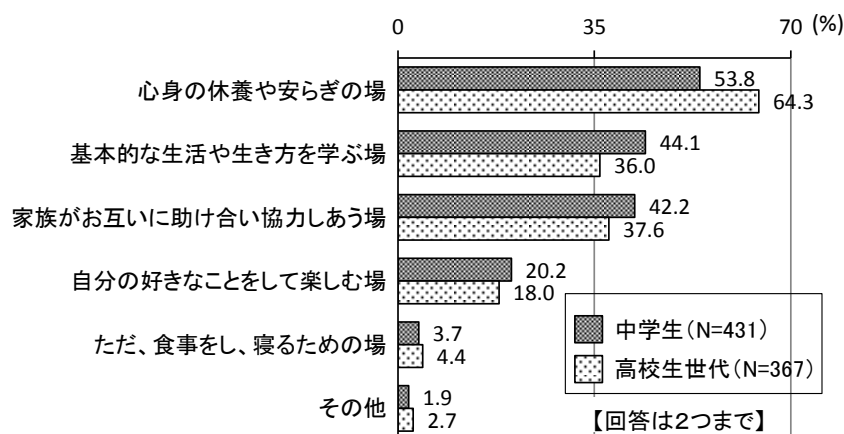
表Ⅱ-4-8 朝食をとらない理由 [全体、性別] (平成 21 年度調査比較)

	標本数	平日								標本数	休日							
		時間がない	た食 い る よ り 寝 て い	食 欲 が な い	食 べ る 物 が な い	習 慣	ダ イ エ ツ ト	そ の 他	無 回 答		時間がない	た食 い る よ り 寝 て い	食 欲 が な い	食 べ る 物 が な い	習 慣	ダ イ エ ツ ト	そ の 他	無 回 答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	45	22	6	7	2	2	1	3	2	50	4	28	7	3	3	-	4	1
	100.0	48.9	13.3	15.6	4.4	4.4	2.2	6.7	4.4	100.0	8.0	56.0	14.0	6.0	-	8.0	2.0	
中学生	19	42.1	5.3	26.3	5.3	-	5.3	10.5	5.3	19	5.3	42.1	15.8	10.5	5.3	-	15.8	5.3
高校生世代	26	53.8	19.2	7.7	3.8	7.7	-	3.8	3.8	31	9.7	64.5	12.9	3.2	6.5	-	3.2	-
性別																		
中学生:男性	6	33.3	-	33.3	16.7	-	-	-	16.7	7	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	14.3
中学生:女性	13	46.2	7.7	23.1	-	-	7.7	15.4	-	12	-	50.0	16.7	16.7	-	-	16.7	-
高校生世代:男性	12	50.0	16.7	8.3	-	8.3	-	8.3	8.3	11	9.1	54.5	9.1	9.1	18.2	-	-	-
高校生世代:女性	14	57.1	21.4	7.1	7.1	7.1	-	-	-	20	10.0	70.0	15.0	-	-	-	5.0	-
平成21年度調査																		
中学生	43	34.9	23.3	32.6	2.3	2.3	2.3	2.3	-	61	4.9	52.5	16.4	3.3	9.8	-	4.9	8.2
高校生世代	76	40.8	28.9	19.7	1.3	6.6	1.3	1.3	-	101	7.9	58.4	15.8	3.0	9.9	1.0	3.0	1.0

5. 家庭に対する意識

問 29 あなたにとって家庭とは、どんなものですか。(〇は2つまで)

図Ⅱ－４－９ 家庭に対する意識



家庭をどのような場としてみているかをたずねたところ、中高生世代ともに「心身の休養や安らぎの場」が最も高く5割を超えている。次いで、中学生では「基本的な生活や生き方を学ぶ場」(44.1%)、高校生世代では「家族がお互いに助け合い協力しあう場」(37.6%)が続く。

平成21年度調査と比較すると、中学生では「心身の休養や安らぎの場」が5.2ポイント減少し、「基本的な生活や生き方を学ぶ場」が6.5ポイント増加している。高校生世代では「自分の好きなことをして楽しむ場」が8.8ポイント減少し、「基本的な生活や生き方を学ぶ場」が2.6ポイント増加している。

第Ⅱ部 中学生・高校生等調査結果

性別にみると、中高生世代ともに「基本的な生活や生き方を学ぶ場」は男性の方が高い。

家庭生活の満足度別にみると、家庭生活に満足している人ほど、家庭について「家族がお互いに助け合い協力しあう場」とする割合が高いのに対し、不満な人ほど「ただ、食事をし、寝るための場」と「自分の好きなことをして楽しむ場」の割合が高くなっている。

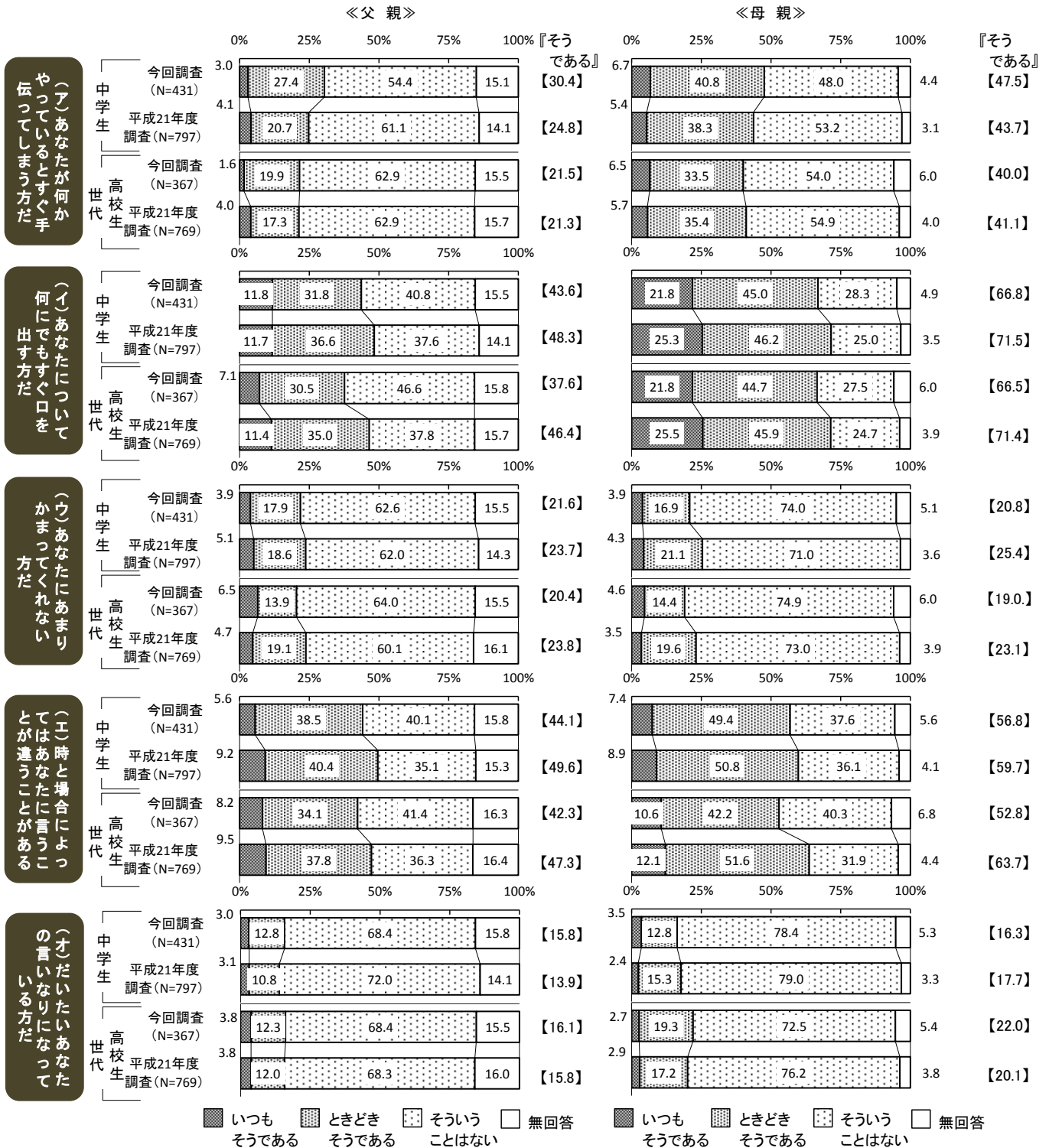
表Ⅱ－４－９ 家庭に対する意識〔全体、性別、家庭生活の満足度別〕（平成21年度調査比較）

		(%)						
	標本数	基本的な生活や生き方を学ぶ場	家族がお互いに助け合い協力しあう場	心身の休養や安らぎの場	自分の好きなことをして楽しむ場	ただ、食事をし、寝るための場	その他	
全体	800 100.0	322 40.3	321 40.1	469 58.6	153 19.1	32 4.0	18 2.3	
中学生	431	44.1	42.2	53.8	20.2	3.7	1.9	
高校生世代	367	36.0	37.6	64.3	18.0	4.4	2.7	
性別	中学生:男性	192	49.0	39.6	52.1	18.8	4.2	-
	中学生:女性	238	40.3	44.1	55.0	21.4	3.4	3.4
	高校生世代:男性	153	37.9	37.9	62.1	18.3	4.6	2.6
	高校生世代:女性	214	34.6	37.4	65.9	17.8	4.2	2.8
	無回答	3	-	66.7	66.7	-	-	-
家庭生活の満足度別	満足している	387	40.3	47.3	62.0	15.0	1.6	1.8
	まあ満足している	302	39.7	35.4	60.3	22.5	4.0	2.3
	少し不満である	68	44.1	30.9	39.7	23.5	8.8	2.9
	不満である	28	28.6	21.4	46.4	32.1	28.6	7.1
	無回答	15	53.3	26.7	46.7	13.3	-	-
平成21年度調査	中学生	797	37.6	43.5	59.0	23.2	4.4	0.8
	高校生世代	769	33.4	31.7	61.4	26.8	7.2	2.0

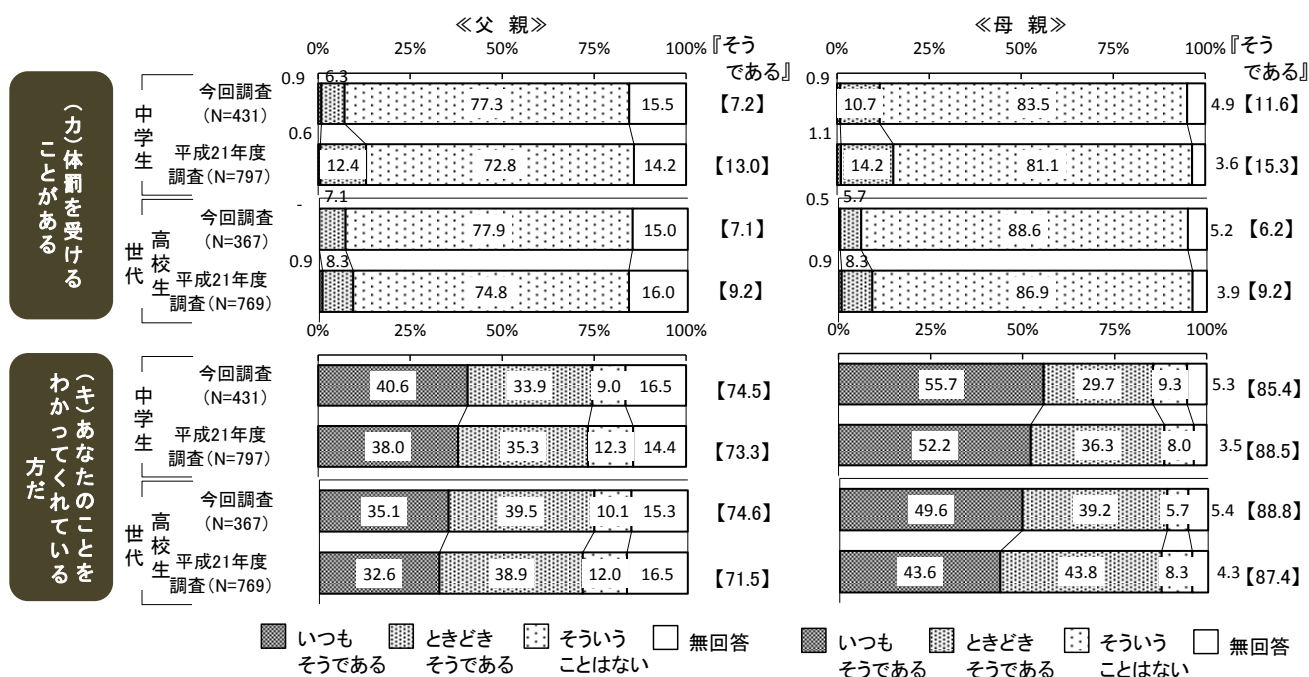
6. 両親のしつけの態度

問30 あなたに対するお父さんやお母さんの日ごろのしつけの態度についてうかがいます。
次の(ア)から(キ)について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。【該当しない場合は、回答不要です。】

図Ⅱ-4-10(1) 両親のしつけの態度(平成21年度調査比較)



図Ⅱ-4-10(2) 両親のしつけの態度 (平成21年度調査比較)



日ごろのしつけの態度について「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合計した『そうである』の割合をみると、まず父親では「(キ) あなたのことをわかってくれる」が中高生世代ともに7割を超えて高くなっている。「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」と「(エ) 時と場合によってはあなたに言うことが違うことがある」も中高生世代ともに4割前後と比較的高い割合になっている。「(カ) 体罰を受けることがある」は中高生世代ともに1割弱となっている。

母親では、「(キ) あなたのことをわかってくれる」が中高生世代ともに8割台で父親同様に高い割合となっている。「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」も中高生世代ともに約7割と高く、「(エ) 時と場合によってはあなたに言うことが違うことがある」も5割台と高い。「(カ) 体罰を受けることがある」は、高校生世代では6.2%で父親の場合よりも低い、中学生では11.6%で父親よりも高い。

平成21年度調査と比較すると、中高生世代ともに父親、母親いずれも「(キ) あなたのことをわかってきている方だ」は「いつもそうである」の割合が増加しており、「(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ」「(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ」「(エ) 時と場合によってはあなたに言うことが違うことがある」などは『そうである』の割合が減少している。中学生では「(ア) あなたが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ」は父親、母親とも『そうである』が約4～5ポイント高くなっている。

性別にみると、父親が「(キ) あなたのことをわかってきている方だ」は、中高生世代とも男性の方が約8ポイント高くなっている。

表Ⅱ－4－10 両親のしつけの態度〔全体、性別〕

(%)

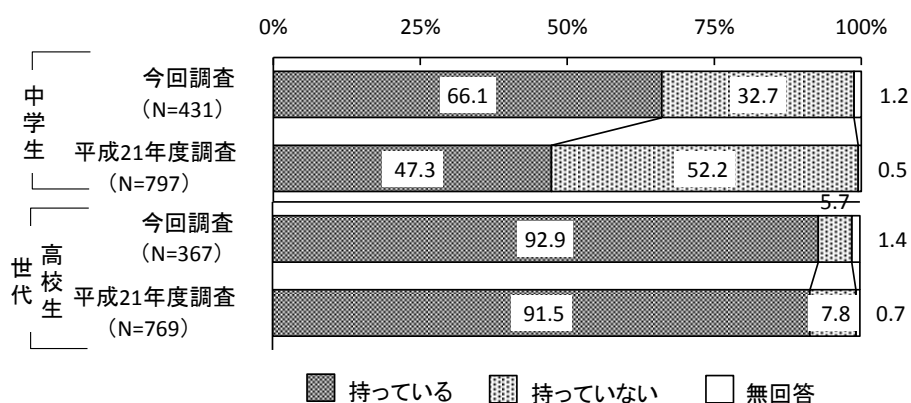
	標本数	父 親				『 そうである 』	母 親				『 そうである 』		
		で いつ も そ う あ る	そ と き ど き あ る	こ そ う は い う な い	無 回 答		で いつ も そ う あ る	そ と き ど き あ る	こ そ う は い う な い	無 回 答			
何(ア)あなたが すぐ手伝って しまう方だ	全 体	800 100.0	19 2.4	191 23.9	468 58.5	122 15.3	210 26.3	53 6.6	299 37.4	407 50.9	41 5.1	352 44.0	
	性別	中学生:男性	192	3.1	25.5	56.3	15.1	28.6	6.3	40.1	50.5	3.1	46.4
		中学生:女性	238	2.9	29.0	52.9	15.1	31.9	7.1	41.6	45.8	5.5	48.7
		高校生世代:男性	153	0.7	19.6	63.4	16.3	20.3	8.5	38.6	44.4	8.5	47.1
		高校生世代:女性	214	2.3	20.1	62.6	15.0	22.4	5.1	29.9	60.7	4.2	35.0
		無回答	3	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
す(イ)あなたに ついて何にでも すぐ口を出す方だ	全 体	800 100.0	77 9.6	250 31.3	348 43.5	125 15.6	327 40.9	174 21.8	359 44.9	224 28.0	43 5.4	533 66.7	
	性別	中学生:男性	192	8.9	35.4	40.1	15.6	44.3	25.5	44.3	26.6	3.6	69.8
		中学生:女性	238	14.3	28.6	41.6	15.5	42.9	18.9	45.8	29.4	5.9	64.7
		高校生世代:男性	153	10.5	25.5	48.4	15.7	36.0	22.9	43.1	26.1	7.8	66.0
		高校生世代:女性	214	4.7	34.1	45.3	15.9	38.8	21.0	45.8	28.5	4.7	66.8
		無回答	3	-	66.7	33.3	-	66.7	-	33.3	66.7	-	33.3
あ(ウ)あなたに あまりがま つてくれない方だ	全 体	800 100.0	41 5.1	128 16.0	507 63.4	124 15.5	169 21.1	34 4.3	126 15.8	596 74.5	44 5.5	160 20.1	
	性別	中学生:男性	192	4.2	16.1	64.1	15.6	20.3	3.6	17.2	75.5	3.6	20.8
		中学生:女性	238	3.8	18.9	61.8	15.5	22.7	4.2	16.8	72.7	6.3	21.0
		高校生世代:男性	153	7.2	13.7	63.4	15.7	20.9	3.3	15.7	73.2	7.8	19.0
		高校生世代:女性	214	6.1	14.0	64.5	15.4	20.1	5.6	13.6	76.2	4.7	19.2
		無回答	3	-	33.3	66.7	-	33.3	-	-	100.0	-	-
よ(エ)時と場合に よってはあなたに 言うことが違う ことがある	全 体	800 100.0	54 6.8	292 36.5	326 40.8	128 16.0	346 43.3	71 8.9	369 46.1	311 38.9	49 6.1	440 55.0	
	性別	中学生:男性	192	6.8	35.9	40.6	16.7	42.7	9.4	49.0	37.0	4.7	58.4
		中学生:女性	238	4.6	40.3	39.9	15.1	44.9	5.9	49.6	38.2	6.3	55.5
		高校生世代:男性	153	4.6	35.3	42.5	17.6	39.9	5.9	46.4	38.6	9.2	52.3
		高校生世代:女性	214	10.7	33.2	40.7	15.4	43.9	14.0	39.3	41.6	5.1	53.3
		無回答	3	-	66.7	33.3	-	66.7	-	66.7	33.3	-	66.7
あ(オ)だいたい になったの言いなり の方だ	全 体	800 100.0	27 3.4	101 12.6	547 68.4	125 15.6	128 16.0	25 3.1	127 15.9	605 75.6	43 5.4	152 19.0	
	性別	中学生:男性	192	2.6	10.4	70.8	16.1	13.0	2.6	14.6	78.1	4.7	17.2
		中学生:女性	238	3.4	14.7	66.4	15.5	18.1	4.2	11.3	78.6	5.9	15.5
		高校生世代:男性	153	2.6	9.2	73.2	15.0	11.8	2.6	20.9	69.3	7.2	23.5
		高校生世代:女性	214	4.7	14.5	65.0	15.9	19.2	2.8	18.2	74.8	4.2	21.0
		無回答	3	-	33.3	66.7	-	33.3	-	33.3	66.7	-	33.3
あ(カ)体罰を受け ることがある	全 体	800 100.0	4 0.5	53 6.6	621 77.6	122 15.3	57 7.1	6 0.8	67 8.4	687 85.9	40 5.0	73 9.2	
	性別	中学生:男性	192	1.0	6.3	77.6	15.1	7.3	1.0	9.9	85.4	3.6	10.9
		中学生:女性	238	0.8	6.3	76.9	16.0	7.1	0.8	11.3	81.9	5.9	12.1
		高校生世代:男性	153	-	7.2	78.4	14.4	7.2	-	4.6	88.9	6.5	4.6
		高校生世代:女性	214	-	7.0	77.6	15.4	7.0	0.9	6.5	88.3	4.2	7.4
		無回答	3	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
く(キ)あなたが わかっていて いる方だ	全 体	800 100.0	305 38.1	292 36.5	76 9.5	127 15.9	597 74.6	423 52.9	273 34.1	61 7.6	43 5.4	696 87.0	
	性別	中学生:男性	192	45.3	33.3	5.7	15.6	78.6	56.3	29.7	9.9	4.2	86.0
		中学生:女性	238	36.6	34.5	11.8	17.2	71.1	55.0	29.8	8.8	6.3	84.8
		高校生世代:男性	153	42.5	36.6	6.5	14.4	79.1	47.1	41.8	4.6	6.5	88.9
		高校生世代:女性	214	29.9	41.6	12.6	15.9	71.5	51.4	37.4	6.5	4.7	88.8
		無回答	3	66.7	33.3	-	-	100.0	66.7	33.3	-	-	100.0

第5章 携帯電話やインターネットの使用状況

1. 携帯電話やスマートフォンなどの有無

問 33 あなたは携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(〇は1つ)

図Ⅱ-5-1 携帯電話やスマートフォンの有無（平成21年度調査比較）



携帯電話やスマートフォン、パソコンを所有しているのは、中学生が66.1%、高校生が92.9%である。

平成21年度調査と比較すると、高校生世代では1.4ポイントの増加であるが、中学生では47.3%から18.8ポイントと2割近く増加している。

性別にみると、所有している割合は中高生世代ともに女性の方が高い。

表Ⅱ-5-1 携帯電話やスマートフォンの有無 [全体、性別]

		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		800	628	162	10
		100.0	78.5	20.3	1.3
性別	中学生:男性	192	58.3	40.6	1.0
	中学生:女性	238	72.3	26.5	1.3
	高校生世代:男性	153	89.5	8.5	2.0
	高校生世代:女性	214	95.3	3.7	0.9
	無回答	3	100.0	-	-

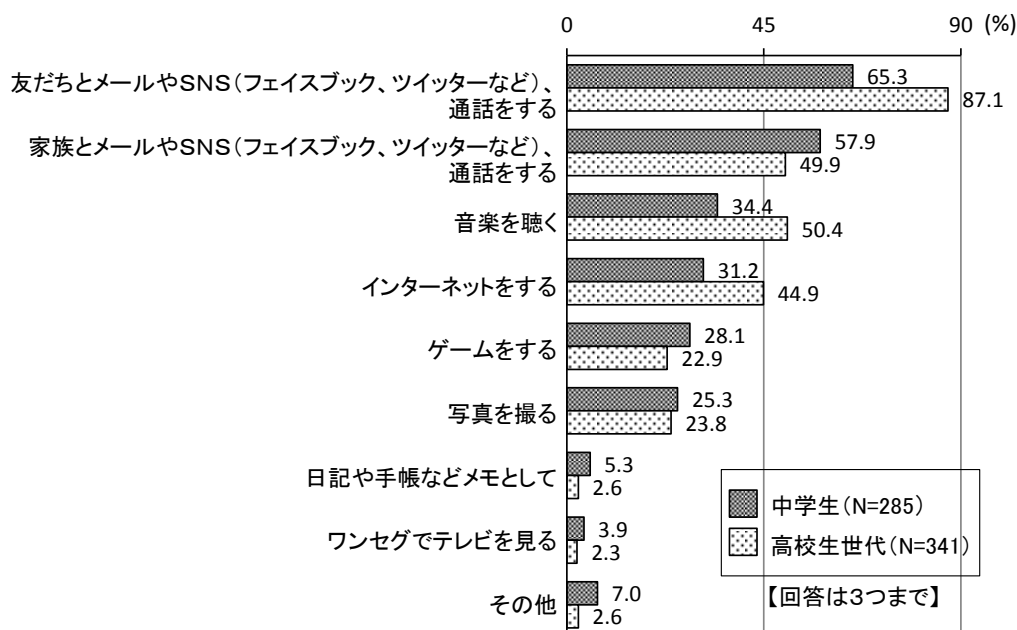
平成21年度調査質問は「携帯電話やPHSを持っていますか」

2. 携帯電話やスマートフォンなどの使用目的

問 33 で「1」を選んだ人にうかがいます。

問 33-1 携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。(〇は3つまで)

図Ⅱ-5-2 携帯電話やスマートフォンの使用目的



携帯電話やスマートフォン、パソコンの使用目的は、「友だちとメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」が中学生 65.3%、高校生世代 87.1%で最も高くなっている。次いで、中学生では「家族とメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」が 57.9%、高校生世代では「音楽を聴く」が 50.4%で高くなっている。

平成 21 年度調査と比較すると、中高生世代とも「家族とメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」と「友だちとメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」での使用が減少し、特に中学生では 20 ポイント以上も低くなっている。反対に「ゲームをする」は中学生で 21.2 ポイント、高校生で 13.7 ポイントと大幅に増えている。また、「インターネット」をするも中高生世代とも約 10 ポイント高くなっている。

性別にみると、中高生世代ともに「家族とメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」と「友だちとメールやSNS（フェイスブック、ツイッターなど）、通話をする」、「写真を撮る」は女性の方が高く、「ゲームをする」は男性の方が圧倒的に高い。

表Ⅱ－５－２ 携帯電話やスマートフォンの使用目的〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)									
		標本数	家族とメールやSNS（フェイスタワーなど）、通話をする*1	友だちとメールやSNS（フェイスブックやツイッターなど）、通話をする*2	ゲームをする	音楽を聴く	インターネットをする	写真を撮る	日記や手帳などメモとして	ワンセグでテレビを見る	その他
全体	全体	628 100.0	336 53.5	484 77.1	159 25.3	270 43.0	243 38.7	153 24.4	24 3.8	19 3.0	29 4.6
	中学生	285	57.9	65.3	28.1	34.4	31.2	25.3	5.3	3.9	7.0
	高校生世代	341	49.9	87.1	22.9	50.4	44.9	23.8	2.6	2.3	2.6
性別	中学生:男性	112	53.6	59.8	45.5	34.8	30.4	15.2	1.8	3.6	5.4
	中学生:女性	172	61.0	68.6	16.3	34.3	32.0	32.0	7.6	4.1	8.1
	高校生世代:男性	137	46.0	81.0	40.9	50.4	44.5	13.9	2.2	2.2	2.2
	高校生世代:女性	204	52.5	91.2	10.8	50.5	45.1	30.4	2.9	2.5	2.9
	無回答	3	33.3	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-
平成21年度調査	中学生	377	81.2	89.1	6.9	30.5	19.4	22.8	3.4	10.6	1.1
	高校生世代	704	63.8	90.5	9.2	45.7	35.2	19.3	5.8	9.4	0.7

平成21年度調査質問は「携帯電話やPHSをどのような目的使うことが多いですか」

*1 平成21年度調査の項目は「家族とメールや通話をする」

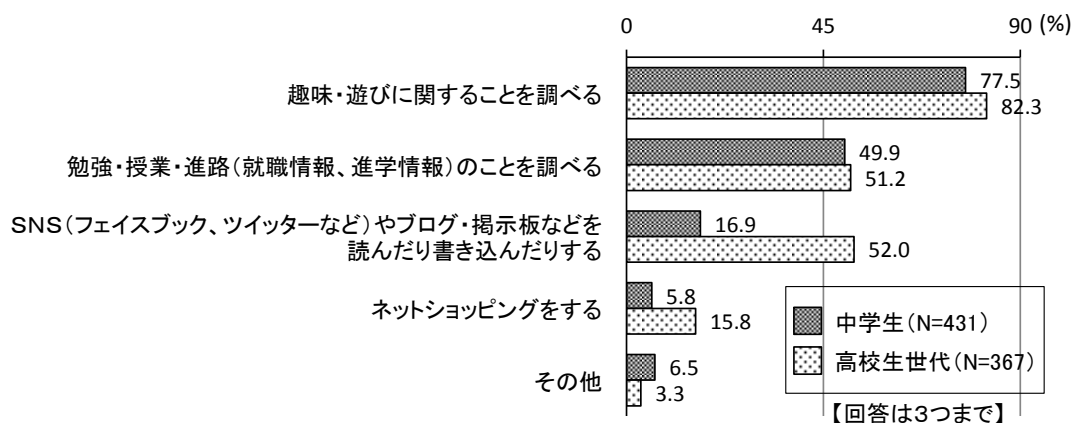
*2 平成21年度調査の項目は「友だちとメールや通話をする」

平成21年度調査には「見知らぬ相手とメールや通話をする」(中学生1.1%、高校生世代1.4%)の項目あり

3. インターネットの使用目的

問 34 あなたはインターネットを主にどのような目的で使用することが多いですか。
(○は3つまで)

図Ⅱ－5－3 インターネットの使用目的



インターネットの使用目的は中高生世代ともに「趣味・遊びに関することを調べる」が約8割で最も高くなっている。次いで、「勉強・授業・進路(就職情報、進学情報)のことを調べる」が中高生世代ともに高く、高校生世代では「SNS(フェイスブック、ツイッターなど)やブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする」も高くなっている。

性別にみると、「SNS(フェイスブック、ツイッターなど)やブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする」と「勉強・授業・進路(就職情報、進学情報)のことを調べる」は中高生世代ともに女性の方が高くなっている。

表Ⅱ-5-3 インターネットの使用目的〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)					
	標本数	を情報・勉強・進捗（授業・進路）の調べること	を趣味・遊びにすること	ネットショッピングをする	ブログ・掲示板・SNS（フェイスブック・ツイッター）の閲覧・投稿・コメントの書き込みなどをする	ダウンロード（音楽・ゲーム）	その他
全体	800 100.0	405 50.6	638 79.8	83 10.4	264 33.0	40 5.0	
中学生	431	49.9	77.5	5.8	16.9	6.5	
高校生世代	367	51.2	82.3	15.8	52.0	3.3	
性別	中学生:男性	192	46.4	72.4	7.3	13.0	5.2
	中学生:女性	238	52.9	81.5	4.6	20.2	7.6
	高校生世代:男性	153	47.1	85.0	14.4	41.2	2.0
	高校生世代:女性	214	54.2	80.4	16.8	59.8	4.2
	無回答	3	66.7	100.0	-	-	-
平成21年度調査	中学生	595	49.7	76.8	5.5	21.3	3.9
	高校生世代	686	50.7	67.9	11.7	24.3	1.5

平成21年度調査には「音楽・ゲームをダウンロードする」(中学生43.4%、高校生世代58.9%)

「通信ゲームをする」(中学生9.4%、高校生世代6.0%)

「ホームページ(ブログやプロフを含む)を作る・更新する」(中学生20.5%、高校生世代33.2%)

「チャットに参加する」(中学生3.4%、高校生世代3.1%)の設問あり

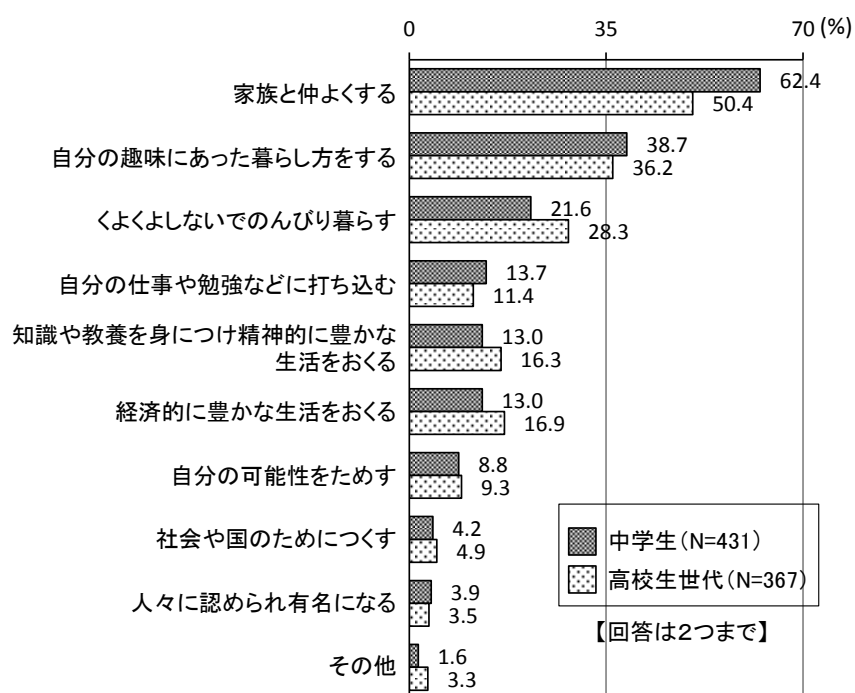
()内は平成21年度調査項目

第6章 将来について

1. 希望する暮らし方

問 16 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は2つまで)

図Ⅱ－6－1 希望する暮らし方



人の暮らし方についての考えは、「家族と仲よくする」が中学生 62.4%、高校生世代 50.4%で突出して高い。次いで「自分の趣味にあった暮らし方をする」がともに4割弱となっている。「くよくよしないでのんびり暮らす」も2～3割と比較的高い。

平成21年度調査と比較すると、「家族と仲よくする」が中高生世代ともに増加している。

性別にみると、中高生世代ともに、男性は「経済的に豊かな生活を送る」が高く、女性は「家族と仲よくする」が高くなっている。

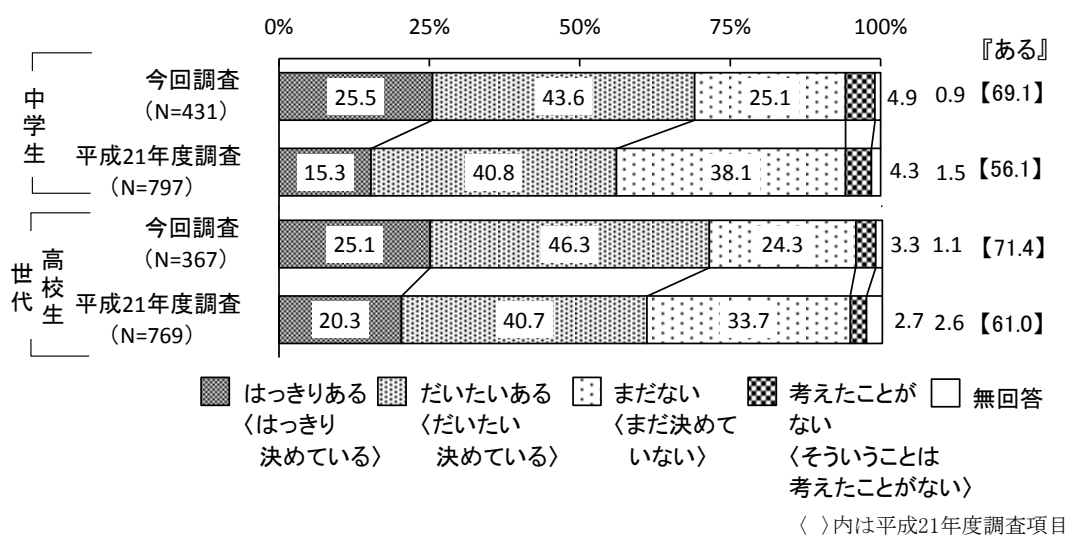
表Ⅱ－6－1 希望する暮らし方〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

		(%)											
		家族と仲よくする	暮らす	くよくよしないでのんびり	自分の仕事や勉強などに打ち込む	社会や国のためにつくす	自分の趣味にあつた暮らし方をする	知的な豊かな生活をおくる	知識や教養を身につけ精神的に豊かな生活をおくる	経済的に豊かな生活をおくる	自分の可能性をためす	人々に認められ有名になる	その他
全体	全体	800	197	101	36	300	117	119	72	31	20		
		100.0	24.6	12.6	4.5	37.5	14.6	14.9	9.0	3.9	2.5		
	中学生	431	21.6	13.7	4.2	38.7	13.0	13.0	8.8	3.9	1.6		
	高校生世代	367	28.3	11.4	4.9	36.2	16.3	16.9	9.3	3.5	3.3		
性別	中学生:男性	192	24.5	15.6	4.7	36.5	13.5	15.1	10.9	3.1	0.5		
	中学生:女性	238	19.3	12.2	3.8	40.8	12.6	10.9	7.1	4.6	2.5		
	高校生世代:男性	153	26.8	11.1	8.5	35.9	16.3	19.0	10.5	4.6	4.6		
	高校生世代:女性	214	29.4	11.7	2.3	36.4	16.4	15.4	8.4	2.8	2.3		
	無回答	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-	33.3	33.3		
平成21年度調査	中学生	797	25.1	9.0	2.0	38.8	14.2	17.2	12.8	5.5	0.8		
	高校生世代	769	25.2	9.4	1.3	39.8	11.8	25.7	12.2	5.2	0.8		

2. 将来の目標

問 17 あなたは将来の目標がありますか。(〇は1つ)

図Ⅱ－6－2 将来の目標（平成21年度調査比較）



将来の目標は、中高生世代ともに「だいたいある」が最も高く4～5割を占めている。次いで中高生世代ともに「はっきりある」と「まだない」がそれぞれ25%前後となっている。

平成21年度調査と比較すると、調査項目の若干の違いはあるが、「はっきりある」と「だいたいある」を合わせた将来の希望が『ある』割合は中高生世代とも10ポイント以上増えている。

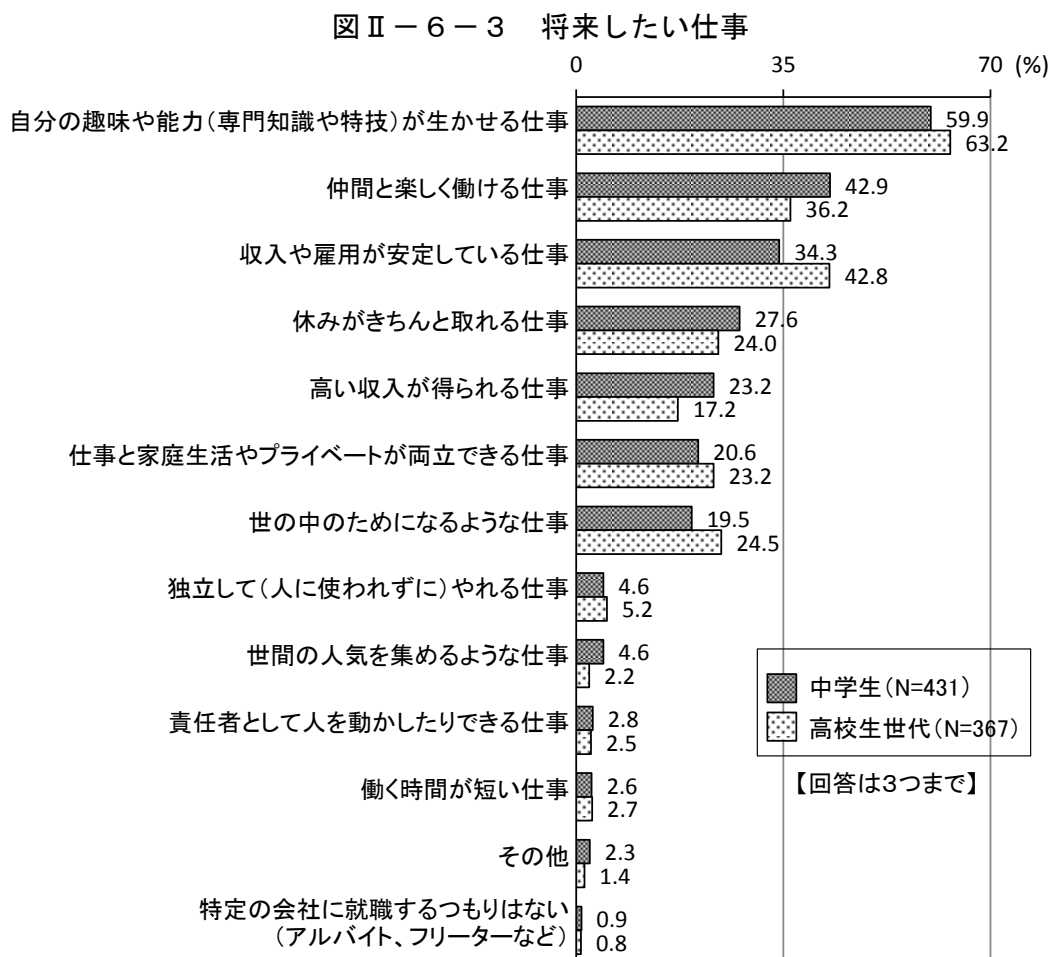
性別にみると、中高生世代ともに「まだない」と「考えたことがない」は男性の方が高くなっている。

表Ⅱ－6－2 将来の目標 [全体、性別]

		標本数	はっきりある	だいたいある	まだない	考えたことがない	無回答	『ある』
全体		800	203	358	197	34	8	561
		100.0	25.4	44.8	24.6	4.3	1.0	70.2
性別	中学生:男性	192	24.0	38.0	29.7	7.8	0.5	62.0
	中学生:女性	238	26.9	47.9	21.4	2.5	1.3	74.8
	高校生世代:男性	153	24.2	40.5	30.1	4.6	0.7	64.7
	高校生世代:女性	214	25.7	50.5	20.1	2.3	1.4	76.2
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6

3. 将来したい仕事

問 18 将来、あなたがつきたいと思う仕事は次のどれですか。(〇は3つまで)



将来つきたいと思う仕事は、中高生世代ともに「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事」が約6割で最も高い。次いで、中学生では「仲間と楽しく働ける仕事」（42.9%）、「収入や雇用が安定している仕事」（34.3%）となり、高校生世代では「収入や雇用が安定している仕事」（42.8%）、「仲間と楽しく働ける仕事」（36.2%）と続く。

平成 21 年度調査と比較すると、「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事」が中高生世代ともに増加しており、特に高校生世代では 13.7 ポイントも増加している。「仲間と楽しく働ける仕事」と「収入や雇用が安定している仕事」は中高生世代ともに減少している。その他、中学生では「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」が 6.8 ポイント減少し、高校生世代では「世の中のためになるような仕事」が 9 ポイント増加している。

性別にみると、中高生世代ともに男性は「高い収入が得られる仕事」が高く、女性は「仲間と楽しく働ける仕事」や「休みがきちんと取れる仕事」が高い。

表Ⅱ-6-3 将来したい仕事〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）

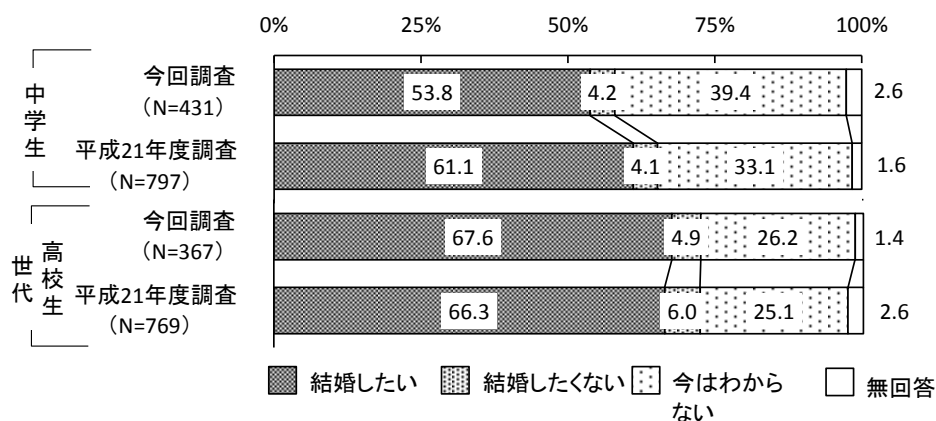
（％）

		標本数	自分の趣味や能力（専門知識や特 技）が生かせる仕事	仲間と楽しく働ける仕事	働く時間が短い仕事	休みがきちんと取れる仕事	収入や雇用が安定している仕事	高い収入が得られる仕事	仕事と家庭生活やプライベートが両 立できる仕事	責任者として人を動かしたりできる 仕事	独立して（人に使われずに）やれる 仕事	世の中のためになるような仕事	世間の人気を集めるような仕事	その他	特定の会社に就職するつもりはない （アルバイト、フリーターなど）
全体		800	491	318	21	207	306	163	176	21	39	174	28	16	7
		100.0	61.4	39.8	2.6	25.9	38.3	20.4	22.0	2.6	4.9	21.8	3.5	2.0	0.9
	中学生	431	59.9	42.9	2.6	27.6	34.3	23.2	20.6	2.8	4.6	19.5	4.6	2.3	0.9
	高校生世代	367	63.2	36.2	2.7	24.0	42.8	17.2	23.2	2.5	5.2	24.5	2.2	1.4	0.8
性別	中学生:男性	192	63.5	33.9	1.6	26.0	32.8	24.5	18.2	3.1	2.1	20.8	3.1	3.1	1.0
	中学生:女性	238	57.1	50.4	3.4	29.0	35.7	21.8	22.7	2.1	6.3	18.5	5.9	1.7	0.8
	高校生世代:男性	153	60.1	30.1	4.6	22.2	43.1	19.0	26.8	3.3	6.5	24.8	1.3	2.0	1.3
	高校生世代:女性	214	65.4	40.7	1.4	25.2	42.5	15.9	20.6	1.9	4.2	24.3	2.8	0.9	0.5
	無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	-
平成21年度 調査	中学生	797	50.9	47.2	3.3	33.6	39.5	22.3	27.4	2.1	3.6	19.3	7.3	1.1	0.6
	高校生世代	769	49.5	44.1	2.9	26.8	48.5	22.9	24.4	2.6	5.3	15.5	5.1	0.4	0.9

4. 将来の結婚の希望

問 19 あなたは、将来結婚したいですか。(○は1つ)

図Ⅱ－6－4 将来の結婚の希望（平成21年度調査比較）



将来の結婚の希望は、「結婚したい」が中学生では53.8%、高校生世代では67.6%となっている。

平成21年度調査と比較すると、高校生世代は同じような結果となっているが、中学生では「結婚したい」が7.3ポイント減少している。

性別にみると、高校生世代ではあまり違いはないが、中学生では「結婚したい」の割合が女性は男性より16.1ポイントも高くなっている。

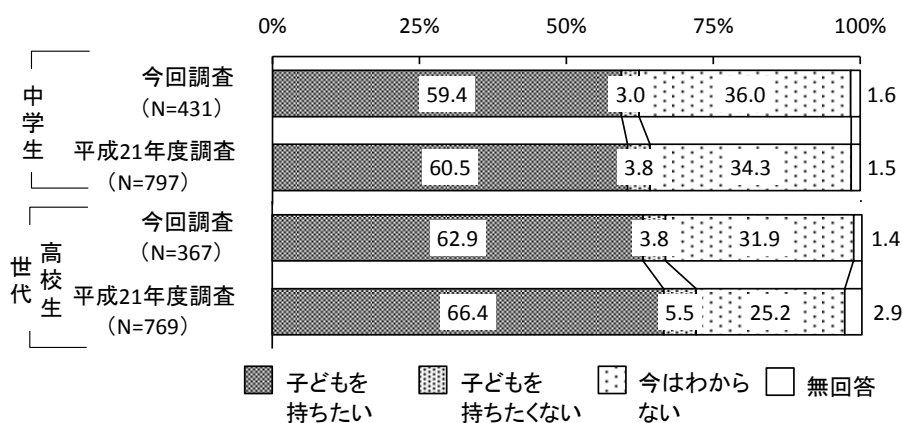
表Ⅱ－6－4 将来の結婚の希望 [全体、性別]

		標本数	結婚したい (%)	な 結 い 婚 し た く	な 今 い は わ か ら	無 回 答
全体		800	481	36	267	16
		100.0	60.1	4.5	33.4	2.0
性別	中学生:男性	192	44.8	4.2	49.0	2.1
	中学生:女性	238	60.9	4.2	31.9	2.9
	高校生世代:男性	153	66.0	5.2	28.1	0.7
	高校生世代:女性	214	68.7	4.7	24.8	1.9
	無回答	3	66.7	-	33.3	-

5. 将来の子どもの希望

問 20 あなたは、将来子どもを持ちたいですか。(○は1つ)

図Ⅱ－6－5 将来の子どもの希望（平成21年度調査比較）



将来の子どもの希望については、中高生世代ともに「子どもを持ちたい」が約6割となっている。

平成21年度調査と比較すると、中学生はほぼ同じ結果となっており、高校生世代では「子どもを持ちたい」の割合が3.5ポイント減少している。

性別にみると、中高生世代ともに、女性の方が「子どもを持ちたい」が高く、中学生では21.5ポイント、高校生世代では約10.4ポイントの差がある。

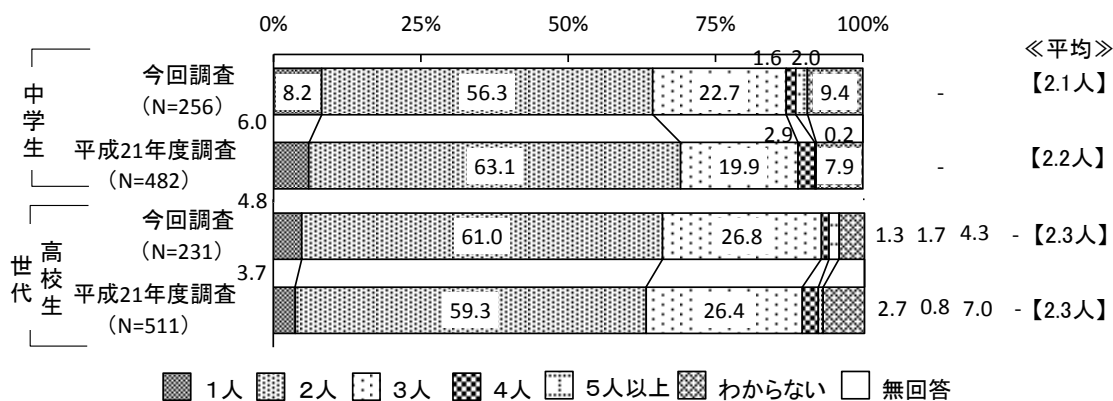
表Ⅱ－6－5 将来の子どもの希望 [全体、性別]

		標本数	た子どもを持ちたい (%)	た子どもを持ちたくない (%)	いはわからぬ (%)	無回答 (%)
全体		800	488	27	273	12
		100.0	61.0	3.4	34.1	1.5
性別	中学生:男性	192	47.4	2.6	49.0	1.0
	中学生:女性	238	68.9	3.4	25.6	2.1
	高校生世代:男性	153	56.9	3.3	39.2	0.7
	高校生世代:女性	214	67.3	4.2	26.6	1.9
	無回答	3	66.7	-	33.3	-

問 20 で 1. を選んだ人にうかがいます。

問 20-1 あなたは、何人くらい子どもを持ちたいと思いますか。(〇は1つ)

図Ⅱ-6-6 希望する子どもの人数(平成21年度調査比較)



将来の希望する子どもの人数については、中高生世代ともに「2人」が6割前後で最も高く、次いで「3人」が約2～3割となっている。

平成21年度調査と比較すると、高校生世代ではほぼ同様の結果となっているが、中学生では、「2人」が減少し「3人」が増加している。

性別にみると、中学生では、「1人」は男性の方が高く、「2人」と「3人」は女性の方が高くなっており、女性の方がより多くの子どもを持つことを望んでいる。

表Ⅱ-6-6 希望する子どもの人数[全体、性別]

		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない	無回答	平均人数
全体		488 100.0	32 6.6	286 58.6	120 24.6	7 1.4	9 1.8	34 7.0	-	2.3
性別	中学生:男性	91	11.0	50.5	20.9	2.2	-	15.4	-	2.2
	中学生:女性	164	6.7	59.8	23.2	1.2	3.0	6.1	-	2.3
	高校生世代:男性	87	5.7	63.2	21.8	-	2.3	6.9	-	2.2
	高校生世代:女性	144	4.2	59.7	29.9	2.1	1.4	2.8	-	2.4
	無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-

◎自由意見

問 35 あなたは、将来どのようになりたい、どんなことをしたいと思いますか。また、福岡市がどんなまちになるといいと思いますか。自由に記入してください。

中高生に将来どのようになりたいか、福岡市がどのようなまちになると良いと思うか、自由に意見を書いてもらった。将来については 567 件があげられた。福岡市がどのようなまちになると良いかについては 629 件の意見があげられた。

主な内容を整理すると、以下のとおりである。

1. 将来どのようになりたい、どんなことをしたいか

1	自分の得意なこと、好きなことをしたい	243
2	人の役に立ちたい、社会貢献したい	160
3	常識のある大人になる、自立した大人になる	48
4	家族と幸福な暮らしをおくる	23
5	楽しい幸福な暮らしをおくりたい	22
6	安定した生活をおくりたい	19
7	普通に生活したい	10
8	仕事と趣味を両立したい	6
9	高収入の職業に就きたい	6
10	平和に暮らしたい	4
11	気楽にのんびり暮らしたい	3
12	人にやさしい大人になりたい	3
13	まだ決めていない	8
14	その他	12

記入件数 567件

2. 福岡市の将来像

1	安心・安全なまち	205
2	住みやすいまち	53
3	明るく楽しい笑顔でいられるまち	40
4	ルールを守る、マナーがよいまち	31
5	お互いが助け合えるまち	31
6	平和なまち	29
7	美しい、自然が豊かなまち	29
8	老人、障がい者、子ども、誰にでもやさしいまち	22
9	元気な活気があるまち	21
10	国際交流が盛んなまち	20
11	環境が良いまち	19
12	皆が暮らしたいまち	11
13	豊かなまち	11
14	教育環境が整っているまち	9
15	良いまち	9
16	便利なまち	8
17	地域のつながりが強いまち	6
18	観光が盛んなまち	6
19	スポーツが盛んなまち	5
20	オリンピックが開催されるまち	4
21	進化・発展するまち	4
22	日本の経済・文化の中心都市、リーダー的なまち	3
23	子育てしやすいまち	2
24	アジアの中心都市	2
25	市民の声が市政に反映されるまち	2
26	その他	38
55	今のままでよい	9

記入件数 629件

第Ⅲ部

青年（18～30 歳）調査結果

Ⅲ 青年（18～30歳）調査結果

第1章 基礎資料

1. 性別

男性が38.6%、女性が61.4%となっている。

2. 年齢

本調査は、18歳から30歳までの男女を対象としている。内訳は、18～24歳が44.7%、25～30歳が54.9%となっている。

3. 同居家族

「母親」が46.9%で最も高く、次いで「父親」が38.7%、「兄弟・姉妹」が32.9%となっている。「配偶者」と同居しているのは21.7%で、「一人暮らし」は26.3%である。

表Ⅲ－1－1 基礎属性（性別、年齢、同居家族）[全体]

	標本数	性別			年齢			同居家族									
		男性	女性	無回答	18～24歳	25～30歳	無回答	配偶者	父親	母親	子ども	祖父母	兄弟・姉妹	親類	その他	一人暮らし	無回答
全体	586 100.0	226 38.6	360 61.4	-	262 44.7	322 54.9	2 0.3										
全体	586 100.0	127 21.7	227 38.7	275 46.9	91 15.5	41 7.0	193 32.9	12 2.0	18 3.1	154 26.3	-						

4. 居住地区

「東区」が21.8%で最も高く、次いで「博多区」が16.4%、「南区」が16.0%、「早良区」が14.0%、「中央区」が12.1%、「西区」が10.1%、「城南区」が9.2%となっている。

5. 居住年数

「10年以上」が38.9%で最も高く、次いで「1年～3年未満」が17.6%、「1年未満」が17.2%、「5年～10年未満」が15.4%、「3年～5年未満」が10.9%となっている。

表Ⅲ－1－2 基礎属性（居住区、居住年数）[全体]

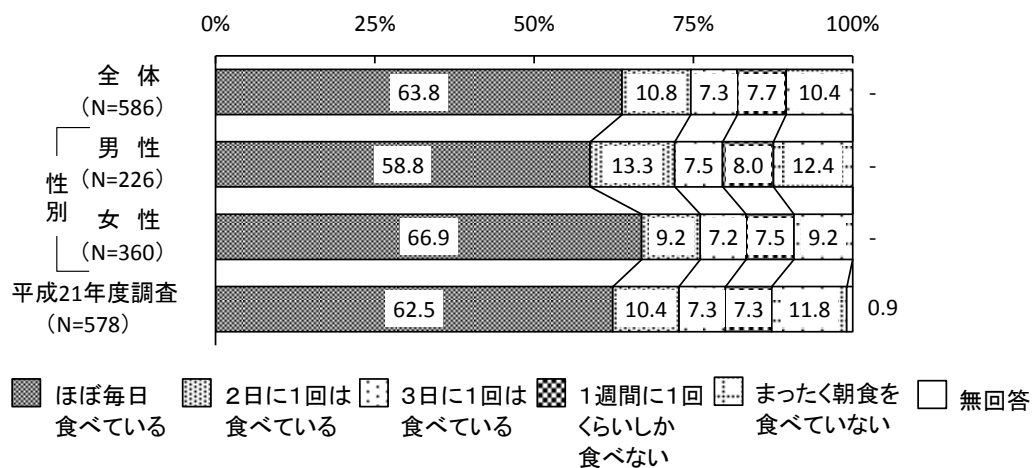
	標本数	居住区								居住年数					
		東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全体	586 100.0	128 21.8	96 16.4	71 12.1	94 16.0	54 9.2	82 14.0	59 10.1	2 0.3	101 17.2	103 17.6	64 10.9	90 15.4	228 38.9	- -

第2章 日ごろの生活状況

1. 朝食の摂取状況

問7 あなたは朝食をどのようにしていますか。(〇は1つ)

図Ⅲ-2-1 朝食の摂取状況〔全体、性別〕(平成21年度調査比較)



朝食を「ほぼ毎日食べている」のは63.8%で、「まったく朝食を食べていない」が10.4%である。

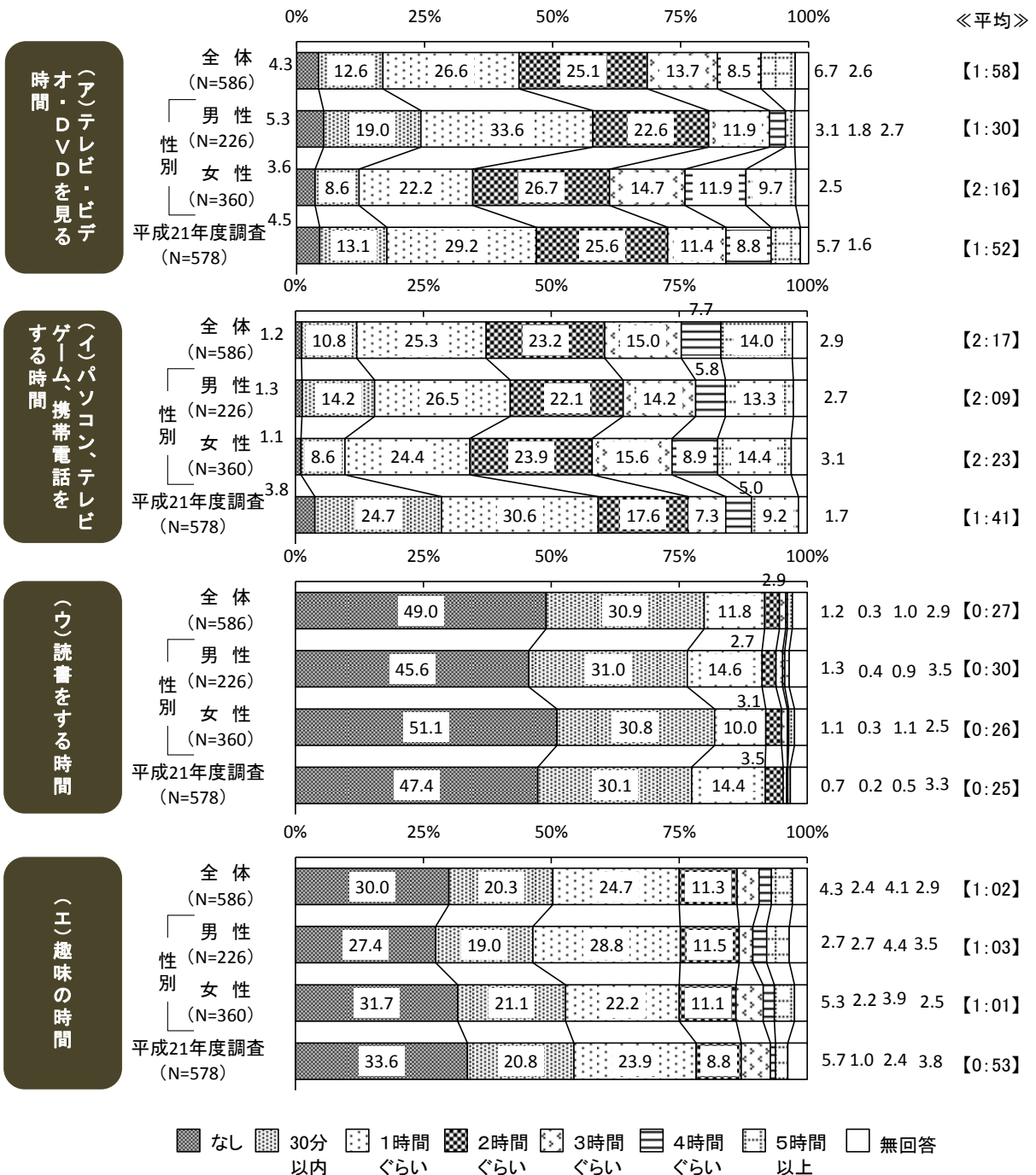
平成21年度調査と比較すると、わずか1ポイント程度ではあるが、「まったく朝食を食べていない」が減少し、「ほぼ毎日食べている」が増加している。

性別にみると、「ほぼ毎日食べている」が女性では66.9%となっており、男性よりも8.1ポイント高い。

2. 生活時間

問8 あなたは、平日に1日当たり平均してどのくらい次のようなことをしていますか。(ア)から(エ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

図Ⅲ-2-2 生活時間 [全体、性別] (平成21年度調査比較)



「(ア) テレビ・ビデオ・DVDを見る時間」は「1時間ぐらい」と「2時間ぐらい」がそれぞれ約25%で、この2つでほぼ半数を占めている。

性別にみると、女性の方が視聴時間は長く、『3時間以上』が3割を超えている。

年齢別にみると、18～24歳に比べて25～30歳の方が視聴時間は長い傾向がある。

「(イ) パソコン、テレビゲーム、携帯電話をする時間」は「1時間ぐらい」が25.3%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が23.2%となっている。平成21年度調査では、「30分以内」が24.7%となっていたが、今回の調査では13.9ポイント減少しており、パソコンや携帯電話に費やす時間は増加している。

性別にみると、「30分以内」が男性は14.2%、女性は8.6%となっており、男性の方が5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、25～30歳よりも18～24歳の方が『2時間以上』の時間を費やす割合は19.2ポイント高くなっている。

「(ウ) 読書をする時間」は「なし」が49.0%で半数を占めており、平成21年度調査とほぼ同じ結果となっている。

性別にみると、「なし」の割合は男性(45.6%)よりも女性(51.1%)の方が高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳の方が読書時間は長くなっている。

「(エ) 趣味の時間」は「なし」が30.0%、「1時間ぐらい」が24.7%、「30分ぐらい」が20.3%となっている。平成21年度調査と比較すると、「なし」の割合がわずかに減少しているものの全体としては大差ない結果となっている。

年齢別にみると、「なし」の割合が18～24歳では20.6%であるのに対して25～30歳では37.9%となっており、17.3ポイントの開きがある。18～24歳では『2時間以上』が約3割となっており、趣味に比較的長い時間を取っている人が25～30歳よりも多い。

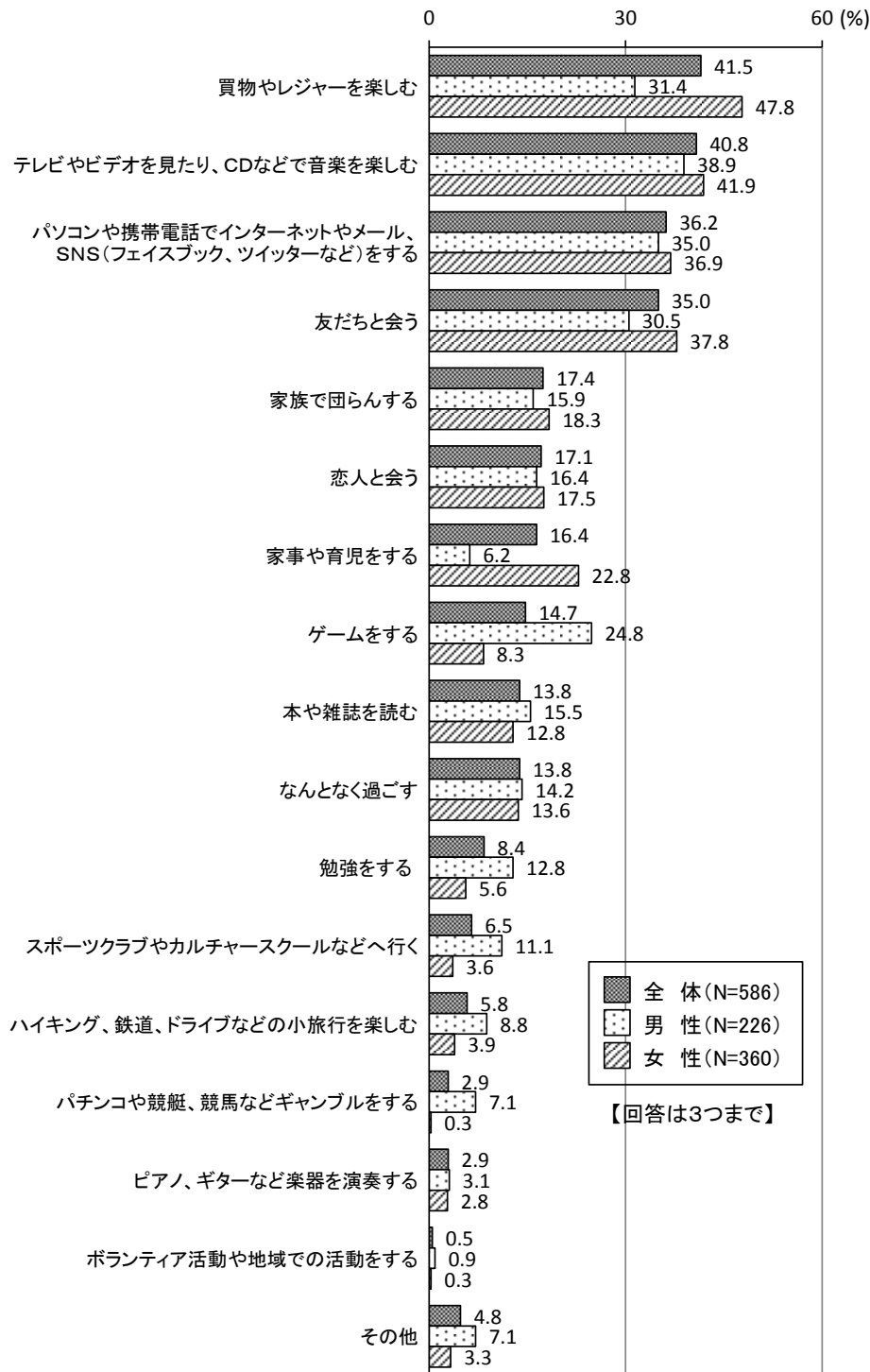
表Ⅲ-2-1 生活時間 [全体、年齢別]

			(%)								
		標本数	なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上	無回答	
(ア) テレビ・ビデオ・DVDを見る時間	全体	586	25	74	156	147	80	50	39	15	
		100.0	4.3	12.6	26.6	25.1	13.7	8.5	6.7	2.6	
	年齢別	18～24歳	262	5.0	16.4	30.2	22.9	12.6	5.0	5.3	2.7
		25～30歳	322	3.7	9.3	23.9	26.7	14.6	11.5	7.8	2.5
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	
(イ) パソコン、テレビゲーム、携帯電話をする時間	全体	586	7	63	148	136	88	45	82	17	
		100.0	1.2	10.8	25.3	23.2	15.0	7.7	14.0	2.9	
	年齢別	18～24歳	262	0.8	5.7	19.8	28.2	15.6	10.7	16.0	3.1
		25～30歳	322	1.6	14.6	29.8	19.3	14.6	5.0	12.4	2.8
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	
(ウ) 読書をする時間	全体	586	287	181	69	17	7	2	6	17	
		100.0	49.0	30.9	11.8	2.9	1.2	0.3	1.0	2.9	
	年齢別	18～24歳	262	45.4	27.5	16.0	5.3	1.5	-	1.1	3.1
		25～30歳	322	51.9	33.5	8.4	0.9	0.9	0.6	0.9	2.8
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
(エ) 趣味の時間	全体	586	176	119	145	66	25	14	24	17	
		100.0	30.0	20.3	24.7	11.3	4.3	2.4	4.1	2.9	
	年齢別	18～24歳	262	20.6	19.5	27.1	16.0	6.1	3.1	5.0	2.7
		25～30歳	322	37.9	20.8	23.0	7.1	2.8	1.9	3.4	3.1
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	

3. 休日の過ごし方

問9 あなたは、仕事や学校が休みの日は主にどのように過ごすことが多いですか。
 (〇は3つまで)

図Ⅲ-2-3 休日の過ごし方 [全体、性別]



休日の過ごし方は、「買い物やレジャーを楽しむ」が41.5%で最も高くなっており、次いで「テレビやビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」が40.8%、「パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」が36.2%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「テレビやビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」が8.9ポイント減少し、「パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」が9ポイント増加している。

性別にみると、男女の差が大きい項目が多く存在し、男性の方が高いのは「ゲームをする」や「勉強をする」、「スポーツクラブやカルチャースクールなどへ行く」、「パチンコや競艇、競馬などギャンブルをする」、女性の方が高いのは「家事や育児をする」や「買い物やレジャーを楽しむ」、「友だちと会う」である。

年齢別にみると、「家事や育児をする」の割合が、18～24歳では6.1%に過ぎないのに対して、25～30歳では24.8%となっており、大きな差がみられる。「買い物やレジャーを楽しむ」も25～30歳の方が14.2ポイント高い。18～24歳の方が高いのは「パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする」で、15.5ポイントの差がある。

表Ⅲ-2-2 休日の過ごし方〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)																
	標本数	テレビやビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ*1	ゲームをする	パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS（フェイスブック、ツイッターなど）をする*2	本や雑誌を読む	ピアノ、ギターなど楽器を演奏する	家事や育児をする	家族で団らんする	買物やレジャーを楽しむ	勉強をする	スポーツクラブやカルチャースクールなどへ行く	パチンコや競艇、競馬などギャンブルをする	恋人と会う	友だちと会う	ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ	ボランティア活動や地域での活動をする	なんとなく過ごす	その他
全体	586 100.0	239 40.8	86 14.7	212 36.2	81 13.8	17 2.9	96 16.4	102 17.4	243 41.5	49 8.4	38 6.5	17 2.9	100 17.1	205 35.0	34 5.8	3 0.5	81 13.8	28 4.8
年齢別																		
18～24歳	262	42.7	18.3	44.7	14.1	5.0	6.1	11.8	33.6	13.0	5.7	1.1	18.3	39.7	3.8	0.4	13.7	6.1
25～30歳	322	39.4	11.5	29.2	13.7	0.9	24.8	22.0	47.8	4.7	7.1	4.3	16.1	30.7	7.5	0.6	14.0	3.7
無回答	2	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
平成21年度調査	578	49.7	15.7	27.2	14.9	4.7	*	17.6	39.6	6.2	5.9	3.1	17.6	36.2	3.3	0.9	21.8	4.8

*1 平成21年度調査の項目は「テレビやビデオ・DVDを見たり、CDなどで音楽を楽しむ」

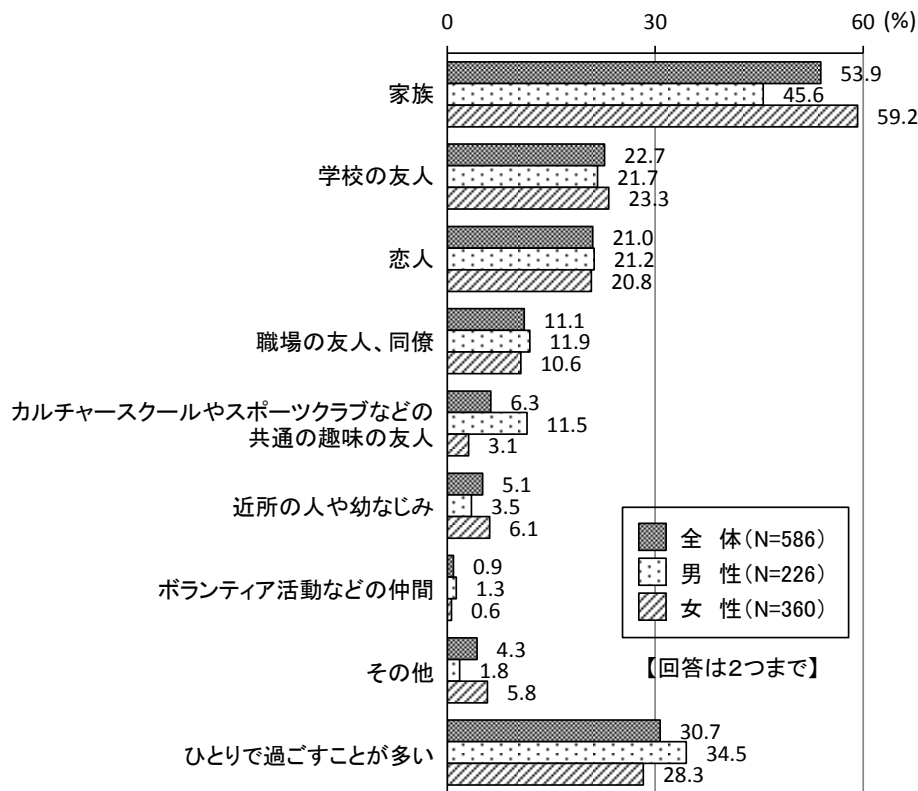
*2 平成21年度調査の項目は「パソコンや携帯電話でインターネットやEメールをする」

* 平成21年度調査項目なし

4. 休日をいっしょに過ごす相手

問10 あなたが、仕事や学校が休みの日は主に誰といっしょに過ごすことが多いですか。
 (〇は2つまで)

図Ⅲ-2-4 休日をいっしょに過ごす相手 [全体、性別]



休日をいっしょに過ごす相手としては、「家族」が53.9%で最も高く、次いで「ひとりで過ごすことが多い」が30.7%、「学校の友人」が22.7%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「近所の人や幼なじみ」が4.1ポイント減少している程度で、全体的に大差はない。

性別にみると、「家族」は女性が59.2%、男性が45.6%で女性の方が13.6ポイントも高くなっている。男性は女性に比べて「カルチャースクールやスポーツクラブなどの共通の趣味の友人」の割合が高い。

年齢別にみると、「家族」は25～30歳の方が8.6ポイント高くなっている。

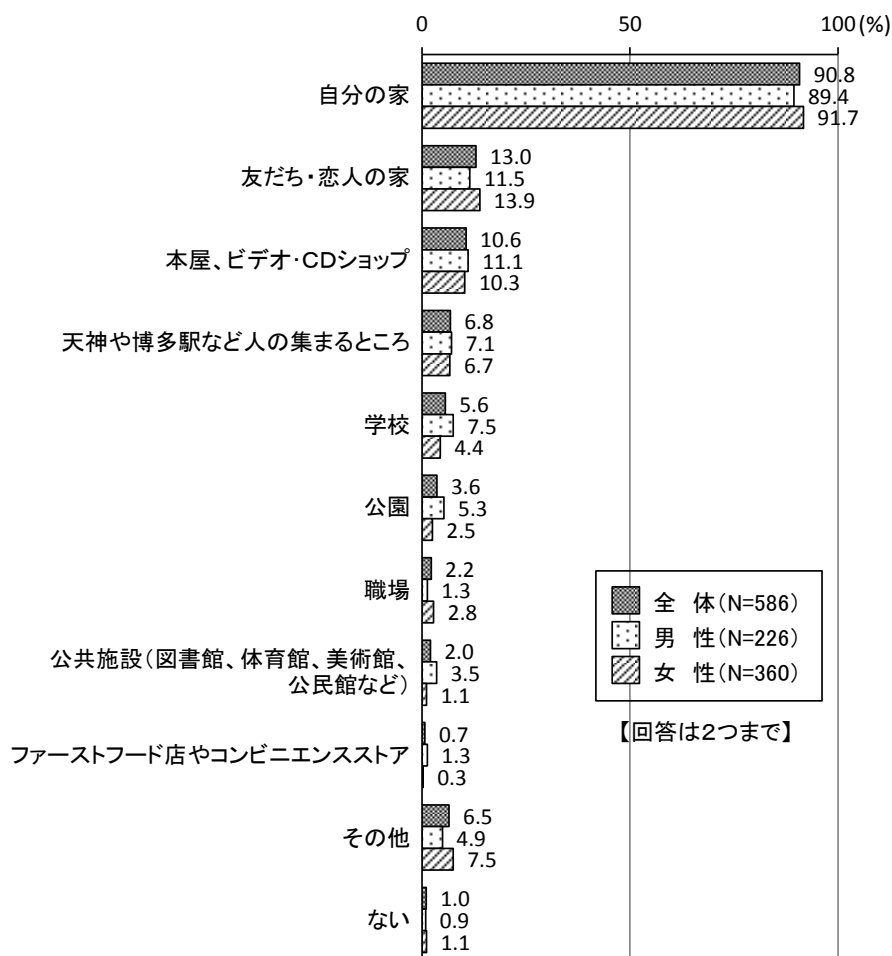
表Ⅲ-2-3 休日をいっしょに過ごす相手 [全体、年齢別] (平成21年度調査比較)

		(%)									
標本数		家族	恋人	学校の友人	職場の友人、同僚	近所の人や幼なじみ	共通の趣味の友人	カルチャーセンターなどの趣味の友人	ボランティア活動などの仲間	その他	ひとりですることが多い
全体	586 100.0	316 53.9	123 21.0	133 22.7	65 11.1	30 5.1	37 6.3	5 0.9	25 4.3	180 30.7	
年齢別	18~24歳	262	49.2	21.0	38.2	6.1	5.3	6.5	1.1	1.1	34.0
	25~30歳	322	57.8	21.1	9.6	14.9	5.0	6.2	0.6	6.8	28.3
	無回答	2	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-
平成21年度調査	578	51.6	23.0	19.6	12.5	9.2	5.4	0.5	0.9	29.6	

5. 居心地のいい場所

問11 あなたの居心地のいい主な場所はどこですか。(〇は2つまで)

図Ⅲ-2-5 居心地のいい場所 [全体、性別]



第Ⅲ部 青年（18～30歳）調査結果

居心地のいい場所としては、「自分の家」が90.8%で圧倒的に高くなっている。次いで「友だち・恋人の家」が13.0%、「本屋、ビデオ・CDショップ」が10.6%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「友だち・恋人の家」が4.6ポイント低くなっているが、その他はあまり変わらない。

性別にみると、女性に比べて男性では「学校」や「公園」がやや高くなっている。

年齢別にみると、「自分の家」は25～30歳が18～24歳よりも4ポイント高くなっている。「学校」を選んでいるのは、ほとんど18～25歳である。

表Ⅲ－２－４ 居心地のいい場所〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)											
		自分の家	友だち・恋人の家	職場	学校	フ ニ ア ー ス ト フ ー ド 店 や コ ン ア	公園	ブ 本 屋 、 ビ デ オ ・ C D シ ョ ッ プ	天 神 や 博 多 駅 な ど 人 の 集 ま る と こ ろ	館 、 美 術 館 、 公 民 館 な ど ） 公 共 施 設 （ 図 書 館 、 体 育 館 、 公 書 館 、 公 民 館 な ど ）	その他	ない	
全体		586 100.0	532 90.8	76 13.0	13 2.2	33 5.6	4 0.7	21 3.6	62 10.6	40 6.8	12 2.0	38 6.5	6 1.0
年 齢 別	18～24歳	262	88.5	16.0	1.1	11.5	1.1	1.9	11.5	6.9	1.5	5.0	1.9
	25～30歳	322	92.5	10.6	3.1	0.6	0.3	5.0	9.9	6.5	2.5	7.8	0.3
	無回答	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
平成21年度調査		578	88.8	17.6	4.3	3.5	1.7	7.4	11.8	3.1	1.9	5.7	2.2

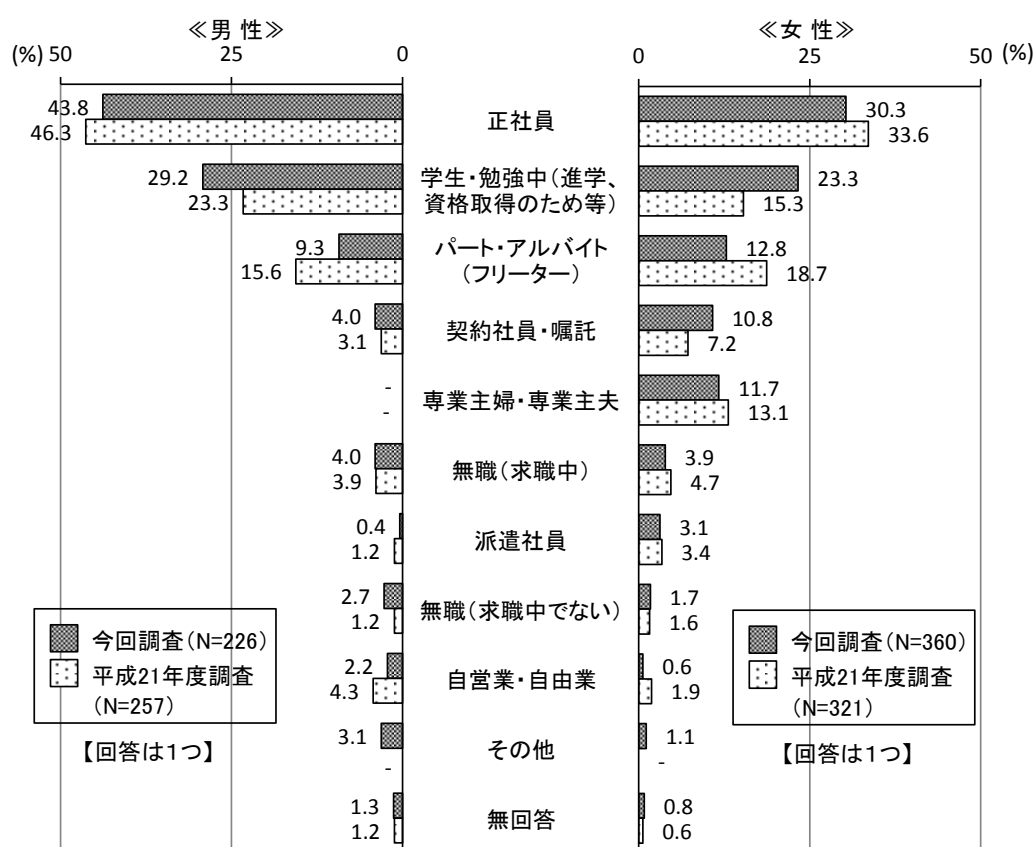
第3章 就業・就学状況

1. 仕事や就学等の状況

(1) 現在の仕事や就学等の状況

問16 現在の仕事や就学等の状況はどのようになっていますか。(〇は1つ)

図Ⅲ-3-1 現在の仕事や就学等の状況〔性別〕(平成21年度調査比較)



現在の就業や就学の状況は、「正社員」が35.5%で最も高く、次いで「学生・勉強中」が25.6%、「パート・アルバイト(フリーター)」が11.4%となっている。

平成21年度調査と比較すると、男女とも「正社員」が約2～3ポイント減少し、「パート・アルバイト(フリーター)」も約6ポイント減少している。増加しているのは「学生・勉強中」と女性では「契約社員・嘱託」である。

性別にみると、男性は「正社員」「学生・勉強中」が高く、女性は「契約社員・嘱託」「パート・アルバイト(フリーター)」「専業主婦」が高い。

年齢別にみると、18～24歳は「学生・勉強中」が半数以上を占めている。25～30歳では「正社員」(47.2%)と「専業主婦・専業主夫」(11.5%)が高い。

表Ⅲ－3－1 現在の仕事や就学等の状況〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

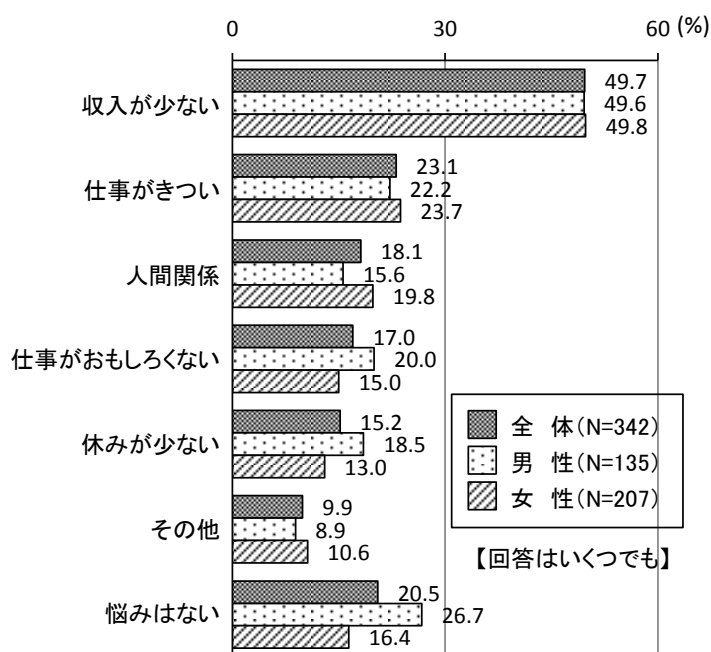
		(%)										
		正社員	契約社員・嘱託	派遣社員	パート・アルバイト (フリーター)	自営業・自由業	専業主婦・専業主夫	無職(求職中)	無職(求職中でない)	資格取得のため(進学、学生・勉強中)	その他	無回答
全体	586 100.0	208 35.5	48 8.2	12 2.0	67 11.4	7 1.2	42 7.2	23 3.9	12 2.0	150 25.6	11 1.9	6 1.0
年齢別	18～24歳	262 21.4	50 5.0	15 1.5	103 10.3	4 0.4	19 1.9	42 4.2	11 1.1	523 52.3	15 1.5	4 0.4
	25～30歳	322 47.2	109 10.9	25 2.5	124 12.4	19 1.9	115 11.5	37 3.7	28 2.8	34 3.4	22 2.2	16 1.6
	無回答	2 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	100.0 100.0	- -	- -
平成21年度調査	578	39.3	5.4	2.4	17.3	2.9	7.3	4.3	1.4	18.9	-	0.9

(2) 仕事上の悩み

問16で「1」～「5」のいずれかを選んだ方にかがいます。

問16-1 現在働いている人で、現在の悩みは何ですか。(〇はいくつでも)

図Ⅲ－3－2 仕事上の悩み〔全体、性別〕



仕事上の悩みとしては、「収入が少ない」が49.7%で最も高く、ほぼ半数の人が収入のことで悩んでいる。次いで「仕事がつい」が23.1%、「人間関係」が18.1%となっている。

平成21年度調査と比較すると、同程度の割合となっている項目が多いが、「休みが少ない」は5.6ポイント減少している。

性別にみると、男性は「休みが少ない」と「仕事がおもしろくない」が女性よりも約5ポイント高くなっており、女性は「人間関係」が男性よりも4.2ポイント高い。

仕事の状況別にみると、契約社員・嘱託と派遣社員という非正規雇用の場合は「収入が少ない」が約6割と高くなっている。一方、正社員では「仕事がきつい」や「休みが少ない」が非正規雇用の人に比べて高くなっている。

表Ⅲ－3－2 仕事上の悩み〔全体、年齢別、仕事の状況別〕（平成21年度調査比較）

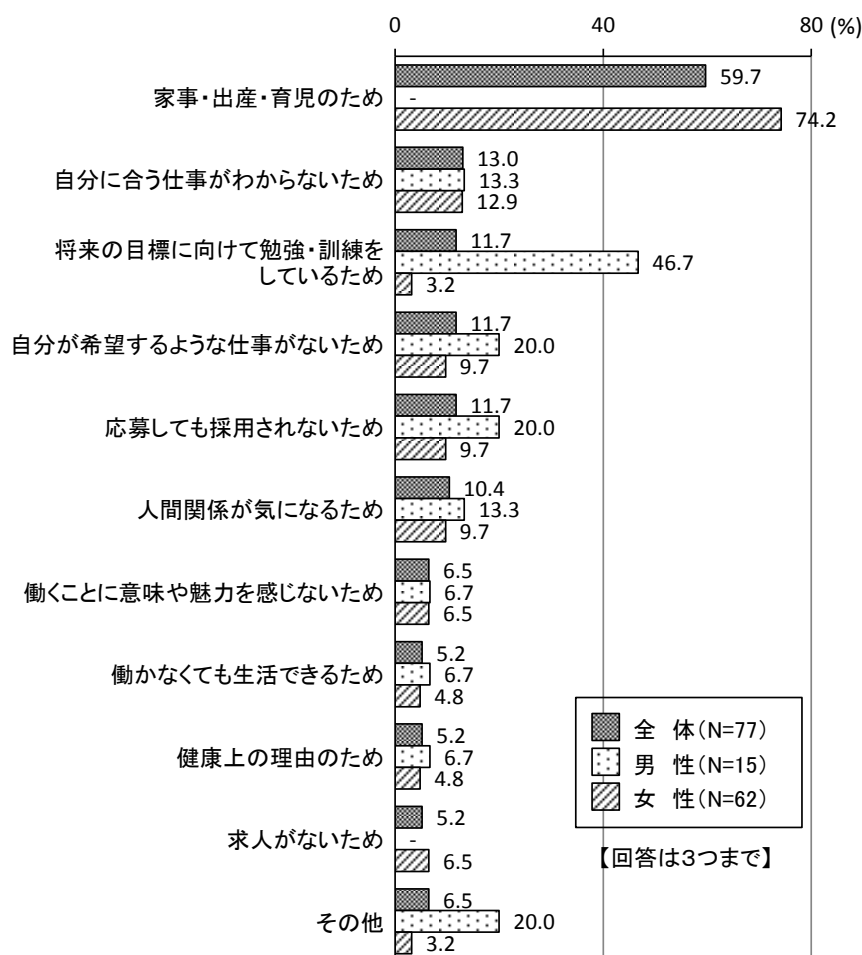
		(%)							
		標 本 数	収 入 が 少 な い	休 み が 少 な い	仕 事 が き つ い	る 仕 事 が お し ろ く な い	人 間 関 係	そ の 他	悩 み は な い
全 体		342 100.0	170 49.7	52 15.2	79 23.1	58 17.0	62 18.1	34 9.9	70 20.5
年 齢 別	18～24歳	101	45.5	14.9	28.7	16.8	24.8	10.9	21.8
	25～30歳	241	51.5	15.4	20.7	17.0	15.4	9.5	19.9
仕 事 の 状 況 別	正社員	208	48.6	17.8	27.9	16.3	18.3	10.1	19.7
	契約社員・嘱託	48	60.4	10.4	18.8	14.6	14.6	14.6	20.8
	派遣社員	12	58.3	-	8.3	16.7	33.3	16.7	8.3
	パート・アルバイト(フリーター)	67	46.3	11.9	16.4	22.4	19.4	6.0	20.9
	自営業・自由業	7	28.6	28.6	-	-	-	-	57.1
平成21年度調査		389	48.8	20.8	21.1	14.9	21.6	7.5	18.3

（3）働いていない理由

問16で「6」～「8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問16-2 現在働いていない人で、その理由は何ですか。（○は3つまで）

図Ⅲ-3-3 働いていない理由 [全体、性別]



働いていない理由としては、「家事・出産・育児のため」が59.7%で圧倒的に高い。以下、「自分に合う仕事が見つからないため」(13.0%)、「自分が希望するような仕事がないため」「応募しても採用されないため」「将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため」(同率11.7%)、「人間関係が気になるため」(10.4%)がいずれも1割強程度の割合となっている。

性別にみると、男性では「将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため」が半数近くに達している。女性は「家事・出産・育児のため」が圧倒的に高い。

年齢別にみると、18～24歳では「自分が希望するような仕事がないため」(31.6%)や「人間関係が気になるため」(26.3%)、「働くことに意味や魅力を感じないため」(21.1%)の割合が高くなっている。

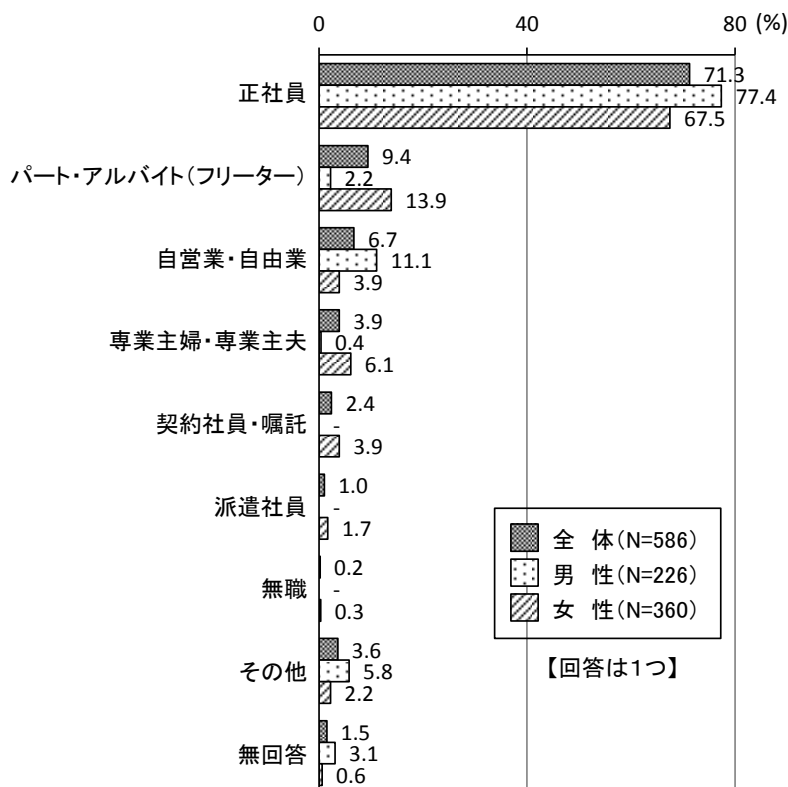
表Ⅲ-3-3 働いていない理由〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)											
	標本数	事 が な い た め	自 分 が 希 望 す る よ う な 仕 事 が わ か ら な い た め	自 分 に 合 う 仕 事 が わ か ら な い た め	応 募 し て も 採 用 さ れ な い た め	求 人 が な い た め	働 く こ と に 意 味 や 魅 力 を 感 じ な い た め	家 事 ・ 出 産 ・ 育 児 の た め	強 い 将 来 の 目 標 に 向 け て 勉 練 を 	働 か な く も 生 活 で き る た め	人 間 関 係 が 気 に な る た め	健 康 上 の 理 由 の た め	そ の 他
全 体	77 100.0	9 11.7	10 13.0	9 11.7	4 5.2	5 6.5	46 59.7	9 11.7	4 5.2	8 10.4	4 5.2	5 6.5	
年 齢 別	18～24歳	19	31.6	21.1	10.5	5.3	21.1	31.6	21.1	-	26.3	10.5	5.3
	25～30歳	58	5.2	10.3	12.1	5.2	1.7	69.0	8.6	6.9	5.2	3.4	6.9
平成21年度調査	75	10.7	14.7	18.7	6.7	4.0	53.3	8.0	5.3	4.0	10.7	6.7	

2. 今後希望する働き方

問17 今後、どのような働き方を希望しますか。(〇は1つ)

図Ⅲ-3-4 今後希望する働き方〔全体、性別〕



今後希望する働き方としては、「正社員」が71.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト（フリーター）」が9.4%となっている。

平成21年度調査と比較すると、若干ではあるが「正社員」希望が増加し、「パート・アルバイト（フリーター）」や「自営業・自由業」希望が減少している。

性別にみると、「正社員」を希望する割合は、男性では77.4%で女性よりも9.9ポイント高い。また、男性では「自営業・自由業」も11.1%と比較的高くなっている。女性では「パート・アルバイト（フリーター）」が13.9%で男性よりも11.7ポイント高い。

年齢別にみると、「正社員」は18～24歳で79.4%と25～30歳より14.5ポイント高くなっており、「パート・アルバイト（フリーター）」は25～30歳で14.3%と18～24歳より10.9ポイント高くなっている。

仕事や就学の状況別にみると、「正社員」を希望する人は、正社員、学生・勉強中で8割以上、契約社員・嘱託、無職（休職中）で6割以上、パート・アルバイト（フリーター）で56.7%と5割を超えている。

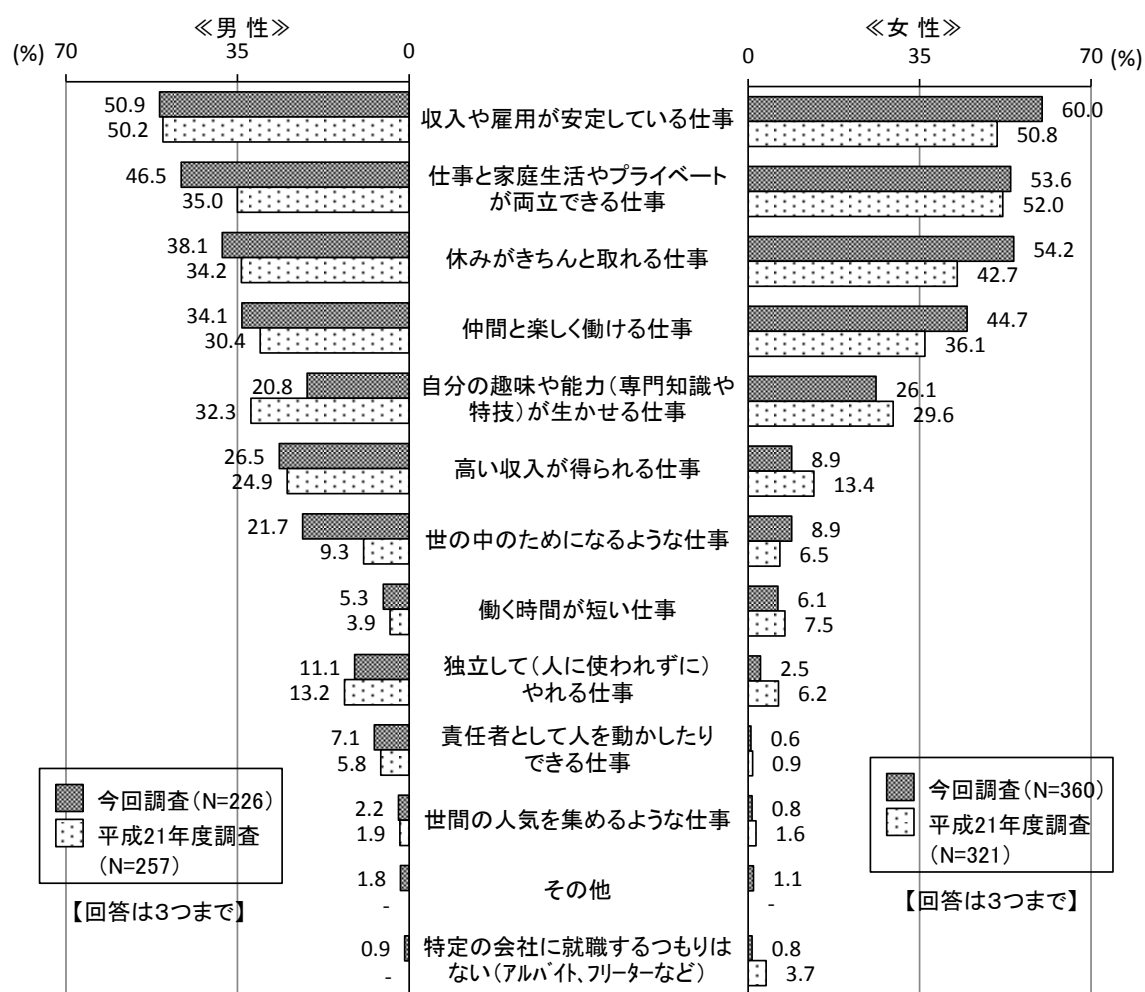
表Ⅲ-3-4 今後希望する働き方〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
（平成21年度調査比較）

		標本数	正社員	契約社員・嘱託	派遣社員	パート・アルバイト（フリーター）	自営業・自由業	専業主婦・専業主夫	無職	その他	無回答
全体		586 100.0	418 71.3	14 2.4	6 1.0	55 9.4	39 6.7	23 3.9	1 0.2	21 3.6	9 1.5
年齢別	18～24歳	262	79.4	1.1	1.1	3.4	5.7	1.9	0.4	5.0	1.9
	25～30歳	322	64.9	3.4	0.9	14.3	7.5	5.6	-	2.2	1.2
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
仕事や就学の状況別	正社員	208	88.0	0.5	-	3.4	5.3	1.4	-	1.0	0.5
	契約社員・嘱託	48	64.6	22.9	-	4.2	2.1	4.2	-	2.1	-
	派遣社員	12	33.3	8.3	33.3	-	8.3	-	-	16.7	-
	パート・アルバイト（フリーター）	67	56.7	-	1.5	22.4	9.0	4.5	-	3.0	3.0
	自営業・自由業	7	-	-	-	-	85.7	-	-	14.3	-
	専業主婦・専業主夫	42	19.0	2.4	2.4	50.0	2.4	23.8	-	-	-
	無職（求職中）	23	65.2	-	-	21.7	8.7	-	-	4.3	-
	無職（求職中でない）	12	8.3	-	-	25.0	25.0	25.0	-	16.7	-
	学生・勉強中	150	87.3	-	-	0.7	4.7	0.7	0.7	4.7	1.3
その他	11	45.5	-	-	9.1	9.1	9.1	-	27.3	-	
無回答	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	
平成21年度調査		578	68.2	1.7	0.9	10.6	9.9	4.5	0.2	0.2	4.0

3. 将来希望する仕事

問 18 仕事への将来の希望はどれですか。(〇は3つまで)

図Ⅲ-3-5 将来希望する仕事〔性別〕(平成21年度調査比較)



将来希望する仕事としては、「収入や雇用が安定している仕事」が 56.5%で最も高く、次いで「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」が 50.9%、「休みがきちんと取れる仕事」が 48.0%、「仲間と楽しく働ける仕事」が 40.6%となっている。

平成 21 年度調査と比較すると、男女ともに「自分の趣味や能力を生かせる」仕事が減少し、男性は「世の中のためになる仕事」(12.4 ポイント)、「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」(11.5 ポイント)が大きく増加している。また女性では、「休みがきちんと取れる仕事」(11.5 ポイント)、「収入や雇用が安定している仕事」(9.2 ポイント)、「仲間と楽しく働ける仕事」(8.6 ポイント)などが増加している。

性別にみると、男性は「高い収入が得られる仕事」が17.6ポイント、「世の中のためになるような仕事」が12.8ポイント女性より高く、女性は「休みがきちんと取れる仕事」が16.1ポイント、「仲間と楽しく働ける仕事」が10.6ポイント男性より高い。

年齢別にみると、18～24歳では「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事」（33.2%）が高く、25～30歳では「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」（53.4%）が高い。

仕事や就学の状況別にみると、専業主婦・専業主夫の人は「仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事」（61.9%）、「休みがきちんと取れる仕事」（69.0%）などの希望が高く、学生・勉強中の人では「自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事」（40.0%）への希望が高くなっている。契約社員・嘱託や派遣社員という非正規雇用の方は、「収入や雇用が安定している仕事」の希望が7割前後と特に高い。

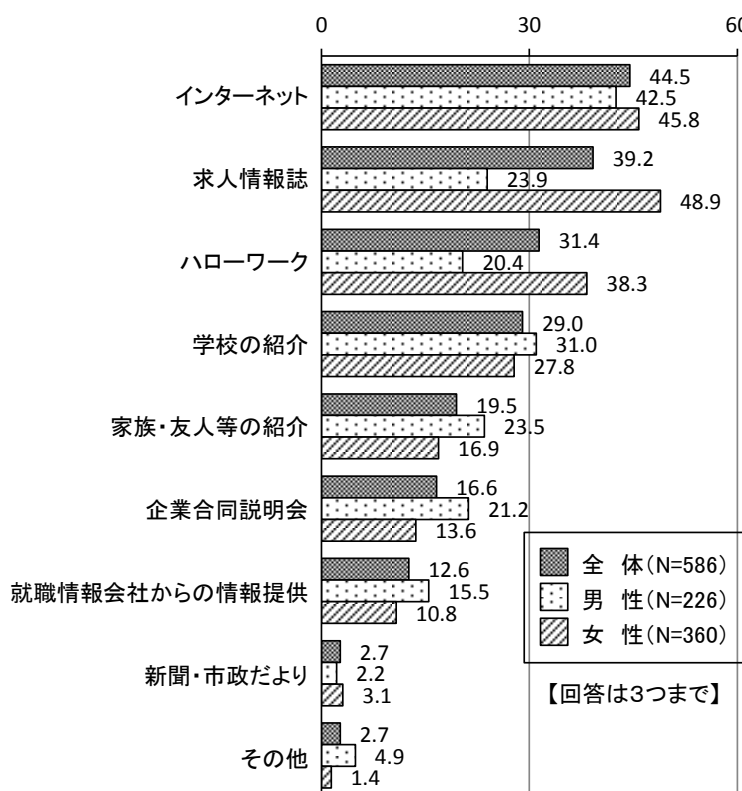
表Ⅲ－3－5 将来希望する仕事〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
（平成21年度調査比較）

		標本数	働く時間が短い仕事	休みがきちんと取れる仕事	収入や雇用が安定している仕事	高い収入が得られる仕事	仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事	仲間と楽しく働ける仕事	責任者として人を動かしたりできる仕事	独立して一人に使われずにやれる仕事	自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事	世の中のためになるような仕事	世間の人気を集めるような仕事	その他	特定の会社に就職するつもりはない（フリーターなど）	(%)
全体		586 100.0	34 5.8	281 48.0	331 56.5	92 15.7	298 50.9	238 40.6	18 3.1	34 5.8	141 24.1	81 13.8	8 1.4	8 1.4	5 0.9	
年齢別	18～24歳	262	2.3	48.5	56.5	16.0	47.7	45.8	3.1	4.2	33.2	13.7	1.5	1.1	0.4	
	25～30歳	322	8.7	47.5	56.5	15.2	53.4	36.6	2.8	7.1	16.8	13.7	1.2	1.6	1.2	
	無回答	2	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
仕事や就学の状況別	正社員	208	7.2	42.8	59.1	22.1	54.8	39.4	6.3	6.7	16.8	14.9	0.5	0.5	-	
	契約社員・嘱託	48	-	47.9	72.9	12.5	56.3	35.4	-	2.1	27.1	12.5	4.2	2.1	-	
	派遣社員	12	-	41.7	66.7	16.7	50.0	66.7	-	8.3	16.7	-	-	-	8.3	
	パート・アルバイト（フリーター）	67	1.5	58.2	59.7	13.4	50.7	41.8	1.5	6.0	17.9	4.5	1.5	1.5	3.0	
	自営業・自由業	7	-	57.1	14.3	42.9	57.1	-	-	28.6	42.9	28.6	-	-	-	-
	専業主婦・専業主夫	42	16.7	69.0	45.2	7.1	61.9	42.9	-	2.4	11.9	7.1	-	-	-	4.8
	無職（求職中）	23	8.7	69.6	56.5	8.7	52.2	43.5	-	4.3	21.7	17.4	4.3	4.3	-	-
	無職（求職中でない）	12	25.0	33.3	16.7	16.7	41.7	25.0	-	33.3	33.3	16.7	-	8.3	-	-
	学生・勉強中	150	2.7	46.0	56.0	11.3	41.3	44.7	2.7	4.0	40.0	18.7	2.0	1.3	-	-
	その他	11	18.2	18.2	36.4	18.2	54.5	45.5	-	-	18.2	18.2	-	-	9.1	-
無回答	6	-	16.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平成21年度調査		578	5.9	38.9	50.5	18.5	44.5	33.6	3.1	9.3	30.8	7.8	1.7	-	2.1	

4. 仕事に関する情報の入手方法

問19 働くことを希望していた（いる）ときに、仕事に関する情報をどのように入手しましたか。（〇は3つまで）

図Ⅲ-3-6 仕事に関する情報の入手方法〔全体、性別〕



仕事に関する情報の入手方法としては、「インターネット」が44.5%で最も高く、次いで「求人情報誌」が39.2%、「ハローワーク」が31.4%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「インターネット」が4.7ポイント、「ハローワーク」が1.6ポイント増加し、「求人情報誌」が4.9ポイント減少している。

性別にみると、男性は「学校の紹介」「家族・友人等の紹介」「企業合同説明会」が高く、女性は「求人情報誌」「ハローワーク」が高い。

年齢別にみると、18～24歳では「学校の紹介」「家族・友人等の紹介」が高く、25～30歳では「ハローワーク」「求人情報誌」が高い。

仕事や就学の状況別にみると、派遣社員では「求人情報誌」(83.3%)と「インターネット」(66.7%)が際立って高くなっており、パート・アルバイト(フリーター)も「求人情報誌」(74.6%)が高くなっている。正社員では「学校の紹介」(35.6%)や「企業合同説明会」(25.0%)が高い。

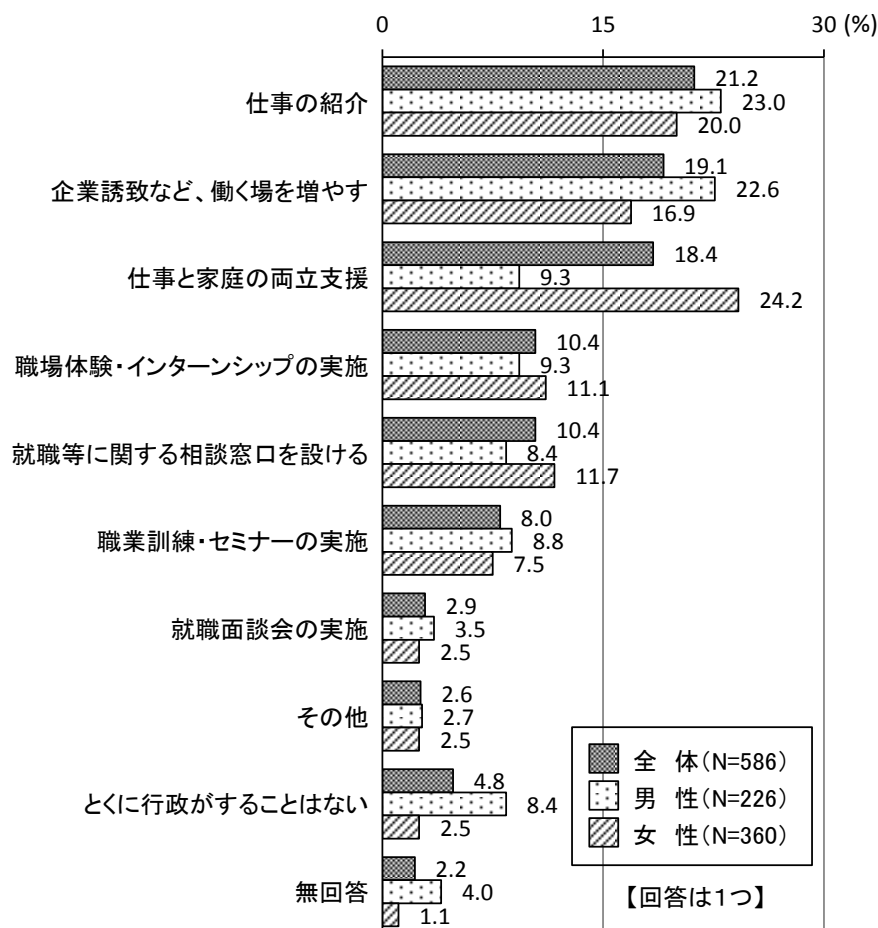
表Ⅲ－３－６ 仕事に関する情報の入手方法〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
（平成21年度調査比較）

		(%)									
		標本数	ハローワーク	求人情報誌	学校の紹介	インターネット	新聞・市政だより	家族・友人等の紹介	企業合同説明会	就職情報提供会社	その他
全体		586 100.0	184 31.4	230 39.2	170 29.0	261 44.5	16 2.7	114 19.5	97 16.6	74 12.6	16 2.7
年齢別	18～24歳	262	19.8	34.7	39.3	43.9	3.1	21.8	17.6	14.1	3.1
	25～30歳	322	40.7	43.2	20.8	45.0	2.5	17.7	15.8	11.5	2.2
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
仕事や就学の状況別	正社員	208	32.7	24.0	35.6	36.5	1.9	14.9	25.0	17.3	1.4
	契約社員・嘱託	48	31.3	35.4	35.4	54.2	-	25.0	8.3	10.4	4.2
	派遣社員	12	41.7	83.3	8.3	66.7	-	25.0	-	-	8.3
	パート・アルバイト(フリーター)	67	40.3	74.6	10.4	47.8	3.0	20.9	3.0	3.0	1.5
	自営業・自由業	7	14.3	28.6	14.3	42.9	-	57.1	28.6	-	-
	専業主婦・専業主夫	42	59.5	76.2	4.8	54.8	9.5	26.2	2.4	2.4	-
	無職(求職中)	23	69.6	65.2	8.7	73.9	13.0	4.3	8.7	13.0	-
	無職(求職中でない)	12	33.3	66.7	16.7	58.3	-	16.7	16.7	-	8.3
	学生・勉強中	150	14.0	29.3	40.7	42.7	2.0	22.0	20.7	18.0	4.7
	その他	11	9.1	9.1	27.3	36.4	-	27.3	9.1	-	9.1
無回答	6	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	
平成21年度調査		578	29.8	44.1	27.0	39.8	4.8	23.2	13.7	8.8	0.5

5. 行政に希望する就業支援

問20 働くことを希望する人に対して、行政はどんな支援をすればよいと思いますか。
(〇は1つ)

図Ⅲ-3-7 行政に希望する就業支援 [全体、性別]



行政に求める就業支援としては、「仕事の紹介」が21.2%で最も高く、次いで「企業誘致など、働く場を増やす」が19.1%、「仕事と家庭の両立支援」が18.4%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「企業誘致など、働く場を増やす」が4.9ポイント減少している。「職業訓練・セミナーの実施」や「職場体験・インターンシップの実施」は若干ながら増加している。

性別にみると、男性は「企業誘致など、働く場を増やす」(22.6%)が高く、女性は「仕事と家庭の両立支援」(24.2%)が高い。男性は、「とくに行政がすることはない」も8.4%とやや高くなっている。

第Ⅲ部 青年（18～30歳）調査結果

年齢別にみると、18～24歳では「企業誘致など、働く場を増やす」と「就職等に関する相談窓口を設ける」が高く、25～30歳では「仕事と家庭の両立支援」が高い。

仕事や就学の状況別にみると、パート・アルバイト（フリーター）の人では「仕事の紹介」（32.8%）が高くなっている。学生・勉強中の人では「企業誘致など、働く場を増やす」（24.7%）が、専業主婦・専業主夫では「仕事と家庭の両立支援」（54.8%）の割合が高い。

表Ⅲ-3-7 行政に希望する就業支援〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
（平成21年度調査比較）

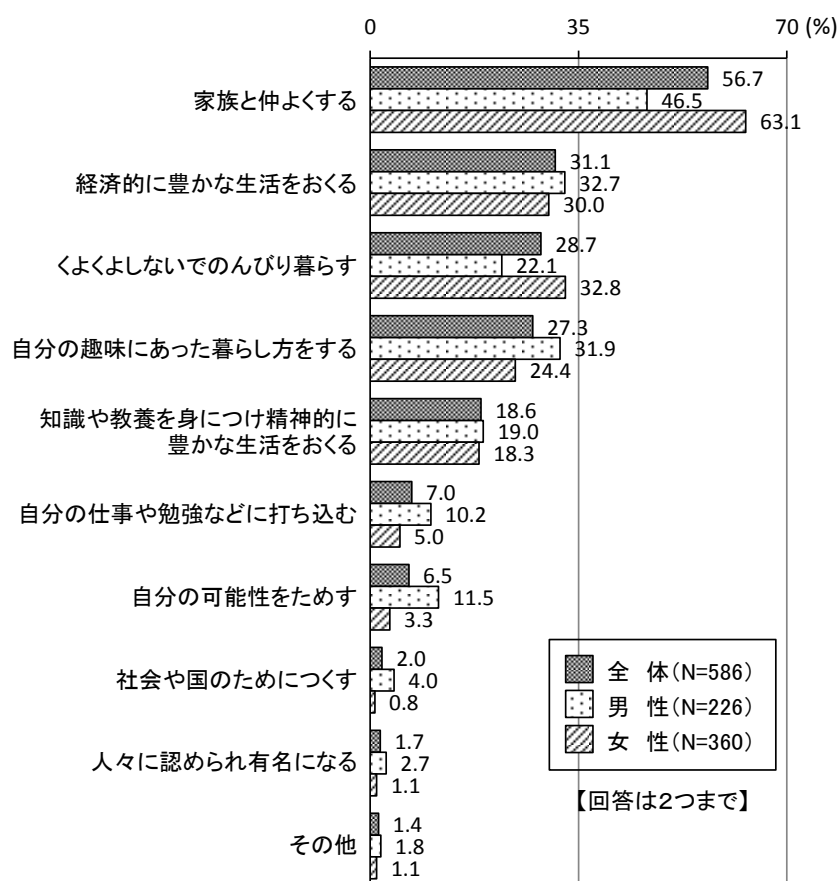
		標本数	仕事の紹介	就職面談会の実施	職業訓練・セミナーの実施	職場体験・インターンシップの実施	企業誘致など、働く場を増やす	就職等に関する相談窓口を設ける	仕事と家庭の両立支援	その他	とくに行政がするところはない	無回答
全体		586 100.0	124 21.2	17 2.9	47 8.0	61 10.4	112 19.1	61 10.4	108 18.4	15 2.6	28 4.8	13 2.2
年齢別	18～24歳	262	21.0	4.2	7.6	11.8	21.0	13.7	12.6	3.1	3.4	1.5
	25～30歳	322	21.4	1.6	8.4	9.3	17.7	7.5	23.3	2.2	5.9	2.8
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
仕事や就学の状況別	正社員	208	21.6	2.9	8.2	10.6	20.7	12.0	14.4	1.9	6.3	1.4
	契約社員・嘱託	48	6.3	-	12.5	16.7	16.7	8.3	33.3	2.1	2.1	2.1
	派遣社員	12	16.7	-	8.3	25.0	16.7	8.3	16.7	-	8.3	-
	パート・アルバイト（フリーター）	67	32.8	1.5	4.5	6.0	19.4	4.5	17.9	4.5	6.0	3.0
	自営業・自由業	7	14.3	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	42.9	-
	専業主婦・専業主夫	42	28.6	-	7.1	-	2.4	2.4	54.8	2.4	2.4	-
	無職（求職中）	23	30.4	4.3	13.0	8.7	17.4	8.7	8.7	4.3	4.3	-
	無職（求職中でない）	12	16.7	-	16.7	8.3	16.7	8.3	25.0	-	8.3	-
	学生・勉強中	150	18.7	5.3	8.0	13.3	24.7	14.7	9.3	2.7	2.0	1.3
	その他	11	18.2	9.1	-	-	9.1	18.2	27.3	9.1	-	9.1
無回答	6	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	
平成21年度調査		578	20.6	4.2	5.9	6.9	24.0	7.8	20.1	0.9	5.5	4.2

第4章 生活意識と環境

1. 希望する暮らし方

問12 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は2つまで)

図Ⅲ-4-1 希望する暮らし方 [全体、性別]



どのような暮らし方をしたいと思っているのかたずねたところ、「家族と仲よくする」が56.7%で最も高く、次いで「経済的に豊かな生活をおくる」が31.1%、「くよくよしないでのんびり暮らす」が28.7%、「自分の趣味にあった暮らし方をする」が27.3%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「経済的に豊かな生活をおくる」が4.1ポイント増加し、逆に「自分の趣味にあった暮らし方をする」は4.4ポイント減少している。

性別にみると、男性は「自分の趣味にあった暮らし方をする」や「自分の可能性をためす」などが女性よりも高く、女性は「家族と仲よくする」「くよくよしないでのんびり暮らす」が男性よりも高い。

年齢別にみると、「家族と仲よくする」は25～30歳で63.0%と特に高くなっている。

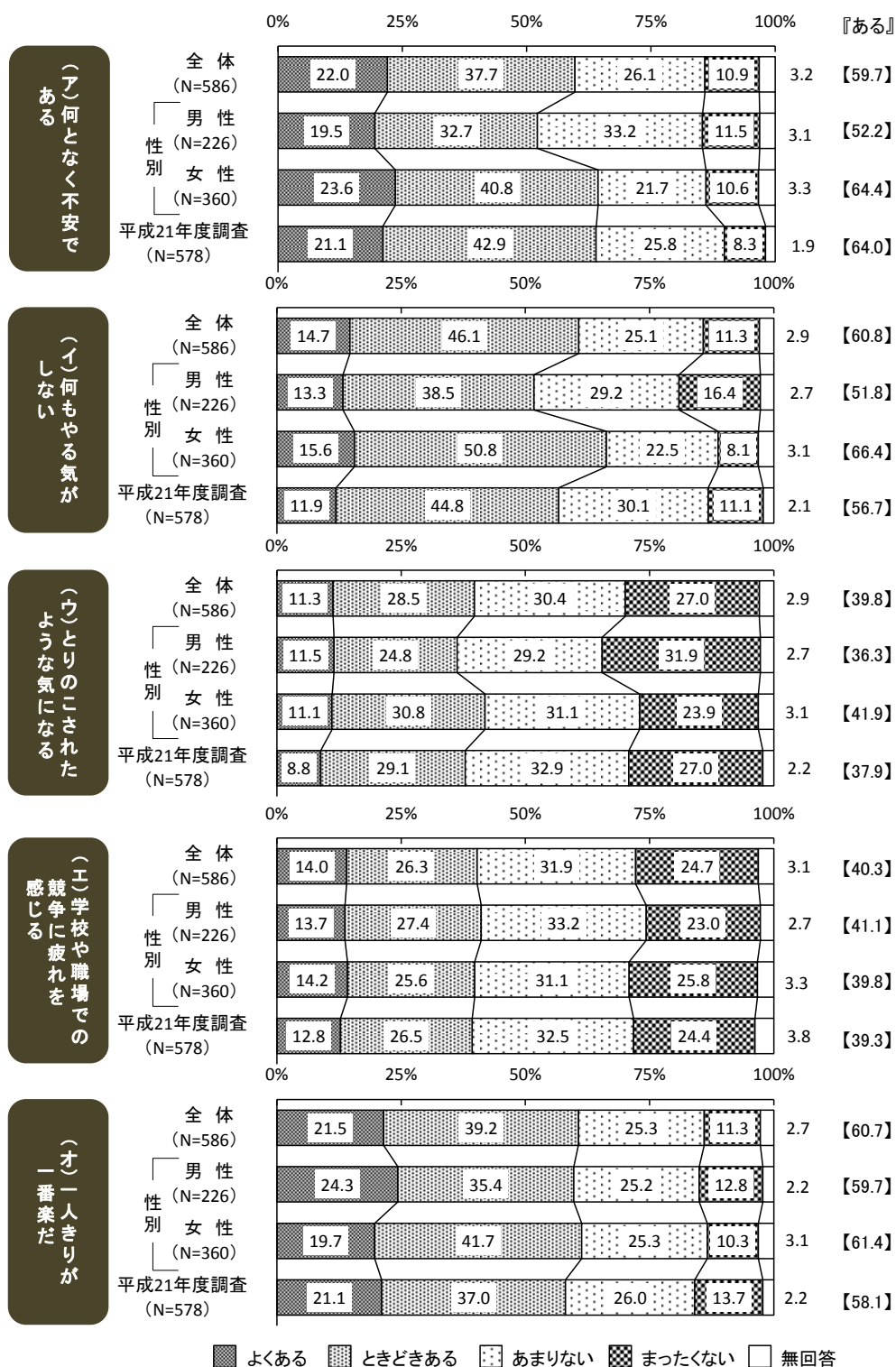
表Ⅲ－４－１ 希望する暮らし方〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)										
		標本数	家族と仲よくする	らくよくよしないでのんびり暮らす	自分の仕事や勉強などに打ち込む	社会や国のためにつくす	自分の趣味にあった暮らし方をす	知識や教養を身につけ精神的に豊かな生活をおくる	経済的に豊かな生活をおくる	自分の可能性をためす	人々に認められ有名になる	その他
全体		586 100.0	332 56.7	168 28.7	41 7.0	12 2.0	160 27.3	109 18.6	182 31.1	38 6.5	10 1.7	8 1.4
年齢別	18～24歳	262	49.2	27.9	8.8	1.5	29.4	21.4	27.9	9.2	1.9	2.3
	25～30歳	322	63.0	29.5	5.6	2.2	25.5	16.1	33.9	4.0	1.6	0.6
	無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-
平成21年度調査		578	54.2	26.6	5.2	1.0	31.7	18.7	27.0	11.9	1.9	0.5

2. 無気力感や気分の減退

問13 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

図Ⅲ-4-2 無気力感や気分の減退 [全体、性別] (平成21年度調査比較)



日ごろ感じることもある無気力感や気分の減退をたずねたところ、「よくある」と「ときどきある」を合計した『ある』の割合は、「(ア) 何となく不安である」が59.7%、「(イ) 何もやる気がしない」が60.8%、「(ウ) とりのこされたような気になる」が39.8%、「(エ) 学校や職場での競争に疲れを感じる」が40.3%、「(オ) 一人きりが一番楽だ」は60.7%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「(ア) 何となく不安である」が4.3ポイント低下し、「(イ) 何もやる気がしない」が4.1ポイント増加している。その他ではあまり変化はみられない。

性別にみると、女性の方が『ある』の割合が高い項目が多く、特に「(ア) 何となく不安である」と「(イ) 何もやる気がしない」は女性の方が12ポイント以上高くなっている。

年齢別にみると、全体的に18～24歳の方が高くなっており、特に「(イ) 何もやる気がしない」は9.8ポイントの差がある。

表Ⅲ-4-2 無気力感や気分の減退〔全体、年齢別〕

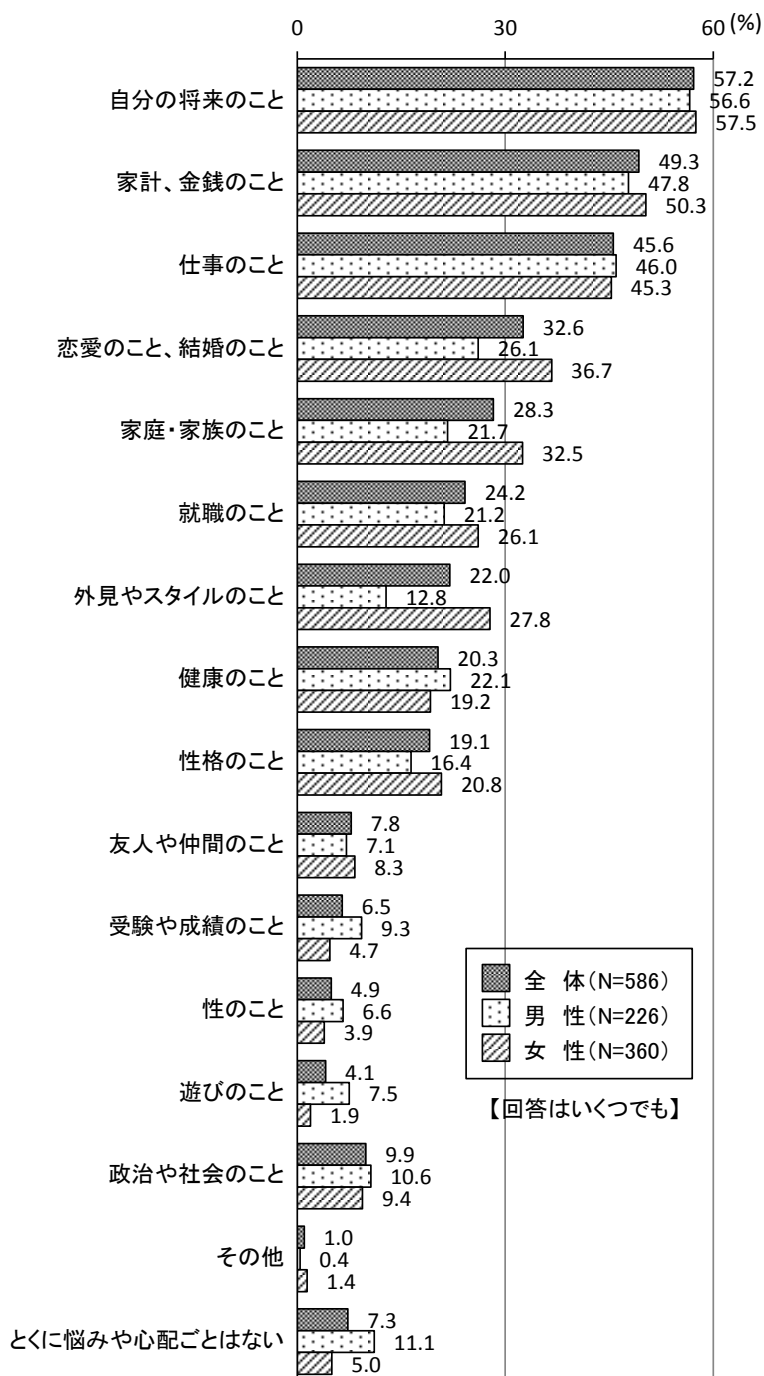
		標本数	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』 『』	
								(%)	
(ア)何となく不安である	全体	586 100.0	129 22.0	221 37.7	153 26.1	64 10.9	19 3.2	350 59.7	
	年齢別	18～24歳	262	23.3	36.6	25.6	11.1	3.4	59.9
		25～30歳	322	20.8	38.8	26.4	10.9	3.1	59.6
		無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0
		全体	586 100.0	86 14.7	270 46.1	147 25.1	66 11.3	17 2.9	356 60.8
(イ)何もやる気がしない	全体	586 100.0	86 14.7	270 46.1	147 25.1	66 11.3	17 2.9	356 60.8	
	年齢別	18～24歳	262	16.0	50.0	19.5	11.5	3.1	66.0
		25～30歳	322	13.7	42.5	29.8	11.2	2.8	56.2
		無回答	2	-	100.0	-	-	-	100.0
		全体	586 100.0	66 11.3	167 28.5	178 30.4	158 27.0	17 2.9	233 39.8
(ウ)とりのこされたような 気になる	全体	586 100.0	66 11.3	167 28.5	178 30.4	158 27.0	17 2.9	233 39.8	
	年齢別	18～24歳	262	11.5	29.4	30.5	25.6	3.1	40.9
		25～30歳	322	11.2	28.0	30.4	27.6	2.8	39.2
		無回答	2	-	-	-	100.0	-	-
		全体	586 100.0	82 14.0	154 26.3	187 31.9	145 24.7	18 3.1	236 40.3
(エ)学校や職場での 競争に疲れを感じる	全体	586 100.0	82 14.0	154 26.3	187 31.9	145 24.7	18 3.1	236 40.3	
	年齢別	18～24歳	262	17.2	26.0	30.2	23.3	3.4	43.2
		25～30歳	322	11.5	26.7	33.2	25.8	2.8	38.2
		無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-
		全体	586 100.0	126 21.5	230 39.2	148 25.3	66 11.3	16 2.7	356 60.7
(オ)一人きりが一番楽だ	全体	586 100.0	126 21.5	230 39.2	148 25.3	66 11.3	16 2.7	356 60.7	
	年齢別	18～24歳	262	25.2	38.9	25.2	7.6	3.1	64.1
		25～30歳	322	18.3	39.8	25.5	14.0	2.5	58.1
		無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0

3. 悩みや心配ごとと相談相手

(1) 悩みや心配ごと

問14 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(〇はいくつでも)

図Ⅲ-4-3 悩みや心配ごと [全体、性別]



第Ⅲ部 青年（18～30歳）調査結果

悩みや心配ごとについては、「自分の将来のこと」が57.2%で最も高く、次いで「家計、金銭のこと」が49.3%、「仕事のこと」が45.6%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「自分の将来のこと」が5.3ポイント、「家計、金銭のこと」が4ポイント増加している。逆に「仕事のこと」は3.5ポイント減少している。

性別にみると、女性の方が割合は高い項目が多く、特に「恋愛のこと、結婚のこと」（36.7%）、「家庭・家族のこと」（32.5%）、「外見やスタイルのこと」（27.8%）では10ポイント以上の差がある。「とくに悩みや心配ごとはない」は、男性の方が6.1ポイント高い。

年齢別にみると、18～24歳では「受験や成績のこと」や「就職のこと」が高く、25～30歳では「仕事のこと」や「家庭・家族のこと」、「家計、金銭のこと」が高い。

仕事や就学の状況別にみると、無職（求職中）や派遣の人は「仕事のこと」や「自分の将来のこと」が高い。専業主婦・専業主夫では、「家計、金銭のこと」「家庭・家族のこと」が高くなっている。

表Ⅲ-4-3 悩みや心配ごと〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕（平成21年度調査比較）

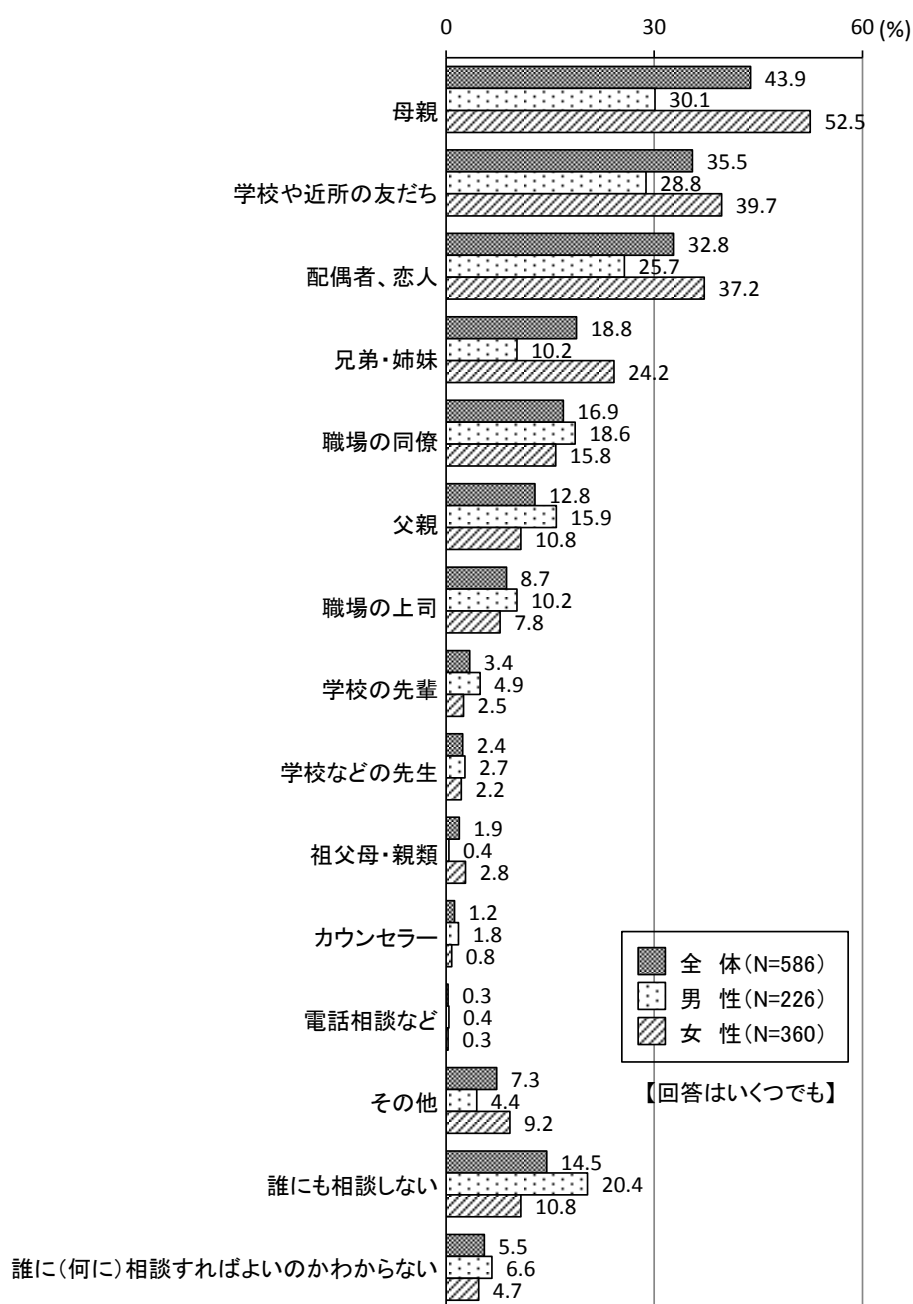
		標本数	仕事のこと	受験や成績のこと	就職のこと	自分の将来のこと	家庭・家族のこと	友人や仲間のこと	恋愛のこと、結婚のこと ～異性のこと、結婚のこと～	家計、金銭のこと	遊びのこと	性格のこと	健康のこと	性のこと	外見やスタイルのこと	政治や社会のこと	その他	とくに悩みや心配ごとはない
全体		586 100.0	267 45.6	38 6.5	142 24.2	335 57.2	166 28.3	46 7.8	191 32.6	289 49.3	24 4.1	112 19.1	119 20.3	29 4.9	129 22.0	58 9.9	6 1.0	43 7.3
年齢別	18～24歳	262	34.4	13.4	37.0	62.6	21.0	9.9	30.2	40.8	5.0	22.9	17.9	6.1	22.9	7.3	0.8	6.9
	25～30歳	322	54.7	0.6	13.7	52.5	33.9	5.9	34.8	56.2	3.1	15.8	22.4	4.0	21.4	12.1	1.2	7.8
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
仕事や就学の状況別	正社員	208	66.8	-	2.4	56.7	22.6	4.8	38.9	51.4	2.4	12.5	19.2	2.4	16.8	8.7	0.5	7.2
	契約社員・嘱託	48	52.1	2.1	10.4	62.5	27.1	6.3	47.9	56.3	2.1	14.6	14.6	10.4	22.9	12.5	2.1	6.3
	派遣社員	12	75.0	-	25.0	75.0	16.7	8.3	58.3	58.3	-	33.3	25.0	-	25.0	33.3	-	-
	パート・アルバイト(フリーター)	67	58.2	1.5	31.3	52.2	31.3	9.0	40.3	53.7	9.0	22.4	28.4	7.5	32.8	13.4	1.5	6.0
	自営業・自由業	7	71.4	-	-	57.1	28.6	14.3	42.9	57.1	-	14.3	28.6	-	42.9	28.6	-	-
	専業主婦・専業主夫	42	19.0	-	19.0	23.8	73.8	2.4	2.4	66.7	4.8	16.7	28.6	-	33.3	7.1	2.4	11.9
	無職(求職中)	23	69.6	-	73.9	87.0	56.5	21.7	52.2	69.6	8.7	34.8	43.5	13.0	34.8	13.0	4.3	-
	無職(求職中でない)	12	25.0	-	16.7	66.7	50.0	8.3	33.3	50.0	-	25.0	16.7	8.3	8.3	-	-	8.3
	学生・勉強中	150	10.7	23.3	52.7	62.7	18.0	12.0	19.3	34.0	5.3	26.0	14.7	6.7	20.0	8.7	0.7	6.7
	その他	11	27.3	-	9.1	27.3	27.3	-	27.3	27.3	-	18.2	-	-	9.1	-	-	45.5
無回答	6	66.7	16.7	16.7	66.7	16.7	-	16.7	66.7	-	-	33.3	-	16.7	-	-	-	
平成21年度調査		578	49.1	6.2	22.1	51.9	22.5	9.3	28.0	45.3	4.7	16.4	23.4	3.1	22.8	11.6	0.5	8.8

()内は平成21年度調査項目

(2) 悩みや心配ごとの相談相手

問15 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談していますか。（〇はいくつでも）

図Ⅲ-4-4 悩みや心配ごとの相談相手〔全体、性別〕



悩みや心配ごとの相談相手については、「母親」が43.9%で最も高く、次いで「学校や近所の友だち」が35.5%、「配偶者、恋人」が32.8%となっている。

第Ⅲ部 青年（18～30歳）調査結果

平成21年度調査と比較すると、「学校や近所の友だち」が8.4ポイント、「職場の同僚」が4.9ポイント減少しているが、その他は大差ない。

性別にみると、「母親」や「兄弟・姉妹」「配偶者、恋人」「学校や近所の友だち」では大幅に女性の方が高くなっている。「父親」や「職場の同僚」「職場の上司」は男性の方が高いが、その差は大きくない。「だれにも相談しない」は男性の方が9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、18～24歳では「学校や近所の友だち」が高く、25～30歳では「配偶者、恋人」、「職場の同僚」が高い。

表Ⅲ－４－４ 悩みや心配ごとの相談相手〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)															
		父親	母親	配偶者、 恋人	兄弟・ 姉妹	祖父母・ 親類	職場の 上司	職場の 同僚	学校の 先輩	学校や 近所の 友だち	学校な どの先 生	カウ ンセ ラー	電 話 相 談 な ど	そ の 他	誰 に も 相 談 し な い	誰 に の か わ か ら な い 相 談 す れ ば	
全体	586 100.0	75 12.8	257 43.9	192 32.8	110 18.8	11 1.9	51 8.7	99 16.9	20 3.4	208 35.5	14 2.4	7 1.2	2 0.3	43 7.3	85 14.5	32 5.5	
年齢別	18～24歳	262	14.9	48.1	19.1	15.6	2.3	7.3	10.3	5.7	48.9	4.6	0.8	0.4	5.7	14.5	5.7
	25～30歳	322	10.9	40.4	44.1	21.4	1.2	9.9	22.4	1.6	24.5	0.6	1.2	0.3	8.4	14.6	5.3
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-
平成21年度調査	578	13.8	42.6	33.4	18.7	1.4	8.0	21.8	3.5	43.9	1.4	1.0	0.2	0.9	14.2	2.8	

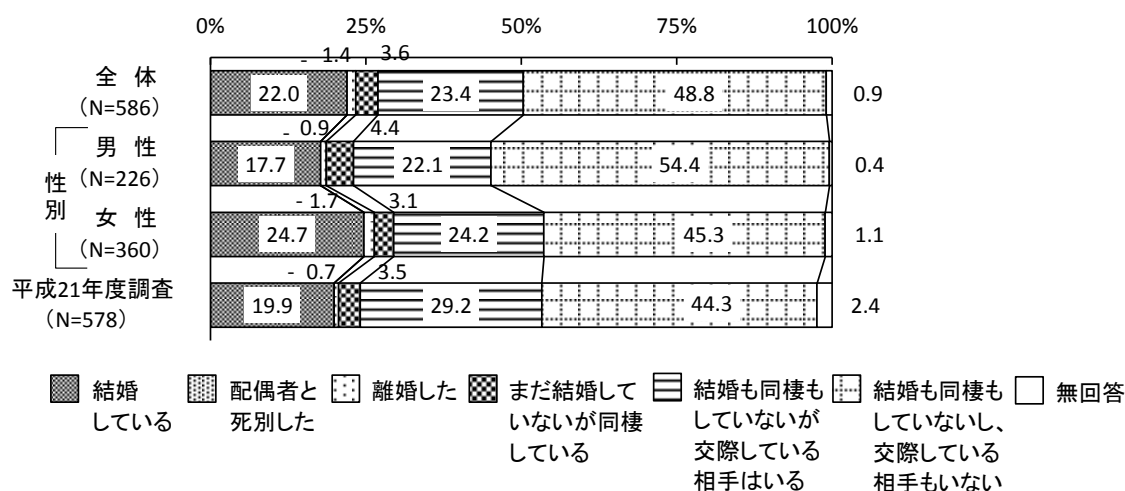
第5章 結婚と子育て

1. 結婚

(1) 婚姻状況

問21 あなたは、現在、結婚していますか。(〇は1つ)

図Ⅲ-5-1 婚姻状況 [全体、性別] (平成21年度調査比較)



婚姻状況は「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」が48.8%とおよそ半数を占めている。次いで「結婚も同棲もしていないが、交際している相手はいる」が23.4%、「結婚している」が22.0%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「結婚も同棲もしていないが、交際している相手はいる」が5.8ポイント減少し、「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」と「結婚している」が若干増加している。

性別にみると、男性は「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」(54.4%)が女性よりも9.1ポイント高く、女性は「結婚している」(24.7%)が男性よりも7ポイント高い。

年齢別にみると、18～24歳では「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」が61.8%と高く、「結婚も同棲もしていないが、交際している相手はいる」が28.2%である。25～30歳では「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」(37.9%)と「結婚している」(36.0%)が同程度となっている。

仕事や就学の状況別にみると、仕事をしている人のうち正社員では「結婚している」が25.5%であるが、非正規雇用の場合は、契約社員・嘱託が18.8%、派遣社員が8.3%、パート・アルバイト(フリーター)が19.4%となっており正社員よりも既婚率は低い。

表Ⅲ－５－１ 婚姻状況 [全体、年齢別、仕事や就学の状況別]

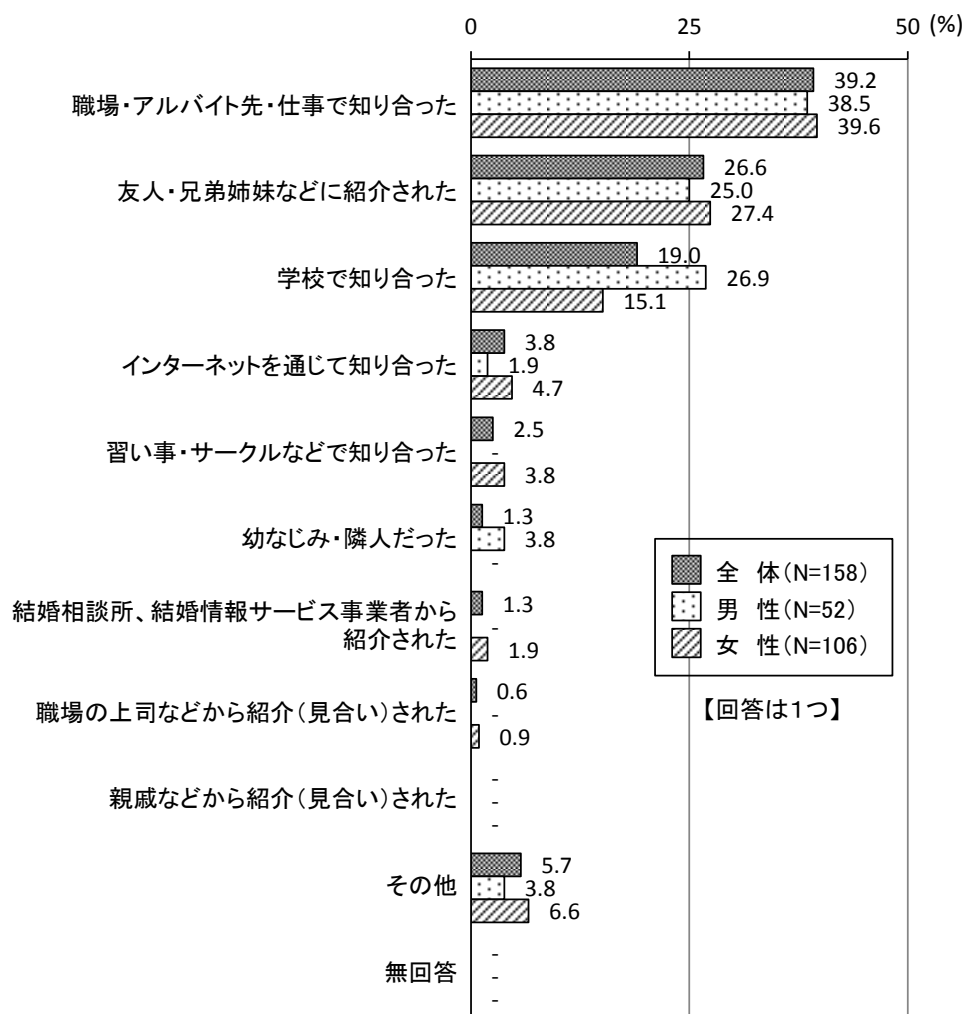
		(%)								
		標本数	結婚している	配偶者と死別した	離婚した	まだ結婚していないが同居している	はいが交際している	結婚も交際もしていない	結婚も同居もしていない	無回答
全 体		586 100.0	129 22.0	-	8 1.4	21 3.6	137 23.4	286 48.8	5 0.9	
年 齢 別	18～24歳	262	5.0	-	0.8	3.1	28.2	61.8	1.1	
	25～30歳	322	36.0	-	1.9	4.0	19.6	37.9	0.6	
	無回答	2	-	-	-	-	-	100.0	-	
仕 事 や 就 学 の 状 況 別	正社員	208	25.5	-	1.0	6.3	26.0	40.9	0.5	
	契約社員・嘱託	48	18.8	-	-	4.2	29.2	47.9	-	
	派遣社員	12	8.3	-	-	-	8.3	83.3	-	
	パート・アルバイト(フリーター)	67	19.4	-	6.0	4.5	20.9	49.3	-	
	自営業・自由業	7	14.3	-	-	14.3	42.9	28.6	-	
	専業主婦・専業主夫	42	100.0	-	-	-	-	-	-	
	無職(求職中)	23	8.7	-	-	-	8.7	78.3	4.3	
	無職(求職中でない)	12	25.0	-	8.3	8.3	-	58.3	-	
	学生・勉強中	150	-	-	0.7	-	30.7	66.7	2.0	
	その他	11	27.3	-	-	-	18.2	54.5	-	
無回答	6	33.3	-	-	16.7	16.7	33.3	-		

(2) 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ

問 21 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 21-1 結婚・同棲している（していた）人について、どういうきっかけで相手と出会いましたか。（○は1つ）

図Ⅲ-5-2 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ [全体、性別]



配偶者・パートナーと出会ったきっかけは、「職場・アルバイト先・仕事で知り合った」が39.2%で最も高く、次いで「友人・兄弟姉妹などに紹介された」が26.6%、「学校で知り合った」が19.0%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「学校で知り合った」が6.8ポイント、「友人・兄弟姉妹などに紹介された」が5.7ポイント高くなり、「職場・アルバイト先・仕事で知り合った」が8.3ポイント低くなっている。

性別にみると、「学校で知り合った」は男性の方が11.8ポイント高い。

表Ⅲ-5-2 配偶者・パートナーと出会ったきっかけ [全体] (平成21年度調査比較)

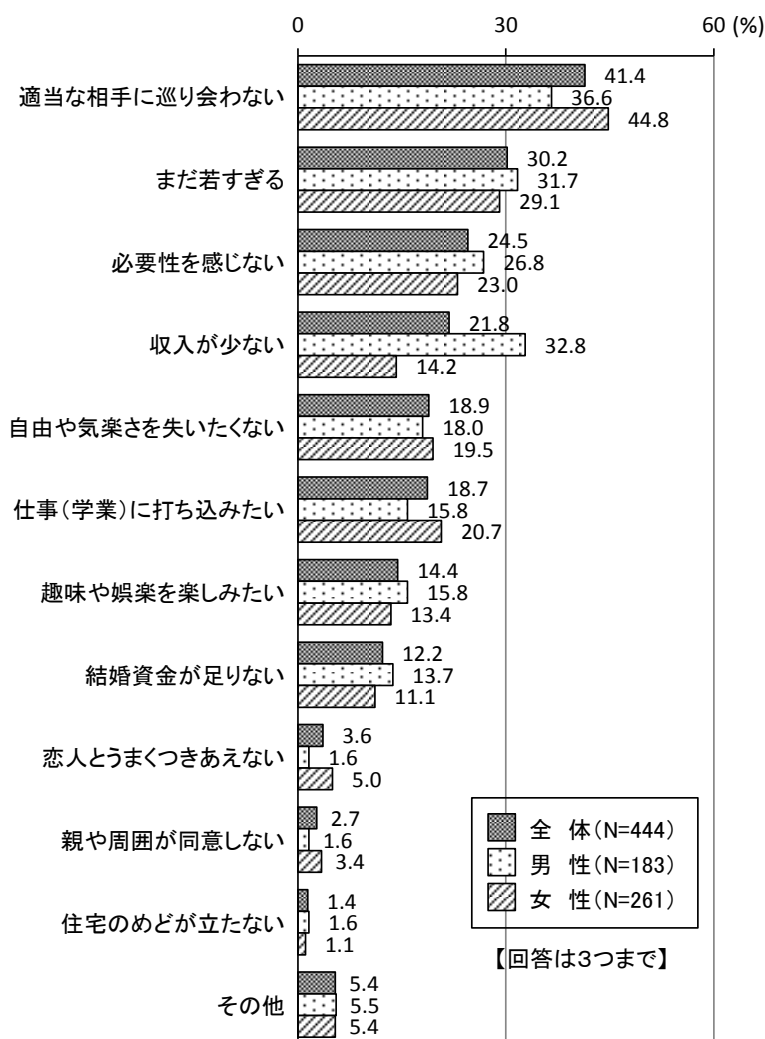
	標本数	幼なじみ・隣人だった	学校で知り合った	習い事・サークルなどで知り合った	職場・アルバイト先・仕事で知り合った	友人・兄弟姉妹などに紹介された	インターネットを通じて知り合った	親戚などから紹介（見合い）された	職場の上司などから紹介（見合い）された	結婚相談所、結婚情報サービス事業者から紹介された	その他	無回答
全体	158 100.0	2 1.3	30 19.0	4 2.5	62 39.2	42 26.6	6 3.8	-	1 0.6	2 1.3	9 5.7	-
平成21年度調査	139	0.7	12.2	7.2	47.5	20.9	1.4	-	1.4	-	3.6	5.0

(3) 結婚していない理由

問21で「4」～「6」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問21-2 まだ結婚していない人について、その理由は何ですか。(〇は3つまで)

図Ⅲ-5-3 結婚していない理由 [全体、性別]



結婚していない理由としては、「適当な相手に巡り会わない」が41.4%で最も高く、次いで「まだ若すぎる」が30.2%、「必要性を感じない」が24.5%、「収入が少ない」が21.8%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「適当な相手に巡り会わない」が7.2ポイント増加している。性別にみると、男性は「収入が少ない」(32.8%)が高く、女性は「適当な相手に巡り会わない」(44.8%)が高い。

年齢別にみると、18～24歳では「まだ若すぎる」「仕事(学業)に打ち込みたい」などが高く、25～30歳では「自由や気楽さを失いたくない」「適当な相手に巡り会わない」「結婚資金が足りない」などが高くなっている。

仕事や就学の状況別にみると、パート・アルバイト(フリーター)では「収入が少ない」が高くなっている。

表Ⅲ-5-3 結婚していない理由〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
(平成21年度調査比較)

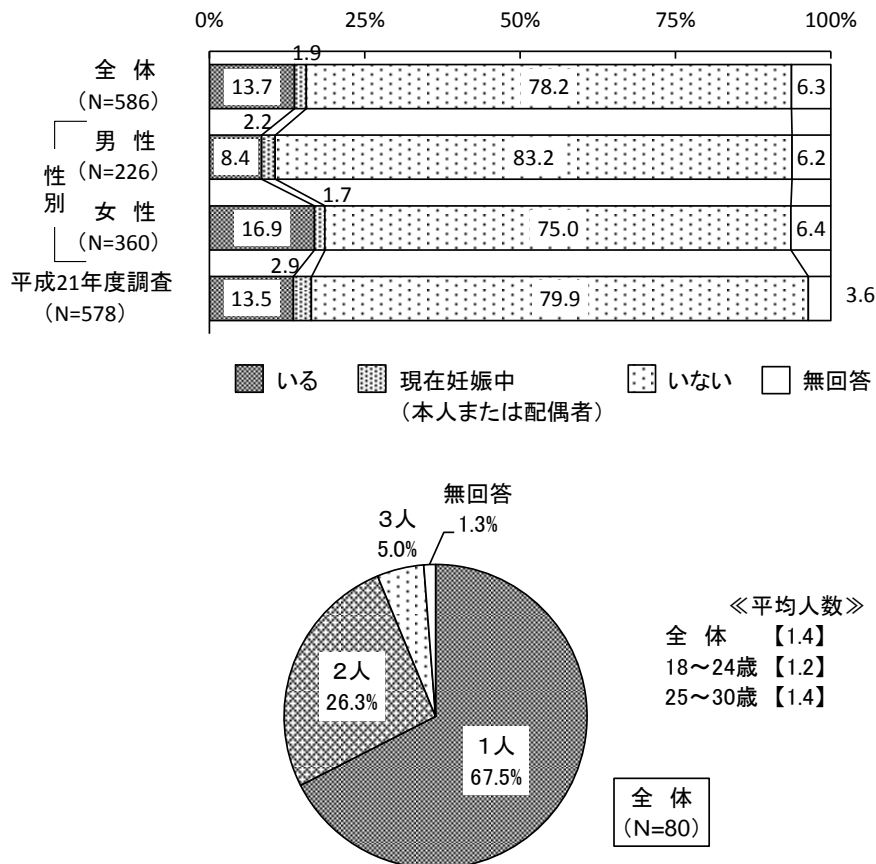
		標本数	まだ若すぎる	必要性を感じない	仕事(学業)に打ち込みたい	趣味や娯楽を楽しみたい	自由や気楽さを失いたくない	適当な相手に巡り会わない	恋人とうまくつきあえない	収入が少ない	結婚資金が足りない	住宅のめどが立たない	親や周囲が同意しない	その他
全体		444 100.0	134 30.2	109 24.5	83 18.7	64 14.4	84 18.9	184 41.4	16 3.6	97 21.8	54 12.2	6 1.4	12 2.7	24 5.4
年齢別	18～24歳	244	50.0	27.5	25.4	12.3	15.2	34.0	3.7	21.7	9.4	1.2	2.9	2.5
	25～30歳	198	5.6	21.2	10.1	16.7	23.7	50.5	3.5	22.2	15.7	1.5	2.5	9.1
	無回答	2	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
仕事や就学の状況別	正社員	152	15.8	19.1	10.5	15.8	22.4	48.0	3.9	22.4	16.4	2.6	2.0	5.9
	契約社員・嘱託	39	25.6	25.6	12.8	17.9	20.5	43.6	5.1	17.9	12.8	-	5.1	7.7
	派遣社員	11	9.1	27.3	-	18.2	18.2	63.6	-	-	9.1	-	9.1	-
	パート・アルバイト(フリーター)	50	20.0	28.0	10.0	12.0	20.0	46.0	8.0	36.0	22.0	-	-	4.0
	自営業・自由業	6	-	33.3	16.7	-	50.0	16.7	-	50.0	33.3	-	-	16.7
	専業主婦・専業主夫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職(求職中)	20	-	35.0	10.0	30.0	30.0	70.0	5.0	30.0	10.0	5.0	5.0	-
	無職(求職中でない)	8	-	25.0	12.5	-	37.5	50.0	-	50.0	-	-	12.5	12.5
	学生・勉強中	146	58.2	26.7	34.9	11.6	11.6	26.7	2.1	15.8	4.1	0.7	2.1	4.1
	その他	8	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	62.5	-	25.0	12.5	-	12.5	-
無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	50.0	
平成21年度調査		445	30.1	23.6	19.8	13.5	17.8	34.2	8.3	24.3	15.1	2.0	2.0	4.3

2. 子ども

(1) 子どもの有無と人数

問 22 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。（〇は1つ）

図Ⅲ-5-4 子どもの有無と人数〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）



子どもの有無は、「いない」が78.2%、「いる」が13.7%、「現在妊娠中」が1.9%となっている。

平成21年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性（8.4%）よりも女性（16.9%）の方が高い。

年齢別にみると、18～24歳では、「いない」（90.5%）が9割を占めているが、25～30歳では68.0%と7割弱に減少する。

子どもの人数としては「1人」が67.5%で最も高く、次いで「2人」が26.3%、「3人」が5.0%となっている。

年齢別に子どもの人数をみると、18～24歳では『2人以上』が2割なのに対して、25～30歳では3割強になっている。

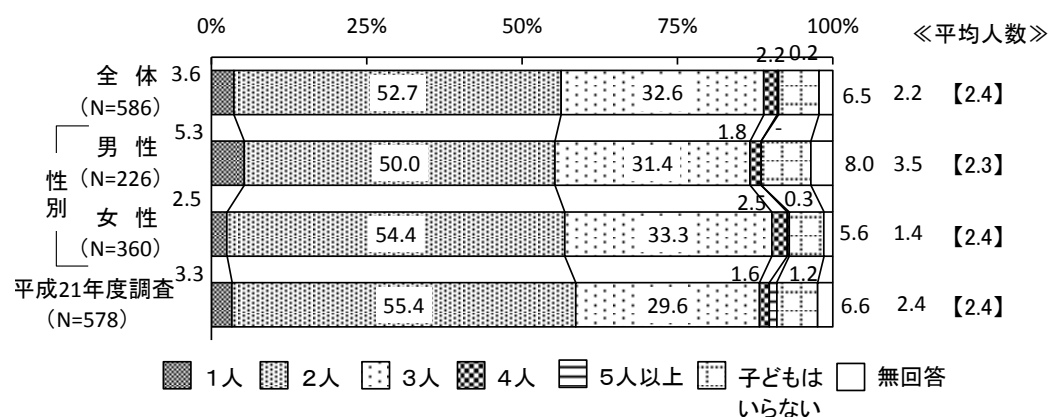
表Ⅲ－５－４ 子どもの有無と人数〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		標本数	いる	配（現 偶（本 者）在 ）妊 娠 中 は	いない	無 回 答	標本数	1 人	2 人	3 人	無 回 答
全体		586 100.0	80 13.7	11 1.9	458 78.2	37 6.3	80	54 67.5	21 26.3	4 5.0	1 1.3
年齢別	18～24歳	262	3.8	0.8	90.5	5.0	10	70.0	20.0	-	10.0
	25～30歳	322	21.7	2.8	68.0	7.5	70	67.1	27.1	5.7	-
	無回答	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
平成21年度調査		578	13.5	2.9	79.9	3.6	78	71.8	24.4	3.8	-

(2) 理想の子どもの数

問23 あなたの理想としては、子どもは何人が望ましいですか。(〇は1つ)

図Ⅲ－５－５ 理想の子どもの数〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）



理想の子どもの人数としては、「2人」が52.7%で最も高く、次いで「3人」が32.6%となっている。

平成21年度調査と比較すると、若干ながら「2人」が減少し「3人」が増加している。

性別にみると、男性の方が「2人」の割合が若干低く、その分「1人」の割合が高くなっている。また、「子どもはいらない」とする割合も若干男性の方が高い。

年齢別にみると、「2人」は18～24歳の方が高く、「3人」は25～30歳の方が高い。

仕事や就学の状況別にみると、無職（求職中でない）の場合に、「子どもはいらない」が33.3%と際立って高くなっている。

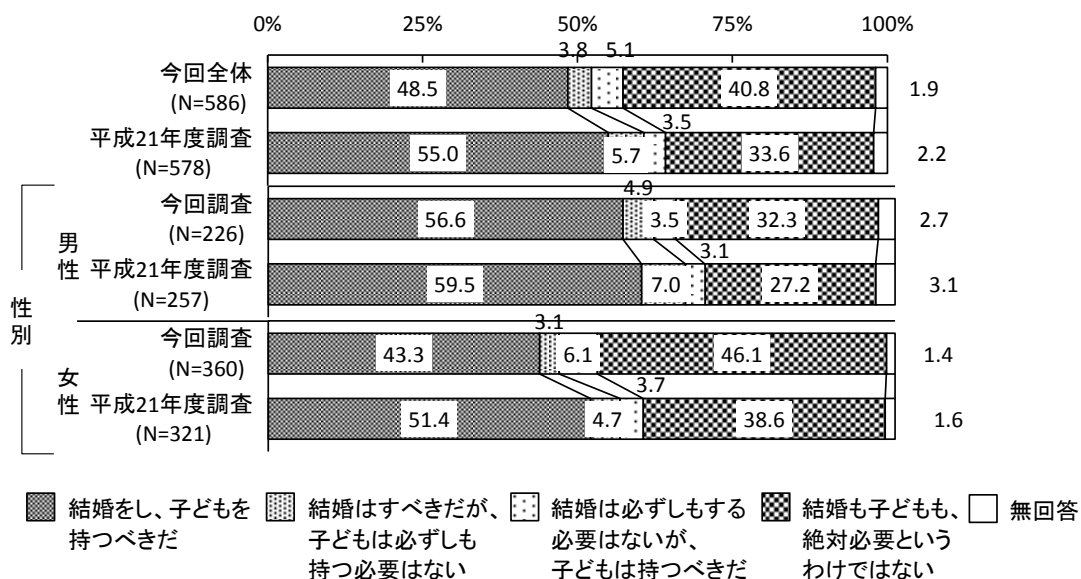
表Ⅲ－5－5 理想の子どもの数〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕

			理想の子どもの数 (%)							《平均人数》
		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	ない子どもはいら	無回答	
全体		586 100.0	21 3.6	309 52.7	191 32.6	13 2.2	1 0.2	38 6.5	13 2.2	2.4
年齢別	18～24歳	262	4.6	57.6	25.2	2.3	-	8.4	1.9	2.3
	25～30歳	322	2.8	48.8	38.8	2.2	0.3	4.7	2.5	2.4
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	2.0
仕事や就学の状況別	正社員	208	3.8	49.0	37.0	1.4	-	5.3	3.4	2.4
	契約社員・嘱託	48	2.1	50.0	37.5	-	-	8.3	2.1	2.4
	派遣社員	12	8.3	66.7	16.7	-	-	8.3	-	2.1
	パート・アルバイト(フリーター)	67	3.0	50.7	34.3	4.5	-	6.0	1.5	2.4
	自営業・自由業	7	-	42.9	57.1	-	-	-	-	2.6
	専業主婦・専業主夫	42	2.4	42.9	42.9	7.1	2.4	-	2.4	2.6
	無職(求職中)	23	4.3	56.5	26.1	-	-	8.7	4.3	2.3
	無職(求職中でない)	12	-	41.7	25.0	-	-	33.3	-	2.4
	学生・勉強中	150	4.7	62.0	21.3	2.7	-	8.0	1.3	2.2
	その他	11	-	45.5	54.5	-	-	-	-	2.5
	無回答	6	-	66.7	33.3	-	-	-	-	2.3

3. 結婚や出産についての考え

問 24 結婚や出産について、あなたはどのような考えを持っていますか。(〇は1つ)

図Ⅲ－5－6 結婚や出産についての考え〔全体、性別〕(平成21年度調査比較)



結婚や出産についての考えは、「結婚をし、子どもを持つべきだ」が48.5%で最も高く、次いで「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」が40.8%となっている。

平成21年度調査と比較すると、男女とも「結婚をし、子どもを持つべきだ」（男性2.9ポイント、女性8.1ポイント）が減少し、「結婚も子どもも絶対必要というわけではない」（男性5.1ポイント、女性7.5ポイント）が増加している。

性別にみると、男性は「結婚をし、子どもを持つべきだ」が56.6%と5割を超えて最も高いが、女性は「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」が46.1%で最も高くなっている。

年齢による違いはほとんどみられない。

結婚の状況別にみると、「結婚している」人は「結婚をし、子どもを持つべきだ」が51.9%と約5割で、この考えを支持する人が最も多いが、「結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない」人は「結婚をし、子どもを持つべきだ」が46.2%、「結婚も子どもも、絶対必要というわけではない」が43.7%と拮抗している。

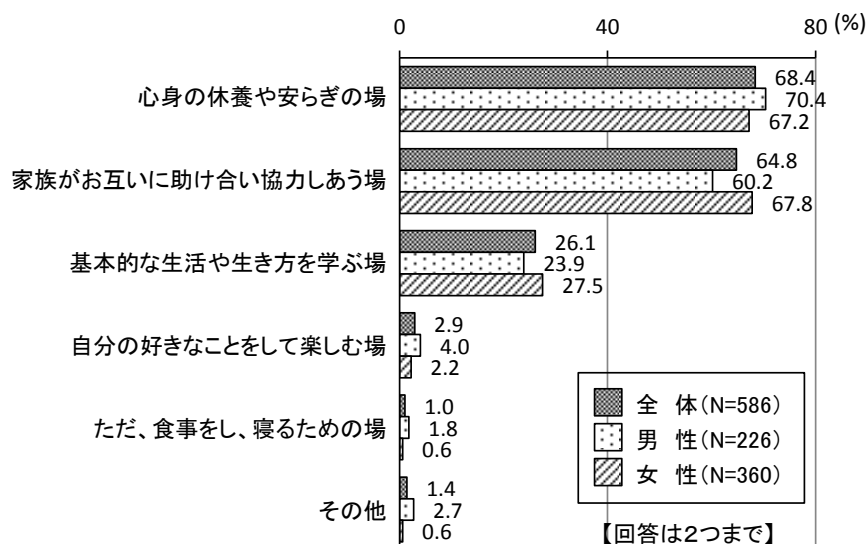
表Ⅲ-5-6 結婚や出産についての考え [全体、年齢別、結婚の状況別]

			(%)				
		標本数	結婚をし、子どもを持つべきだ	結婚は必要はないが、子どもを持つべきだ	結婚は必要ないが、子どもを持つべきだが、子どもは必ずしも必要	結婚も子どもも、絶対必要というわけではない	無回答
全体		586 100.0	284 48.5	22 3.8	30 5.1	239 40.8	11 1.9
年齢別	18～24歳	262	48.5	4.6	3.8	41.6	1.5
	25～30歳	322	48.4	3.1	6.2	40.1	2.2
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-
結婚の状況別	結婚している	129	51.9	3.1	6.2	36.4	2.3
	配偶者と死別した	-	-	-	-	-	-
	離婚した	8	25.0	-	-	62.5	12.5
	まだ結婚していないが同棲している	21	57.1	-	4.8	38.1	-
	結婚も同棲もしていないが交際している相手はいる	137	50.4	5.1	3.6	38.7	2.2
	結婚も同棲もしていないし、交際している相手もない	286	46.2	3.8	5.6	43.7	0.7
	無回答	5	40.0	-	-	20.0	40.0

4. 家庭に対する意識

問 25 あなたにとって家庭とは、どんなものですか。（〇は2つまで）

図Ⅲ－５－７ 家庭に対する意識 [全体、性別]



家庭についての考えをたずねた結果は、「心身の休養や安らぎの場」が 68.4%で最も高く、次いで「家族がお互いに助け合い協力しあう場」が 64.8%、「基本的な生活や生き方を学ぶ場」が 26.1%となっている。

平成 21 年度調査と比較すると「基本的な生活や生き方を学ぶ場」が若干減少しているほかは大差ない。

性別にみると、女性は「家族がお互いに助け合い協力しあう場」が男性に比べて 7.6 ポイント高い。

年齢別にみると、25～30 歳では「家族がお互いに助け合い協力しあう場」が 18～24 歳に比べて高い。

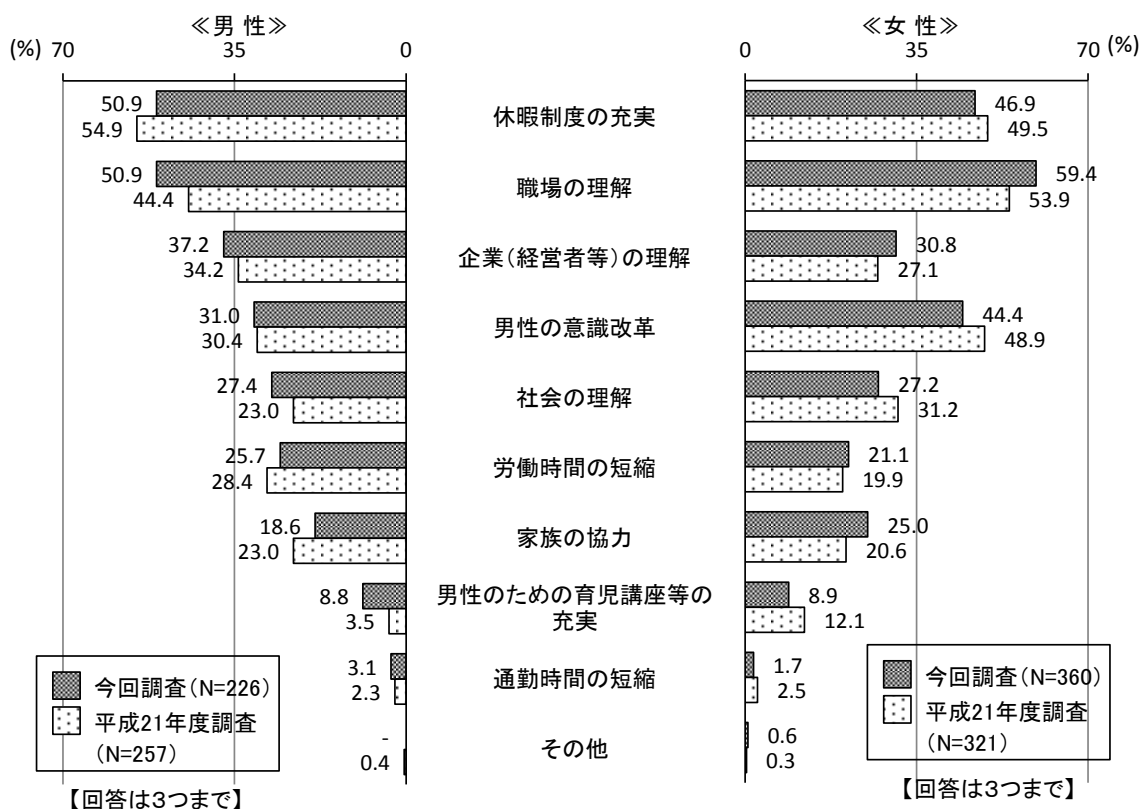
表Ⅲ－５－７ 家庭に対する意識 [全体、年齢別] (平成 21 年度調査比較)

		標本数	基本的な生活や生き方を学ぶ場	家族がお互いに助け合う場	心身の休養や安らぎの場	自分の好きなことをして楽しむ場	ただ、食事をし、寝るための場	その他
全体		586 100.0	153 26.1	380 64.8	401 68.4	17 2.9	6 1.0	8 1.4
年齢別	18～24歳	262	27.1	59.5	69.5	5.0	1.5	1.5
	25～30歳	322	25.5	69.3	67.4	0.9	0.6	1.2
	無回答	55	-	50.0	100.0	50.0	-	-
平成21年度調査		578	29.2	64.7	67.0	4.0	1.6	1.0

5. 男性の子育てに必要なこと

問 26 あなたは、男性が子育てに積極的に関わるために特に必要なものは何だと思いませんか。
 (〇は3つまで)

図Ⅲ-5-8 男性の子育てに必要なこと [性別] (平成21年度調査比較)



男性の育児参加に必要なこととしては、「職場の理解」が 56.1%、次いで「休暇制度の充実」が 48.5%、「男性の意識改革」が 39.2%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「休暇制度の充実」は男女とも減少し、「職場の理解」「企業(経営者等)の理解」は増加している。また、男性では、「社会の理解」「男性のための育児講座等の充実」が増加し、女性では「家族の協力」が増加している。

性別にみると、男性は「企業(経営者等)の理解」が 6.4ポイント、「労働時間の短縮」が 4.6ポイント女性に比べて高く、女性は「男性の意識改革」が 13.4ポイント、「職場の理解」が 8.5ポイント高い。

年齢別にみると「家族の協力」「職場の理解」「休暇制度の充実」は 18~24歳の方が高い。

仕事の状況別にみると、パート・アルバイト(フリーター)は「家族の協力」が他の就労状況の人に比べて高い。

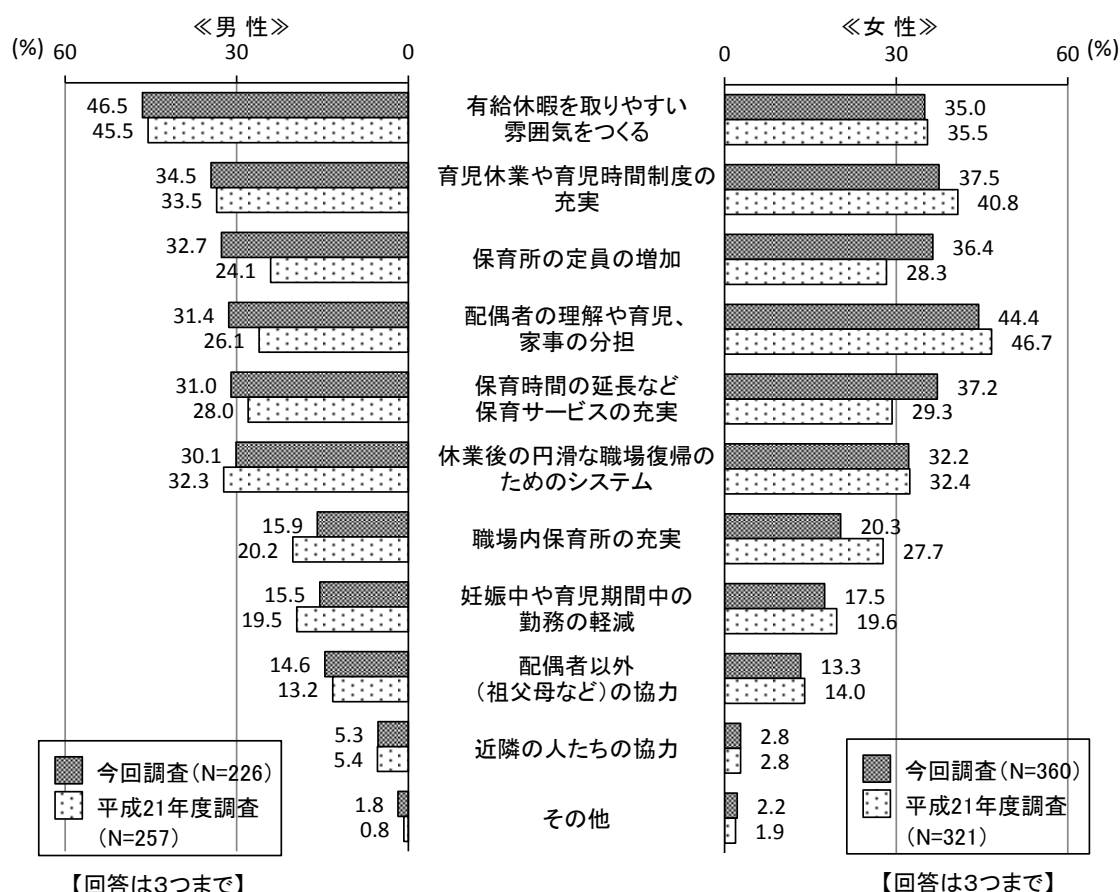
表Ⅲ－５－８ 男性の子育てに必要なこと〔全体、年齢別、仕事や就学の状況別〕
（平成21年度調査比較）

		標本数	労働時間の短縮	休暇制度の充実	通勤時間の短縮	男性の意識改革	講座等のための育児	家族の協力	企業（経営者等）の理解	職場の理解	社会の理解	その他
全体		586 100.0	134 22.9	284 48.5	13 2.2	230 39.2	52 8.9	132 22.5	195 33.3	329 56.1	160 27.3	2 0.3
年齢別	18～24歳	262	21.8	51.1	2.7	40.1	8.0	24.4	34.4	58.8	26.7	-
	25～30歳	322	23.9	46.3	1.9	38.5	9.6	20.8	32.6	54.0	27.6	0.6
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-
仕事や就学の状況別	正社員	208	22.1	51.0	1.9	35.1	11.5	19.7	32.7	51.4	28.8	0.5
	契約社員・嘱託	48	16.7	45.8	2.1	43.8	8.3	16.7	45.8	75.0	27.1	-
	派遣社員	12	25.0	41.7	-	33.3	-	8.3	41.7	66.7	25.0	-
	パート・アルバイト（フリーター）	67	22.4	46.3	1.5	49.3	13.4	32.8	22.4	37.3	25.4	1.5
	自営業・自由業	7	42.9	57.1	-	28.6	-	14.3	14.3	57.1	14.3	-
	専業主婦・専業主夫	42	35.7	45.2	4.8	38.1	7.1	21.4	23.8	64.3	28.6	-
	無職（求職中）	23	34.8	34.8	-	43.5	13.0	26.1	34.8	52.2	34.8	-
	無職（求職中でない）	12	33.3	41.7	8.3	50.0	8.3	16.7	41.7	50.0	25.0	-
	学生・勉強中	150	20.0	52.0	2.7	38.7	5.3	23.3	38.0	61.3	25.3	-
	その他	11	-	18.2	-	36.4	-	45.5	27.3	63.6	36.4	-
	無回答	6	33.3	66.7	-	50.0	-	33.3	16.7	83.3	16.7	-
平成21年度調査		578	23.7	51.9	2.4	40.7	8.3	21.6	30.3	49.7	27.5	0.3

6. 子育てと仕事の両立に必要なこと

問 27 子育てと仕事を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (〇は3つまで)

図Ⅲ-5-9 子育てと仕事の両立に必要なこと [性別] (平成 21 年度調査比較)



育児と仕事の両立に必要なこととしては、「有給休暇をとりやすい雰囲気をつくる」と「配偶者の理解や育児、家事の分担」がともに 39.4% で最も高く、次いで「育児休業や育児時間制度の充実」が 36.3%、「保育所の定員の増加」が 35.0% となっている。

平成 21 年度調査と比較すると、男女とも「保育所の定員の増加」「保育時間の延長など保育サービスの充実」が増加している。また、男性では「配偶者の理解や育児、家事の分担」が 5.3 ポイント増加している。

性別にみると、男性は「有給休暇をとりやすい雰囲気をつくる」が女性よりも 11.5 ポイント高く、女性は「配偶者の理解や育児、家事の分担」が 13 ポイント、「保育時間の延長など保育サービスの充実」が 6.2 ポイント男性よりも高い。

年齢別にみると、18～24 歳では「休業後の円滑な職場復帰のためのシステム」「育児休業や育児時間制度の充実」などが、25～30 歳では「保育所の定員の増加」「保育時間の延長など保育サービスの充実」などが高い。

結婚の状況別にみると、結婚をしている人は「保育所の定員の増加」「保育時間の延長など保育サービスの充実」などが、結婚をしていない人は「休業後の円滑な職場復帰のためのシステム」「有給休暇をとりやすい雰囲気をつくる」などが高い。

表Ⅲ－５－９ 子育てと仕事の両立に必要なこと〔全体、年齢別、結婚の状況別〕
（平成21年度調査比較）

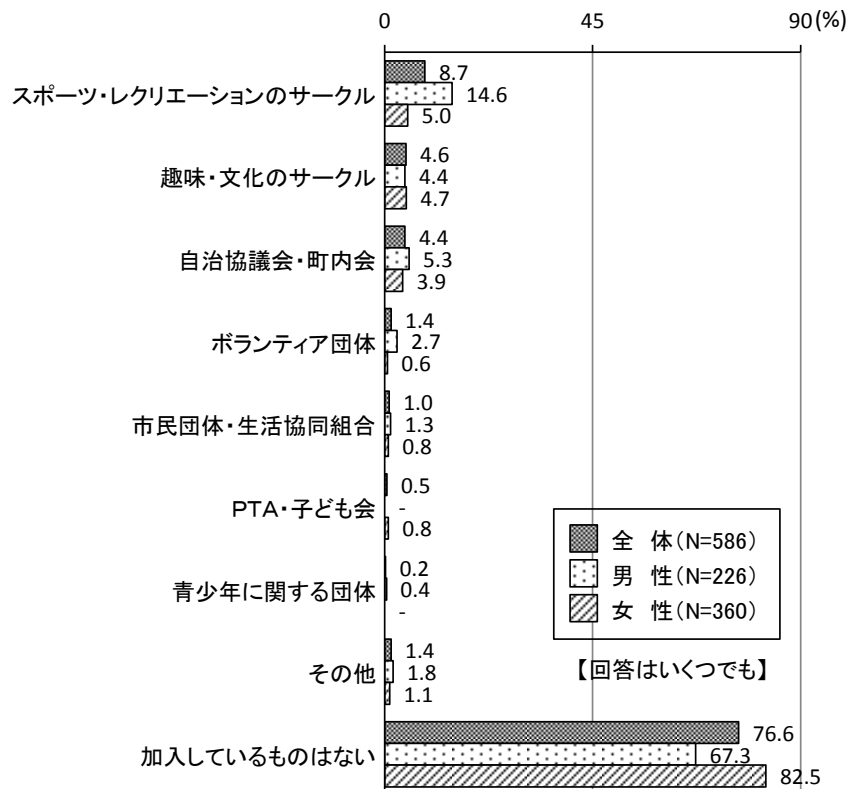
		標本数	保育所の定員の増加	保育サービスの充実など保育時間の延長	職場内保育所の充実	勤務の軽減や育児期間中の軽減	妊娠中の軽減	育児休業や育児時間制の充実	休業後の円滑な職場復帰のためのシステム	有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる	配偶者の理解や育児、家事の分担	配偶者以外の協力（祖父母など）	近隣の人たちの協力	その他
全体		586 100.0	205 35.0	204 34.8	109 18.6	98 16.7	213 36.3	184 31.4	231 39.4	231 39.4	81 13.8	22 3.8	12 2.0	
年齢別	18～24歳	262	28.2	31.3	14.9	20.2	40.5	37.4	38.2	37.0	13.4	5.0	1.1	
	25～30歳	322	40.4	37.9	21.7	13.7	33.2	26.4	40.4	41.3	14.3	2.8	2.8	
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	
結婚の状況別	結婚している	129	50.4	42.6	27.1	11.6	32.6	19.4	30.2	41.1	10.9	1.6	3.9	
	配偶者と死別した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	離婚した	8	37.5	37.5	-	12.5	12.5	12.5	25.0	62.5	25.0	12.5	-	
	まだ結婚していないが同棲している	21	38.1	47.6	9.5	23.8	42.9	23.8	47.6	38.1	14.3	-	-	
	結婚も同棲もしていないが交際している相手はいる	137	27.7	34.3	14.6	21.2	41.6	38.7	37.2	40.9	11.7	4.4	1.5	
	結婚も同棲もしていないし、交際している相手もいない	286	31.5	31.1	17.8	16.4	36.0	33.9	44.4	38.1	16.1	4.5	1.7	
無回答	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	60.0	40.0	-	-	-	-		
平成21年度調査		578	26.5	28.7	24.4	19.6	37.5	32.4	40.0	37.5	13.7	4.0	1.4	

第6章 地域とのかかわり

1. 加入している団体、サークル

問6 次にあげる団体やサークルのうち、あなたが加入しているものがありますか。
(〇はいくつでも)

図Ⅲ-6-1 加入している団体、サークル [全体、性別]

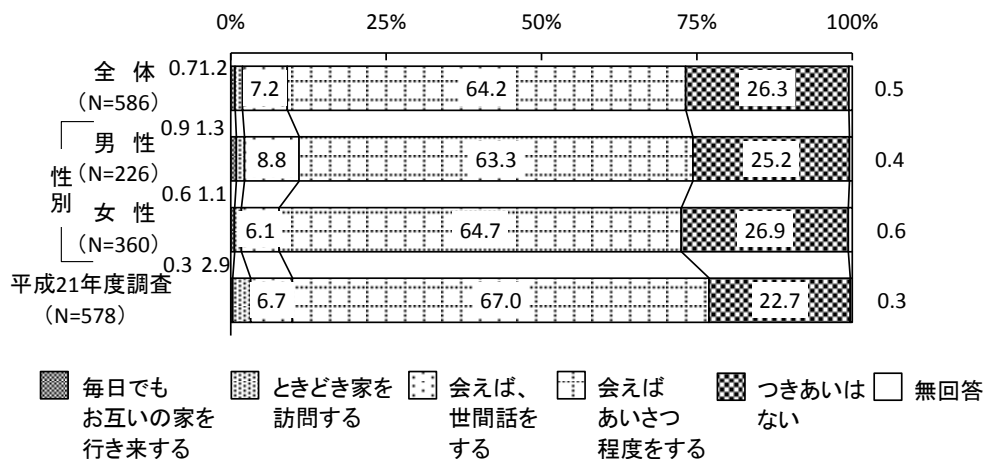


加入している団体やサークルは、「スポーツ・レクリエーションのサークル」が8.7%で最も高く、次いで「趣味・文化のサークル」が4.6%、「自治協議会・町内会」が4.4%となっているが、いずれもそれほど高い割合ではない。「加入しているものはない」が76.6%で8割近くを占めており、特に女性は82.5%と高い割合になっている。「スポーツ・レクリエーションのサークル」は男女の差が大きく、男性では14.6%と比較的高い割合になっている。

2. 近所づきあいの程度

問 28 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。（〇は1つ）

図Ⅲ－6－2 近所づきあいの程度〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）



近所づきあいの程度について、「会えばあいさつ程度をする」が64.2%で最も高く、次いで「つきあいはない」が26.3%で、「毎日でもお互い家を行き来する」や「ときどき家を訪問する」、「会えば世間話をする」という比較的親密なつき合いは合わせて約1割程度に過ぎない。

平成21年度調査と比較すると、「会えばあいさつ程度をする」が2.8ポイント低くなり、「つきあいはない」が3.6ポイント高くなっている。

性別にみると、男性は「会えば世間話をする」が女性よりも若干高い。

年齢別にみると、「つきあいはない」割合が25～30歳では31.4%となっており18～24歳より11.6ポイントも高い。

表Ⅲ－6－1 近所づきあいの程度〔全体、年齢別〕

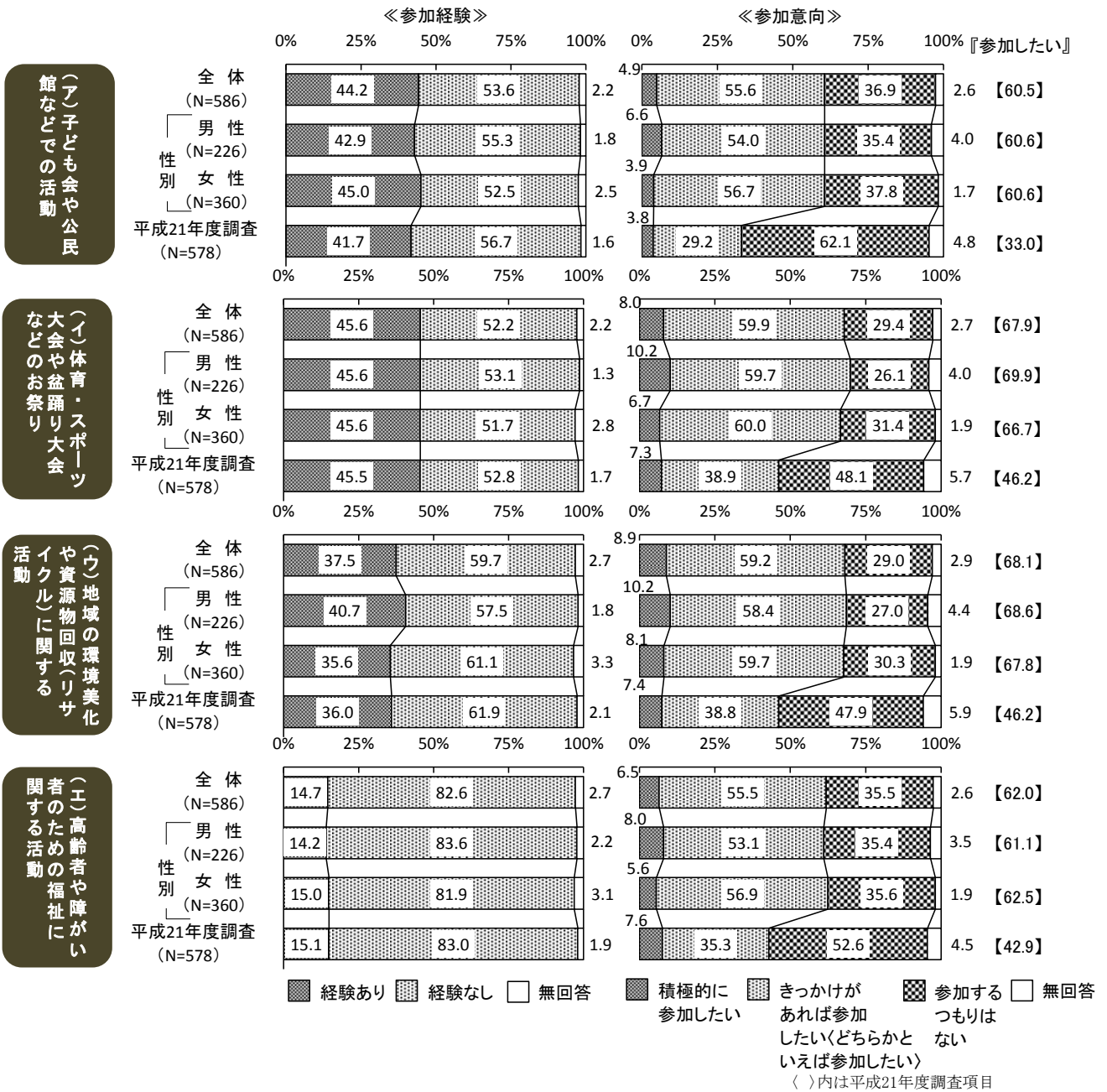
		標本数	毎日でもお互い家を行き来する	ときどき家を訪問する	会えば世間話をする	会えばあいさつ程度をする	つきあいはない	無回答
全体		586	0.7	1.2	7.2	64.2	26.3	0.5
年齢別	18～24歳	262	0.8	0.8	6.9	71.4	19.8	0.4
	25～30歳	322	0.6	1.2	7.5	58.7	31.4	0.6
	無回答	2	-	50.0	-	-	50.0	-

3. 地域活動

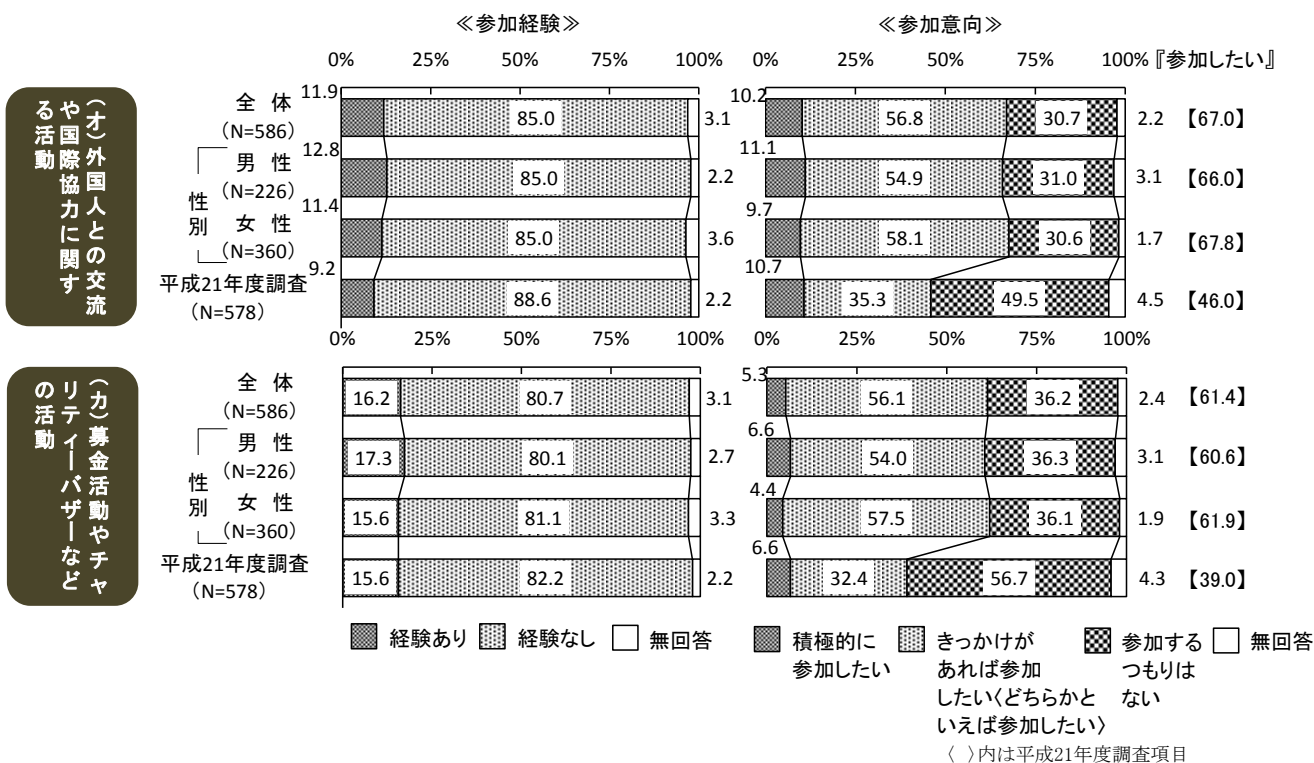
(1) 地域活動への参加経験と今後の参加意向

問 29 あなたの地域での行動についておたずねします。次の(ア)から(エ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向をそれぞれ1つずつ選んでください。

図Ⅲ-6-3 (1) 地域活動への参加経験と今後の参加意向 [全体、性別]
(平成21年度調査比較)



図Ⅲ－6－3（2） 地域活動への参加経験と今後の参加意向 [全体、性別]
（平成21年度調査比較）



各種の地域活動への参加経験については、「(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り」が45.6%で最も高く、次いで「(ア) 子ども会や公民館などでの活動」が44.2%、「(ウ) 地域の環境美化や資源物回収（リサイクル）に関する活動」が37.5%となっている。一方、「(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」（14.7%）、「(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」（11.9%）、「(カ) 募金活動やチャリティイベントなどの活動」（16.2%）は1割台と低い割合になっている。

平成21年度調査と比較すると、いずれの地域活動もその割合はあまり変わっていない。

性別にみると、「(ウ) 地域の環境美化や資源物回収（リサイクル）に関する活動」は男性の方が5.1ポイント高くなっている。

今後の参加意向については、いずれの地域活動もほぼ同じ結果で「きっかけがあれば参加したい」が6割弱を占めている。「積極的に参加したい」は、最も高いのが「(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動」で10.2%となっており、他は全て1割を下回っている。

平成21年度調査と比較すると、たずね方を変更しているので一概に比較はできないが、「積極的に参加したい」が全般に低いことに変わりはない。

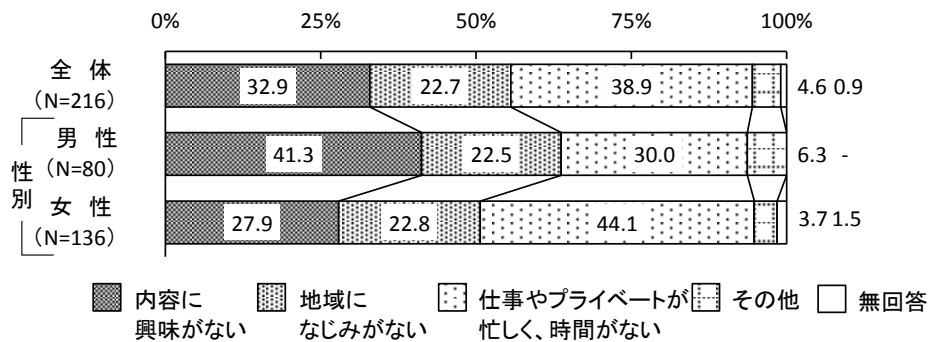
性別にみると、「積極的に参加したい」の割合は、すべての項目で男性の方が若干ながら高くなっている。

(2) 地域活動に消極的な理由

問 29 で「3. 参加するつもりはない」を3つ以上選んだ方にうかがいます。

問 29-1 参加するつもりがないのはどのような理由ですか。(〇は1つ)

図Ⅲ－6－4 地域活動に消極的な理由〔全体、性別〕



地域活動に参加するつもりはないとする理由は「仕事やプライベートが忙しく、時間がない」が38.9%で最も高く、次いで「内容に興味がない」が32.9%、「地域になじみがない」が22.7%となっている。

性別にみると、男性は「内容に興味がない」が41.3%と最も高く、女性は「仕事やプライベートが忙しく、時間がない」が44.1%と最も高い。

年齢別にみると、「内容に興味がない」と「仕事やプライベートが忙しく、時間がない」は18～24歳で高く、「地域になじみがない」は25～30歳で高い。

表Ⅲ－6－2 地域活動に消極的な理由〔全体、年齢別〕

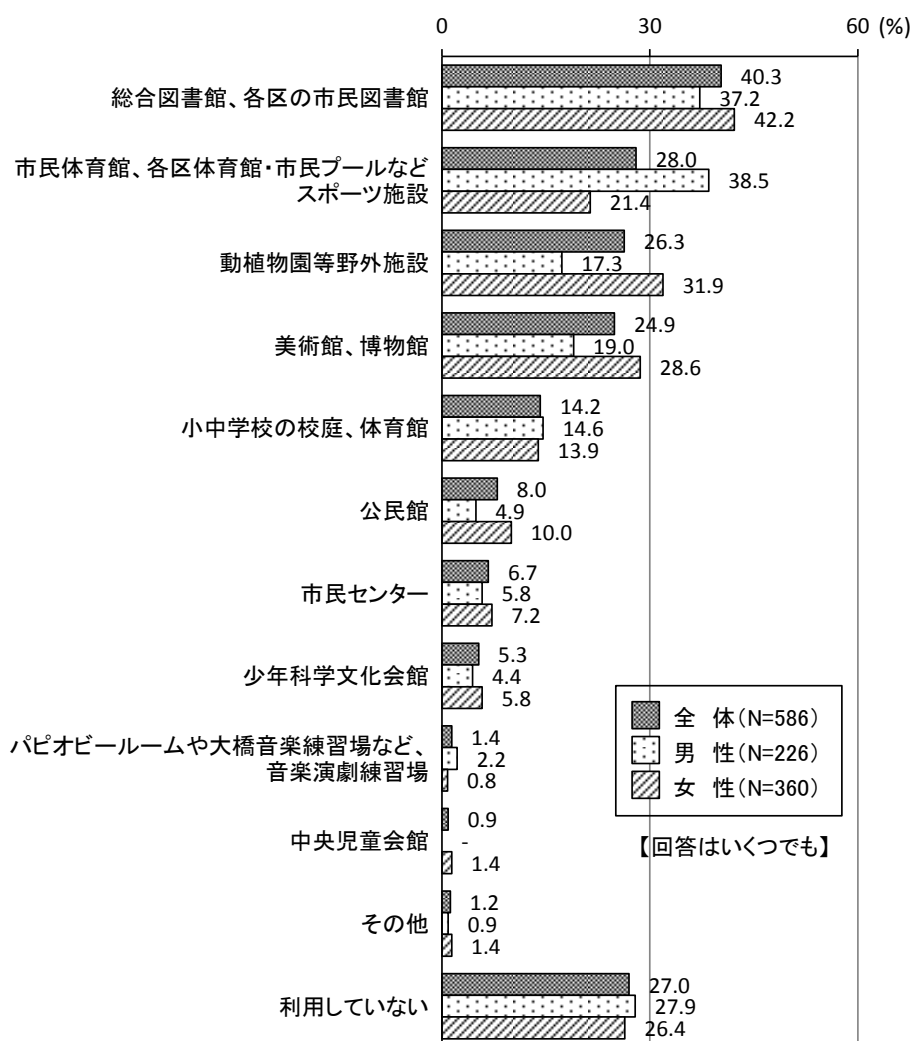
		(%)					
	標本数	内容に興味がない	地域になじみがない	仕事やプライベートが忙しく、時間がない	その他	無回答	
全体	216	71	49	84	10	2	
	100.0	32.9	22.7	38.9	4.6	0.9	
年齢別	18～24歳	92	40.2	14.1	40.2	5.4	-
	25～30歳	123	26.8	29.3	38.2	4.1	1.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-

第7章 公共施設の利用状況

1. 過去1年間に利用した公共施設

問30 あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設はどこですか。（〇はいくつでも）

図Ⅲ-7-1 過去1年間に利用した公共施設〔全体、性別〕



過去1年間に利用した公共施設は、「総合図書館、各区の市民図書館」が40.3%で最も高く、次いで「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が28.0%、「動植物園等野外施設」が26.3%となっている。「利用していない」は27.0%である。

平成21年度調査と比較すると、「利用していない」が7.6ポイント減少している。「総合図書館、各区の市民図書館」が7.4ポイント増加しており、その他も若干増加している施設が多い。

性別にみると、男性は「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が女性よりも17.1ポイント高く、女性は「動植物園等野外施設」「美術館、博物館」などが高い。

年齢別にみると、「動植物園等野外施設」は25～30歳の方が高いが、その他の殆どの施設は18～24歳の方が高くなっている。

表Ⅲ-7-1 過去1年間に利用した公共施設〔全体、年齢別〕（平成21年度調査比較）

		(%)												
		標本数	総合図書館、各区の市民図書館	市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設・市	小中学校の校庭、体育館	美術館、博物館	市民センター	少年科学文化会館	中央児童会館	公民館	パピオピールームや大橋音楽練習場など、音楽演劇練習場	動植物園等野外施設	その他	利用していない
全体		586 100.0	236 40.3	164 28.0	83 14.2	146 24.9	39 6.7	31 5.3	5 0.9	47 8.0	8 1.4	154 26.3	7 1.2	158 27.0
年齢別	18～24歳	262	45.8	34.4	16.0	26.0	8.8	8.0	-	9.5	2.3	21.8	0.4	24.0
	25～30歳	322	35.7	22.7	12.7	23.9	5.0	3.1	1.6	6.8	0.6	29.8	1.9	29.5
	無回答	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
平成21年度調査		578	32.9	24.0	10.0	21.3	8.0	4.5	1.2	5.7	2.2	24.6	0.5	34.6

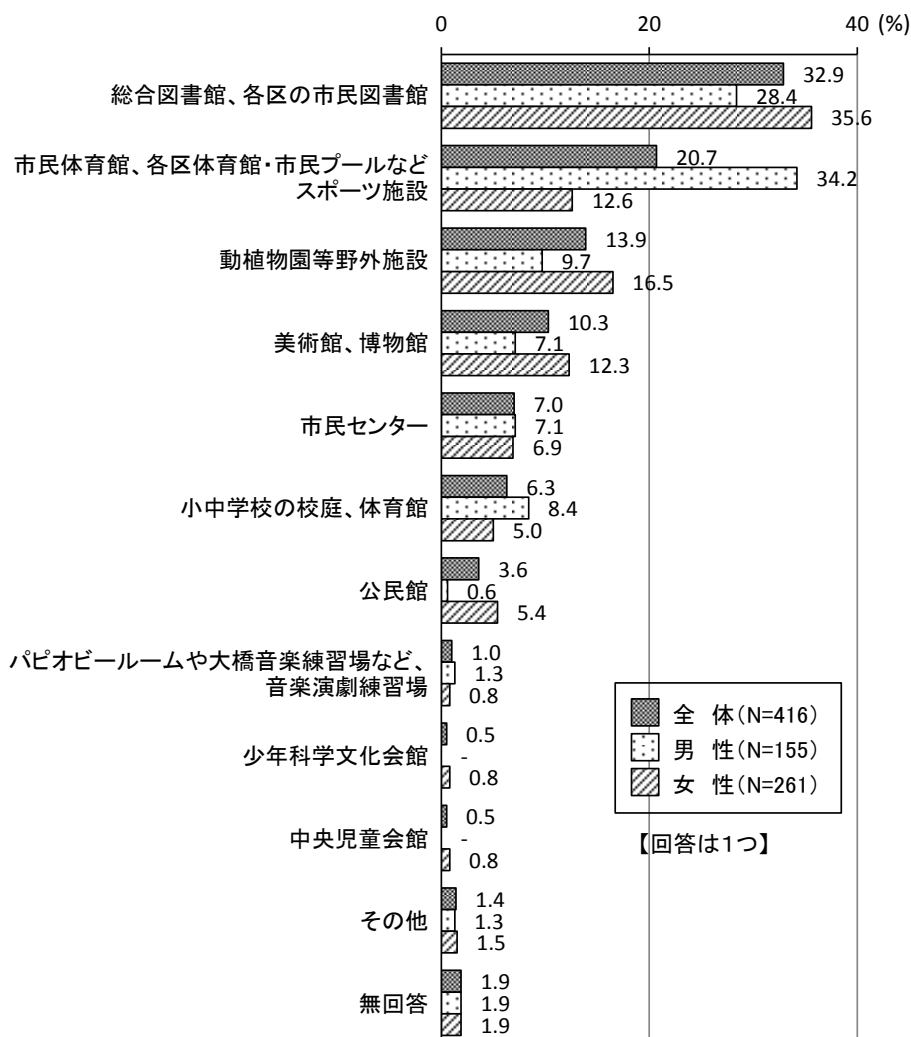
2. 最も利用している公共施設とその利用頻度

(1) 最も利用している公共施設

問30で「1」～「11」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問30-1 そのうち最も利用している施設の番号を記入し、その利用頻度を1～5に○をつけてください。

図Ⅲ-7-2 最も利用している公共施設〔全体、性別〕



最も利用している公共施設は、「総合図書館、各区の市民図書館」が32.9%で最も高く、次いで「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が20.7%、「動植物園等野外施設」が13.9%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「総合図書館、各区の市民図書館」「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」「動植物園等野外施設」はいずれも若干減少し、「市民センター」「小中学校の校庭、体育館」が増加している。

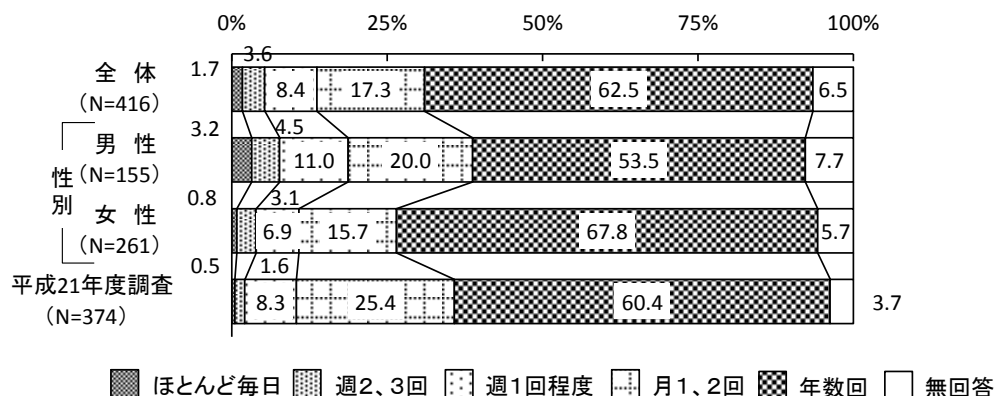
性別にみると、男性は「市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設」が高く、女性は「総合図書館、各区の市民図書館」「動植物園等野外施設」「美術館、博物館」が高い。

表Ⅲ-7-2 最も利用している公共施設〔全体〕（平成21年度調査比較）

	標本数	総合図書館、各区の市民図書	市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設	小中学校の校庭、体育館	美術館、博物館	市民センター	少年科学文化会館	中央児童会館	公民館	練習場など、音楽演奏練習場	パピオホールや大橋音楽	動植物園等野外施設	その他	無回答
全体	416	137	86	26	43	29	2	2	15	4	58	6	8	
	100.0	32.9	20.7	6.3	10.3	7.0	0.5	0.5	3.6	1.0	13.9	1.4	1.9	
平成21年度調査	374	34.8	21.1	4.8	11.5	3.2	1.1	0.3	3.5	1.0	16.8	0.8	1.1	

(2) 利用頻度

図Ⅲ-7-3 利用頻度〔全体、性別〕（平成21年度調査比較）



利用頻度は、「年数回」が62.5%で最も高く、次いで「月1、2回」が17.3%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「月1、2回」が8.1ポイント減少し、「年数回」の利用が増加しており、利用頻度が少なくなっていることがうかがえる。

性別にみると、男性は「週1回程度」や「月1、2回」の利用頻度が女性より高く、女性は「年数回」の利用が高い。

◎自由意見

問 31 就職や結婚、地域のことなどで、日ごろお感じになっていること、また、福岡市に対して、ご意見・ご要望などありましたら、自由にご記入ください。

就職や結婚、地域のことなどで感じていることや福岡市に対する意見・要望を書いてもらった。157件の意見があげられている。主な内容を整理すると、以下のとおりである。

◆ 子育て支援	26
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立支援、働く女性の職場環境の改善、働く場の確保 ・保育園を増やしてほしい、保育料を安くしてほしい ・ベビーカーでの通行に不便 	
◆ 仕事・就職	19
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立ができる職場環境を ・正規雇用での働く場を増やしてほしい ・企業や職業訓練等の情報提供 	
◆ 交通マナー、安心・安全	17
<ul style="list-style-type: none"> ・車や自転車の運転マナーが悪い ・飲酒運転が多い ・自転車の無灯火 ・交通アクセスが悪い ・歩きたばこが多い 	
◆ 住みやすい	16
◆ 道路環境	12
<ul style="list-style-type: none"> ・歩道や道路の整備・安全確保 ・街灯の整備 ・無駄な道路工事の廃止 ・渋滞の解消 	
◆ イベント等出会いの場の提供・結婚について	12
◆ 公共施設	12
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の充実（狭い、近くにない、月曜日閉館、外国語の本が少ない等） ・公共施設に関する情報提供 ・駐輪場の整備 	
◆ ごみ・ペット・環境	10
<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ等の収集頻度を増やしてほしい ・騒音対策 ・犬や猫の殺処分の減少、飼い主のマナー 	
◆ 経済的支援	8
<ul style="list-style-type: none"> ・税金の優遇、結婚祝い金、住宅手当、子育て支援 ・国民年金納付の猶予枠の拡張 ・給料を増やす 	
◆ 税金	8
<ul style="list-style-type: none"> ・税金が高い ・税金の使い方の開示 	
◆ その他	17

記入件数 157件

IV

参考資料（使用した調査票）

福岡市青少年の意識と行動調査

(中学生・高校生等)

日ごろより福岡市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、福岡市では子ども・若者の育成や体験活動の充実などの取組を推進して
いくため、青少年の意識や生活実態などを把握する本調査を実施いたします。
この調査は、住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただきます。中学生・高校
生年代の方にご協力をお願いするものです。
つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し
上げます。

なお、この調査は西日本新聞社に委託し、実施しております。

平成25年10月
福岡市

あなたのことについて

- 問1 あなたの性別を選んでください。(Oは1つ)
1. 男性 43.3 2. 女性 56.5 無回答 0.3
- 問2 兄弟・姉妹の人数をご記入ください。(Oはいくつでも。人数も記入)
1. 兄 (28.5) 人 3. 弟 (29.0) 人 5. いない (自分1人) 13.9
2. 姉 (24.4) 人 4. 妹 (28.4) 人 無回答 0.9
- | 人数 | 兄
(N=228) | 姉
(N=195) | 弟
(N=232) | 妹
(N=227) |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1人 | 83.8 | 80.0 | 89.2 | 84.6 |
| 2人 | 14.5 | 17.9 | 9.9 | 15.0 |
| 3人 | 1.3 | 1.5 | 0.4 | - |
| 4人以上 | 0.4 | - | - | - |
| 無回答 | - | 0.5 | 0.4 | 0.4 |
- 問3 同居している家族について選んでください。(Oはいくつでも)
1. 父親 81.0 4. 祖父・祖母 9.9
2. 母親 96.4 5. おじ・おば 0.6
3. 兄弟・姉妹 72.9 6. その他(具体的に) 1.6 無回答 0.4
- 問4 あなたの学年を選んでください。(Oは1つ)
1. 中学1年生 26.9 5. 高校2年生 21.0 9. 無職 0.5
2. 中学2年生 26.5 6. 高校3年生 0.1 10. その他 0.5
3. 中学3年生 0.5 7. 専修学校、各種学校など ()
4. 高校1年生 23.1 8. 仕事をしている 0.6 無回答 0.3
- 問5 あなたの住んでいる区を選んでください。(Oは1つ)
1. 東区 20.8 3. 中央区 10.1 5. 城南区 10.8 7. 西区 11.9
2. 博多区 11.6 4. 南区 17.5 6. 早良区 17.3 無回答 0.1
- 問6 あなたは、地域の中で何か所属しているものがありますか。(Oはいくつでも)
1. 子ども会 6.8
2. 地域にあるサッカー、野球、テニス、バレーボールなどのスポーツクラブ 6.6
3. 環境美化や福祉などのボランティアグループ 0.4
4. ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年団体 0.5
5. その他(具体的に) 6.5
6. グループや団体には所属していない 72.6 無回答 8.4

[調査票の記入について]

※ ご回答いただいた内容は、福岡市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますのであり、他の目的に利用することは一切ございません。

◇ あなた自身の気持ちで書いてください。

◇ この調査票は、あなたが初めから終わりまで通して回答してください。

◇ あなたは、住民基本台帳から無作為で選ばれました。対象者として選ばれたことには、特別の理由はありません。

◇ 調査票には、あなたの氏名を記入する必要はありません。

◇ 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。

◇ 答えが「3つまで」と書いてある場合は、Oは1つでも2つでもかまいません。

◇ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月15日(金)まで**にご投函ください。
返信用封筒に切手は不要です。

◇ この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先 ■ 調査票に関すること
株式会社西日本新聞社お客様センター調査・マーケティンググループ
電話：711-5313 FAX：711-9757

■ 福岡市子ども行政・福岡市子ども総合計画に関すること
福岡市子ども未来局子ども部総務企画課
電話：711-4170 FAX：733-5534

ふだんのことについて

問7 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。枠内に数字を記入してください。
(時間は24時間制で記入してください。)

◎就寝時刻		◎起床時刻	
21時以前	1.5	5時以前	7.5
22時	20.0	6時	53.6
23時	40.5	7時	34.8
24時	29.5	8時以降	2.8
午前1時～5時	7.3	無回答	1.4
無回答	1.3		

問8 あなたの最近の体の調子で、あてはまるものがあれば、いくつでも選んでください。

1. かぜをひきやすい 10.1
2. 胃腸の調子がよくない 7.9
3. どうき、息切れなどがする 2.4
4. 目がすぐ疲れたり、耳鳴り・目まいがしたりする 11.3
5. 頭が重い、痛い 10.3
6. 肩や腰がこる、痛む 14.3
7. 太りすぎ 5.9
8. 夜眠れない 5.0
9. 体がだるい 17.1
10. アレルギー症状がある 16.0
11. なんとなく気分がすぐれない 11.6
12. その他 () 4.0
13. とくに何ともない 38.9

無回答 4.9

問9 あなたは次のようなことを、どの程度自分でしていますか。(ア)から(エ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

	いつもしている	ときどきしている	していない	無回答
(ア) 親に頼らず、朝一人で起きる	34.8	38.5	25.5	1.3
(イ) 自分のベッドを整える、または布団の上げ下げをする	25.4	38.6	34.8	1.3
(ウ) 自分の机の上や部屋の掃除をする	20.8	58.4	19.5	1.4
(エ) 家事の手伝い	21.9	56.5	20.4	1.3

問10 あなたの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。(ア)から(ケ)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

なし	30分以内	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間くらい	5時間以上	無回答
(ア) 学校での部活動の時間	31.5	1.8	9.0	34.4	16.8	4.0	1.8
(イ) 家庭での勉強時間	13.6	26.8	35.6	19.0	2.5	0.3	1.9
(ウ) 学習塾の時間	64.0	1.3	6.4	15.6	10.3	0.4	2.1
(エ) 学校以外のクラブ活動、けいこごとの時間	71.0	4.1	11.0	8.4	2.1	0.5	2.6
(オ) テレビ・ビデオを見る時間	4.6	14.8	36.6	22.9	12.1	2.6	4.1
(カ) ゲームをする時間	48.8	20.4	16.8	7.4	2.8	0.8	2.4
(キ) 携帯電話・スマートフォンやパソコンを使う時間	18.1	24.6	24.3	15.0	8.1	2.9	4.9
(ク) 読書をする時間	41.8	37.8	13.5	2.9	0.9	0.6	2.0
(ケ) 趣味や遊びの時間 (上記以外)	28.9	26.8	22.1	10.0	4.8	1.4	2.4

問11 あなたは、学校が休みの日は主にどのよう過ごすごことが多いですか。(〇は3つまで)

1. テレビ・ビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ 44.1
2. ゲームをする 19.6
3. 本や雑誌を読む 14.9
4. 買物に行く 21.9
5. ピアノ、ギターなど楽器を演奏する 4.4
6. 携帯電話・スマートフォンやパソコンでインターネットやメール、SNS (フェイスブック、ツイッターなど) をする 33.9
7. 家族で団らんする 12.9
8. 自宅で勉強をする 15.0
9. 塾に行く 7.1
10. カラオケボックスへ行く 3.8
11. ゲームセンターへ行く 2.8
12. ボランティア活動や地域での活動をする 0.3
13. 友だちと会う 35.5
14. 部活動やけいこごとをする 39.5
15. 公園や海、川、野原、空地などで遊ぶ 2.3
16. ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ 0.8
17. なんとなく過ごす 16.4
18. その他 () 3.6

無回答 1.5

問 12 あなたは日ごろ、放課後や学校が休みの日には、誰といっしょに過ごすことが一番多いですか。それ
それ主なものを2つまで選んで、下の欄の□の中に番号を記入してください。

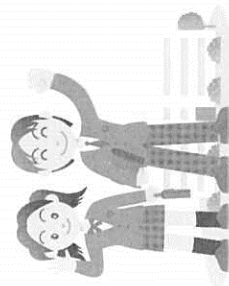
	【放課後】(休日)	【放課後】(休日)
1. 家族	59.5	73.4
2. 学校の友だち	68.4	58.9
3. 塾やけいこごとの友だち	11.0	6.6
4. 近所の友だちや幼なじみ	4.5	10.6
5. ゲームセンターなどの遊び友だち	0.5	2.0
6. 彼氏や彼女	1.4	3.1
7. メールや携帯電話で知り合った友だち	0.8	1.6
8. その他 ()	4.3	3.8
9. ひとりだけで過ごすことが多い	14.1	17.5
無回答	2.4	2.3

《放課後は》 → 《休みの日は》 →

問 13 あなたが居心地のいい場所はどこですか。(○は2つまで)

1. 自分の家	88.8
2. 友だちの家	7.9
3. 学校	18.1
4. 学習塾	3.3
5. 部活動の場所、けいこごとの場所	16.0
6. 公園	2.5
7. ファーストフード店やコンビニエンスストア	1.5
8. ゲームセンター	1.5
9. カラオケボックス	2.3
10. 本屋、DVD・CDショップ	8.3
11. 天神や博多駅など人の集まるところ	2.6
12. 公共施設 (図書館、体育館、美術館など)	2.4
13. その他 ()	4.1
14. ない	1.9
無回答	0.8

問 13-1 問 13 の選択肢以外で、あればいいなと思う場所はどんな場所ですか。自由に記入してください。



問 14 あなたが過去1年間に、学校の授業や部活動以外で利用したことがある公共施設はどこですか。
(○はいくつでも)

問 14-1 (N=633)
最も利用している

1. 総合図書館、各区の市民図書館	44.5	25.1
2. 市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設	48.3	24.0
3. 小中学校の校庭、体育館	31.9	14.5
4. 美術館、博物館	20.0	7.6
5. 市民センター	11.4	13.0
6. 少年科学文化会館	11.0	0.9
7. 中央児童会館	1.4	0.3
8. 公民館	16.9	3.9
9. パピオビートルームや大橋音楽練習場など、音楽演劇練習場	3.9	1.3
10. 動植物園などの野外施設	17.8	3.0
11. その他 ()	3.8	3.0
12. 利用していない	17.6	
無回答	3.3	3.3

問 14 で「1~11」のいずれかを選んで記入してください。

問 14-1 そのうち最も利用している施設について番号を記入し、その利用頻度について1~5に○を付けてください。

N=633

《最も利用している施設》 → ※問 14 の選択肢 1~11 のいずれかの番号を記入

《利用頻度》

1. ほとんど毎日	3.9	3. 週1回程度	6.2	5. 年数回	47.7
2. 週2、3回	3.6	4. 月1、2回	20.2	無回答	18.3

友だちについて

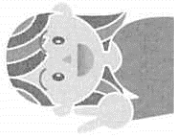
問 15 あなたと友だちとのつきあいで、次のようなことがありますか。○はいくつでも

1. 友だちに好きな人や恋愛のことを話す	44.8
2. 友だちに家や親に対する不満を話す	27.8
3. 友だちと将来のことについて真剣に話し合う	30.8
4. お金や大切にしているものを友だちと貸したり借りたりする	16.3
5. 友だちと本気でけんかする	13.3
6. 気の合わない人とのつきあいをできるだけ避ける	40.4
7. 友だちが悪いことをしたら注意する	33.4
8. 友だちというよりも一人である方が気持ち落ち着く	18.6
9. 広く浅くつきあうよりも、一人の友だちとの深いつきあいを大切にしている	27.1
10. 友だちといっしょにしているときでも別々のことをしていることが多い	9.1
11. 友だちとはなるべく言い争ったり争ったりしたくないと思う	59.0
12. 失敗は友だちとお互いにかばいあう	34.5
無回答	5.0

あなたが日ごろ考えていることについて

問 16 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(Oは2つまで)

1. 家族と仲よくする 56.8
 2. くよくよしないでのんびり暮らす 24.6
 3. 自分の仕事や勉強などに打ち込む 12.6
 4. 社会や国のためにつくす 4.5
 5. 自分の趣味にあっただ暮らしをする 37.5
 6. 知識や教養を身につけ精神的に豊かな生活をおくる 14.6
 7. 経済的に豊かな生活をおくる 14.9
 8. 自分の可能性をためす 9.0
 9. 人々に認められ有名になる 3.9
 10. その他 () 2.5
- 無回答 1.6



問 17 あなたは将来の目標がありますか。(Oは1つ)

1. はっきりある 25.4
 2. だいたいある 44.8
 3. まだない 24.6
 4. 考えたことがない 4.3
- 無回答 1.0

問 18 将来、あなたがしたいと思う仕事は次のどれですか。(Oは3つまで)

1. 自分の趣味や能力(専門知識や特技)が生かせる仕事 61.4
 2. 仲間と楽しく働ける仕事 39.8
 3. 働く時間が短い仕事 2.6
 4. 休みがきちんと取れる仕事 25.9
 5. 収入や雇用が安定している仕事 38.3
 6. 高い収入が得られる仕事 20.4
 7. 仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事 22.0
 8. 責任者として人を動かしたりできる仕事 2.6
 9. 独立して(人に使われずに)やれる仕事 4.9
 10. 世の中のためになるような仕事 21.8
 11. 世間の人気を集めるような仕事 3.5
 12. その他 () 2.0
 13. 特定の会社に就職するつもりはない(アルバイト、フリーターなど) 0.9
- 無回答 1.5

問 19 あなたは、将来結婚したいですか。(Oは1つ)

1. 結婚したい 60.1
 2. 結婚したくない 4.5
 3. 今はわからない 33.4
- 無回答 2.0

問 20 あなたは、将来子どもを持ちたいですか。(Oは1つ)

1. 子どもを持ちたい 61.0
 2. 子どもを持ちたくない 34.1
 3. 今はわからない 34.1
- 無回答 1.5

問 20で1.を選んだ人にかかっています。

問 20-1 あなたは、何人くらい子どもを持ちたいと思いますか。(Oは1つ)

N=488

1. 1人 6.6
2. 2人 58.6
3. 3人 24.6
4. 4人 1.4
5. 5人以上 1.8
6. わからない 7.0

問 21 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分^{けふん}の減退)になることがどのくらいありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
(ア) 何となく不安である	14.5	32.1	33.1	19.0	1.3
(イ) 何もやる気がしない	18.4	40.8	25.5	14.1	1.3
(ウ) とりのりとしたような気になる	9.6	21.8	32.9	34.3	1.5
(エ) 学校での競争に疲れを感じる	13.9	26.0	30.0	28.9	1.3
(オ) 一人きりが一番楽だ	18.3	32.0	27.6	20.8	1.4

問 22 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(Oはいくつでも)

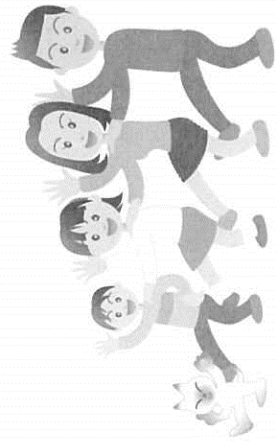
1. 受験や成績のこと 62.3
 2. 就職のこと 24.0
 3. 自分の将来のこと 46.9
 4. 家庭・家族のこと 10.4
 5. 友人や仲間のこと 20.5
 6. 好きな人や恋愛のこと 13.3
 7. おこづかいのこと 13.9
 8. 遊びのこと 7.3
 9. 性格のこと 18.6
 10. 健康のこと 10.9
 11. 性のこと 2.6
 12. 外見やスタイルのこと 24.4
 13. 政治や社会のこと 5.3
 14. 学校生活のこと 16.4
 15. 体罰のこと 1.9
 16. いじめのこと 2.9
 17. その他 () 2.6
 18. とくに悩みや心配ごとはない 14.1
- 無回答 1.8

問 23 あなたは悩みや心配ことを誰(何)に相談しますか。(Oはいくつでも)

- | | | | |
|--------------|------|------------------|------|
| 1. 父 親 | 18.0 | 7. 学校や塾の先生 | 8.8 |
| 2. 母 親 | 51.3 | 8. 電話相談など() | 0.1 |
| 3. 兄弟・姉妹 | 13.0 | 9. その他() | 3.1 |
| 4. 祖父母・親類 | 5.0 | 10. 誰にも相談しない | 15.4 |
| 5. 学校の先輩 | 8.1 | 11. 相談する場所がわからない | 1.9 |
| 6. 学校や近所の友だち | 52.6 | 無回答 | 2.5 |

問 24 次にあげる行動のうち、あなたの友だち(同じ学年)がした場合、そんなに悪いことだととは思わないものがありますか。(Oはいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. たばこを吸う | 5.9 |
| 2. 酒を飲む | 9.5 |
| 3. シンナー、麻薬、覚醒剤を試してみる | 1.5 |
| 4. パチンコをする | 6.1 |
| 5. つかみ合いのケンカをする | 27.1 |
| 6. 無断で学校を休む | 16.4 |
| 7. 同級生などをいじめたり、相手を傷つけたりするようことを言う | 2.6 |
| 8. カンニングをする | 6.1 |
| 9. 人の自転車が無断で借りる | 2.4 |
| 10. 無断で外泊する | 8.8 |
| 11. 夜の10時より遅く、夜遊びをする | 14.8 |
| 12. アダルト系のサイトや雑誌などを見る | 14.3 |
| 13. 出会い系サイトやツーツョットダイヤルなどを利用する | 5.0 |
| 14. 援助交際をする | 2.8 |
| 15. 1,000円札を拾った時、警察に届けない | 21.5 |
| 16. メールで悪口や嫌がらせをすること | 2.8 |
| 17. メールやゲームサイトなどで知り合った異性などと交際すること | 10.6 |
| 18. 1～17のどれも悪いことだ | 46.5 |
| 無回答 | 5.0 |



問 25 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(Oは1つ)

- | | | | |
|-------------|------|------------|-----|
| 1. 満足している | 48.4 | 3. 少し不満である | 8.5 |
| 2. まあ満足している | 37.8 | 4. 不満である | 3.5 |
- 無回答 1.9

問 26 あなたはお父さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(Oは1つ)
【該当しない場合は回答不要です。】

- | | | |
|-----------------|------|----------|
| 1. よく話をする | 30.4 | |
| 2. ある程度話をする | 36.3 | |
| 3. あまり話をしない | 15.9 | 問 26-1 へ |
| 4. まったく話をしない | 2.0 | |
| 5. いっしょに生活していない | 11.8 | 無回答 3.8 |

問 26で「3」または「4」を選んだ人にかがいます。

問 26-1 お父さんと話をしないのはどうですか。(Oはいくつでも)

N=143

- | | | | |
|----------------|------|---------------|------|
| 1. わかってもらえないから | 16.8 | 5. 話すことがないから | 60.1 |
| 2. 頼りにならないから | 10.5 | 6. お父さんが忙しいから | 29.4 |
| 3. すぐおこるから | 17.5 | 7. 自分が忙しいから | 10.5 |
| 4. うるさがるから | 4.2 | 8. その他() | 11.9 |
- 無回答-

問 27 あなたはお母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。(Oは1つ)
【該当しない場合は回答不要です。】

- | | | |
|-----------------|------|----------|
| 1. よく話をする | 61.9 | |
| 2. ある程度話をする | 26.0 | |
| 3. あまり話をしない | 3.0 | 問 27-1 へ |
| 4. まったく話をしない | 0.3 | |
| 5. いっしょに生活していない | 2.0 | 無回答 6.9 |

問 27で「3」または「4」を選んだ人にかがいます。

問 27-1 お母さんと話をしないのはどうですか。(Oはいくつでも)

N=26

- | | | | |
|----------------|------|---------------|------|
| 1. わかってもらえないから | 38.5 | 5. 話すことがないから | 30.8 |
| 2. 頼りにならないから | 7.7 | 6. お母さんが忙しいから | 23.1 |
| 3. すぐおこるから | 30.8 | 7. 自分が忙しいから | 11.5 |
| 4. うるさがるから | 19.2 | 8. その他() | 7.7 |
- 無回答-



問 28 あなたは、ふだん誰といっしょに食事をしていますか。平日、休日の(ア)朝食、(イ)夕食のそれぞれについて、あてはまるものをいくつでも選んでください。

	お母さん		お父さん		きょうだい		その他		ひとり		食べない		無回答	
	平日は	休日	平日は	休日	平日は	休日	平日は	休日	平日は	休日	平日は	休日	平日は	休日
(ア) 朝食	39.6	20.8	34.8	3.4	39.3	5.6	0.8							
(イ) 夕食	54.4	36.8	44.8	5.0	30.8	6.3	1.0							
	77.6	32.4	58.9	8.6	14.9	0.6	1.4							
	87.5	66.6	69.4	10.9	6.5	0.3	1.3							

→ 問 28-1 へ

問 28 (ア) 朝食で 6. を選んだ人にうかがいます。

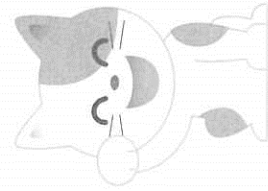
問 28-1 朝食を食べない理由は何ですか。(平日、休日それぞれ 1 つだけ選び、 に番号を記入)

	平日 (N=45)	休日 (N=50)
1. 時間がない	48.9	8.0
2. 食べるより寝たい	13.3	56.0
3. 食欲がない	15.6	14.0
4. 食べる物がない	4.4	6.0
5. 習慣	4.4	6.0
6. ダイエット	2.2	-
7. その他	6.7	8.0
無回答	4.4	2.0

《平日は》 → 《休日は》 →

問 29 あなたにとって家庭とは、どんなものですか。(○は 2 つまで)

1. 基本的な生活や生き方を学ぶ場 40.3
2. 家族がお互いに助け合い協力しあう場 40.1
3. 心身の休養や安らぎの場 58.6
4. 自分の好きなことをして楽しむ場 19.1
5. ただ、食事をし、寝るための場 4.0
6. その他 (2.3) 無回答 2.4



問 30 あなたに対するお父さんやお母さんの日ごろのしつけの態度についてうかがいます。次の(ア)から(キ)について、お父さんの場合、お母さんの場合、それぞれあてはまるものを 1 つずつ選んでください。【該当しない場合は、回答不要です。】

	お父さん (N=648)		お母さん (N=771)	
	いつでもできる	ときどき	いつでも	ときどき
(ア) あなたが何かやっているとすぐ手伝ってしまふ方だ	2.6	27.8	67.1	2.5
(イ) あなたについて何にでもすぐ口を出す方だ	11.1	36.3	49.8	2.8
(ウ) あなたにあまりかまってくれない方だ	5.4	18.4	73.5	2.8
(エ) 時と場合によってはあなたに言うことが違うことがある	7.9	42.4	46.6	3.1
(オ) だいたいあなたの言いなりになっている方だ	4.0	14.8	78.4	2.8
(カ) 体罰を受けることがある	0.6	7.6	89.5	2.3
(キ) あなたのことをわかってくれている方だ	44.4	42.3	10.5	2.8

地域での活動やボランティア活動について

問 31 あなたの地域での行動についておたずねします。次の(ア)から(キ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向をそれぞれ 1 つずつ選んでください。

	今までの参加経験の有無		今後の参加意向	
	経験あり	経験なし	積極的に参加したい	参加しないつもり
(ア) 子ども会や公民館などでの活動	73.0	24.9	2.1	9.9
(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り	78.4	19.3	2.4	24.0
(ウ) 地域の環境美化や資源物回収(リサイクル)に関する活動	56.8	38.9	2.4	11.4
(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動	19.9	77.3	2.9	9.1
(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動	21.1	75.5	3.4	15.0
(カ) 募金活動やチャリティー・バザーなどの活動	28.8	68.4	2.9	14.3
(キ) 災害支援のための活動	12.0	85.0	3.0	16.4

問 32 あなたには、次のような関係の「近所の大人」はいますか。(ア) から (オ) のそれぞれについて、1 つずつ選んでください。

	たくさんいる	少しいる	いない	無回答
(ア) 会えばあいさつをする大人	44.3	48.3	6.8	0.8
(イ) 会えば立ち話をする大人	8.8	43.5	46.9	0.9
(ウ) いっしょにスポーツをしたり、活動したりする大人	8.0	21.5	69.6	0.9
(エ) 悩みごとを相談できる大人	4.9	23.1	70.8	1.3
(オ) 悪いことをしたとき注意してくれる大人	20.8	42.0	35.9	1.4

携帯電話やインターネットの使用状況について

問 33 あなたは携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)

- ← 1. 持っている 78.5 2. 持っていない 20.3 無回答 1.3

問 33で「1」を選んだ人にかがいます。

問 33-1 携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。

(○は3つまで)

- N=628
1. 家族とメールやSNS (フェイスブック、ツイッターなど)、通話をする 53.5
 2. 友達とメールやSNS (フェイスブック、ツイッターなど)、通話をする 77.1
 3. ゲームをする 25.3
 4. 音楽を聴く 43.0
 5. インターネットをする 38.7
 6. 写真を撮る 24.4
 7. 日記や手帳などメモとして 3.8
 8. ワンセグでテレビを見る 3.0
 9. その他 (4.6) 無回答 0.2

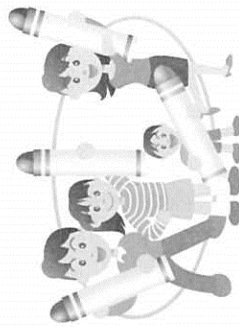
問 34 あなたはインターネットを主にどのような目的で使用することが多いですか。(○は3つまで)

1. 勉強・授業・進路 (就職情報、進学情報) のことを調べる 50.6
2. 趣味・遊びに関することを調べる 79.8
3. ネットショッピングをする 10.4
4. SNS (フェイスブック、ツイッターなど) やブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする 33.0
5. その他 (5.0) 無回答 6.3

問 35 あなたは、将来どのようなになりたい、どんなことをしたいと思いますか。また、福岡市がどんなまちなになるといいと思いますか。自由に記入してください。

将来どのようなになりたい、どんなことをしたいと思いますか。

将来、福岡市がどんなまちなになるといいと思いますか。



ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに投函してください。

福岡市青少年の意識と行動調査

(18～30歳の方)

日ごろより福岡市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、福岡市では子ども・若者の育成や体験活動の充実などの取組を推進して
いくため、青少年の意識や生活実態などを把握する本調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただいた18～30歳の
方にご協力をお願いするものです。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し
上げます。

なお、この調査は西日本新聞社に委託し、実施しております。

平成25年10月

福岡市

〔調査票の記入について〕

※ ご回答いただいた内容は、福岡市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させてい
ただくものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

- ◇ あなた自身の気持ちで書いてください。
- ◇ この調査票は、あなたが初めから終わりまで通して回答してください。
- ◇ あなたは、住民基本台帳から無作為で選ばれました。対象者として選ばれたことには、特別の理
由はありません。
- ◇ 調査票には、あなたの氏名を記入する必要はありません。
- ◇ 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- ◇ 答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。
- ◇ 答えが「3つまで」と書いてある場合は、○は1つでも2つでもかまいません。
- ◇ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月13日(水)まで**にご投函ください。
返信用封筒に切手は不要です。
- ◇ この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先

■ 調査票に関すること

㈱西日本新聞社お客様センター調査・マーケティンググループ
電話：711-5313 FAX：711-9757

■ 福岡市子ども行政・福岡市子ども総合計画に関すること

福岡市子ども未来局こども部総務企画課
電話：711-4170 FAX：733-5534

あなたのことについて

問1 あなたの性別を選んでください。(○は1つ)

1. 男性 38.6 2. 女性 61.4 無回答 -

問2 あなたの年齢をご記入ください。(平成25年10月1日現在)

1. 18～24歳 44.7 2. 25～30歳 54.9

問3 あなたの同居の家族に、次にあげる方はいますか。あなたからの結構で選んでください。
(○はいくつでも)

1. 配偶者 21.7 4. 子ども 15.5 7. 親類 2.0
2. 父親 38.7 5. 祖父母 7.0 8. その他 (3.1)
3. 母親 46.9 6. 兄弟・姉妹 32.9 9. 一人暮らし 26.3 無回答 -

問4 あなたの住んでいる区を選んでください。(○は1つ)

1. 東区 21.8 3. 中央区 12.1 5. 城南区 9.2 7. 西区 10.1
2. 博多区 16.4 4. 南区 16.0 6. 早良区 14.0 無回答 0.3

問5 あなたは今の地域にお住まいになって何年くらいですか。(○は1つ)

1. 1年未満 17.2 3. 3年～5年未満 10.9 5. 10年以上 38.9
2. 1年～3年未満 17.6 4. 5年～10年未満 15.4 無回答 -

問6 次にあげる団体やサークルのうち、あなたが加入しているものがありますか。(○はいくつでも)

1. 自治協議会・町内会 4.4 6. 趣味・文化のサークル 4.6
2. PTA・子ども会 0.5 7. スポーツ・レクリエーションのサークル 8.7
3. ボランティア団体 1.4 8. その他 (1.4)
4. 青少年に関する団体 0.2 9. 加入しているものはない 76.6 無回答 3.9
5. 市民団体・生活協同組合 1.0

ふだんの生活について

問7 あなたは朝食をどのようにとっていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日食べている 63.8 4. 1週間に1回くらいしか食べない 7.7
2. 2日に1回は食べている 10.8 5. まったく朝食を食べていない 10.4
3. 3日に1回は食べている 7.3 無回答 -

問8 あなたは、平日に1日当たり平均してどのくらい次のようなことをしていますか。(ア)から(エ)に
ついてそれぞれ1つずつ選んでください。

なし	30分以内	1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間以上	無回答
4.3	12.6	26.6	25.1	13.7	8.5	6.7	2.6
1.2	10.8	25.3	23.2	15.0	7.7	14.0	2.9
49.0	30.9	11.8	2.9	1.2	0.3	1.0	2.9
30.0	20.3	24.7	11.3	4.3	2.4	4.1	2.9

問9 あなたは、仕事や学校が休みの日は主にどのように過ごすことが多いですか。(○は3つまで)

1. テレビやビデオを見たり、CDなどで音楽を楽しむ 40.8
2. ゲームをする 14.7
3. パソコンや携帯電話でインターネットやメール、SNS(フェイスブック、ツイッターなど)をする 36.2
4. 本や雑誌を読む 13.8
5. ピアノ、ギターなど楽器を演奏する 2.9
6. 家事や育児をする 16.4
7. 家族で団らんする 17.4
8. 買物やレジャーを楽しむ 41.5
9. 勉強をする 8.4
10. スポーツクラブやカルチャースクールなどへ行く 6.5
11. パチンコや競艇、競馬などギャンブルをする 2.9
12. 恋人と会う 17.1
13. 友だちと会う 35.0
14. ハイキング、鉄道、ドライブなどの小旅行を楽しむ 5.8
15. ボランティア活動や地域での活動をする 0.5
16. なんとなく過ごす 13.8
17. その他 () 4.8

無回答 2.4

問10 あなたが、仕事や学校が休みの日は主に誰といっしょに過ごすことが多いですか。(○は2つまで)

1. 家族 53.9
2. 恋人 21.0
3. 学校の友人 22.7
4. 職場の友人、同僚 11.1
5. 近所の人や幼なじみ 5.1
6. カルチャースクールやスポーツクラブなどの共通の趣味の友人 6.3
7. ボランティア活動などの仲間 0.9
8. その他 () 4.3
9. ひとりですごすことが多い 30.7

無回答 2.4

問11 あなたの居心地のいい主な場所はどこですか。(○は2つまで)

1. 自分の家 90.8
2. 友だち・恋人の家 13.0
3. 職場 2.2
4. 学校 5.6
5. ファーストフード店やコンビニエンスストア 0.7
6. 公園 3.6
7. 本屋、ビデオ・CDショップ 10.6
8. 天神や博多駅など人の集まるところ 6.8
9. 公共施設(図書館、体育館、美術館、公民館など) 2.0
10. その他 () 6.5
11. ない 1.0

無回答 2.7

あなたが日ごろ考えていることについて

問12 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は2つまで)

1. 家族と仲よくする 56.7
2. くよくよしないでのんびり暮らす 28.7
3. 自分の仕事や勉強などに打ち込む 7.0
4. 社会や国のためにつくす 2.0
5. 自分の趣味にあった暮らし方をする 27.3
6. 知識や教養を身につけ精神的に豊かな生活をおくる 18.6
7. 経済的に豊かな生活をおくる 31.1
8. 自分の可能性をためす 6.5
9. 人々に認められ有名になる 1.7
10. その他 () 1.4

無回答 2.7

問13 あなたは日ごろ、次の(ア)から(オ)のような気持ち(無気力感や気分の減退)になることがあるかどうかありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よくある	あたる	あまりない	無回答
(ア) 何となく不安である	22.0	37.7	26.1	10.9
(イ) 何もやる気がしない	14.7	46.1	25.1	11.3
(ウ) とりのこされたような気になる	11.3	28.5	30.4	27.0
(エ) 学校や職場での競争に疲れを感じる	14.0	26.3	31.9	24.7
(オ) 一人きりが一番楽だ	21.5	39.2	25.3	11.3

問14 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(○はいくつでも)

1. 仕事のこと 45.6
2. 受験や成績のこと 6.5
3. 就職のこと 24.2
4. 自分の将来のこと 57.2
5. 家庭・家族のこと 28.3
6. 友人や仲間のこと 7.8
7. 恋愛のこと、結婚のこと 32.6
8. 家計、金銭のこと 49.3
9. 遊びのこと 4.1
10. 性格のこと 19.1
11. 健康のこと 20.3
12. 性のこと 4.9
13. 外見やスタイルのこと 22.0
14. 政治や社会のこと 9.9
15. その他 () 1.0
16. とくに悩みや心配ごとはない 8.0

無回答 2.4

問 15 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談しますか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------|------|-------------------------|---------|
| 1. 父親 | 12.8 | 9. 学校や近所の友だち | 35.5 |
| 2. 母親 | 43.9 | 10. 学校などの先生 | 2.4 |
| 3. 配偶者、恋人 | 32.8 | 11. カウンセラー | 1.2 |
| 4. 兄弟・姉妹 | 18.8 | 12. 電話相談など（ | 0.3 |
| 5. 祖父母・親類 | 1.9 | 13. その他（ | 7.3 |
| 6. 職場の上司 | 8.7 | 14. 誰にも相談しない | 14.5 |
| 7. 職場の同僚 | 16.9 | 15. 誰に（何に）相談すればよいかわからない | 5.5 |
| 8. 学校の先輩 | 3.4 | | 無回答 0.9 |

就業・就学状況について

問 16 現在の仕事や就学等の状況はどのようになっていますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|---------------------|------|------------------------|------|------------|
| 1. 正社員 | 35.5 | 6. 専業主婦・専業主夫 | 7.2 | → 問 16-2 へ |
| 2. 契約社員・嘱託 | 8.2 | 7. 無職（求職中） | 3.9 | |
| 3. 派遣社員 | 2.0 | 8. 無職（求職中でない） | 2.0 | |
| 4. パート・アルバイト（フリーター） | 11.4 | 9. 学生・勉強中（進学、資格取得のため等） | 25.6 | |
| 5. 自営業・自由業 | 1.2 | 10. その他（ | 1.9 | 無回答 1.0 |

N=342

問 16-1 現在働いている人で、現在の悩みは何ですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|---------------|------|----------|---------|
| 1. 収入が少ない | 49.7 | 5. 人間関係 | 18.1 |
| 2. 休みが少ない | 15.2 | 6. その他（ | 9.9 |
| 3. 仕事がついつい | 23.1 | 7. 悩みはない | 20.5 |
| 4. 仕事がおもしろくない | 17.0 | | 無回答 0.9 |

N=77

問 16-2 現在働いていない人で、その理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | | | |
|----------------------|------|--------------------------|---------|
| 1. 自分が希望するような仕事がないため | 11.7 | 7. 将来の目標に向けて勉強・訓練をしているため | 11.7 |
| 2. 自分に合う仕事が見つからないため | 13.0 | 8. 働かなくても生活できるため | 5.2 |
| 3. 応募しても採用されないため | 11.7 | 9. 人間関係が気になるため | 10.4 |
| 4. 求人がないため | 5.2 | 10. 健康上の理由のため | 5.2 |
| 5. 働くことに意味や魅力を感じないため | 6.5 | 11. その他（ | 6.5 |
| 6. 家事・出産・育児のため | 59.7 | | 無回答 1.3 |

すべての方にうかがいます。

問 17 今後、どのような働き方を希望しますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------------------|------|--------------|---------|
| 1. 正社員 | 71.3 | 5. 自営業・自由業 | 6.7 |
| 2. 契約社員・嘱託 | 2.4 | 6. 専業主婦・専業主夫 | 3.9 |
| 3. 派遣社員 | 1.0 | 7. 無職 | 0.2 |
| 4. パート・アルバイト（フリーター） | 9.4 | 8. その他（ | 3.6 |
| | | | 無回答 1.5 |

問 18 仕事への将来の希望はどれですか。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. 働く時間が短い仕事 | 5.8 |
| 2. 休みがきちんと取れる仕事 | 48.0 |
| 3. 収入や雇用が安定している仕事 | 56.5 |
| 4. 高い収入が得られる仕事 | 15.7 |
| 5. 仕事と家庭生活やプライベートが両立できる仕事 | 50.9 |
| 6. 仲間と楽しく働ける仕事 | 40.6 |
| 7. 責任者として人を動かしたりできる仕事 | 3.1 |
| 8. 独立して（人に使われずに）やれる仕事 | 5.8 |
| 9. 自分の趣味や能力（専門知識や特技）が生かせる仕事 | 24.1 |
| 10. 世の中のためになるような仕事 | 13.8 |
| 11. 世間の人気を集めるような仕事 | 1.4 |
| 12. その他（ | 1.4 |
| 13. 特定の会社に就職するつもりはない（アルバイト、フリーターなど） | 0.9 |

問 19 働くことを希望していた（いる）ときに、仕事に関する情報をどのように入手しましたか。（○は3つまで）

- | | | | |
|-------------|------|------------------|---------|
| 1. ハローワーク | 31.4 | 6. 家族・友人等の紹介 | 19.5 |
| 2. 求人情報誌 | 39.2 | 7. 企業合同説明会 | 16.6 |
| 3. 学校の紹介 | 29.0 | 8. 就職情報会社からの情報提供 | 12.6 |
| 4. インターネット | 44.5 | 9. その他（ | 2.7 |
| 5. 新聞・市政だより | 2.7 | | 無回答 2.0 |

問 20 働くことを希望する人に対して、行政はどんな支援をすればよいと思いますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------------------|------|--------------------|---------|
| 1. 仕事の紹介 | 21.2 | 6. 就職等に関する相談窓口を設ける | 10.4 |
| 2. 就職面談の実施 | 2.9 | 7. 仕事と家庭の両立支援 | 18.4 |
| 3. 職業訓練・セミナーの実施 | 8.0 | 8. その他（ | 2.6 |
| 4. 職場体験・インターンシップの実施 | 10.4 | 9. とくに行政がすることはない | 4.8 |
| 5. 企業誘致など、働く場を増やす | 19.1 | | 無回答 2.2 |



結婚や子どもについて

問 21 あなたは、現在、結婚していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------------------------|------|------------------|
| 1. 結婚している | 22.0 | |
| 2. 配偶者と死別した | - | → 問 21-1へ |
| 3. 離婚した | 1.4 | |
| 4. まだ結婚していないが同様している | 3.6 | → 問 21-1、問 21-2へ |
| 5. 結婚も同様もしていないが交際している相手はいる | 23.4 | } → 問 21-2へ |
| 6. 結婚も同様もしていないし、交際している相手もいない | 48.8 | |
- 無回答 0.9

N=158

問 21で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 21-1 結婚・同様している(していた)人について、どういきっかけて相手と出会いましたか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 幼なじみ・隣人だった | 1.3 |
| 2. 学校で知り合った | 19.0 |
| 3. 習い事・サークルなどで知り合った | 2.5 |
| 4. 職場・アルバイト先・仕事で知り合った | 39.2 |
| 5. 友人・兄弟姉妹などに紹介された | 26.6 |
| 6. インターネットを通じて知り合った | 3.8 |
| 7. 親戚などから紹介(見合い)された | - |
| 8. 職場の上司などから紹介(見合い)された | 0.6 |
| 9. 結婚相談所、結婚情報サービス事業者から紹介された | 1.3 |
| 10. その他() | 5.7 |
- 無回答 -

N=444

問 21で「4」～「6」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 21-2 まだ結婚していない人について、その理由は何かですか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|------------------|------|-----------------|------|
| 1. まだ若すぎる | 30.2 | 7. 恋人とうまくつきあえない | 3.6 |
| 2. 必要性を感じない | 24.5 | 8. 収入が少ない | 21.8 |
| 3. 仕事(学業)に打ち込みたい | 18.7 | 9. 結婚資金が足りない | 12.2 |
| 4. 趣味や娯楽を楽しみたい | 14.4 | 10. 住宅のめどが立たない | 1.4 |
| 5. 自由や気楽さを失いたくない | 18.9 | 11. 親や周囲が同意しない | 2.7 |
| 6. 適当な相手に巡り会わない | 41.4 | 12. その他() | 5.4 |
- 無回答 0.7

問 22 あなたは、お子さんがいらっしゃるかどうか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------------|------|--|
| 1. いる | 13.7 | } → 人 |
| 2. 現在妊娠中(本人または配偶者) | 1.9 | N=80
子どもの数 |
| 3. いない | 78.2 | 1人 67.5
2人 26.3
3人 5.0 |
- 無回答 6.3

無回答 1.3

問 23 あなたの理想としては、子どもは何人が望ましいですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------|------|-------------|-----|
| 1. 1人 | 3.6 | 4. 4人 | 2.2 |
| 2. 2人 | 52.7 | 5. 5人以上 | 0.2 |
| 3. 3人 | 32.6 | 6. 子どもはいらない | 6.5 |
- 無回答 2.2

問 24 結婚や出産について、あなたはどのような考えを持っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------|------|
| 1. 結婚をし、子どもを持つべきだ | 48.5 |
| 2. 結婚はすべきだが、子どもは必ずしも持つ必要はない | 3.8 |
| 3. 結婚は必ずしもする必要はないが、子どもは持つべきだ | 5.1 |
| 4. 結婚も子どもも、絶対必要というわけではない | 40.8 |
- 無回答 1.9

問 25 あなたにとって家庭とは、どんなものですか。(〇は2つまで)

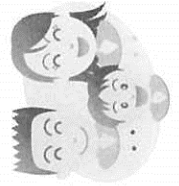
- | | |
|----------------------|------|
| 1. 基本的な生活や生き方を学ぶ場 | 26.1 |
| 2. 家族がお互いに助け合い協力しあう場 | 64.8 |
| 3. 心身の休養や安らぎの場 | 68.4 |
| 4. 自分の好きなことをして楽しむ場 | 2.9 |
| 5. ただ、食事をし、寝るための場 | 1.0 |
| 6. その他() | 1.4 |
- 無回答 1.7

問 26 あなたは、男性が子育てに積極的に関わるために特に必要なものは何だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|-------------------|------|----------------|------|
| 1. 労働時間の短縮 | 22.9 | 6. 家族の協力 | 22.5 |
| 2. 休暇制度の充実 | 48.5 | 7. 企業(経営者等)の理解 | 33.3 |
| 3. 通勤時間の短縮 | 2.2 | 8. 職場の理解 | 56.1 |
| 4. 男性の意識改革 | 39.2 | 9. 社会の理解 | 27.3 |
| 5. 男性のための育児講座等の充実 | 8.9 | 10. その他() | 0.3 |
- 無回答 1.4

問 27 子育てと仕事を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|------------------------|------|----------------------|---------|
| 1. 保育所の定員の増加 | 35.0 | 7. 有給休暇を取りやすい雰囲気をつくる | 39.4 |
| 2. 保育時間の延長など保育サービスの充実 | 34.8 | 8. 配偶者の理解や育児、家事の分担 | 39.4 |
| 3. 職場内保育所の充実 | 18.6 | 9. 配偶者以外(祖父母など)の協力 | 13.8 |
| 4. 妊娠中や育児期間中の勤務の軽減 | 16.7 | 10. 近隣の人たちの協力 | 3.8 |
| 5. 育児休業や育児時間制度の充実 | 36.3 | 11. その他() | 2.0 |
| 6. 休業後の円滑な職場復帰のためのシステム | 31.4 | | 無回答 1.7 |



地域のことにについて

問 28 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(○は1つ)

- 1. 毎日でもお互い家を行き来する 0.7
 - 2. とときどき家を訪問する 1.2
 - 3. 会えば世間話をする 7.2
 - 4. 会えばあいさつ程度をする 64.2
 - 5. つきあいはない 26.3
- 無回答 0.5

問 29 あなたの地域での行動についておたずねします。次の(ア)から(カ)の活動について、今までの参加経験と今後の参加意向をそれぞれ1つずつ選んでください。

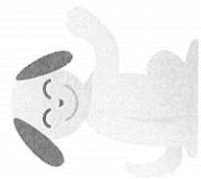
	今までの参加経験の有無		今後の参加意向			
	経験あり	無回答	積極的に参加したい	参加したい	参加しないうつもり	無回答
(ア) 子ども会や公民館などでの活動	44.2	53.6	2.2	4.9	55.6	2.6
(イ) 体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り	45.6	52.2	2.2	8.0	59.9	2.7
(ウ) 地域の環境美化や資源物回収(リサイクル)に関する活動	37.5	59.7	2.7	8.9	59.2	2.9
(エ) 高齢者や障がい者のための福祉に関する活動	14.7	82.6	2.7	6.5	55.5	2.6
(オ) 外国人との交流や国際協力に関する活動	11.9	85.0	3.1	10.2	56.8	2.2
(カ) 募金活動やチャリティーパーティーなどの活動	16.2	80.7	3.1	5.3	56.1	2.4

N=216

問 29 で「3. 参加するつもりはない」を3つ以上選んだ方にうかがいます。

問 29-1 参加するつもりがないのはどのような理由ですか。(○は1つ)

- 1. 内容に興味が無い 32.9
- 2. 地域になじみがない 22.7
- 3. 仕事やプライベートが忙しく、時間がない 38.9
- 4. その他 (4.6) 無回答 0.9



行政について

問 30 あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設はどれですか。(○はいくつでも)

- 1. 総合図書館、各区の市民図書館 40.3
 - 2. 市民体育館、各区体育館・市民プールなどスポーツ施設 28.0
 - 3. 小中学校の校庭、体育館 14.2
 - 4. 美術館、博物館 24.9
 - 5. 市民センター 6.7
 - 6. 少年科学文化会館 5.3
 - 7. 中央児童会館 0.9
 - 8. 公民館 8.0
 - 9. パビリオートルームや大橋音楽練習場など、音楽演劇練習場 1.4
 - 10. 動植物園等野外施設 26.3
 - 11. その他 1.2
 - 12. 利用していない 27.0
- 無回答 1.9

問30-1 最も利用(N=416)
32.9
20.7
6.3
10.3
7.0
0.5
0.5
3.6
1.0
13.9
1.4

問 30 で「1」～「11」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 30-1 そのうち最も利用している施設の番号を記入し、その利用頻度を1～5に○をつけてください。

N=416

《最も利用している施設》 →

※問 30 の選択肢1～11のいずれかの番号を記入

《利用頻度》

- 1. ほとんど毎日 1.7
 - 2. 週2、3回 3.6
 - 3. 週1回程度 8.4
 - 4. 月1、2回 17.3
 - 5. 年数回 62.5
- 無回答 6.5

問 31 就職や結婚、地域のことなどで、日ごろお感じになっていること、また、福岡市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございます。

同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに投函してください。

青少年の意識と行動調査

【中学生・高校生等、青年】

平成26年3月

発行 福岡市 こども未来局

〒810-8620

福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092) 711-4170

FAX (092) 733-5534